

平成 26 年度

博士論文（指導教授 田中 寛）

日・タイ語慣用句の対照研究
——慣用句の特性と意味を中心に——

大東文化大学大学院外国語学研究科

日本語文化学専攻博士課程後期課程

11233102

カンタムパン スンタリー

CUNTHRAMPUNT SOONTAREE

目次

目次.....	ii
図表目次.....	viii
表.....	viii
図.....	ix
序章.....	1
1. はじめに.....	3
2. 研究の動機.....	12
3. 研究の目的.....	13
4. タイ語の表記について.....	14
4.1 子音の一覧（頭子音・末子音）.....	14
4.2 母音の一覧（単独母音（基本母音）・二重母音）.....	15
4.3 声調の一覧.....	16
5. 本研究の慣用句の定義：慣用句とは何か.....	17
5.1 日本語における「慣用句」の定義.....	18
5.2 英語における「Idiom」の定義.....	18
5.3 タイ語における「sǎmnuan」の定義.....	20
5.4 本研究における「慣用句」の定義.....	22
6. 研究方法.....	22
7. 本論文の構成.....	24
章注.....	26
第1章 先行研究.....	27
1.1 タイ語慣用句に関する先行研究.....	29
1.1.1 慣用句と類似語.....	29
1.1.2 慣用句とタイ人の信仰.....	30
1.1.3 タイ語慣用句の構造.....	31
1.1.4 タイ語慣用句の特徴.....	32
1.2 日・タイ語慣用句に関する先行研究.....	33
1.2.1 日本語・タイ語慣用句事典の編纂について.....	33
1.2.2 慣用句の意味拡張に関する先行研究.....	34
1.3 タイ語と他言語の慣用句比較に関する先行研究.....	45

1.4	日本語慣用句に関する先行研究	48
1.4.1	外国人学習者の慣用句習得	48
1.4.2	宮地(1985)による先行研究	50
1.5	日本語と他言語の慣用句比較に関する先行研究	50
	章注	53
第2章 日・タイ語の慣用句の変異形と固定性		55
2.1	慣用句の固定性の分析方法	57
2.2	研究の背景と目的	57
2.3	先行研究	58
2.3.1	慣用句の分類	58
2.3.2	慣用句の固定性	59
2.3.3	慣用句の変異形	59
2.4	慣用句の語彙的変異形のタイプ	60
2.4.1	名詞の交替	60
2.4.2	動詞の交替	61
2.4.3	対義語	62
2.4.4	使役形	64
2.4.5	自動詞・他動詞	64
2.5	慣用句の統語的変異形のタイプ	66
2.5.1	名詞句への転換	66
2.5.2	連体修飾語の付加	68
2.5.3	連用修飾語の挿入	69
2.5.4	命令表現化、意志表現化	70
2.6	考察	72
2.6.1	タイ語における慣用句の変異形	72
2.6.2	慣用句の語彙的変異形の場合	73
2.6.3	慣用句の統語的変異形の場合	73
2.7	結語	74
	章注	74
第3章 日・タイ語の動詞慣用句の統語的階層関係		75
3.1	動詞慣用句の統語的階層関係の分析方法	77
3.2	日・タイ語の動詞慣用句の統語的階層関係の分析	77
3.2.1	研究の背景と目的	77
3.2.2	動詞慣用句の統語的操作	78

3.2.3 階層関係レベル①における句の再構成	79
3.2.3.1 レベル①における日本語慣用句	79
3.2.3.2 レベル①におけるタイ語慣用句	80
3.2.4 階層関係レベル②における文の再構成	81
3.2.4.1 レベル②における日本語慣用句	81
3.2.4.2 レベル②におけるタイ語慣用句	81
3.2.5 階層関係レベル③における構成要素の置き換え (1) : 命令・意志表現	83
3.2.5.1 レベル③における日本語慣用句	83
3.2.5.2 レベル③におけるタイ語慣用句	84
3.2.5.2.1 タイ語の命令表現	84
3.2.5.2.2 タイ語の意志表現	85
3.2.6 階層関係レベル④における構成要素への付加	87
3.2.6.1 連体修飾語の付加	87
3.2.6.1.1 日本語の「連体修飾語の付加」	87
3.2.6.1.2 タイ語の「連体修飾語の付加」	87
3.2.6.2 連用修飾語の付加	88
3.2.6.2.1 日本語の「連用修飾語の挿入」	88
3.2.6.2.2 タイ語の「連用修飾語の付加」	88
3.2.7 階層関係レベル⑤における構成要素の置き換え (2) : 肯定・否定表現	92
3.2.7.1 レベル⑤における日本語慣用句	92
3.2.7.2 レベル⑤におけるタイ語慣用句	93
3.2.8 階層関係レベル⑥における慣用句全体に関わる付加	95
3.2.8.1 慣用句の修飾成分化	95
3.2.8.1.1 日本語慣用句の「慣用句の修飾成分化」	95
3.2.8.1.2 タイ語慣用句の「慣用句の修飾成分化」	96
3.2.8.2 連用修飾語の付加	97
3.2.8.2.1 日本語慣用句の「連用修飾語の付加」	97
3.2.8.2.2 タイ語慣用句の「連用修飾語の付加」	97
3.3 結語・今後の課題	98
3.3.1 タイ語における慣用句の統語的操作には階層関係が存在する	101
3.3.2 統語的操作のタイプ	101
3.3.2.1 日本語にもタイ語にも存在する慣用句の階層関係の操作	101
3.3.2.2 日本語に存在するが、タイ語には存在しない慣用句の階層関係の操作	101
章注	102

第4章 日・タイ語の慣用句の意味分析の対照研究	103
4.1 日・タイ語の慣用句の意味分析—分析方法—.....	105
4.2 日・タイ語の慣用句の意味分析—動詞慣用句と一般動詞—を中心に	105
4.3 日・タイ語慣用句の対照的意味分析——《驚き》を中心に——	105
4.3.1 背景と目的.....	105
4.3.2 日本語の慣用句「舌を巻く」「目を見張る」と動詞「おどろく」の比較対照	107
4.3.2.1 「舌を巻く」と「目を見張る」	107
4.3.2.2 「舌を巻く」と「おどろく」	107
4.3.2.3 「目を見張る」と「おどろく」	108
4.3.2.4 日本語の慣用句《驚き》に関する分析のまとめ	109
4.3.3 タイ語の慣用句「taa kháaŋ」「tua sàŋ」と動詞「tòkcai」の比較対照	109
4.3.3.1 「taa kháaŋ」と「tua sàŋ」	110
4.3.3.2 「taa kháaŋ」と「tòkcai」	115
4.3.3.3 「tua sàŋ」と「tòkcai」	116
4.3.3.4 タイ語の慣用句《驚き》に関する分析のまとめ	117
4.3.4 日本語とタイ語の《驚き》の意味特徴の対照比較.....	118
4.4 日・タイ語慣用句の対照的意味分析——《聴覚活動》を中心に——	119
4.4.1 背景と目的.....	119
4.4.2 日本語の慣用句「耳を傾ける」「耳を澄ます」と動詞「聞く」の比較対照 ..	121
4.4.2.1 「耳を傾ける」と「耳を澄ます」	121
4.4.2.2 「耳を傾ける」と「聞く」	123
4.4.2.3 「耳を澄ます」と「聞く」	124
4.4.3 タイ語の慣用句「hǔu phùŋŋ」「ŋiá hǔu」と動詞「faŋ」の比較対照.....	126
4.4.3.1 「hǔu phùŋŋ」と「ŋiá hǔu」	126
4.4.3.2 「ŋiá hǔu」と「faŋ」	132
4.4.3.3 「hǔu phùŋŋ」と「faŋ」	135
4.4.4 日本語とタイ語の《聴覚活動》の意味特徴の対照比較	139
4.5 日・タイ語慣用句の対照的意味分析——《所有・取得》を中心に——.....	141
4.5.1 背景と目的.....	142
4.5.2 日本語の慣用句「手に入れる」「手にする」と動詞「得る」の比較対照	143
4.5.2.1 「手に入れる」と「手にする」	143
4.5.2.2 「手に入れる」と「得る」	144
4.5.2.3 「手にする」と「得る」	146
4.5.2.4 日本語の慣用句《所有・取得》に関する分析のまとめ	147

4.5.3	タイ語の慣用句「khûu mɯw」、 「tìt mɯw」と動詞「thǔw」の比較対照	148
4.5.3.1	「khûu mɯw」と「tìt mɯw」	148
4.5.3.2	「tìt mɯw」と「thǔw」	152
4.5.3.3	「khûu mɯw」と「thǔw」	154
4.5.3.4	タイ語の慣用句《所有・取得》に関する分析のまとめ	154
4.5.4	日本語とタイ語の《所有・取得》の意味特徴の対照比較	155
4.5.5	結語	156
4.6	日・タイ語慣用句の対照的意味分析——《怒り》を中心に——	156
4.6.1	背景と目的	156
4.6.2	日本語の《怒り》に関する先行研究	158
4.6.3	タイ語の慣用句「taa khǎaw」、 「nâa khǎaw」と動詞「kròot」の比較対照	159
4.6.3.1	「taa khǎaw」と「nâa khǎaw」	160
4.6.3.2	「nâa khǎaw」と「kròot」	164
4.6.3.3	「taa khǎaw」と「kròot」	167
4.6.3.4	タイ語の慣用句《怒り》に関する分析のまとめ	172
4.6.4	日本語の慣用句「頭にくる」「腹が立つ」と動詞「怒る」の比較対照	174
4.6.4.1	Ishida (2004)による研究の考察	174
4.6.4.2	タイ語の概念から見た日本語の《怒り》	186
4.6.4.3	日本語の慣用句《怒り》に関する分析のまとめ	194
4.7	結語	195
	章注	198
第5章 結論と今後の課題		199
5.1	日・タイ語の慣用句の変異形と固定性	201
5.1.1	日本語にもタイ語にも存在する慣用句の統語的変異形	204
5.1.2	日本語に存在するが、タイ語には存在しない慣用句の統語的変異形	204
5.2	日・タイ語の動詞慣用句の統語的階層関係	205
5.2.1	慣用句の階層関係の操作に関する共通点	205
5.2.2	慣用句の階層関係の操作に関する相違点	205
5.3	日・タイ語の慣用句の意味分析についてのまとめ	211
5.3.1	日本語・タイ語の弁別的意味特徴に重なりがあるもの	211
5.3.2	日本語・タイ語の弁別的意味特徴に相違点もある、類似点もあるもの	212
5.3.3	日本語・タイ語の弁別的意味特徴に共通点がないもの	215
	今後の課題	216
	章注	216

参考文献.....	217
用例出典.....	223
附録.....	225
附録(1).....	226
附録(2).....	231
参考資料.....	246
参考資料(1) 《怒り》に関して検索したデータとインフォマントの判断.....	247
参考資料(2) インタビューによる調査の結果.....	288
後書き.....	303
謝辞.....	305
要旨.....	- 1 -

図表目次

表

表 0-1	分野別にみる論文本数	6
表 0-2	発行年別にみる論文本数.....	7
表 0-3	発行年別、内容別にみる日本語学の論文本数.....	8
表 0-4	発行年号、内容別にみる対照研究分野の論文本数.....	9
表 0-5	分野別研究数.....	11
表 0-6	対照研究の内訳	11
表 0-7	タイ語の子音の表記	14
表 0-8	タイ語の末子音の表記	15
表 0-9	タイ語の母音の表記	15
表 0-10	タイ語の二重母音.....	15
表 0-11	タイ語の声調の表記	16
表 1-1	『慣用句の意味と用法』に掲載された慣用句の頻出度	33
表 1-2	「X - cai」形の「形容詞 + cai」(1.1).....	36
表 1-3	「X - cai」形の「動詞 + cai」(1.2)	37
表 1-4	「X - cai」形の「名詞 + cai」(1.3).....	38
表 1-5	「cai - Y」形の「名詞 + cai」(2.1).....	38
表 1-6	「cai - Y」形のその他 (2.2).....	38
表 1-7	タイ・韓国語の両言語慣用句における色彩の分析.....	46
表 1-8	森田 (1990) 調査結果	49
表 1-9	インドネシア語の語彙的固定性・変異形	51
表 1-10	インドネシア語の統語的固定性・変異形.....	52
表 2-1	慣用句の変異形の分類	73
表 3-1	動詞慣用句に対する統語的操作の階層関係	78
表 3-2	日本語動詞慣用句の統語的操作の階層関係	99
表 3-3	タイ語動詞慣用句の統語的操作の階層関係	100
表 4-1	「舌を巻く」、「目を見張る」、「おどろく」の弁別的意味特徴	109
表 4-2	「tua sàŋ」、「taa kháaŋ」、「tòkcai」の弁別的意味特徴	118
表 4-3	日本語における《聴覚活動》に関する動詞及び慣用句の弁別的意味特徴	126
表 4-4	タイ語における《聴覚活動》に関する動詞及び慣用句の弁別的意味特徴	139
表 4-5	日本語とタイ語の《聴覚活動》に関する動詞及び慣用句の弁別的意味特徴 ..	140
表 4-6	「手に入れる」、「手にする」、「得る」の弁別的意味特徴.....	147

表 4-7	khâu muu (伴う・手)、tít muu (付く・手)、thủu (持つ) の弁別的意味 特徴.....	154
表 4-8	「taa khǎaw」、「nâa khǎaw」、「kròt」の弁別的意味特徴の一部.....	169
表 4-9	「taa khǎaw」、「nâa khǎaw」、「kròt」の弁別的意味特徴.....	172
表 4-10	日本語の《怒り》の慣用句と動詞の弁別的意味特徴.....	174
表 4-11	Ishida(2004)による日本語の「頭にくる」「腹が立つ」「怒る」の弁別的意味 特徴.....	185
表 4-12	筆者による「頭にくる」「腹が立つ」「怒る」の弁別的意味特徴の考察.....	186
表 4-13	「頭にくる」、「腹が立つ」、「怒る」弁別的意味特徴における Ishida(2004)と 筆者の比較.....	192
表 4-14	日本語の《怒り》とタイ語の《怒り》の弁別的意味特徴の比較.....	193
表 4-15	考察・研究した結果「頭にくる」、「腹が立つ」、「怒る」の弁別的意味特徴	194
表 4-16	日・タイ語《驚き》《所有・取得》《聴覚活動》《怒り》の弁別的意味特徴の 比較.....	196
表 5-1	日本語の語彙的固定性・変異形.....	201
表 5-2	タイ語の語彙的固定性・変異形.....	203
表 5-3	日本語の統語的固定性・変異形.....	204
表 5-4	日本語の慣用句で統語的操作を受けいれるもの (レベル①・②・⑤)	206
表 5-5	タイ語の慣用句で統語的操作が受けられるもの (レベル②とレベル⑤)	207
表 5-6	日本語慣用句の「慣用句らしさの度合い」	208
表 5-7	日本語とタイ語慣用句の「慣用句らしさの度合い」の比較.....	210
表 5-8	日本語とタイ語の《聴覚活動》の弁別的意味特徴の比較.....	211
表 5-9	日本語とタイ語の《所有・取得》の弁別的意味特徴の比較.....	213
表 5-10	日本語とタイ語の《驚き》の弁別的意味特徴の比較.....	214
表 5-11	日本語とタイ語の《怒り》の弁別的意味特徴の比較.....	215

図

図 0-1	出る杭は、打たれる。強い。	4
図 1-1	「顔」を表す日・タイ語の共通の意味拡張	39
図 1-2	日本語に固有の意味拡張.....	42
図 1-3	タイ語に固有の意味拡張.....	44
図 1-4	E-P-A (Evaluation-Potency-Activity) により分析.....	46
図 2-1	宮地 (1982) の慣用句の分類.....	58

序章

序章

1. はじめに

言語は人間相互の伝達の道具であり、世界の様々な言語には、言語がある種の定型的なパターンとなって意味が生成された慣用句というものが存在する。それは一定の統語的な特徴をもつと同時に、言語習慣をはじめ、言語思想、感情の発想様式を投影している。どの言語においても、日常会話や文章表現の中で多くの慣用句が使用されており、それは生き生きとした簡潔な表現形式として伝達的な効果を高めている。社会におけるコミュニケーション活動を有意義なものにしている。慣用句はそれぞれの民族の言語文化に密接に係わりながら継承されており、その民族、文化の思考形態、発想様式、社会通念などを色濃く反映している。したがって、慣用句の理解は、その言語と文化の深い理解と密接に関係していると言える。

日本語母語話者は日本語の慣用句を日常生活の中で自然に使用しており、慣用句の使用にとくに困難を感じないであろう。これは他言語の母語話者にとっても同様であろう。言葉には文化や民族性が映し出されているため、外国人日本語学習者には日本語の慣用句の理解と使用を定着させるのは難しい。同様に、日本語を母語としている話者がタイ語の慣用句を学習し、使用する際も同様に困難を生じると言える。

本研究は慣用句を動態的側面に光を当て、変異形という現象に着目して、日本語とタイ語の対照比較を試みるものである。慣用句の研究を単に意味的な解釈にとどまらず、組成的にとらえることによって、日本語とタイ語の対照研究にも寄与することを目的とする。

変異形という名称、現象について、たとえば、「出る釘は打たれる」をみてみよう。

「出る釘を打つ」よりも通常、受身形を用いて被害をあらわすが、次のような使用も見られる。(図 0-1) これは、筆者がある場所で目にしたポスターであるが、「出る釘は打たれ強い」は「たとえ人と違ったやりかたで成果をあげて批判されてもくじけない」ことを意味している。また、「あの職場は出る釘をいつも打とうとするから、業績が伸びない」のように用いることも可能である。つまり、「出る釘は打たれる」をもとにして、状況によって、その派生形もまた考えられるという現象を示している。

また、「腸が煮えくり返る」という慣用句がある。これは「腸が煮えくりかえったような不愉快なことがあった」のように用いられるが、次のような表現もみられる。

- (1) 村田の代打由伸同点弾も原マジック届かず日刊スポーツ煮えくりかえった腸を、マシソンが吐き出した。巨人ベンチに怒号が響いた。

(2014-07-23 07:07:02 日刊スポーツ)



図 0-1 出る杭は、打たれる。強い。

「煮えくり返った腸をはきだす」はこの慣用句の変形であるが、実に効果的な表現となっている。このように慣用句（諺）は臨機応変に形を変えて用いられることがあるが、常にその変形が可能であるわけではない。たとえば「腸を煮えくり返らせてやりたい」といった表現はかなり特殊な言い方であろう。

こうした点からすれば、従来の慣用句の研究が静態的であったのにたいして、今後は動的に観察する必要があると思われる。

また、慣用句には相対する意味概念が観察される。たとえば、使用頻度の高い慣用句の中で、ペアで用いられるものもあれば、類似的な連想から対立句が想起されるものもある。（「日能研」の中学入試問題を参考にした）

(2) 顔が広い ⇔ 心が狭い

顔が狭い、は一般に使わないが、「心が広い」は「寛容」の意味で用いることがある。

(3) 胸を借りる ⇔ 顔を貸す

動詞の対立語であるが、「胸を貸す」は「胸を借りる」とボイス的關係をもつ。しかし、「顔を借りる」は通常意味をなさない。

(4) 頭がさがる ⇔ 腕があがる

「さがる」と「あがる」の対立語が用いられているが、慣用句自体の意味的な対立ではない。なお、「頭が切れる」に対して「腕がにぶる」でも用いられる。

(5) 耳にはいる ⇔ 顎をだす

「はいる」と「出す」の対立語が用いられているが、類義語で「耳に入れる」、別義で「顎をひく」も慣用句として用いられる。

(6) 鼻がたかい ⇔ 腰がひくい

形容詞の対立語だが、使用場面は「鼻」と「腰」では「傲慢」、「謙虚」という身体イメージとむすびついている。「鼻がひくい」、「腰がたかい」は慣用句をなさない。

このように、慣用句には身体の一部から全体の意味が構成され、ある成分を対立的、類義的にとらえて意味的な連想を拡張する例が見られる。これは言語的特徴であるとともに、言語文化にまつわる発想に大きく依拠したものである。

一方で、慣用句の使用は間違いやすく、意味の誤解を発生しやすい。ちなみに、タイ語の慣用句「pàak khěŋ (口・かたい)」と、日本語の慣用句「口がかたい」とを比較している例を取り上げてみよう。

(7) 「pàak khěŋ」(口・かたい)

「あくまで言い張る、頑固に言いさからいどうしても事実に屈服しようとなしない。」という意味である(富田 1990 : 1095)。(*注1)

例： kháw pàak khěŋ mây yɔɔmráp phít ŋâayŋâay
 彼 口 かたい NEG 承知する 誤り 簡単に

<彼はしぶとく言いさからってなかなか誤りを認めようとなしない。>

(富田 1990 : 1095)

(8) 「口がかたい」

「言うべきではないことをむやみに他言しない」という意味である(『明鏡国語辞典第2版』)。

例： 口がかたい男だから信用できる。(デジタル大辞泉)

<kháw wáicai dâai phró? pen phûuchaay pàak nàk>
 彼 信用する できる から COPU 男 口 重い

(筆者訳)

両言語とも慣用句を構成する「口」と「かたい」を使用しており、共通の意味領域を持つことが推測され、実際に慣用句「口がかたい」の個々の構成成分の意味の総和と、「pàak khěŋ」の個々の構成成分の意味の総和とは全く違うわけではない。「言い出さない」などの意味で重なっているところもあれば、重なっていない意味もあると言える。(7)では「口がかたい」はタイ語では、「pàak khěŋ」であるが、(8)では、タイ語では「pàak nàk」となっている。つまり、日本語の「口がかたい」はタイ語では2種類の訳が与えられているのである。このように慣用句の中の共通の言葉で使用されているが、タイ語では、主体である「彼」に対してネガティブ(マイナス)な印象が付与されている。一方、日本語では、ポジティブ(プラス)な印象が付与されている。このような慣用句の持つ微妙な印象は混乱をまねきやすい。そのために使用や理解を間違えたりすると、聞き手が話し手

1注：タイ語の IPA 表記について「タイ語の表記について」(14 頁) 参照されたい。

の意図と異なる解釈をしてしまう可能性が高い。両者の解釈が一致せず、コミュニケーションに支障が生じるであろう。このように慣用句の研究は人間相互の正確な意志の伝達に重要だと言える。

本章では、まず、タイにおける日本語学、日本語教育研究、日本語・タイ語対照研究の現状について述べる。次に、第 2 節で本論文の研究の動機について述べる。第 3 節では、研究の目的について、第 4 節では、タイ語の表記について述べる。第 5 節では、本研究における慣用句の定義、第 6 節では、研究方法について述べる。最後に、本論文の構成について述べる。

それでは、日本語とタイ語の慣用句の研究の現状はどのようになっているのであろうか

カノックワン・ラオハブラナキット・片桐、パッチャラポン・ゲーウキチサダン、ソムキアット・チャウエンキットワニット (2011) は、1986 年から 2009 年までに発表されたタイ国内における日本語研究論文を対象に研究の動向について調査を行った。このカノックワン他(2011)を通してタイ国内で行われた日本語研究の全体像を把握・分析し、それによってタイにとって欠かせない研究分野を特定し、研究の不足を補いたい。カノックワン他(2011)の顕著な点は、タイ国内での日本語研究に深く関わっていない研究者や読者にタイ国内における日本語や日本語教育などの論文について量的な情報を与えた上で、さらに研究課題をどの分野に関連させれば、タイにおける日本語研究がより有益なものになるか重要な示唆を与えた研究となっている点である。これにより、タイにとって十分ではない研究分野を補い、不可欠な課題を把握、分析することが可能になった。

カノックワン他 (2011) は、タイ国内における分野別にみる論文数を表 0-1 のようにまとめている。

表 0-1 分野別にみる論文本数

分野	論文本数	
	本数	%
日本語学	42	12.69
対照研究	41	12.37
日本語教育	248	74.82

カノックワン他 (2011) を一部改変

表 0-1 で示したように、研究のために収集された論文総数は 331 本である。分野別にみると、1)日本語学 42 本、2)対照研究 41 本、3)日本語教育 248 本である。それぞれの分類

を比較すると、教育現場で応用できる実用的な知識を研究する日本語教育の論文が約 75%と最も大きな割合を占めている。その一方で日本語の理論や原理を追究する日本語学や対照研究はそれぞれ 13%を占めているに過ぎない。

このように、分野別に論文数を見れば、タイにとって日本語学や対照研究が決して十分ではないことが分かる。次に、年別の論文の発行数に注目してみよう。

表 0-2 発行年別にみる論文本数

発行年	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997
論文本数	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1

発行年	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009
論文本数	18	18	12	20	21	20	26	30	36	56	36	34

(出典：カノックワン他 (2011))

表 0-2 を見ると、タイで出版・公開された日本語学・日本語とタイ語の対照研究及び日本語教育の論文は、1986年から1997年の10年間で4本しかないことから、発表する機会がきわめて限定されていたことがあげられる。以前は極めて少なかったことがわかるが、それは研究方法が確立されていなかったことによるのではなかろうか。しかし、1998年以降に論文の数が急増しており、1998年から2009年の12年間で327本、平均して1年27.25本が出版された。

1998 年から論文数が飛躍的に増加した理由は、その年に初めて国際交流基金バンコック日本語センターが紀要を発行し（以下『基金紀要』と表記する）、日本語学に関する論文を発表する場が与えられたためである。1998 年に発表された 18 本の論文はすべて『基金紀要』の掲載論文である。しかし、著者の半数以上が日本人であることに注意されたい。なお、1997 年以前に発表されたタイ人研究者の論文は外部機関の紀要ではなく、研究者本人の所属機関の紀要である『Thai-Yiipun Suksa』（『日・タイ研究』、タマサート大学東アジア研究研究所紀要）や『Phasa lae Phasasaat』（『ことばと言語学』、タマサート大学教養学部言語学科紀要）などに掲載された論文で、外部の一般読者、研究者・教育者には容易に触れにくいものである。

さらに論文数の増加の背景には、タイの大学院において日本語・日本語教育コースが設けられ、大学院生の論文が 1999 年以降、修了論文や投稿論文として発表されるようになったことが大きく関わっている。タマサート大学は 1997 年に大学院日本研究コース、チュラーロンコーン大学は 1999 年に日本語コース、そして 2007 年に外国語としての日本語コースを開設した。両大学のタイにおける日本語・日本語教育研究の発展に対する貢献は大きいといえる。修了論文だけをみても、以下の表 0-3 のように毎年欠かさず研究発表がなされており、この 11 年間で論文総数は 38 本に達している。また両大学の大学院生は『基金紀要』や研究会・シンポジウム報告書でも積極的に発表している（カノックワン他 2011）。

次に、ここ十年間にタイで行われた日本語研究のみに注目して発行別に発行年別、内容別による論文本数を観察する。表 0-3 は論文の内容、発行年ごとの論文本数を示している。

表 0-3 発行年別、内容別にみる日本語学の論文本数（数字＝論文本数）

	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009
文法・談話(30)	1	1	4	1	6	1	1	4	6	0	5
社会言語学(5)				1		1	2	1			
文字・語彙(2)					1			1			
漢字(2)					1						1
会話・スピーチ・発音(音声)(1)						1					
その他(2)		1							1		
合計 42 本	1	2	4	2	8	3	3	6	7	0	6

（数字＝論文本数）

（出典：カノックワン他（2011））

表中の計 42 本の論文内容について見ていくと、文法・談話に関するものが最も多く、全体の 7 割を占めている。具体的には格助詞、連体修飾、ヴォイス（自動詞や受身）、テンス・アスペクト、モダリティ（「わけだ」、否定、疑問表現）や終助詞などから、言いさし表現（「から」と「けど」）やコミュニケーション・ストラテジー（お詫びや依頼表現）まで、多岐に渡っている。

文法・談話研究の他には、社会言語学の研究も多少みられる。具体的には婉曲表現、コード・スイッチング、呼びかけ表現、日本語における性差及び日本語の社会言語学研究における方法論を扱ったものが挙げられる。また、分類できない「その他」の項目には「日タイ・バイリンガル児の生育記録」や「タイにおける日本語の受容—外国語・外来語としての日本語の姿」などがある。

カノックワン他（2011）によると、このように文法・談話に関する研究は他の分野と比べて圧倒的に多いが、この10年間で30本という数は決して多くはない。また、社会言語学、文字・語彙、漢字、会話・スピーチ・発音（音声）についてもタイ人日本語学習者にとって課題の多い分野であり、タイ人が日本語を学習するのに必要不可欠な知識であるため、今後もより多くの研究がなされる必要があると提言している。

この10年間で、日本語学分野から調べた結果、タイ人日本語学習者にとって課題分野が多いが、タイにおける日本語の慣用句についてはほとんど見られない。対照研究分野からみて、慣用句に関する研究がどのくらいあるか見てみたい。

表 0-4 発行年号、内容別にみる対照研究分野の論文本数

	1986	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009
文法・ 談話 (18)				2	2	1	2	1	1		1	5	2	1
社会 言語学 (16)	2	1		1				2	2	2		4		2
文字・ 語彙 (5)					1		3			1				
会話・ スピー チ・発 音 (音声) (1)											1			
誤用 分析(1)									1					
合計 331本	2	1	0	3	3	1	5	3	4	3	2	9	2	3
	80年 代(2)	90年代(4)			2000年代(35)									

(数字=論文本数)

(出典: カノックワン他 (2011))

論文総数 331 本のうち、対照研究に関する論文は 41 本と最も少なく全体の 12.38% である。表 0-4 で示したように、出版年代別にみると 1980 年代に 2 本、1990 年代に 4 本、2000 年代に 35 本と、出版は 2000 年代に集中している。2000 年代の 10 年間では、1 年に平均 3.5 本で出版・公開されており、80~90 年代と比較すると飛躍的に増加している。特に、2007 年に公開された論文が多かったのは、タイ国日本研究国際シンポジウムとタイ国日本研究シンポジウムの発足・開催があった影響が考えられる。

対照研究の分野では、その研究内容のすべてが日本語を研究対象としたものである。表

0-4 で示したように、文法・談話が 18 本で最も多く、対照研究に関する全論文総数の 43.9%を占めている。次いで社会言語学が 39.02%、文字・語彙が 12.19%、会話・スピーチ・発話（音声）及び誤用分析がそれぞれ 2.43%という順になっている。

文法・談話の分野をさらに細分化して見ていくと、ヴォイス（受身、使役、自他動詞）、助詞（取立て助詞、終助詞）、接続（接続詞）、授受表現（やりもらい）、連体修飾節といったものがある。量的に見ると、ヴォイスに関するものが顕著である。

次に社会言語学の分野では、コミュニケーション・ストラテジー（お詫び、ほめ言葉、依頼表現など）、若者言葉、呼称表現といったものがある。社会言語学の全論文総数 16 本のうち、コミュニケーション・ストラテジーが 13 本で、特に、謝罪表現に関するものが多い。

文字・語彙の分野では、日本語の「気」とタイ語の「cai」の比較といった語彙について研究するものがほとんどである。

以上見てきたように、カノックワン他（2011）の研究結果によると、対照研究分野は論文本数が日本語学と日本語教育と比べると、最も少ない。さらにその研究も日本語学、特に文法・談話に集中している。このことから、日本語研究の今後のさらなる発展のためには、文法に留まらずに、語彙、会話などに関する研究がもっとなされる必要があると述べている。

カノックワン他（2011）はタイにおける日本語分野、対照研究分野の研究論文の分析から、日本語の語彙について研究の重要性を主張している。しかし、彼らが研究の対象とした研究論文には、慣用句に関する語彙の研究が全く無く、彼らの提言においても慣用句に関する言及はない。また、とりわけこの 20 年間で蒐集された論文の中に慣用句の研究、特に身体部位を含んだ慣用句の論文は、管見の限りほとんど見当たらない。日本語とタイ語の慣用句の比較は重要な分野であるが、もともとタイ語における慣用句研究そのものの十分な研究がなされていない分野でもある。そこで、本研究において日本語・タイ語の慣用句の対照研究を行うことを目的とした。

カノックワン他（2011）の研究に続いて、今井（2012）はこの研究と比較することによって日本における日本語とタイ語に関する研究論文を対照し、タイと日本での研究状況の共通点と相違点を総合的に比較対照している。今井（2012）はオンライン論文検索である「NII 論文情報ナビゲータ」、「Google Scholar」、「国語学研究文献検索」を利用して、日本語とタイ語に関する対照研究、およびタイ人日本語学習者に関する研究を抽出し、その研究状況の傾向について考察した。「タイ語」「タイ人」、「タイ」及び、「日本語」、「日本」のキーワードの組み合わせで検索された結果により 153 件の論文を蒐集している。さらに、Webcatplus を利用して、それらのキーワードで検索された書籍を 3 点抽出している。今井のまとめたものは次のようになっている。

- 1) 研究論文数全般の推移については、1970 年代から少しずつ増え始め、1990 年代後半から急速に増え始めていることが分かる。カノックワン他（2011）は、タイにお

ける日本語専攻の大学院の設置がタイでの研究論文数の増加につながったと指摘しているが、今井（2012）では、タイと同様の動向が日本における研究論文数の増加にも見られていることを指摘している。

- 2) 研究分野ごとの動向については、今井（2012）は3つの分野「対照研究」、「日本語教育研究」及び「その他」に分類している。今井（2012）では、全体的に時期ごとにそれぞれの研究分野の割合に大きな差は見られないと述べているが、2000年以降は日本語教育研究の割合がやや増加する傾向にある。一方で、対照研究も年ごとに差はあるが全体としては一定数を保っていて、継続的に研究が続けられていると言える。分野別に集計すると表 0-5 のようになっている。

表 0-5 分野別研究数

研究分野	論文数
対照研究	63
日本語教育	62
その他	28

(出典：今井（2002）)

- 3) 対照研究の論文内容の内訳については、表 0-6 に言語学の研究分野毎に 7 分野「音声・音韻」、「語彙」、「文法」、「意味論」、「語用論」、「社会言語学」、「一般」に分類している。

表 0-6 対照研究の内訳

研究分野	論文数
文法	26
社会言語学	13
語彙	13
語用論	5
一般	2
意味論	2
音声・音韻	2
総計	63

(出典：今井（2012）)

表 0-6 で示したように、文法に関する研究が圧倒的に多く、2 番目に多い社会言語学研究、語彙研究の 2 倍に達している。語彙研究の内容をさらに詳しく見ていくと、味覚を表す語彙、変化を表す表現、擬音語、「行く・来る」移動表現、「あまい」、「気」「やさしい」などの語彙分析、「顔」、「口」などの身体表現、外来語研究が行われている。今井（2012）には身体部位「顔」、「口」を用いた慣用句研究も見られるが、いずれにしても慣用句研究は極めて数少ない。

2. 研究の動機

言語研究には、音声、音韻、文字・表記、語彙、文法など様々な研究領域があり、各領域は言語の全体像を理解、把握する上で、それぞれ独自の重要な役割を担っている。

共時的研究では、個別言語のイディオムが対象となる。ここでは、イディオムというものの単位の認定、形態的特徴や構造の記述、統語的機能の分析、構成要間の固定性 (stability) あるいは文法的制約 (grammatical constraint) の分析、イディオム性 (idiomaticity) の程度、あるいは語彙化 (lexicalization) の程度、副詞的意味などが問題となる。そしてこれらの基準に基づいて、ある言語のイディオムの分野や体系化がなされる。さらに、諸言語におけるイディオムの特殊性と共通性は、イディオムの対照研究 (contrastive study) や言語類型論によって研究される。(言語学大辞典 第6巻 (1996 : 254))

まず慣用句について一般的な説明を行う。慣用句は、一般的に文字通りの意味とはまた別の意味に慣用的に使用する表現をいう。例えば、以下のようになる。

- (9a) 彼はクラスで一番足がはやい。 (田中 2011 : 7)
(9b) この料理は足がはやいので注意なさい。 (田中 2011 : 7)

(9a) の場合は文字通りで、走るのがはやいという意味である。しかし、(9b) は腐りやすいという意味の慣用句である。

さらに、慣用句は所属する文化によって発想や概念や表現などが全く異なることが多い。例えば、「腹が黒い」はタイ語では「cai dam」(心・黒い)になる。日本語の「腹」はタイ語では「心」になっている。このように、外国人学習者にとって、目標言語の所属する文化が生み出した慣用句の発想や表現を学習するのは非常に難しいとされる。タイ人日本語学習者にとって慣用句を理解しやすくするために、日本語とタイ語の慣用句を比較研究することは非常に重要である。

日本語の慣用句に関する代表的な研究としては、宮地 (1982、1989、1991) が知られている。宮地 (1989) は慣用句を、連語的慣用句と比喩的慣用句とに分類する。連語的慣用句は、一般連語句に近いが一般連語句よりは構成要素の結びつきが強く、結合度が高い。比喩的慣用句は、結合度が高いうえに、句全体が比較的はっきりした意味を持っている。比喩的慣用句は、個々の構成要素の意味が単に結合されたものではなく、「掛け合わされたもの」、あるいは「化学変化のように融合して新しい派生的・比喩的な意味になったもの」である (宮地 1991 : 70)。つまり、宮地は「比喩的慣用句」を意味的固定性の度合いが高いものと見なしている。

宮地の一連の研究においてこのように意味的固定性の度合いの高さで慣用句の定義を判断していることは評価できる。しかし、多くの慣用句をどのように「連語的慣用句」あるいは「比喩的慣用句」に分類しているのかは必ずしも明らかではない。例えば、「手を出す」、「手をかける」、「口がうまい」、「人目につく」、「手にする」、「水に流す」を宮地は「連語的慣用句」として分類しているが、これらは同時に「比喩的意味」をも表すものであると言えそうである。

従来、慣用句は特性として「形式的固定性」、「統語的固定性」、「慣用性」が指摘されてきた。「形式的固定性」とは、慣用句の内部構造と構成要素が常に変わることがなく、単語と同様に文の形成に先立って存在する表現の性質である（村木 1985、伊藤 1989 など）。次に「統語的固定性」とは、慣用句は統語的な制約が強いという性質のことである（宮地 1982b、1986、森田 1985）。つまり、慣用句に対して操作をなかなか行えないということである。最後に「慣用性」とは、慣用句全体の意味は句を構成する語（構成要素）の意味の総和と一致していない性質のことである（村木 1985、伊藤 1997a、伊藤 1997c など）。だが、これらの特性は絶対的なものではなく、個々の慣用句によってその度合いが異なると考えられる。

石田（2001）は「形式的固定性」、「統語的固定性」、「慣用性」の度合いを計るための手段を提唱している。個々の慣用句についてこれら3つの特性の度合いを計測し、「個々の慣用句らしさの度合い」を考察している。さらに、慣用句を典型的なものから周辺的なものまで、いくつかの段階に分類している。

これまでに慣用句研究では、タイ語研究の分野で慣用句に見られるタイ人の宿命や神秘などの信仰についての研究（Thongbai 2007 など）、日本語教育研究の分野で身体部位を含んだ慣用句を習得するために学習者が採用している学習方法についての研究（Wongvanich 2013）などが行われてきた。また言語学研究の分野で、色彩や身体部位などを含んだ慣用句の意味拡張についての研究（サイソンブーン 2006）が行われるなど、タイの慣用句については主に認知言語学の視点から意味分析が行われてきた。他方で統語論の視点から行われた慣用句の研究は見当たらない。とりわけ、石田（2001）が日本語の慣用句研究で行った意味論と統語論の両方の視点を供えた研究はいまだ行われていない。そこで本研究では、石田（2001）の提唱した慣用句の特性と意味を中心とした分析方法をタイ語慣用句の分析に適用して研究を行う。さらにその結果を用いて、日本語の慣用句に見られる特性と意味と比較していきたいと考える。

3. 研究の目的

本研究では次の三つの目的を設定する。

- (1) 慣用句の特性では、タイ語の慣用句にも「形式的変異形」、「統語的階層関係」が存在

すること、それぞれの特性を明らかにすること。

- (2) 慣用句の意味では、タイ語の慣用句の意味を設定した語彙の場を対象とする《驚き》・《聴覚活動》・《所有・取得》・《怒り》などそれぞれの語彙の場に属する慣用句や動詞を取り上げ、それらの区別に関わる「弁別的意味特徴」を明らかにする。
- (3) 日本語に見られる慣用句の特性の 1) 形式的変異形、2) 統語的階層関係、及び慣用句の意味、3) 弁別的意味特徴を分析し、タイ語における 1) 形式的変異形、2) 統語的階層関係、3) 弁別的意味特徴を対照分析する。

4. タイ語の表記について

本研究で用いるタイ語の表記については田中(2004)に準拠する。

4.1 子音の一覧（頭子音・末子音）

田中（2004）のタイ語の表記は、富田（1990）を参照しつつ設定されている。以下のようになる。[ʔ] は声門閉鎖音 下線のある発音は末子音にも使用される。

表 0-7 タイ語の子音の表記

	唇音	唇歯音	歯音	軟口蓋音	軟口蓋音	喉音
無声有気閉鎖音	<u>p</u>		<u>t</u>	c	<u>k</u>	<u>ʔ</u>
無声無気閉鎖音	ph		th	ch	kh	
有声閉鎖音	b		d			
摩擦音		f	s			
鼻音	<u>m</u>		<u>n</u>		<u>ɲ</u>	
流音			r, l			
半母音	u / <u>w</u>			i / <u>y</u>		

[ʔ] は声門閉鎖音

(出典: 田中 (2004))

なお、語末の半母音は本研究では 母音と判断すれば、u, i を使用することとし、子音と判断すれば、w, y を使用することにした。さらに、p など下線を引いた発音は末子音にも使用される意味である。表 0-8 に末子音を表記する。

表 0-8 タイ語の末子音の表記

	唇音	唇歯音	歯音	軟口蓋音	軟口蓋音	喉音
無声有気閉鎖音	p		t		k	ʔ
鼻音	m		n		ŋ	
半母音	w			y		

(出典: 田中 (2004))

なお、語末の半母音は本研究では 母音と判断すれば、u、i を使用することもあり、子音と判断すれば、w, y を使用することにした。

4.2 母音の一覧 (単独母音 (基本母音)・二重母音)

単独母音は短母音と長母音に分け、表 0-9 に表示法を表記する。

表 0-9 タイ語の母音の表記

	前舌	中舌	後舌
狭母音	i, ii	ɯ, ɯɯ	u, uu
半広母音	e, ee	ə, əə	o, oo
広母音	ɛ, ɛɛ	a, aa	ɔ, ɔɔ

(出典: 田中 (2004))

長母音については、一般的に aa を a : のように記されることもあるが、本研究では文字を重ねて aa と記す。

短母音と長母音意外に次のような二重母音がある。二重母音を発音するときは後ろの母音は前の母音に添えるように軽く発音される。

表 0-10 タイ語の二重母音

二重母音		
ai	ia	iu
ɔi	ɯa	au
ui	ua	ɛu

4.3 声調の一覧

タイ語には5声調あり次のように表記する。

表 0-11 タイ語の声調の表記

o	平声	mid-tone
ò	低声	low-tone
ô	下声	falling-tone
ó	高声	high-tone
õ	上声	rising-tone

短母音は音素単位では前後に声門閉鎖音 [ʔ] を伴うが、必要最小限度の表記にとどめた。本文例文には必要に応じて形態素単位の説明を日本語（当該例文の意味範囲に準じる）と一部英語略称で記し、その下に日本語訳を付けた。本文中に意味の解説がある場合は訳を省略する。また本文中の説明と若干意味の説明が異なる場合がある。

形態素単位の説明における省略記号は次の通りである。

COPU	Copula	繫動詞（判断詞）
FUT	Future	未来時制（未実現）
PST	Past Tense	過去時制
PERF	Perfect	完了
CAUS	Causative	使役形態素
PAS	Passive	受動形態素
CL	Classifier	類別詞
NEG	Negative	否定辞
COMP	Complement	補文標識（関係代名詞、引用詞相当）
Q	Question	文末疑問マーカー
FPP	Female Polite Particle	女性用文末丁寧詞
MPP	Male Polite Particle	男性用文末丁寧詞

本研究では、タイ文字とともに、国際音標表文字（IPA）による表記を示した。それぞれの慣用句に見られる文構造を理解する一助として、以下にタイ語の語彙的、文法的特徴の概略を説明しておくことにする。

タイ語はシナ・チベット語族の孤立語とされ、以下のような特徴をもつ（田中 2011）。

1. 基本構造は<S (主語) V (述語：動詞・形容詞)>、<被修飾語・修飾語>の語順である。
2. 否定語は否定される語の前に置かれ、疑問文でも語順は変わらない。
3. 名詞が動詞、指示詞、形容詞をともなう時は、一定の類別詞を用いる（日本語の助数詞相当）を用いる。
4. 指示詞は <近称>、<中称>、<遠称>の三方法で、日本語のそれにほぼ相当し、現物指示と文脈指示の用法がある。
5. 形容詞と副詞は同じ語形で、ともに修飾語と総称される。品詞は文中の位置により決定される。一般に副詞は動詞句の後に置かれるが、時間副詞は文末よりも文頭にあらわれやすい。
6. 動詞には時制、性差、数といった文法カテゴリーは含まれず、助動詞や時制を表す副詞などによって時制を表す。語順は<助動詞・動詞>で、否定語の位置は意味関係によって前後にあらわれることがある。
7. 単語は意味構造が分析的であり、複合語が多い、動詞連続構造が慣用的にあらわれるもの、一定の連語構造を呈するものも多い。
8. 人称代名詞、親族名称も立場、階級、相手によって豊富な使い分けが見られる。
9. 畳語（同一語の反復、繰り返し）が多く見られ、主として名詞、形容詞において複数や強勢などの機能、また品詞の転成にかかわる。
10. 敬意表現や待遇表現が比較的発達している。目上の相手に対する表現は日本語の位相と重なるところが多い。人称代名詞、動詞、名詞の複数の使いかたにも見られる。
11. 敬意表現に関連して、俗語、普通語、上品語、王室語、僧侶語が見られる。とくに王室語には複雑な固有形式が見られる。
12. 男女差は、人称代名詞と文末の丁寧詞、また感嘆語、文末の終助詞相当の語気詞にあらわれる。
13. 外来語が豊富で、思想学問、宗教関係、教義語彙のなかにはサンスクリット語、ペリ語起源のものや借用語が多い。中国語（福建語、潮州語）、カンボジア語、マレーシア語などのほか、近年では英語からのものも多く含まれる。

5. 本研究の慣用句の定義：慣用句とは何か

本節では慣用句の定義について述べる。まず 5.1 において日本語の「慣用句」の定義について、次に 5.2 において、英語の「Idiom」の定義について、最後に 5.3 において、タイ語の「sǎmnuan」の定義を述べる。

5.1 日本語における「慣用句」の定義

本節では、様々な文献から慣用句の定義を取り上げ、それを基にして、本研究の慣用句を定義する。

慣用句の定義については、専門辞典でその概念が規定されている。

「いつでも二つ以上の単語が一続きに、または、相応じて用いられ、その結合が、全体として、ある固定した意味を表すものをさす。」(国語学会編『国語学大辞典』1980:27)

「いくつかの語を続けて、ある特定の意味を表すことが習慣的に行われている表現」(佐藤喜代治編『国語学研究辞典』1977:110)

「二つ以上の単語や語句の結びつきに、ある固定した意味を表すものをさす」(松村明編『日本文法大辞典』1971)

また、白石(1977)は「慣用句は一般的な日常語であっても、一般用語であっても、また特殊語・学術用語であっても、習慣的に用いられ、固定され、特殊な語感意味内容を持っているもの」をさすと定義をしている(『国語慣用句大辞典』白石 1977 : 529)。

さらに、慣用句の研究については、宮地(1982)の研究があるが、その中に収められている「慣用句解説」には参考になるところが多い。そこに見られる定義・範囲は次のようになっている。

「慣用句という用語は、一般に広く使われているけれども、その概念がはっきりしているわけではない。ただ、単語の二つ以上の連結体であって、その結びつきが比較的固く、全体で決まった意味を持つ言葉だという程度のところが、一般的な共通理解になっているだろう。」(宮地 1982 : 238)

宮地(1982)の定義は『国語学大辞典』『国語学研究辞典』『日本文法大辞典』及び『国語慣用句大辞典』と比べて、語の結びつきが比較的固いことと、全体で決まった意味を持つことが明示されているものと言える。

5.2 英語における「Idiom」の定義

以下では、Weinreich, U. (1982)、Smith, L.P.(1925)に見られる英語の慣用句である「Idiom」の定義をアグス(2002 : 20)の論文から引用する。

Weinreich, U. (1982:29) は、慣用句について以下のように述べている。

On the other hand, natural languages are thoroughly permeated with idiomaticity— a phenomenon which may be described as the use of segmentally complex expressions whose semantic structure is not deducible jointly from their syntactic structure and the semantic structure of their components.

自然言語には、慣用句性が完全に浸透している—慣用句性とは、個々の語のもつ意味構造やそれらの統語構造からでは推測できないような意味構造を持った複合表現の使い方と言えるであろう。(アグスによる日本語翻訳 2002:20、筆者修正加筆)

また、Smith, L.P.(1925:167)では慣用句の定義は次のように述べられている。

We also use “idiom” for the meaning expressed by the French word *idiotisme*, that also to say, those form of expression, of grammatical construction, or of phrasing, which are peculiar to a language, and approved by its usage, although the meanings they convey are often different from their grammatical or logical signification.

われわれはまた、*idiom* をフランス語の *idiotisme* の表す意味で用いる。すなわち、一言語に特有であって、慣用によって認められている表現形式、文法構造、または言い回しの形式のことであり、しかもその伝える意味は、文法的または理論的に指し示す意味とは多くの場合、異なっている。(アグスによる日本語翻訳 2002:21、筆者修正加筆)

上述の様々な文献から引用してきた「慣用句」と「*Idiom*」の定義はほとんど類似している。類似点は、以下の3点となる。1)使用については、その社会において日常で使われている場面や状況があり、その社会を構成する人であれば、だれでもが理解でき、慣用的に用いられている。2)文法については、慣用句を形成する語は常に固く結びついている。3)意味については、慣用句の意味がそれを構成する語の基本的意味の総和から類推できず、句全体が新しい意味をもつ。以上、三点となる。

慣用句について諸辞典類を調べてみると、「慣用句」、「イディオム」、「慣用語」「慣用表現」「慣用的な言い方」「慣用語句」「慣用語法」などの用語が使用されている。大岡保三他(1975)と森田(1990)の定義や規定では次のように取り上げている。

まず大岡保三他(1975)は以下のように定義づけている。

慣用句 (カンヨウク) イディオム (Idiom)、慣用語ともいう。ある言語に特有な表現法をもつ語句をいうが、特に文法的慣用句、すなわち二つ以上の単語が常にある場合の仕方において用いられ、全体で、その場合にだけの特異な意味を表わすものを指す。その中には、いわゆる文法に反し、特別な説明を要するような結合も多く、また古い語法が残存したり、そういう語結合においてしか用いられないような語が構成要素になったりする。各構成要素の結合によって生まれる意味は、マルティのいわゆる比喩的内部言語形式としてはたらくのであって、それから直ちにその慣用句としての意味は理解できず、意味の転用が行われるのが普通である。(1975 : 168)

森田 (2010) もまた、以下のように「慣用表現」について述べている。

「慣用表現」とは、狭い意味での慣用句のみにとどまらず、広く慣用化されている種々の言い回し、慣用句的な表現、決まり言葉の類、さらには格言や諺の類、表現の中にちりばめる個々の語は異なっても、全体としての言い方にある程度のタイプを有している文の骨組とも言うべき、いわゆる文型に至るまで、個人の創造になる自由な言葉の統合とは別に、ある程度表現の型が固定している句や文の表現も含めるということである (2010 : 12)。

上記のように、森田(2010)は「慣用表現」という用語を用いている。「慣用表現」という用語を用いることで森田は研究対象をより広義に設定しており、時には挨拶語や、特定の状況の時にはだれしものが用いる一定の言葉遣いや、言いまわしなどの形が社会の習慣として定まっていれば、問題の対象としている。

しかし本研究は、森田(2010) のように決まり言葉の類、挨拶語まで対象とする立場をとらない。宮地 (1982) が提唱している慣用句の定義・範囲を出発点とし、宮地 (1982) が慣用句と見なしているものを研究対象としている。

5.3 タイ語における「sǎmnuan」の定義

これまで述べたように、日本語の慣用句の定義と英語のイディオムはほぼ同様である。両方の慣用句とイディオムはタイ語で「sǎmnuan」に相当する。タイ語の「sǎmnuan」は、ことわざ、格言、教訓とともに、広く「慣用句」として理解されている節がある。市販されている実用書、学生用の参考書にもその名称は併記されており、厳密な意味での線引きは困難なようである (田中 2011 : 4)。

タイ学士院仏暦 2542 年版タイ語辞典では「sǎmnuan」自体は名詞として扱われている。辞典の中の「sǎmnuan」の定義は以下のようなになる (筆者訳)。

1. まとめた言葉遣い、文体
2. 「khadii」(事件)。例えば、「pît khadii (終了する・事件)」とも「pît sǎmnuan」とも言う。全体の意味は「事件が終了する」という意味である。
3. 習慣として長い間広く使われてきた文または表現。その文もしくは表現は一つ一つの構成要素の組み合わせ、全体の意味の総和と一致しておらず、別の意味を持っている。以下に例を挙げる。

(10) sǎon carakheê hâi wâaynám

(教える ワニ CAUS 水泳)

原義 ワニに水泳を教える。

解説 既に上手な人に教える。

(11) ram mâi dii thôt píi thôt klɔŋ

(踊る NEG 良い 非難する 笛 非難する 太鼓)

原義 踊りが下手なのを笛や太鼓のせいにする。

解説 自分の失敗を人のせいにする、責任転嫁。

句の意味は、上の例では、一つ一つの句の構成要素をただ組み合わせると「ワニに水泳を教える」という意味になる。しかし、慣用句全体としての正しい意味は「既に上手な人に教える」となり、全く異なる意味を持つ。また、その下の例でも同じように構成要素の意味を組み合わせると「踊りが下手なのを笛や太鼓のせいにする」という意味になる。しかし、本当の意味は句全体で「自分の失敗を人のせいにする、責任転嫁」という意味を持つのである。

4. ある言語における特別な表現。例えば、「sǎmnuan faràŋ」「sǎmnuan balii」
5. レトリック (修辞)。著者の書く語り口。

富田 (1990) は「sǎmnuan」を以下のように定義している。

「sǎmnuan」; 文体、文章のスタイル (「sǎmnuan woohǎan」)、慣用句、イデオム、たとえば、「khii máa」(馬に乗る) と言えば、男性なら水浴布 (phaa khaaw máa) を腰につける意味で、女性なら月経帯を使用する、つまり月経中という意味になるように、文字通りの意味とは、また別の意味に慣用的に使用する表現をいう。ただしこの辞典では、俚言、諺、格言などの類もひっくるめて便宜上

(慣)で表示した]; 訴訟事件 ◆ 「pìt sǎmnuan」 訴訟事件の 審理を終了する。結審する。; C. 文章の一篇、二篇を「bòtkhwaam nùŋ sǎmnuan」、「sǒŋ sǎmnuan」という風に教える。また一つの事件関係の書類一式を数えるのに用いる。(富田 1990 : 1512)

(*文中のタイ語表記は、筆者により「」中にアルファベット表記を入れ変更した。また文中の「C.」は類別詞を指す。)

タイ学士院仏暦 2542 年版タイ語辞典と富田 (1990) は慣用句 (「sǎmnuan」) を広義に取り、文体や文章のスタイルと定義している。その定義の中で富田 (1990) は「文字通りの意味とは、また別の意味に慣用的に使用する表現をいう」と述べている。しかし、その説明は慣用句の意味から見た慣用句の「慣用性」に関する定義に終始しており、「形式固定性」「統語固定性」など慣用句の持つ特徴に着目し、タイ語慣用句の特徴に注目するような議論にまでは至っていない。

5.4 本研究における「慣用句」の定義

本研究では、宮地 (1982) と富田 (1990) の基本的な定義づけを参考にして、「単語の二つ以上の連結体であって、その結びつきが比較的固く、文字通りの意味とはまた別に全体として新しい意味をもつような言葉」を慣用句と定義する。

以上の定義で、タイ語「sǎmnuan」と日本語「慣用句」の定義・範囲を出発点とし、一般に慣用句と見なしているものを研究対象とする。

6. 研究方法

慣用句の定義を議論する中で、宮地 (1982) は意味的固定性の高い慣用句と低い慣用句を区別していることは評価できる。しかし、個々の慣用句をどのように「連語的慣用句」あるいは「比喩的慣用句」に分類しているのかははっきり区別できない。一方、石田 (2001) の研究では「慣用句らしさ」を「形式的固定性」、「統語的固定性」、「慣用性」の度合いから議論することを提唱している。個々の慣用句についてこれら 3 つの特性の度合いを計り、「個々の慣用句らしさの度合い」を考察している。さらに、慣用句を典型的なものから周辺的なものまで、いくつかの段階に分類している。

本研究は、石田 (2001) の研究を採用し、3 つの「形式的固定性」「統語的固定性」「慣用句性」という慣用句の特性の判断基準を基にしてタイ語の慣用句を分析する。その結果石田(2001)の議論の不備を補い日本語とタイ語に見られる新しい特徴を見出すことを目的とする本研究により日本語とタイ語の新しい方法を提言したい。

次に本研究で使用したデータについてであるが、調査では以下のデータを共通して使用した。

1. 辞書や慣用句の用例集

- ・宮本マラシー (1992) 『タイ語「身体用語」慣用句』、
- ・Neancharoensuk Suneerat (2009) 『日本語単語ドリル 慣用句・四字熟語』
- ・タイ学士院仏暦 2542 年版タイ語辞典
- ・Panthumetha Nawawan (2001) 『語彙目録』 から収集した慣用句。
- ・Pattamanun Supa (1995) 『覚えておきたいきまりことば (慣用句) 事典』
- ・富田竹二郎 (1990) 『タイ語辞典 改訂版』 天理養徳社

2. インターネットのデータベース (主にタイ語)

- ・TNC: Thai National Corpus Department of Linguistics Faculty of Arts
Chulalongkorn University (<http://ling.arts.chula.ac.th/tnc2/>)
- ・MANAGER ONLINE <<http://www.manager.co.th/home/>>
- ・ONLINE JAPANESE THAI DICTIONARY
<<http://www.jtdic.com/2008/japanese.aspx>>
- ・PANTIP.com <<http://www.pantip.com/>>

3. 日本語のデータベース

1. 「中納言」『現代日本語書き言葉均衡コーパス』(BCCWJ)
2. 石田 (2001) が引用したデータ
 - 『慣用句の意味と用法』宮地裕編 1982b 明治書院
 - 『広辞典』第4版 新村出編 1996 岩波書店
 - 『新和英中辞典』第4版 R.M.V. Collick・日南田一男・田辺宗一編 1995
研究社
 - 『成語林 故事ことわざ慣用句』中型版 1993 旺文社
 - 『日本国語大辞典』1981 小学館
 - 『新潮文庫の100冊』1995 CD-ROM版

次に各章の研究方法を説明する。

第2章では、慣用句の形式的固定性に着目し、日・タイ語の慣用句とその変異形を分析する。この「変異形」とは、部分的に一致している二つ(以上)の表現形式で語彙体系のレベルで同等の資格を持っているものを言う。それを一対の語(慣用句のペアあるいは慣用句と動詞からなるペア)を比較する「置き換えのテスト」を用いることで形式固定性の容認性を確認する。

本研究では、下記の方法により実施する。

1. 辞書や慣用句の本から慣用句を収集する。
2. 対象となる語の用例を収集し、考察する。
3. 「置き換えのテスト」を行う。
4. 母語話者 3 名に用例の容認性を確認する。

第 3 章において、慣用句の「統語的階層関係」を検証する。慣用句は意味的にも統語的にも完全には固定されていない。そのため、ある程度、統語的に操作が可能である。したがって、その慣用句が統語的にどの程度操作できるかによって段階を設定して、その操作の度合いによって慣用句らしさを分類することができる。石田 (2001) はその段階を「統語的階層関係」と呼んでいる。本章ではこの石田の 6 つのレベルの統語的階層関係に基づいて分析する。検証にはそれぞれの階層に属する「名詞句への転換」「受身表現化」などの操作を使用する。この操作を用いて、階層ごとの操作可能性を検証することで、慣用句の階層関係を明らかにすることが可能になる。

第 4 章では、それぞれの動詞や慣用句間の違いを弁別する意味特徴を明らかにする。そのためにまず共通の意味を持つ語を集めた「語彙の場」⁽¹⁾を設定し、さらに前述した「置き換えテスト」や「副詞 (句) との共起のテスト」を行う。「副詞 (句) との共起のテスト」とは、まず問題の語について何らかの意味特徴を仮定し、その意味特徴を含む副詞 (句) と問題の語との共起可能性を調べるものである。それらのテストの結果に基づいて動詞・慣用句の意味の「成分分析」⁽²⁾を行うことで、弁別の意味特徴を抽出し、分析を行う。

本研究では、下記の方法により実施する。

- 1) 問題となる語の用例を収集し、考察する。
- 2) 「置き換えテスト」、「副詞 (句) との共起のテスト」などのテストを行う。
- 3) これらの語を二つずつ比較・検討する。
- 4) 母語話者 3 名に用例の容認性を調査する。
- 5) この調査の結果をもとに各語の区別に関わっている弁別の意味特徴を抽出する。

7. 本論文の構成

本論文は 6 章から成り、各章の概要は、以下のとおりである。

序章では、本論文の研究の動機と目的、タイ語の表記体系について述べる。次いで日本語における「慣用句」の定義、英語における「Idiom」の定義、タイ語における「sǎmnuan」の定義について述べる。さらに、本論文における「sǎmnuan」と「慣用句」の位置づけ、研究方法について述べ。最後に、本論文の構成について述べる。

第 1 章では、慣用句に関する先行研究の概要をまとめる。その中に日本語の慣用句と類似したものを取り上げて考察する。タイ語慣用句、日本語慣用句、日・タイ語慣用句、タイ語と他言語との慣用句、日本語と他言語との慣用句に関する先行研究を紹介する。まず、タイ語の慣用句がよく理解できるように、身体部位を含んだ慣用句の意味拡張についての研究、色彩を含んだ慣用句を通じてタイ人の概念を考察した研究について述べる。次に、日本語慣用句の研究を参考にしてそれぞれの残された問題点について述べる。

第 2 章では、日本語とタイ語の「慣用句の変異形」の考察を行う。慣用句は基本的に「形式的固定性」を持つとされるが、慣用句の中にも構造や構成要素が変異した慣用句、すなわち、「慣用句の変異形」を持つ。実際に日本語の慣用句に、「耳に挟む／小耳に挟む」のような一部変異した慣用句がある。この日本語の慣用句にみられる変異形のタイプと、タイ語の慣用句の変異形のタイプを考察・分類する。

第 3 章では、日本語とタイ語の「慣用句性」「統語的固定性」の検討を行い、慣用句の変異形の生み出しやすさの指標となる統語的操作性に応じて、慣用句をレベル毎に分類する。慣用句は慣用句全体の意味が句を構成する構成要素の意味の総和と一致していないという「慣用句性」を持つ。またこの「慣用句性」の度合いは個々の慣用句によって異なり、「統語的固定性」の度合いによって変化する。多くの統語的操作を許す慣用句では、その意味の中に構成要素の意味が多く残っており「慣用句性」は低くなる。これに対して、統語的操作をあまり許さない慣用句ではその意味の中に構成要素の意味が一つのかたまりとして固定している。日本語慣用句では、統語的操作を受け入れる度合いによって 6 つのレベルの慣用句が存在する。これによって、タイ語慣用句では 5 つのレベルの慣用句が存在することを明らかにする。

第 4 章では、共通の意味領域を対象とするタイ語の「《驚き》を表す慣用句と一般動詞」、「《聴覚活動》を表す慣用句と一般動詞」、「《所有・取得》を表す慣用句と一般動詞」「《怒り》を表す慣用句と一般動詞」を取り上げ、これらの区別に関わっている弁別的意味特徴を抽出していく。また、日本語にみられるそれらの弁別的意味特徴を比較対照していく。

第 5 章の結論と今後の課題では、慣用句の 3 つの特性「形式的固定性」「統語的固定性」「慣用句性」に応じて日本語とタイ語の慣用句を分析した結果を述べる。全て 3 つの特性の度合いが高い慣用句は最も慣用句らしい慣用句で、典型的な慣用句ということになる。反対にこれらの特性の度合いが低い慣用句は慣用句らしくなく、一般連語句に近い。タイ語にみられる各特性の度合いの強い典型的な慣用句には「*nâa hêɛŋ*」（顔・乾く）「ひもじさで、または失望して）やつれ果てた顔をした」がある。他方、一般連語句に近い慣用句には「*kòt hǔa*」（抑える・頭）「頭を抑えつける」がある。本研究を通してタイ語の慣用句

の特性の度合いを計り、個々の慣用句の「慣用句らしさの度合い」を明らかにしたが、残された今後の課題についても研究する。

章注

- 1) 「語彙の場」(Semantic fields)について、(Ratnakun (2011 : 330-332))という概念は、一組の関連する語彙によって表されるようなひとまとまりの实在を表すとしている。ある構造を取る言語の中の語であり、「語彙の場」の中に属するかぎり、人間は語の意味が理解できる。語彙が意味の領域に属していないと意味が理解できず、無意味な語彙になってしまう。例えば、「いぬ」、「ねこ」の意味の領域は動物に関連している。しかし、「いな」、「ねく」(nonsensical words) はどの意味の領域に属しているか分からず、「いな」「ねく」の意味もやはり理解できない。

訳語として「意味場」「意味の領域」などもあるが、本論文は石田(2001)にならって「語彙の場」とした。

- 2) 成分分析(Componential Analysis)

Nida(ナイダー)は、語の意味成分を分析し、文章分析において構造化した。(Nida 1977 : 233)。単語は意味の最小単位ではなく、物質を原子に分けるように単語は更なる構成要素に細分することができるということである。例えば、英語の「man」(男)においても<human>(人類)<adult>(大人)<male>(男性)のような原子的要素によって構成される。同様に、タイ語の「phûu chaay」(男)と言う語に関しても、<manút>(人間)、<phûu yà>(大人)、<phêet chaay>(男性)という原始的構成要素から成り立つ。ここからわかるのは「man」と「phûu chaay」は異なる言語の語でありながら、同じ意味を共有することである。さらに各語の原始的構成要素群の事を構造言語学者は「意味特徴」(semantic features)と呼び、< >の記号を用いて表示する。又、こういった意味論の研究を「意味成分分析」(Componential Analysis)と呼ぶ(Nida 1975: 64-66, 205-207)。さらに詳細な分析をするために、<male>(男性)、<female>(女性)、<married>(既婚)、<unmarried>(未婚)といった対になる意味特徴で分類をする。言語学者はこれらの対になる意味特徴を「二項対立的意味特徴」と定義する。ここでは「+」もしくは「-」の記号で示し、男性の場合は<+男性>、女性の場合は<-男性>として表す。またそれぞれの文の構成によって語の意味が作られるため、一語に一つの意味特徴があるわけではない。この理解は語と意味の関係性を理解するのに役に立つ。

第 1 章 先行研究

第1章 先行研究

第1章は、慣用句の概念と先行研究について述べる。本章ではタイ語慣用句に関する議論の概要を理解できるように、様々な研究からタイ語慣用句に関連する今までに得られている知見と課題を紹介する。まず、1.1 タイ語慣用句に関する先行研究、1.2 日・タイ語慣用句に関する先行研究 1.3 タイ語と他言語の慣用句との比較に関する先行研究 1.4 日本語慣用句に関する先行研究 1.5 日本語と他言語の慣用句との比較に関する先行研究について述べる。

1.1 タイ語慣用句に関する先行研究

本節は 1.1.1 慣用句と類似語、1.1.2 慣用句とタイ人の信仰、1.1.3 タイ語慣用句の構造、1.1.4 慣用句の特徴について述べる。本節はタイ語慣用句に対する概念や構造に関する概要を紹介する。「慣用句」と類義語に関しては、田中（2011）が研究を行っており、その研究から概要を把握する。次に、慣用句が包含する文化的な側面、特にタイ人の信仰に関わる部分について、Thongbai(2007)から紹介する。さらにタイ語慣用句の構造については Pathrapanupat(1978)の研究から、タイ語慣用句の性質については Saengaramruang (2005)の研究から紹介する。

1.1.1 慣用句と類似語

タイ語では、慣用句と言う用語の含む範疇は広く、ことわざ、格言、教訓もまた慣用句として理解されている。広く市販されている実用書、学生用の参考書にも、ことわざと慣用句は同義の名称として併記されており、厳密な意味での線引きは困難である（田中 2011 : 4）。田中によると、慣用句はタイ語で「sǎmnuan」に相当するという。さらにタイ国学士院の辞書を参照してタイ語で慣用句としてみなされる類似語「woohǎan（教訓）」、「kham phanphəəy（格言）」、「sùʔphasit」、「kham ùʔpamaa」についても定義を紹介している。

慣用句

「sǎmnuan」は広く一般に慣用句を意味し、上記のことわざ（「sùʔphasit」）なども含めて総称することが多い。比較的形式が自由な格言もこれに含めてよいものである。（田中 2011）

タイ語で慣用句としてみなされる類似語

「woohǎan」は「教訓」、「金言」と訳されている。文章が巧妙になること、を意味する。一般の成句的、辞書的用法を指し、気のきいた言葉を総称する。

「sùʔphasit」は狭義のことわざに相当するが、もともとは「機智に富み、かつ古来よく論される言葉」といった意味である。

「kham phanphəəy」は世の中を嘆いたり、皮肉ったりしたもので、格言に近い性格のものだが、婉曲的な表現による言い回しが多く、直截には教訓の意味を与えない。

「kham ùpʔpamaa」(比喩語)がかなり多く含まれている。

(田中 2011)

以上、タイ語においては慣用句とその類似語をあえて区別することをしない。しかし、タイ語の広義な慣用句概念は、他言語における一般的な慣用句概念と一致せず、分析や比較が煩雑になる。そこで本研究では、日本語の「慣用句」の定義によってタイ語の慣用句を狭義に規定することによって比較、分析を可能にした。日本語の「慣用句」と同様に、タイ語の「sǎmnuan」もまた「単語の二つ以上の連結体であって、その結びつきが比較的固く、文字通りの意味とはまた別に全体として新しい意味をもつような言葉」(筆者の見解)を慣用句と定義することにする。研究法の詳細については、また別所で述べる。

1.1.2 慣用句とタイ人の信仰

Thongbai(2007)はタイ語慣用句に内包されるタイ人の信仰について研究を行った。慣用句の意味、語源と文脈の慣用句 133 項を収集している。研究では慣用句に含まれる信仰に関する概念を以下の 13 タイプに分類している。

1. 魔除・魔術・呪文・心霊術
 2. 霊・化け物
 3. 神聖・霊験
 4. 縁起・験かつぎ
 5. 直伝
 6. 魂魄、運命、星座、厄
 7. 大安日
 8. 輪廻
 9. 因果応報、報恩と贖罪、天国と地獄
 10. 人の風貌・相性
 11. 動物
 12. 夢
 13. 信心
- (筆者訳)

慣用句の語源は主に日常生活の生き方から生まれたものである。タイ語の慣用句で最も多いのが、魔除け・魔術・呪文・心霊術の信仰に関する慣用句である。二番目は、神聖・御稜威の信仰に関する慣用句、三番目は因果応報、報恩と贖罪、天国と地獄に関連する慣用句と述べている。しかし、Thongbai (2007) のこの研究は、先に述べた広義のタイ語慣用句の概念に基づいて考察しているため、「sùʔphasit」、「kham phanphəəy」などの類似概念の句も含んで、慣用句を研究したものとなっている。そのため本研究では、

Thongbai (2007) の慣用句の解釈である、タイ語慣用句がタイの日常生活と信仰に深く根付いており、慣用句の習得にはタイの深い文化理解が欠かせないという観点を採用するものではあるが、広義の慣用句を対象としている Thongbai (2007) の研究をそのまま考察の対象に用いることはできない。

1.1.3 タイ語慣用句の構造

Pathrapanupat(1978)は、慣用句は、慣用句に含まれる個々の語の文字通りの意味とはまた別の意味を持つと述べ、タイ語慣用句の特性について論じている。

一般的に慣用句は文を想起しやすいが、語や句の形態をとるものもある。語として使われる慣用句には単語で単独に使用される場合と、複合語として使用される場合がある。

(1) 語の場合

① 単独で使用される場合

単語の形態を持つ慣用句は自由形態素で表れたものである。このような慣用句は元来のタイ語の中にも、借用語の中にも存在する。また名詞、類別詞など様々な品詞にも存在する。例えば、名詞の「mǔu」は豚という意味をもつが、慣用句としてまた別の「簡単」という意味をもつ。そのため下の例のように慣用句として使用することができる。

「khôwsòp pasāaŋklit mǔu mâak」

試験 英語 豚 とても

<英語の試験はとても簡単です。>

② 複合語として使用される場合

複合語の慣用句とは、本来独立した単語が二つ以上結合して、新たに一つの単語としての意味・機能をもつようになったものである。例えば、「khon khàprót」は、名詞「人」と動詞「運転する」という複合語であり、「運転手」という統合した意味をもつタイ語にはこのような複合語の構造が多くみられる。

また、複合語はもつ独立した単語の間に別の語を挿入できない。試みに指示詞「その」を挿入すると、「khon nán khàprót」となり、複合語としての構造が崩れてしまい、「その人が運転する」という主述文として理解される。

(2) 句の形態をとる場合

主要部と修飾成分によって構成される。 例：「lúukkài nai kammuu」(ヒヨコ・

中・手)「権力の下にある人」という意味。

(3) 文の形態を取る場合

「náamlaay läi」(よだれ・流れ)は「よだれが流れる」ほど美味しそうで食べたいという意味をもつ。

1.1.4 タイ語慣用句の特徴

Saengaramruang (2005) はタイ語とドイツ語の食料や食器に関する慣用句を比較、検討し、それぞれの国の慣用句に内包された文化や生活を分析している。Saengaramruang は研究の中で両言語の慣用句の概要を述べているが、本研究では Saengaramruang のタイ語慣用句の特性についてのみまとめて、検討する。

(1) 言葉そのものが際立った表現を持つ

食料に関する慣用句には、押韻があるものがある。子音の押韻もあれば、母音の押韻もある。子音の押韻とは強勢のある母音以下の音が同一で、その前の子音が異なるものである。例えば、「khwaay、daay」には、両語に同じ母音「aa」があり、同じ末子音「y」を持ち、韻を踏んでいる。

(2) 元来の意味から時代によって変化する性質を持つ

次に慣用句の意味について、現在使用している慣用句の意味が、時間が経つにつれて徐々に変化し、元来の意味と異なることがある。こういった時間による慣用句の変化は、言語の発達の姿とみる事ができるかもしれない。例えば、慣用句「kin khài dɛɛŋ」(食べる・卵・赤)を見てみると元来の意味は、「お金を当てにする」もしくは「(テストで) 0点を取った」であったが、現在、この慣用句は元来の意味と共に「(肉体関係のある) 彼女ができた」という意味も併用されている。

この慣用句の元来の意味である「お金を当てにする」の語源は、タイ人の魚食に関する生活習慣にある。まず「khài」は魚のおなかにある卵を意味している。タイの人にとって魚の卵は魚肉よりおいしい部分と考えられている。そのため、「kin khài dɛɛŋ」(食べる・卵・赤)とは、「魚を食べる時におなかにある美味しい卵ばかり取って食べる」こと、もしくは人を意味し、さらに卵から「お金」が連想され、金銭的な目的で付き合う男子を指す慣用句に変化したとされている。また「(テストで) 0点を取った」という意味の語源は先の語源とは別と考えられている。学校のテストの採点で赤色の色鉛筆を使うようになって以来、宿題やテストの採点をする際、問題をすべて間違えると総点0点とした。テスト用紙に赤色鉛筆で「0」と書かれたのが、丸い卵を連想させ、テストで0点を取ることを「kin khài dɛɛŋ」(食べる・卵・赤)と言うようになったという。

しかし、Saengaramruang (2005)によると、現在では「kin khài dɛɛŋ」(食べる・

卵・赤)を「お金を当てにする」や「(テストで)0点を取った」の意味には使わなくなっているという。すでに「(肉体関係のある)彼女ができた」という意味に変化してしまった。

ただし、筆者は、タイの日常生活から「お金を当てにする」という意味がなくなったが、「(テストで)0点を取った」意味と「肉体関係のある彼女ができた」意味がまだ併用されていると考えている。

1.2 日・タイ語慣用句に関する先行研究

本節は 1.2.1 日本語・タイ語慣用句事典の編纂について、1.2.2 意味拡張に関する先行研究について述べる。

1.2.1 日本語・タイ語慣用句事典の編纂について

Larpsrisawad (2006)は現代タイにおける慣用句事典を調査して、収集された慣用句を検討した結果を利用し、慣用句の事典を作成していく研究報告である。

項目の選択に当たっては、宮地裕(1982)『慣用句の意味と用法』の全 1,548 項目の「常用慣用句の一覧」を基本としている。宮地の研究では、国語辞典などを分析し、よく用いられる慣用句、あるいは使われていない慣用句の量を分析し、その結果、頻出する慣用句を抽出した。

宮地が使用した現代の国語辞典は、倉持保男他(1994)が編集した『三省堂実用慣用句辞典』、及び西尾実・岩淵太郎・水谷静夫(2000)による『岩波国語辞典 第6版』である。その内容を詳しくみていくと、慣用句 1,548 項目を二つのグループを分けることができる。まずは一方は両方の辞典にあらわれた慣用句のグループと、もう一方はいずれかの一方の辞典にあらわれた慣用句のグループである。そして、それぞれの慣用句の頻出の度合いが再検討されている。結果は以下のようなになる。

表 1-1 『慣用句の意味と用法』に掲載された慣用句の頻出度

慣用句の使用	慣用句の数	
	全 (1,548 個)	%
よく使用されている	880 個	56.85
あまり使用されていない	209 個	13.50
ほとんど使用されていない、 または現代すでに使用されなくなった	459 個	29.65

(筆者によるまとめ)

『慣用句の意味と用法』の 1,548 項目のうちで、よく使用されている慣用句が 56.85%、あまり使用されていない慣用句が 13.5%、ほとんど使用されていない、または使用されなくなった慣用句が 29.65%という結果が見られる。さらに、よく使用されている慣用句全 880 項目を見ていくと、慣用句を構成する句の初めに身体部位が用いられるものが少なくない。句の初めに置かれる身体部位については、「目」、「手」、「口」の順で頻出する。句の始めに「目」が置かれる慣用句数 39 個、次に、「手」が置かれる慣用句数 38 個、「口」が置かれる慣用句数 16 個である。それぞれのタイプの慣用句例は以下のようになっている。

よく使用されている慣用句

：足を洗う、頭に来る、手を焼く、腹が立つ、人を食う など

あまり使用されていない慣用句

：口から先に生まれる、乗るかそるか、やせても枯れても など

ほとんど使用されていない、または現代すでに使用されなくなった慣用句

：奥歯にものはさまる、恥を知る、びっくり仰天する など

しかし、日本語のネイティブによれば、この上記の慣用句は、全ては現代でもよく使用されるものであり、Larpsrisawad (2006)分類は再検討する必要があると考えられる。なお、「頭に来る」、「腹が立つ」は頻出度の高い慣用句であることから、特に後述の《怒り》の意味分析において検討する。

1.2.2 慣用句の意味拡張に関する先行研究

アピウオンガム (2005) はタイ語の「cai」について日本語の「気」と比較して慣用句の意味拡張に関する研究を行っている。当研究ではタイ語辞典における「cai」の定義と、プリーヤー・インカピロムの夏目漱石の『こころ』のタイ語翻訳データから「cai」の意味を分析し、次のように結果をまとめた。

(1) 「cai」がつく語は全44個見つかかり、「cai」の意味毎に12の項目に分類した。

1. 気分	「klûm cai」 「op ùn cai」 「thùuk cai」 「lông cai」 「phuum cai」 「tà?khìt tà?khuang cai」 「ùt àt cai」 「sĩa cai」 「ramkhaan cai」 「plèek cai」 「dii cai」 「sabaay cai」 「krà?won krà?waai cai」 「tòk cai」
2. 意思、意図、つもり	「tâng cai」
3. 満足、得心	「sǒm cai」 「phoo cai」
4. 気象、性質	「cai dii」 「cai khěŋ」 「cai klâa」 「mii nám cai」 「ciŋ cai」
5. 行動	「aw cai」 「kreeŋ cai」 「laŋlee cai」
6. 心配	「khôŋ cai」 「kaŋwon cai」 「cai mâi dii」
7. 決心	「pàk cai」 「chûa cai」 「ploŋ cai」 「tham cai」 「mân cai」
8. 関心、興味	「sǒn cai」 「tít cai」 「sài cai」 「plèek cai」 「duŋdùut cai」 「mii cai」
9. 理解	「khâw cai」 「hěŋ cai」
10. 印象	「prà?tháp cai」
11. 精神	「cìt cai khêm khěŋ」 「cìt cai mâi yùu kàp tua」
12. 神経	「cìt cai mâi yùu kàp tua」 「cai mâi dii」

総数44個の中で、1)「X-cai」形は39個、2)「cai-Y」形は5個である。

「X-cai」形を詳しく分類すると、更に3つのグループに分けられる。(1.1)「形容詞+cai」のグループ:「klûm cai」(苦しむ、困る)など。(1.2)「動詞+cai」のグループ:「aw cai」(媚びる、ちやほや、歓待する)など。(1.3)「名詞+cai」のグループ:cìt cai(胸、心)などである。

さらに「cai-Y」形を詳しく分類すると、更に2つのグループに分けられる。(2.1)「cai+句」のグループと(2.2)「その他」のグループである。(アピウオンゲームはこのグループを名付けていないため、筆者は「その他」に分類した。)

(2)「cai」は「気」の感情的な表現の範囲に入っており、特に「気質」に関する言葉が多い。また、「神経」、「精神」、「理解」、「興味」、「意志」、「印象」、「性質」、「つもり」などの意味に関係がある言葉にも使われる。さらに、日本語の「心」という漢字を使う複合語(関心、決心)などの言葉は全て「cai」に訳することができる。タイ語の関心を表す表現「duŋdùut cai」、「sài cai」などは、日本語の「心を引き付ける」、「心に留める」に対応する。

(3)「cai」は使うが、日本語の「気」に当てはまらないものがある。例えば、「mân cai(自信がある)」、「nêe cai(確信する)」、「phoo cai(満足する)」などである。

以上、アピウォンゲーム(2005)の研究の結果を述べた。この他にアピウォンゲーム(2005)は上記の 44 個の「cai」がつく語に対して、それぞれ反意語表現の「mâi」が付けられるかどうか検証を行っている。その結果を下記表 1-2 から表 1-6 にまとめた。なお、「mâi」を付けずに別の語句で反意語表現を持つ語は、表現部分だけを抽出して表示した。表中○は可能、×は不可能、△は場合により不可能なものである。

表 1-2 「X-cai」形の「形容詞+cai」(1.1)

言葉	タイ語辞典 (1990)による定 義	アピウォンゲーム (2005) が訳した表現	反意語表現 「mâi」
「klûm cai」	悩む、憂鬱だ	苦しむ、困る	○
「op ùn cai」	気分が温かい	温かい声	△
「thùuk cai」	心苦しい	苦しい	○
「lôonj cai」	胸がすうっとする、 ほっとする	安心	「ùt àt cai」
「phuum cai」	誇りに思う	頼もしく誇りに 思う	○
「tà?khít tà?khuanj cai」	恥じる、照れ臭い	不審	○
「ùt àt cai」	心が詰まる、 息が詰まる、 困難せしめる	迷惑そうに、 苦しい	○
「sǎa cai」	心に留める	心配、注意を払 う、気に留める	○
「ramkhaan cai」	嫌になる	迷惑	○
「plèek cai」	不思議に思う	驚く	○
「dii cai」	気をよくする、 喜ぶ	嬉しい、愉快	○
「sabaay cai」	気が楽だ	いい心持ちにな る、安心、落ち着 く、気が強い	○
「krà?won krà?waai cai」	心が騒ぐ、胸さわぎ する、心が不安にす る	焦慮	「sabaay cai」

表 1-3 「X-cai」形の「動詞+cai」(1.2)

言葉	タイ語辞典(1990)による定義	アピウオンゲーム(2005)が訳した表現	反意語表現「mâi」
「tâŋ cai」	意図する、故意、志す	予期する	○
「aw cai」	相手の気に入るようにする、ご機嫌をとる	媚びる(こびる)	○
「kreeŋ cai」	遠慮する	遠慮する	○
「lanlee cai」	ためらう、選択に迷う	躊躇する	○
「khôŋ cai」	疑う、疑念をもつ	頭脳を訴える	○
「kanwon cai」	心配する、懸念する	心苦しい	△
「pàk cai」	心に刺しこむ	信じて疑わない	○
「chûa cai」	信用する	信用する	○
「ploŋ cai」	決心する	覚悟する	○
「tham cai」	心を制御する	覚悟をもつ	○
「sôn cai」	関心をもつ	注意、訴える	○
「tít cai」	気に入る、好きになる、恋する	引きつけられる	○
「sài cai」	心に留める	心配、注意を払う、気に留める	○
「plèek cai」	不思議に思う	驚く	○
「duŋdùut cai」	心を引き付ける	興味を与える	○
「mii cai」	情け深い心を持つ、親切にも～する気はある	元気が出る	○
「khâw cai」	分かる、理解する	解る、理解	○
「hên cai」	同情する、本心が分かる	感傷的な 気の毒に思う	○
「pràʔtháp cai」	印象を受ける	印象を受ける	○
「tòk cai」	驚く、びっくりする	驚く	○
「phɔɔ cai」	満足する、意にかなう	得心する	○
「nêe cai」	確信する	度胸がある	○
「sôm cai」	思い通りになる	満足する	△
「mân cai」	確信する	自信をもつ	○

表 1-4 「X - cai」形の「名詞 + cai」(1.3)

言葉	タイ語辞典 (1990) による定義	アピウオンゲーム (2005) が訳した表現	反意語表現「mâi」
「nám cai」	心情、本心、性格、寛仁な心、心意気	礼儀、親切	○
「cít cai」	心、精神、感情	胸、心	○

表 1-5 「cai - Y」形の「名詞 + cai」(2.1)

言葉	タイ語辞典 (1990) による定義	アピウオンゲーム (2005) が訳した表現	反意語表現「mâi」
「cai mâi yùu kàp tua」	恐れ又は心配で気持ちが悪い	神経を昂奮させる	×
「cai mâi dii」	恐れ又は心配意、気持ちが悪い	気味を悪くする	×

表 1-6 「cai - Y」形のその他 (2.2)

言葉	タイ語辞典 (1990) による定義	アピウオンゲーム (2005) が訳した表現	反意語表現「mâi」
「cai dii」	慈悲心のある、気の良い、お人よしの、気をしっかりと持つ	優しい	×
「cai klăa」	勇気な、大胆な	大胆な	×
「cít cai khêm khěj」		心丈夫な	○

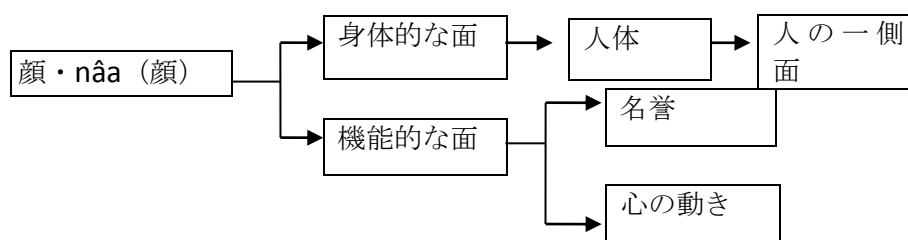
アピウオンゲーム (2005) を一部引用

アピウオンゲームはそれぞれの語が反意語表現として「mâi」を付けられるかどうかを調査した。例えば、「mâi klûm cai」(否定形・困る)、「mâi kreej cai」(否定形・遠慮)とすることができる。一方、「mâi sôm cai」(否定形・満足)は、場合により言うことができる。しかし、「mâi cai klăa」(否定形・勇気のある)は言うことができない。また、「lôonj cai」と「krà?won krà?waai cai」は「mâi」を付けられるかどうか示していない。これはこの語の反意語は「ùt àt cai」、「sabaay cai」という決まった言い方があることを意味している。つまり、「cai」を含んだ表現の中には、否定形という操作を受けられる表現もあれば、受けられない表現もある。このほか、慣用句では、日本語の「気」とタイ語の「cai」の比較といった、語彙の違いについて研究したものがほとんどである(カノックワン 2011: 16)。本研究は「身体部位」を含んだ慣用句を対象とする。

次にサイソンプーン（2006）の研究に目を向けてみる。サイソンプーン（2006）は身体部位である「顔」の意味拡張について日本語とタイ語の比較をしている。日本語の「顔」とタイ語の「nâa」（顔）における複数の意味を比較、検討しつつ、両言語の意味拡張の共通点と相違点を考察している。後述で本研究は「nâa」（顔）を含んだ慣用句の例を多く取り上げて意味分析している。タイ人における慣用句の身体部位「顔」に対してより良い概念理解を進めるために、ここでタイ語と日本語の共通点と相違点を比較分析する。まずはサイソンプーン（2006）による(1)両言語における共通点の意味拡張 (2)日本語に固有の意味拡張 (3)タイ語に固有の意味拡張をまとめる。

(1) 両言語における共通の意味拡張

日本語とタイ語の「顔」に共有している意味として、(1.1) <人>、(1.2) <人の側面>、(1.3) <体面・面目>、(1.4) <心の動き> の4点を挙げている。



→ メタファーによる意味拡張^②

(出典：サイソンプーン 2006：17)

図 1-1 「顔」を表す日・タイ語の共通の意味拡張

(1.1) <人>

「顔」の形態的特徴は、目・鼻・口などの様々な部位が集中して存在している身体部位である。そのため、「顔」は、人々にすぐに印象付けられる。その上、初対面での第一印象は顔によって決められることが多い。つまり、「顔」の社会的な役割は他の人にその人がだれであるのかを表し、その人の印象を与えるものである。この場合は、「部位・全体」の関係に基づくメトニミー的な意味拡張として機能している。次のような例をあげている。

- (1) 毎朝、顔を合わせている交通ボランティア仲間の「開かれた学校づくり会」副会長、井口信和さんから頼まれ、ゲストティーチャーを引き受けてしまった。
(サイソンプーン 2006:14)

(2) manút cà? rái sǐnlá?tham mûŋ khâa prà?hǎan

人間 FUT なし 道德 狙う 殺す 殺害

kan mâi lûak nâa

相互に NEG 選ぶ・顔

人間は道德を無視して、**だれとも**戦争する。(サイソンプーン 2006:14)

(1.2) <人の側面>

新聞の記事には、そのニュースに関する人物の「顔」写真が掲載されることがある。我々はその「顔」を見ながらニュースを読むと、その「顔」を通じて、その人の様々な面について想像する。また、だれかのことを考える時には、その人の顔を想像するであろう。つまり、身体部位の一部である「顔」は上述のようにその人の「全体」を表し、また「その人に関すること」に言及する役割を果たしていると考えられる。このため、「顔」は「人の一側面」という意味を持っている。

- (3) 架空請求詐欺：リーダー・清水容疑者、「表の顔」は社長架空請求詐欺事に絡み、行方不明になっていた男性4人とみられる遺体が18日、茨城県小川町の山林で見つかった。(中略) 清水容疑者はグループのリーダーという(裏の顔)と、コンサルタント会社「社長」という「表の顔」を持っていた。(サイソンプーン 2006:14)

(4) càp thét rátthabaan tháksǐn tii sǒŋ nâa kɔʔranii

掴む 嘘 政府 タクシン 潰す・二・顔 場合

lâw phúwunmwan

酒 国産の

タイの国産酒について、タクシン政府は**2つの顔をもつ**という嘘を掴んだ。

(サイソンプーン 2006:14、筆者一部修正)

(3)の例では、「表の顔・裏の顔」というのは「悪い側面を隠し、よい側面を皆に見せる」という意味を持っている。(4)の例では、タイの政府は国民に「国産のお酒はよい」と宣伝しながら、一方では、海外貿易の観点から、外来の洋酒を勧め続けているというニュースである。すなわち、「tii sǒŋ nâa」(顔を二つに潰す)という慣用表現は、日本語の「表の顔・裏の顔」と同様に、「悪い面」(裏の顔)を隠し、良い面(表の顔)を人々に見せるという意味をもっている。このスキーマ的な意味としては、マイナス的な評価を持つ「裏表があること」ということを表しており、「nâa」という語自体が<人の一側面>を表すと指摘している。

(1.3) <体面・面目>

日常会話を行う際に、目で相手に向かって自分の感情など伝えたり、口で意見を表明したりする。しかし、全体として、我々の「顔」は「外的な世界・人々に接する」ために使用される重要な身体部位であると考えられる。そのため、「顔」は、我々を代表する身体部位として、世間から評価を受ける対象となり、「体面・面目」という意味に拡張される。

- (5) 意見交換会ではあまり意味がない。また、企業は成果がないと社会にも顔向けができない。 (サイソンプーン 2006:15)

- (6) káw yuwm ɲən chán tèe mâi yɔɔm khwun
彼 借りる お金 私 しかし NEG 許す 返す
tɔɔnníi læy mâi klâa sùu nâa chán
今 ~だから NEG 勇気 向ける・顔 私
あの人は私からお金を借りたのに、返してくれません。今、私に顔向けができない。 (サイソンプーン 2006:15)

1.4 <心の動き>

「顔」は、鼻・目・口などで構成されている身体部位である。我々がどのように感じ、考えているのかが「顔」に表れる。つまり我々が心の中に感じているものは「顔」に表現される。このような機能から、日本語・タイ語の「顔」は「心の動き」という概念を有していることで共通している。さらに、サイソンプーン (2006) は下位分類をして、「顔の動き」と「顔の状態」に分けて分析している。

日常生活においては、自分の思考や態度を見せる際に、うつむいたり、そむけたりするように顔を動かすことが自然な行動である。そこで、「顔の動き」という身体的な反応に焦点が当てられ、慣用表現に拡張されている。

- (7) 北朝鮮の人権に顔を背けるな (サイソンプーン 2006:16)

- (8) khaw r̄əəm khâwcai lôok h̄ɛŋ khwaamciŋ læy
彼 ~てくる 分かる 世界 の 現実 だから
kôm nâa yɔɔmráp cháʔtaakam
俯ける 顔 納得する 運命
彼は本当の世界が分かってきた。だから、仕方がなく納得して自分の運命を認めるしかない。 (サイソンプーン 2006:16)

「顔の動き」以外に、「顔の状態」のような身体的反応に動機付けられる慣用表現もある。

次のような例を挙げている。

(9) 私でもカメラを前にすると多少顔が強張るみたいですね。
 (サイソンプーン 2006:16)

(10) lòn yaj nâa nɔɔ wooywaay tɔɔpai
 彼女 まだ 顔 ・ 曲がる 叫ぶ ~ていく
 彼女はまだ顔を歪ませて怒って言い出した。(サイソンプーン 2006:16)

上で取り上げた例では、顔の反応によっては相手に感情を伝えることができることを示している。

(2) 日本語に固有の意味拡張

日本語の「顔」に固有の意味拡張については (2.1) <団体・カテゴリーを代表する人・もの>、(2.2) <活動領域>、(2.3) <もの・場所の一側面>、(2.4) <知名度・影響力>の4点が見られる。

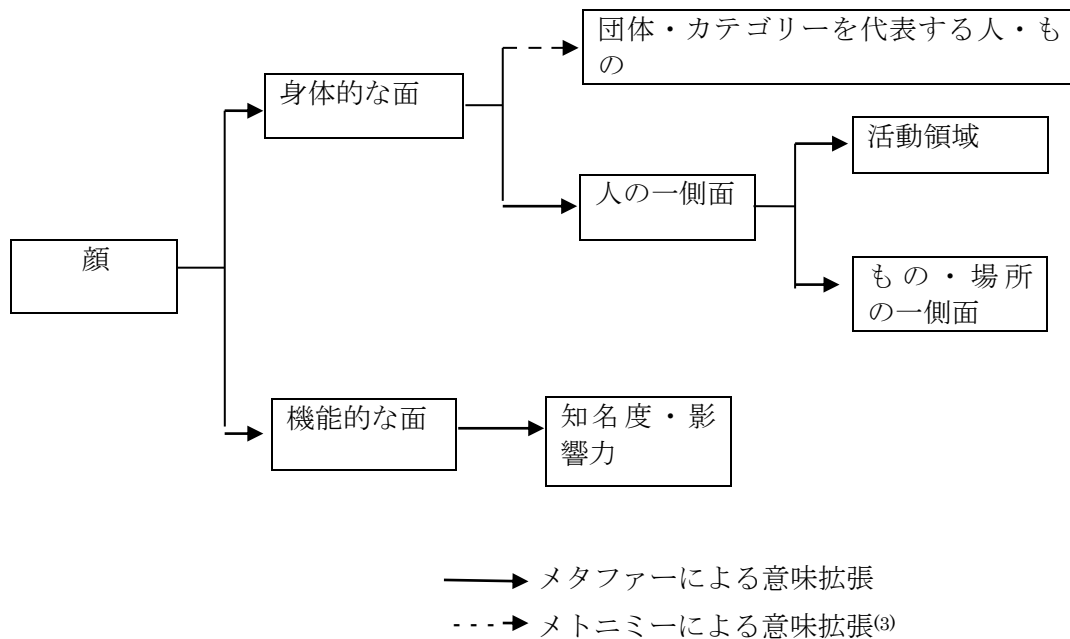


図 1-2 日本語に固有の意味拡張

(出典：サイソンプーン 2006:19)

(2.1) <団体・カテゴリーを代表する人・もの>

日本語における「顔」は、身体部位の領域から、社会的な領域に越境し、「団体・カテゴリーを代表する人・もの」という意味に拡張されていると述べている。

(11) 中邑&棚橋が「マックの顔」に新日本の IWG ヘビー級タッグ王者中邑真輔(25)棚橋弘至(28)が、マクドナルド新商品の「顔」になる。

(サイソンプーン 2006:18)

プロレスラー中邑と棚橋は自分の属しているカテゴリーを「代表する人」である。また、日本語の「顔」は「代表する人間を示すにとどまらず、「団体・カテゴリーの全体を代表するもの・場所」という意味も表している。

(12) よみがえる“東京の顔”と呼ばれていた丸の内ビルディング（丸ビル）の建て替えがほぼ終わり、内装工事が 9 月 6 日の落成に向け急ピッチで進んでいる。

(サイソンプーン 2006:18)

丸ビルは、東京駅の正面にあるため、このビルは他のビルや他の場所より人々に東京の代表としての強い印象を与えると考えられるため、「東京の顔」に喩えられる。

(2.2) <活動領域>

日本語の「顔」の比喩的な意味は「活動領域」としても考えることができる。以下のようになる。

(13) 3つの顔を持つ画家、

金沢市寺町 5 丁目、常德寺の住職西山彰さん(45)の個展が 13 日まで、同市入江 2 丁目の「ギャラリー一点」午後 1 時～同 7 時で開かれている。(略) 京都出身。
画家と住職、高校教師の三つの顔をもつ。

(サイソンプーン 2006:18)

(2.3) <もの・場所の一側面>

日本語の「顔」は、人間の「一側面」を示すのみならず、人の一側面から派生し、抽象的に「事物の持つある一側面」という意味にまで拡張されている。

(14) 二つの顔を持つ「毛沢東」 変質する社会主義経済

「中国には、2 種類の『毛沢東』がいる。一つは革命思想を完成させた毛沢東、もう一つは、最高額紙幣 100 元（1600 円）札に印刷された毛沢東だ」。三井物産戦略研究所の沈才彬中国経済センター長は二つの毛沢東が「今の中国を理解

するのに重要」と語る。

(サイソンプーン 2006:19)

(2.4) <知名度・影響力>

日本語の「顔」は、人間関係・社会における重要な「体面・面目」という意味を表す。また「顔パス」・「顔役」のような慣用表現では、人々がお互いに交際する際に、その人のことが周囲の人間に知られていることで、影響力を及ぼしたりする。そのため、日本語の「顔」は「知名度・影響力」という意味も表す。

(15) この飲み屋は顔が利くから、安心して飲んでいいよ。

(サイソンプーン 2006:)

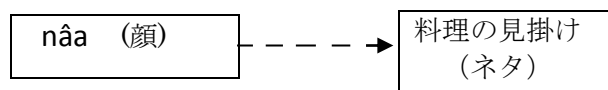
(3) タイ語に固有の意味拡張

<料理の見掛け>

日常のコミュニケーションにおいて、我々の「顔」は個人のもつ特徴を最も顕著に示す身体部位として使用される。同様に、丼・寿司のような料理は、下の材料が同じご飯であるが、料理の種類を識別するためには、下の材料の上に乗せられている部分で表現される。以下のような例をあげている。

(16) cà? ráp sushi nâa a?rai
FUT ~にする 寿司 顔 何

<どの寿司にしましょうか?> (サイソンプーン 2006:19)



——→ メタファーによる意味拡張

---→ メトニミーによる意味拡張

図 1-3 タイ語に固有の意味拡張

(サイソンプーン 2006:20)

例(16)では、丼・寿司のような料理の下の材料の上に乗せられている部分が「ものの種類を示す」という働きを持っており、「顔」と類似性があるため、タイ語の「nâa」(顔)は図3のように「料理の見掛け」という意味に拡張されていると指摘している。

上述のように、日本語の「顔」とタイ語の「nâa」の意味には、共通点と相違点が見ら

れる。まず両言語における共通の意味拡張から見ていく。「顔」は人体の中で最も印象が強く、外的な世界に内面を表す身体部位である。この身体的な動機とメトニミーの相互作用によって、日本語・タイ語における「顔」は「人」、「人の一側面」、「体面・面目」、「心の動き」という意味に拡張されている。ただし、「体面・面目」と「心の動き」という意味では、両言語において、共通のメタファーもしくは固有のメタファーが存在している。

次に、日本語の「顔」はメタファーによって「団体・カテゴリーを代表する人・もの」という意味に拡張され、また、メトニミーによって「活動領域」、「もの・場所の一側面」、「知名度・影響力」という意味に拡張されている。これはタイ語の「*nâa*」(顔)には見られない意味である。

最後に、タイ語の「*nâa*」(顔)はメタファーによって「料理の見掛け」という意味に拡張されている。この意味は日本語の「顔」には見られない。

サイソンプーン (2006) はメタファー、シネクドキー⁽⁴⁾、メトニミーという比喩の定義に基づき、日本語の「顔」とタイ語「*nâa*」(顔)を含む言語表現を対象とし、「顔」を表す日・タイ語の概念を分析し、両言語の「顔」における共通の意味拡張およびそれぞれに固有の意味拡張を確認している。しかし、日本語の「顔」には「めん」や「つら」という類義語があるが、サイソンプーン (2006) はタイ語の「*nâa*」(顔)とこれらの類義語との比較はしていない。言語内にある語のそれらの類義語すなわち共通している「語彙の場」を構成する語と類似した語と比較すれば、外国人学習者にとってさらに役に立つと考えられる。本研究では、共通の意味領域に所属するタイ語慣用句群も研究対象とする。

1.3 タイ語と他言語の慣用句比較に関する先行研究

本章では、Lee JiEun(2002)による色彩に関する慣用句から見るタイ人と韓国人の色彩への印象についての研究を紹介する。Lee(2002)は 色彩におけるタイ語と韓国語の比較研究を通じて、比喩的な慣用句の意味、共通点と相違点を考察した。研究の対象者は全 40 名、タイの女性、タイの男性、韓国の女性、韓国の男性で、年齢は 20 歳から 40 歳までである。この研究は Berlin&Kay(1969)の研究に基づいて、主要な 11 色を調査している。赤・黒・白・青・黄・緑・オレンジ・ピンク・紫・茶・灰である。

タイ語の色彩を含んだ慣用句には次の 6 つの色が使用されている。それは、赤、黒、白、黄、緑及び、紫である。一方、韓国語の色彩を含んだ慣用句には次の 8 色が使用されている。それは、赤、黒、白、青、黄、緑、ピンク、灰である。

色彩を含んだ慣用表現、全 330 個のうち、200 個の慣用句が比喩的な意味をもつことが分かっている。比喩的な意味をもつ色彩においてタイ語と韓国語で類似する色彩は、赤・白・青・黄・緑・オレンジ・ピンクである。タイ語と韓国語の色彩の差異は、黒・紫・茶・灰ということがわかった。

Lee(2002)は Osgood(1975)が提唱した E-P-A (Evaluation-Potency-Activity) といった色彩の分析を採用している。評価 (Evaluation) とは、色彩の良し悪しの程度、ポテンシー (Potency) は色彩の強弱の程度、アクティビティ (Activity) は受動能動 (パッシブ/アクティブ) の程度であり、それぞれ当てはまるものを試験者に選択させた。

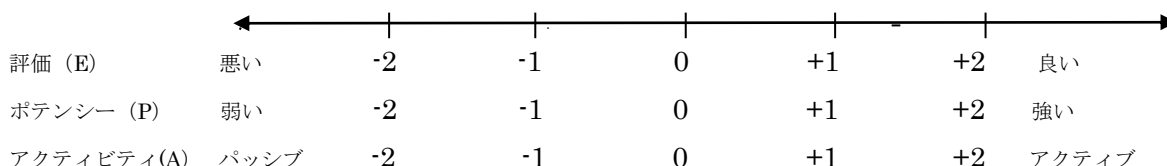


図 1-4 E-P-A (Evaluation-Potency-Activity) により分析
(Lee(2002)を一部改変)

Lee(2002)はタイ人・韓国人が色彩に対する概念を分析し、まとめた結果が表 1-7 のようにまとめた。

表 1-7 タイ・韓国語の両言語慣用句における色彩の分析

	評価 (Evaluation)		ポテンシー (Potency)		アクティビティ (Activity)	
	タイ人	韓国人	タイ人	韓国人	タイ人	韓国人
赤	+	+	+	+	+	+
黒	-	(M) + (F) -	+	+	+	-
白	+	+	-	-	-	-
濃青	+	+	+	+	+	+
黄色	+	+	-	-	-	-
オレンジ	+	+	+	+	+	+
ピンク	+	+	-	-	+	-
紫	(M) - (F) -	(M) + (F) +	+	+	(M) + (F) -	(M) + (F) -
茶色	+	(M) - (F) +	(F) +	(M) -	(F) +	(M) -
灰色	-	-	(M) + (F) -	(M) + (F) -	(M) + (F) -	(M) + (F) -
緑色	+	+	+	+	+	+

(M) 男性 (F) 女性 (M) または (F) は「-」、「+」の前に置かれない場合は性別によらず同様。

赤がもつ比喩的な意味は「恋愛」、「暑い」、「パワー」、「革命」、「火」、「怖い」というものであった。また「赤」を使用した時、タイ人においては良い印象に受け取られる。これ

に対して、韓国人においては悪い印象が強い。「危険」「魔」「アダルトチルドレン」「ストレス」という意味を持つ、ということである。

ただタイ語には、「*nâa dɛɛŋ* (顔・赤)」という慣用句があり、「恥じ」や「怒り」などで血が顔に上り、顔が赤くなることを意味している。「赤」は、この「赤い顔」のように悪い印象もまた見られる。

黒は、西洋人にとって「死」を連想させるものである。ある普遍性を持っているようであり、タイ語も韓国語も同様に悪いイメージがある。この色彩は「哀悼」、「畏怖」、「抑うつ」、「死亡」、「悪い」という比喩的な意味をもつ。

タイ語には「黒」と「赤」とを対立させて使用する慣用句の例があり、「*rúu dam rúu dɛɛŋ* (知る・黒い・知る・赤い)」という慣用句は、「決着がつくように明確に確定する」という意味である。

白は、西洋人にとっての比喩的な意味は「純朴」、「潔白」、「快樂」、「結婚」というものである。一方、中国人は「忌服」、「死亡」という意味をもつ。タイ人と韓国人の場合は、西洋人と同じように「純朴」、「潔白」、「空虚」という意味をもつとされる。しかし、タイ語の「白」を含んだ慣用句例は、「*taa khǎw* (目・白い)」であり「臆病」、「気弱い」、「小心」という意味ももっている。また「*taa khǎw* (目・白い)」の白は、ポテンシーがマイナスに評価できることで比喩的な意味の表現使用と言える。これに対して、比喩的な意味を表現に使用せず、実質どおりの色彩を使用することもある。例えば、「*nâa dɛɛŋ* (顔・赤)」では 恥じや怒りなどで血が顔にのぼったことで顔が赤くなる。この「赤い顔」から「赤」を表現に使用する。

タイ語には先に述べたように「黒」と「赤」との対立関係を使用している慣用句を見つけることができる。これに対して、韓国語には「黒」と「白」と対立関係を使用している慣用句がある。例えば、「*huk-gwa baik-ul ga-ri-da* (黒と白を区別されている)」という慣用句の意味は「明確に理解できるようにしなければならない」、または、「善悪を明確に区別しなければならない」という意味である (Lee 2002:79)。ある意味で普遍性を持った「黒」と「白」と言う対立関係と同じく、「黒」と「白」の対立関係を用いた慣用表現が韓国語にも存在する (Lee 2002:81)。一方、タイ語には「黒」と「赤」の対立関係を使用した慣用表現が存在する。これはタイ慣用句の独自性と言えるかもしれない。

濃青の両言語に共通した比喩的な意味は、「ほやほや」、「自由」、「穏やか」というものである。タイ人は「厳か」という比喩的な意味をもって、王族に関連した色彩ゆえの理由が考えられる。韓国人は「夢」、「若さ」、「元気」という比喩的な意味をもつ。

黄の両言語に共通した比喩的な意味は、「暖かさ」、「あっさり」、「安楽」、「快樂」、「明るさ」というものである。

ピンクは、両言語に類似した比喩的な意味は、「くにくにくにや」、「フェミニン」というものである。両言語に共通した比喩的な意味は「愛情」というものである。

紫は、両言語の類似した比喩的な意味は、「嘆かわしい」、「怪しげ」という意味である。

タイ語の慣用句では「mûaŋ」（紫）を含んだ慣用句は一つしかないが、その慣用句は「mûaŋ m̄ɛ máay（紫・女・配偶者がいなくなる）」というものである。意味は未亡人である。そのため「mûaŋ（紫）」と言えば、「m̄ɛ máay（女・配偶者がいなくなる）」に密接に関連して、「失意」という比喩的な意味をもっている。これに対して両言語に共通した比喩的な意味は「高貴」というものである。

茶は、両言語の類似した比喩的な意味は、「古さ」というものである。韓国人は秋の葉っぱの茶色を連想している。タイ人は「持続性」、「乾燥」、「悲しみ」という比喩的な意味をもつと考えている。

灰は、両言語の類似した比喩的な意味は、「不明瞭」、「絶望」、「あいまい」、「お年寄り」という意味である。

緑は、両言語に共通した比喩的な意味は「信仰」、「不死」、「快さ」という意味である。両言語の類似した比喩的な意味は、「ゆったり」、「安らか」、「静寂」、「ほやほや」ということである。タイ語の場合は、「khǐaw（緑）」を使用した慣用句にもあり、例えば、「taa khǐaw（目・緑）」、「nâa khǐaw（顔・緑）」、「sǎŋ khǐaw（声・緑）」などである。Lee(2002)はこれらのタイ語の慣用句について論じている。タイ人に対しては「taa khǐaw（目・緑）」の「khǐaw」は「強い力が加えられた」ということであり、＜+ポテンシー＞を伴うと述べている。Lee(2002)は「sǎŋ khǐaw（声・緑）」と「nâa khǐaw（顔・緑）」の「khǐaw」の概念は「怒り」に関連があり、＜+ポテンシー＞を伴うことである。「sǎŋ khǐaw（声・緑）」は声に「怒り」で表現することである。「nâa khǐaw（顔・緑）」は顔に「怒り」で表情を見せることであり、激昂によって青ざめた顔になる。「taa khǐaw（目・緑）」は目に「怒り」で表情することと述べている。また、「sǎŋ khǐaw（声・緑）」は、「sǎŋ khùn sǎŋ khǐaw」とも使用できると述べている。このような怒りについて身体部位を含んだ慣用句「taa khǐaw（目・緑）」、「nâa khǐaw（顔・緑）」は本研究の第4章で論じることにする。

1.4 日本語慣用句に関する先行研究

本節では、1.4.1 外国人学習者の慣用句習得 1.4.2 宮地(1985)による先行研究、について述べる。

1.4.1 外国人学習者の慣用句習得

森田(1990)は、外国人に対する慣用句能力調査を行った。この調査では日本に留学している外国人の留学生を対象として、慣用句を用いた言い方を理解できるか調べた。まず、決められたいくつかの慣用句もしくは慣用的な言い方を知っているか、またその意味を正

しく理解しているか、これらの 2 点を調査している。それによって外国人が理解するのが難しい慣用句の種類について明らかにすることを主目的とした。さらに、慣用句の誤解についても調査しており、外国人の誤解の状況について調べている。外国人留学生の理解の度合いと比較するために、日本人の中学生 1 年生 60 名を対象とした。結果は次の通りである。

表 1-8 森田 (1990) 調査結果

調査対象者	被調査者数	問題総数	正解数	誤り、無解答数	正解率	誤答率
外国人留学生 (上級)	27 名	270 問	56 問	214 問	20.74%	79.26%
日本人学生 (中学 1 年)	60 名	600 問	515 問	85 問	85.85%	14.15%

(森田(1990)を一部改変)

この調査では、テストの正解率に関しては、外国人留学生は上級クラスでも 20.74% である (森田 1990)。一方、日本語を母語とする日本人中学生 1 年生は 85.85% である。この 2 グループ間の正答率の差は非常に大きい。すなわち、日本語に対する言語能力が高い水準にまで達している上級クラスの外国人留学生であっても、慣用句の理解度は低い。つまり慣用句的な言いまわしに関する限り、その理解力は中学 1 年生に大きく劣ってしまうといえることができるだろう。

森田 (1990) によると、慣用句な言いまわしは日常生活の中でごく自然に使用されているものではあるが、しかし、それが多用されているということと、その理解が容易であるということは、別であるという。慣用表現の理解は、文法や語彙の知識のみを習熟させることでは解決がつかないものである。言語能力の低い者、特に第二言語の習得途上にある学習者には、その正しい理解は決して容易なことではない。さらに、学習者にとっては、具体的、実質的な用法に比べ、抽象的、比喩的用法の方が多いため慣用句においては、個別に指示できる対象を欠く点で理解が困難となる傾向がある。つまり、一般的な用法より慣用句の方が学習することが難しいと述べている。もちろん、慣用句の理解が十分であるなら、表現も自ら向上していくものであろう。学習者にとって慣用句の習得が更なる言語理解の為に必要な項目であると考えられる。それゆえに、本研究の結果はタイ人日本語学習者にも、日本人タイ語学習者にも貢献できると考える。

1.4.2 宮地(1985)による先行研究

宮地(1985)の研究は、慣用句とそれに近い関係をもつ一般連語句、諺、複合語の分析を通して、その関連性とそれらとの境界線を明らかにしようと試みた。宮地(1985)は他の用法上の制約を述べ、検討することによって慣用句の中の傾向(固定性の程度)の違いを明らかにすることで、慣用句と一般連語句との境界線を示す事ができるとした。その分析の中で、次のような制約が認められる。1)連結関係 2)置き換え関係 3)語順の転換

1)連結関係

連体修飾を受けるか、連用修飾を受けるか、句中に連用修飾語を挿入しうるか、連体修飾句に立ちうるか

2)置き換え関係

肯否の表現は自由か
命令表現を取りうるか
質問・疑問の表現を取りうるか
直接・間接の受身表現を取りうるか

3)語順の転移

名詞句への転換ができるか

この中で、最も制約が強いものは「名詞句転換」だとされている。そして、「受身表現の可否」、「意志表現の可否」「命令表現の可否」と言う順序で続き、そして次には「連用修飾語挿入の可否」、「連体修飾を受けることの可否」という操作となる。

1.5 日本語と他言語の慣用句比較に関する先行研究

本節では、ハルゴ(2012)による日本語とインドネシア語の慣用句の変異形について述べることにする。

ハルゴ(2012)による日本語とインドネシア語の慣用句の変異形

ハルゴ(2012)は、インドネシア語の慣用句には語彙的固定性が絶対的特徴ではなく、変異形が存在すると指摘した。これらは次のように表すことができる(ハルゴ(2012))。

表 1-9 インドネシア語の語彙的固定性・変異形

操作	変異形がある		変異形がない
名詞の交替	haya di mulut だけ／に／は (口だけ) <言うだけ>	hanya di ujung lidah だけ／に／先／舌 (舌の先だけ) <言うだけ>	memberi muka 流す／顔 (顔を渡す) <恥をかかない>
動詞の交替	cuci tangan 洗う／手 (手を洗う) <責任をのがれる>	lepas tangan 放す／手 (手を放す) <責任をのがれる>	mencuri mata⁽⁵⁾ 盗む／目 (目を盗む) <他人が気づいていないときに、何かをする>
対義語交替	buka mata 開く／目 (目が開く) <理解する、分かる、気を付ける>	tutup mata 閉じる／目 (目を閉じる) <理解しない、分からない、気を付けない>	menjual muka 売る／顔 (顔を売る) <自分を誇示する>
自・他の交替	berputar lidah 回る／舌 (舌が回る) <約束を破る>	memutar lidah 回す／舌 (舌を回す) <約束を破る>	berubah mulut 変わる／口 (口が変わる) <約束をそむく>
使役変化			menyuruh menjual mata 使役形／売る／目 <色目を使わせる>

(筆者による作成)

日本語の場合は、全て5つの名詞の交替、動詞の交替、対義語の交替、自・他の交替と使役の変化が存在する(石田 2001)。インドネシア語の場合は、表で示したように、語彙的固定性を見れば、インドネシア語の慣用句に4つの変異形が存在する。それらの変異形は、名詞の交替、動詞の交替、対義語の交替、自・他の交替の形式である。しかし、使役の変化はないことを指摘している。インドネシア語の慣用句の使役は慣用句の構成要素である動詞に「menyuruh (～させる)」という使役表現を付加することが可能である。以下の例をあげている。

menjual mata

売る／目
(目を売る)
<色目を使っている>

menyuruh menjual mata

使役形／売る／目
(目を売らせる)
<色目を使わせる>

ハルゴ (2012 : 31)

しかし、使役形の短縮形という現象は慣用句、一般文と共に存在しない。

慣用句であるにもかかわらず、使役形に対して、インドネシア語慣用句の統語的固定性も絶対的特徴ではない。次のように表すこととしている。

表 1-10 インドネシア語の統語的固定性・変異形

慣用句 操作	kehilangan muka 失う／顔 (顔を失う) <恥をかかせる>	buka mata (開く／目) (目を開ける) <理解する、分かる、気を付ける>	buka mulut 開ける／口 (口を開ける) <口を出す>	mencuci mata 洗う／目 (目を洗う) <気分転換する>
名詞句への転換□	×	×	×	×
命令表現化	×	○	○	○
意志表現化	×	○	○	○
連体修飾語の付加	×	×	×	○
連用修飾語の挿入	×	×	×	×

○ 操作の可能 × 操作の不可能

(筆者による作成)

日本語の場合は、5つの操作を全て許す慣用句が存在する(石田 2001)。しかし、インドネシア語の場合(ハルゴ 2012)は、最高でも3つの操作を許す慣用句が存在する。例えば、「buka mata」(開く／目) <理解する、分かる、気を付ける>という慣用句には名詞句への転換、命令・意志表現化は問題がなく許されるが、連体修飾語の付加、連用修飾語の挿入は認められない。また、どの慣用句でも連用修飾語の挿入が認められない。さらに、「kehilangan muka」(失う／顔) <恥をかかせる>という慣用句はどの操作も許さない慣用句と述べている。

日本語にもインドネシア語にも、慣用句の語彙的変異形及び統語的変異形が明らかに存在している。しかし、タイ語の慣用句において変異形が存在するかどうかという研究はまだ行われていない。そこで、本研究においてタイ語における慣用句の固定性及び変異形について検討する。

章注

- (1) 辻 (2002:185)は「認知言語学とは、そうした人間の認知的営みという包括的な枠組みから言語に焦点を絞り、意味と形式や認知と言語の静的・動的な機能の説明を試みる言語研究の総称である。」と述べている。
- (2) メタファーとは「2つの事物・概念の何らかの類似性に基づいて、一方の事物・概念を表す形式を用いて、他方の事物・概念を表す比喩。」(靱山・福田 2003:76)
- (3) メトニミーとは「2つの事物の外界における隣接性、さらに広く2つの事物・概念の思考内、概念上の関連性に基づいて、一方の事物・概念を表す形式を用いて、他方の事物・概念を表す比喩。」(靱山・福田 2003:76)
- (4) シネクドキーとは「より一般的な意味をもつ形式を用いて、より特殊な意味を表す、あるいは逆により特殊な意味をもつ形式を用いて、より一般的な意味を表す比喩。」(靱山・福田 2003:76)
- (5) 「*mecuri mata*」((盗む/目) <他人が気づいていないときに、何かをする>) というインドネシア語の慣用句は Saptaji (2012)に掲載されているが、一つ一つの単語の直訳と句全体の意味を表していない。アグス (2002) から意味を引用した。

第2章 日・タイ語の慣用句の変異形と固定性

第2章 日・タイ語の慣用句の変異形と固定性

本論となる第2章では、2.1 慣用句の固定性の分析方法について述べる。次に、2.2 研究の背景と目的、2.3 先行研究 2.4 慣用句の語彙的変異形のタイプ 2.5 慣用句の統語的変異形のタイプ 2.6 考察について。最後に、2.7 結語について述べる。

2.1 慣用句の固定性の分析方法

第2章では、慣用句の形式的固定性に着目し、日・タイ語の慣用句とその変異形を分析する。変異形とは、部分的に一致している二つ（以上）の表現形式で語彙体系のレベルで同等の資格を持つものを言う。それらに対して、一対の語（慣用句のペアあるいは慣用句と動詞からなるペア）を比較する「置き換えのテスト」を用いることで形式的固定性の容認性を検証する。

本研究では、下記の方法により実施する。

1. 辞書や慣用句の本から慣用句を収集する。
2. 対象となる語の用例を収集し、考察する。
3. 「置き換えのテスト」を行う。
4. 母語話者3名に用例の容認性を確認する。

2.2 研究の背景と目的

慣用句は、基本的に構成要素と表現形式が固定されているが、全く変異形を持たないわけではない。例えば、次の慣用句は、それぞれ構成要素が部分的に異なっている。

(1) 目に立つ／目立つ

目の敵／目の敵にする

陰口をきく／陰口をたたく

顔を合わせる／顔を合わす

口を出す／口出しする

耳に挟む／小耳に挟む

歯切れがいい／歯切れが悪い（意味は反対）

口車に乗る／口車に乗せる（受動・使役）

これらの慣用句のように、ある慣用句と形式的かつ意味的に対応関係にある表現形式を

「慣用句の変異形」と呼ぶ（石田 1998）。

タイ語の慣用句は「文字通りの意味とはまた別の意味に慣用的に使用する表現をいう」と指摘されている（富田 1990 : 1806、The Royal Institute 1999）。特定の言語によらず慣用句は形式的固定性を持つという指摘がなされている（Sorsothikul 1981:1）が、変異形が存在することについての指摘はない。本研究は、変異形がタイ語の慣用句にも存在することを明らかにすることを目的とする。すなわち、日本語の慣用句に見られる変異形の分析から、タイ語における変異形を対照分析する。

2.3 先行研究

慣用句という用語は、一般に広く使われているが、その概念がはっきりしているわけではない。ただ、単語の二つ以上の連結体であって、その結びつきが比較的固く、全体で決まった意味を持つ言葉だという程度のところが、一般的な共通理解になっているであろう。専門辞典も、ほぼそういった概念規定をしている。また、慣用句は、一般の連語句（語の連結体で句としてのまとまりを持つもの）よりも結合度が高いものであるが、格言・ことわざと違って、歴史的・社会的な価値観を表すものではない（宮地 1982b : 238）。一方、重要な点として、慣用句は一般に「形式的固定性」を持つ、という指摘がなされている（Coseriu & Geckeler 1981、宮地 1982b、伊藤 1989、石田 1998）（後述の 2.3.2 参照）。

2.3.1 慣用句の分類

宮地（1982b）によると、慣用句は単語の二つ以上の連結体で、全体で決まった形と意味をもつ言葉である。

1) 隠喩的慣用句

語句の意味が別のものを指示する。このような慣用句は隠喩的慣用句と呼ぶ。次のような例がある。

- ・羽をのばす、側杖をくう、恨みをのむ

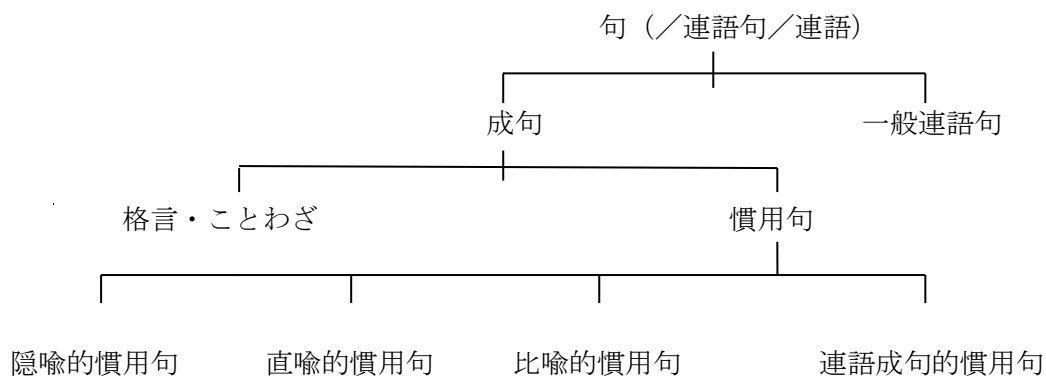


図 2-1 宮地（1982）の慣用句の分類

2) 直喩的慣用句

「直喩」の定義は、一般的には「～(の)よう」「～(の)思い」などを使うことで、比喩表現であることを表す。次のような例がある。

赤子の手をひねるように、飛ぶ鳥を落とす勢いのように、くもの子を散らす
よう、血を吐く思い、死ぬ思い、...

3) 比喩的慣用句

比喩的慣用句は個々の構成要素の意味が単に合わさったものではなく、「掛け合わされたもの」、あるいは「化学変化のように融合して新しい派生的・比喩的な意味になったもの」である。次のような例がある。

頭に来る、口が重い、肩を持つ、顔が広い、...

4) 連語成句的慣用句

慣用句は名詞から想起されることが多いが、一つの名詞からできる慣用句に使われる動詞は必ずしも一つではない。同様に、一つの動詞が異なる名詞と共にできる慣用句もある。次のような例がある。

手を染める／手を出す／手をかける
目に留める／心に留める

(宮地 1982b : 239)

前者は、一般連語句として使われることもあるが、母語話者は文脈から慣用句か一般連語句かの違いを自然に見分けられるとされる。

2.3.2 慣用句の固定性

慣用句は内的な結合度が高いことは従来から指摘されてきた(石田 1998)。しかし、例えば、慣用句は句の中の名詞をその名詞を含む複合名詞に置き換えられる場合が少なくない。例えば、「目が飛び出る」の「目」の代わりに「目の玉が飛び出る」の「目の玉」も使用できる。

2.3.3 慣用句の変異形

上記のように、形式的固定性は慣用句の特徴の一つと言われているが、全ての慣用句が形式的な変化を示さないわけではない(石田 1998 : 45)。先行研究にも、慣用句の構造・構

「プラス」「マイナス」要素の変化に関する報告が見られる。例えば、慣用句の格助詞の省略現象（宮地 1982a、1985）、自動詞・他動詞の言い換え（宮地 1982a、森田 1985）、動詞の類義語・対義語との置き換え（森田 1985）などが指摘されている。また、伊藤(1990)はドイツ語の慣用句に見られるヴァリエーション（変異形）を考察し、変異形が形成される方法には3つあり、それは1) 構成要素の交替、2) 構造の拡大・縮小、及び3) 構成要素の形態的な変化であると論じた。

また慣用句の変異形は、「語彙的変異形」と「統語的変異形」（「構造的変異形」ともいう）（石田 1998：45）という二つに分類することができる。

1. 語彙的変異形

「語彙的変異形」とは、慣用句の語彙上の構成要素が他のものと入れかわることである（石田 1998：46）。「語彙的変異形」はさらに5つに分類されている。1) 名詞の交替 2) 動詞の交替 3) 対義語 4) 使役形 5) 自動詞・他動詞、である。

2. 統語的変異形

「統語的変異形」とは、慣用句の構成要素が付加・省略される⁽¹⁾ことである。次のようなものがある。1) 名詞句への転換 2) 連体修飾語の付加 3) 連用修飾語の挿入 4) 命令表現化、意志表現化、である。（石田 1998：45）

「語彙的変異形」、「統語的変異形」は以上のように定義されている。以下にそれぞれのタイプを分析する。

2.4 慣用句の語彙的変異形のタイプ

「慣用句の語彙的変異形のタイプ」は5つに分類されている。それらは 2.4.1 名詞の交替、2.4.2 動詞の交替、2.4.3 対義語、2.4.4 使役形、2.4.5 自動詞・他動詞である。

2.4.1 名詞の交替

慣用句は、句の中の名詞をその名詞を含む複合名詞に置き換えられる場合が少なくない。次の例がある（石田 1998：47）

- (2) 目が飛び出る／目玉が飛び出る／目の玉が飛び出る
耳に挟む／小耳に挟む
鼻であしらう／鼻の先であしらう
口を合わせる／口裏を合わせる

上記の例では、「目玉が飛び出る」の「目」の代わりに「目玉が飛び出る」の「目玉」も使用できる。

以上は、名詞・複合名詞、および複合名詞と複合名詞の交替に関わる変異形の一つである。もう一つは、ほぼ同じ意味を表している変異形同士でも、構成要素である身体語彙が、何らかの意味的な関連を持っている語と交替している場合である。

- (3) 口を挟む／言葉を挟む
目に入る／視界に入る

これに対して、タイ語では、名詞の交替として、次の変異形の例がある。(4)を用いた、(4a) (4b)は全く同じ意味を表す。

- (4) hũa kòtmăay / hũa mǒɔ
 頭 法律 頭 法律者
 <何でも法律的に考える人>

- (4a) pûak níi hũa kòtmăay kan thúkkhon raw eej
 グループ この 頭 法律 お互いに 皆 我々 自分で
 chwabâan thammadaa taam kháw mâi than ròk
 村民 普通 ついていく 彼ら NEG 間に合う 感嘆詞
 <この連中は皆なんでも法律的に考えるので、素人である我々は彼らの考えについていけなかった。> (宮本 1992:1)

- (4b) pûak níi hũa mǒɔ kan thúkkhon raw eej
 グループ この 頭 法律者 お互いに 皆 我々 自分で
 chwabâan thammadaa taam kháw mâi than ròk
 村民 普通 ついていく 彼ら NEG 間に合う 感嘆詞
 <この連中は皆何でも法律的に考えるので、素人である我々は彼らの考えについていけなかった。> (宮本 1992:1 から hũa mǒɔ を改変)

2.4.2 動詞の交替

慣用句は、句の中の動詞をその動詞を含む複合動詞に置き換えられる (石田 1998 : 49)。次のような例がある。

- (5) 口を挟む／口をさし挟む

また、慣用句の中にある動詞が他の動詞に置き換えられる場合もある。この場合は上に

挙げた複合動詞の例よりも比較的多く見られる。次のような例がある。

(6) 陰口をきく／陰口をたたく

顔色を窺う／顔色を見る

お目玉を食う／お目玉を頂戴する

(石田 1998 : 49)

このように「きく」、「たたく」といった動詞自体は類義語ではないが、全体としての慣用句「陰口をきく」と「陰口をたたく」は類義関係にある。

これに対して、タイ語では、動詞の交替として、次の変異形の例がある。(7)を用いた、(7a) (7b)は全く同じ意味を表す。

(7) hǎa mǔn

頭 回る

< (働いて) キリキリ舞をする、
クラクラする、目が回る >

/

hǎa pàn

頭 回る

< 目が回るほど忙しくて、
キリキリ舞をする >

(7a) thǎe mii lúuk hǎa khon hǎa pàn thúkwan

彼女 いる 子ども 五 CL 頭 回る 毎日

< 彼女は 5 人の子どもがいるから、毎日目が回るほど忙しい。 >

(宮本 1992 : 19)

(7b) thǎe mii lúuk hǎa khon hǎa mǔn thúkwan

彼女 いる 子ども 五 CL 頭 回る 毎日

< 彼女は 5 人の子どもがいるから、毎日目が回るほど忙しい。 >

(宮本 1992 : 19 から hǎa pàn を改変)

2.4.3 対義語

動詞慣用句・形容詞慣用句では、その動詞・形容詞を反対の意味、つまり対義語の動詞・形容詞に置き換えられる (石田 1998 : 49)。

(8) 口が重い／口が軽い

口を開く／口を閉ざす (または「口を閉じる」)

歯切れがいい／歯切れが悪い

これに対して、タイ語では、対義語変異形として、以下の例がある。(9)を用いた、(9a)

(9b)は対義的な意味を表す。

- (9) hũa thúp / hũa sǎi
頭 空気が全然または充分に通らない 頭 澄む
<愚かな> <賢い>

- (9a) panhǎa níi khraikhrài kôw tham dâai yàa tham
問題 この だれでも も する 可能形 禁止形 する
pen khon hũa thúp pai nòy læy
COPU 人 愚かな 行く すこし 全然

<こんな問題はだれでも解決できるのよ。愚かな人の真似をしないで。>

(宮本 1992 : 9)

- (9b) panhǎa níi khraikhrài kôw tham mâi dâai yàa tham
問題 この だれでも も する NEG 可能形 禁止形 する
pen khon hũa sǎi pai nòy læy
COPU 人 賢い 行く すこし 全然

<こんな問題はだれも解決できないのよ。賢い人の真似をしないで。>

(宮本 1992 : 9 から hũa sǎi を改変し、否定文に変更)

これらに対して、対義の変異形が存在しない例もある。

- (10) 顔が広い / *顔が狭い、
目が高い / *目が低い

タイ語の例では、pàak khěŋ (口・堅い) はあるが、*pàak ʔòŋ (口・柔らかい) の例はなく、(11) を用いた(11a)しか表現できない。

- (11) pàak khěŋ / * pàak ʔòŋ
口 硬い 口 柔らかい
<あくまで言い張る、
頑固に言い逆らいどうしても事実を認めようとしなない>

- (11a) kháw pàak khěŋ mâi yɔɔm ráp phít ñâaiñâai
彼 口 硬い NEG 承知する 認める 誤り 簡単に

<彼はしぶとく言い逆らってなかなか誤りを認めようとしなない。>

(富田 1990 : 1095)

2.4.4 使役形

一般の動詞は、語幹に **-ase-(ru)** あるいは **-sase-(ru)** が付加された使役形で用いられるほかに、**-as-(u)** あるいは **-sas-(u)** が付けられて用いられることがある。これらを使役形の「短縮形」と呼ぶ (寺村 1982 : 285)。

- (12) 目をそらせる／目をそらす
顔を合わせる／顔を合わす

タイ語では、「**hâi**」を動詞の前におくと使役の助動詞となる (佐藤他 2006 :205)。

- (13) **hâi** **thamjaan**
(CAUS) 働く (働かせる)

タイ語は孤立語に属するため、使役でも日本語のような形態的変異形式がなく (メーターピスィット他 2001 : 84)、一つの「**hâi**」使役形のみであり、日本語のような「短縮形」、使役形の変異形はない。ちなみにタイ語の慣用句の使役形の例を次に示す。

- (14) **khăay** **nâa**
売る 顔
<恥をかく、恥ずかしい>

- (14a) **lûuk** **tông** **phayayaam** **sòp** **hâi** **dâai** **ná?** **yàa** **hâi**
子ども べき 努力 試験 ように できる よ するな 使役形
khăay **nâa** **phôw** **kàp** **mêe**
売る 顔 父 と 母
<あなたは試験に通るように一生懸命してね。お父さんとお母さんに恥をかかせないでね。 > (宮本 1992 : 21)

2.4.5 自動詞・他動詞

自動詞形・他動詞形が両者とも慣用句として使用できるものである (石田 1998 : 51)。

- (15) 目が覚める／目を覚ます
目が回る／目を回す
耳に入る／耳に入れる
口に出る／口に出す

- (18a) *thâa khâarâatchakaan khon dai thùuk chìik nâa yàanán*
 もし 役人 人 どの PAS 破る 顔 そんな
chaawbânráantalàat cà? kèp pai luuw kan lăay wan
 町の人 FUT 拾う 行く 噂する 一緒に 多くの 日
 <役人のだれかが顔を潰されると、町の人達は何日も話を広めるのだった。>
 (Chinwigai 2003:54)

このようにタイ語の慣用句は自動詞・他動詞の変異形は存在しない。

2.5 慣用句の統語的変異形のタイプ

次に慣用句の統語的変異形のタイプについて述べる。石田（2004）によると慣用句の統語的変異形のタイプは4つに分類される。2.5.1 名詞句への転換、2.5.2 連体修飾語の付加、2.5.3 連用修飾語の挿入、2.5.4 命令表現化、意志表現化である。

2.5.1 名詞句への転換

「名詞句への転換」は、慣用句の中の名詞と動詞を並び換え、本来動詞句であった慣用句を名詞句に転換する操作である（石田 2004 : 46）。

- (19) 「目を伏せる」
 …伏せた目を時々あげて司祭は相手の顔を窺う。 (石田 2004 : 46)

例に見られるように動詞慣用句が名詞句へ転換される。すると、名詞は句の主要部となり、動詞によって修飾されることになる。

これに対して、「名詞句への転換」ができない例もある。

- (20) (目を掛ける) *掛ける目 / *掛けた目 / *掛けている目
 (手を焼く) *焼く手 / *焼いた手 / *焼いている手

上記の「名詞句への転換」の操作がタイ語の慣用句にも適用できるか以下に検討する。

日本語は膠着語に属すが、タイ語は孤立語に属す。膠着語では、「実質的な意味を表す」自立語（名詞や動詞の語幹など）に「文法上の意味を表す」機能語（助詞や動詞の活用部分など）が膠でつけられたように付着して、文の中でその語の果たす役割（＝文法的機能）を表す。それに対して、孤立語は各単語がそれぞれ実質的な意味を持っていて、文

法的機能は「語順」によって表される言語である。

- (21) a. **chán** **rák** **kháw** <私は彼を愛しています。>
 私 (主語) 愛している (動詞) 彼 (目的語)
- b. **kháw** **rák** **chán** <彼は私を愛しています。>
 彼 (主語) 愛している (動詞) 私 (目的語)

上例に見られるように「**chán**」は、主語にも目的語にも同じ形で使用される。日本語の助詞のような文法的な機能を示す機能語がついたり語形が変化したりすることはない。

タイ語の関係代名詞の **thîi** を使うと2つの文章をつないだり、名詞や句を文で修飾したりすることができる。この関係代名詞 **thîi** が習慣的に省略されることもよくある (三上 2002 : 223)。これにより、名詞句化がなされると見ることができる。

次は文として使われる例である。下記のように **thîi** が省略されて使用されている。

- (22) **phǒm** **mâi** **chôp** **aahǎan** (**thîi**) **phèt** **kəənpai**
 僕 NEG 好き 料理 (関係代名詞) 辛い ~すぎる
 <僕は辛すぎる料理は好きではない。>

タイ語慣用句の例では、**pàn hǎa** のような動詞としての慣用句がある。それぞれの品詞を見てみると、**pàn** は動詞、**hǎa** は名詞である。次のような例がある。

- (23) **pàn** **hǎa**
 ねじ回す 頭
 <人の考えを自分が思う通りになるようにさせる。>

- (23a) **khun** **thùuk** **khun** **nít** **pàn** **hǎa** **maa** **rú?plàw**
 あなた PAS ~さん ニット(人名) ねじ回す 頭 来る Q
 thǔŋdāai **kliat** **khun** **nòy** **khanàatnii**
 だから 嫌う ~さん ノーイ(人名) こんなに
 <あなたがこんなにノーイさんを嫌っているのは、ニットさんがあなたにそう
 しむけた(頭を捻った)からでしょう?> (宮本 1992 : 24)

「**pàn hǎa**」慣用句の中の名詞と動詞を並び替えると、「**hǎa thîi pàn**」または「**hǎa pàn**」となる。「**hǎa pàn**」も慣用句と考えられるが、前者と同じ構成要素にもかかわらずその慣用句全体の意味が「**pàn hǎa**」の意味と異なっている。「**hǎa pàn**」の形は名詞句のように見られるが、文の中では意味上の機能は形容詞になってしまう。次のような例であ

る。

(24) hǎa pà̀n

頭 回る

<目が回るほど忙しく働く、キリキリ舞いをする>

(24a) tầntè̀e chán yáay maa yùu thîinîi hǎa pà̀n

から (出発点) 私 移る 来る いる ここ 頭 回る

thúkwán læəy

毎日 非常に

<ここに移ってきてから、毎日目が回るほど忙しい。> (宮本 1992 : 12)

以上のように「hǎa pà̀n」と「pà̀n hǎa」というタイ語の慣用句では日本語慣用句の「名詞句への転換」と一致していない。すなわち、慣用句の中の名詞と動詞を並び変えられたとしても、並び変えた後の慣用句はもとの慣用句の意味から変化してしまっているため、名詞句への転換とは言えない。

2.5.2 連体修飾語の付加

「連体修飾語の付加」は、慣用句の構成要素である名詞に連体修飾語を付加する操作である (石田 2004 : 47)

- (25) (目を向ける) [恨めしそうな]目を向ける
(足を引っ張る) [経済成長の]足を引っ張る

これに対して、「連体修飾語の付加」ができない例もある。

- (26) (お目にかかる) *きれいなお目に掛かる /
 *充血しているお目に掛かる

- (耳にする) *大きな耳にする /
 *するどい耳にする /
 *自分の耳にする

タイ語では、ものの所有や所属を表す場合、日本語の「の」に相当する「khǒŋ」とい

う語を使用する。この場合、修飾語が名詞のあとにくるので、語順は日本語と逆で、英語の of と同じである。明確に人の所有を示す場合には、「khǒŋ」を使用しないで直後に「もの」と所有者をならべる場合が多い。

(27) nǎŋsǔw khǒŋ chán

本 の 私

<私の本>

nǎŋsǔw chán

本 私

<私の本>

タイ語の慣用句では、次のような例がある。

(28) ráksǎa nâa

保つ 顔

<面子を保つ>

(28a) méewâa cà? mâi mii ŋənthɔŋ thîi cà? tham

～ても FUT NEG ある お金 関係代名詞 FUT する

kôorǔrǎa kôo yaŋtɔŋ pai yìpyuwm kháw maa

豪華 も ～なければならぬ 行く 借りる 彼 くる

phûa ráksǎa nâa khǒŋ tuaeŋ

～ために 保つ 顔 の 自分

<たとえ豪華に振舞うような金がなくとも、自分の面子を保つために金を借りて来なければならないのだった。> (Chinvigai 2003 : 51)

「ráksǎa nâa」(保つ・顔)は日本語の「面子を保つ」の意味に相当する。「ráksǎa chûwsǎŋkiattì?yót」(保つ・名誉)とも言う。この「nâa」は身体部分である顔の意味から人間の面子という意味に拡張されている (Chinvigai 2003)。このような意味で「khǒŋ tuaeŋ」(自分の)という連体修飾語が「nâa」の後に付加することができる。

2.5.3 連用修飾語の挿入

「連用修飾語の挿入」は、慣用句の動詞の直前に連用修飾語を付加する、つまり、句中に連用修飾語を挿入する操作である (石田 2004 : 48)。

- (29) (目を伏せる) 目を[哀しそうに]伏せた
 (足を引っ張る) 足を[わざと]引っ張ろうとした

これに対して、「連用修飾語の挿入」ができない例もある。

- (30) (お目に掛かる) △お目にしょっちゅう掛かっています
 (頭に来る) *頭に完全に (*全く / △すぐ) 来た

タイ語の慣用句では、次の例があるが nâa sǎa thantii は可能だが、*nâa thantii sǎa は不可である。

- (31) nâa sǎa
 顔 失う
 <失望して) がっかりして顔の、(恐怖で) 色を失った>

- (31a) khun phan kamlan dæən òk maa kàp
 さん パン (人名) 進行形 歩く 出る 来る と
phûuyǐŋ khon nán phɔɔ hǎn phanrayaa kôw nâa sǎa
 女 人 その すると 見える 奥さん そして 顔 失う
thantii
 すぐに
 <パンさんはその女と一緒に出てきたとき、奥さんを見つけて、急に色を失った。> (宮本 1992 : 17)

上記の例では、「nâa sǎa」の後に「thantii」を「付加」することはできる。しかし、「nâa sǎa」のような慣用句は連用修飾語を「挿入」することは許さない (*nâa thantii sǎa)。これは慣用句としてのまとまりがなくなるためである。言い換えれば、タイ語の慣用句は句の直後 (／直前) であれば連用修飾語を問題なく「付加」できるということである。従って、タイ語の場合には、連用修飾語の挿入ではなく、「連用修飾語の付加」操作が可能であると言える。

2.5.4 命令表現化、意志表現化

「命令表現化」と「意志表現化」は、慣用句の構成要素である動詞を命令表現や意志表現にする操作である (石田 2004 : 49)。

- (32) (足を洗う) 「三十をまちかにして、何とか足を洗おうとしはじめた…」
(石田 2004 : 49)

これに対して、「命令表現化」「意志表現化」ができない例もある。

- (33) (小耳に挟む) *小耳に挟め / *小耳に挟むな / *小耳に挟もう
(頭に来る) *頭に来い / *頭に来るな / *頭に来よう

タイ語の命令表現では、動詞を強い語調で言うと命令形になる。

- (34) 「pai」 → 「pai !」
行く 行け！ (命令)

「pai」(行く)の命令形は「pai ! (命令)」(行け!)である。
禁止の場合は「yàa」を動詞の前に付ける。これらの命令禁止を伴う。

- (35) yàa pai
否定形 行く <行くな。>

タイ語の慣用句の例を見てみよう

- (36) nâa dâan
顔 硬い
<厚顔無恥、心臓に毛の生えた>

- (36a) rúu wâa khâw mâi chhōp kōo yàa
分かる と(伝聞) 彼 NEG 好き だから 意志の否定形
nâa dâan pai hăa khâw ìik
顔 固い 行く 会う 彼 また
<嫌われていると分かっているので、恥しらずのように会いに行かない。>
(宮本 1992 : 7)。

タイ語の意志形は「tâncai (wâa)」を動詞の前に付ける。

- (37) chán tâncai cà? pai thîaw pátthayaa wanaathít ní
私 つもり FUT 行く 遊び パタヤ 日曜日 この
<私は今度の日曜日、パタヤへ遊びに行くつもりです。>

この意志形を伴うタイ語の慣用句には次のような例がある。

(38) bàak nâa

つなぎ合わせるために材木や柱の端などを斜めにそぎ取ることから意味が転じた。
<やむに止まれず恥を忍んで、この面下げて（援助などを頼みに行く）>*¹

(38a) thəə t̃aŋcaɪ bàak nâa maa hǎa khun thǔŋ thĩnĩ

彼女 つもり (*¹を参照) くる 訪ねる あなた まで ここ

kôw khon phrɔʔ mâi rúu càʔ pai khǒrɔŋ khrai

結果を表す たぶん だから NEG 分かる FUT 行く 頼む だれ

léew kramaŋ

もう だろう

<彼女が恥を忍んでここまであなたを訪ねてきたのは、多分頼める人が

他にだれもいないのでしょう。>

(宮本 1992 : 23)

2.6 考察

分析の結果を表 2-1 のようにまとめることができる。石田 (1998、2004) による研究を踏まえて、タイ語の慣用句を以下のように分析していく。

2.6.1 タイ語における慣用句の変異形

従来、言語によらず慣用句は「形式固定性」を持つという指摘がなされている (Sorsothikul 1981) が、以上により、タイ語に慣用句の変異形が存在することが証明され、語彙的変異形も統語的変異形も存在することがわかった。分析の結果を表 2-1 のようにまとめることができる。

表 2-1 慣用句の変異形の分類

	語彙的変異形			統語的変異形	
	日本語	タイ語		日本語	タイ語
名詞の交替	○	○	名詞句への転換	○	*
動詞の交替	○	○	命令表現化	○	○
対義語	○	○	意志表現化	○	○
使役形の短縮形	○	*	連体修飾語の付加	○	○
自・他動詞	○	*	連用修飾語	挿入	付加

2.6.2 慣用句の語彙的変異形の場合

- 1) 日本語にもタイ語にも存在する慣用句の語彙的変異形は 1) 名詞の交替、2) 動詞の交替、及び 3) 対義語である。
- 2) 日本語に存在するが、タイ語には存在しない慣用句の語彙的変異形は 1) 使役形と 2) 自動詞・他動詞である。

タイ語は孤立語に属するためタイ語の構造は日本語のそれと異なっている。従って、例えば、助動詞「hâi」という機能語は動詞の直前に置かれると使役を示す。この結果、タイ語では日本語のような使役の形態的形式がないために日本語のような変異形は起こり得ないと考えられる。

また、タイ語は自動詞・他動詞という機能を表す場合、多くは同じ形の動詞が使用される。自動詞としての使用と他動詞としての使用は「語順」によって示され、「語順」の固定性は高い。そのため慣用句内部の構成要素の位置を変更すると、句全体の意味が失われる。従って、日本語のように自動詞形・他動詞形が併存する慣用句が見られない。

2.6.3 慣用句の統語的変異形の場合

- 1) 日本語にもタイ語にも存在する慣用句の統語的変異形
この変異形には、1) 命令表現化、意志表現化 2) 連体修飾語の付加 3) 連用修飾語の挿入・付加がある。但し、日本語の連用修飾語は「挿入」であるが、タイ語の連用修飾語は「付加」である。
- 2) 日本語に存在するが、タイ語には存在しない慣用句の統語的変異形
この変異形は、日本語には「名詞句への転換」がある。しかしタイ語では、名詞

句へ転換する際、慣用句の中の構成要素の順序が変わることで、慣用句全体の意味のまとまりを失ってしまう。そのため、タイ語では名詞句への転換を許さない。

2.7 結語

本章では、慣用句の変異形がタイ語にも存在することを明らかにした。すなわち、日本語の慣用句に見られる変異形を分析し、更にタイ語における変異形を対照分析した。その結果、変異形がタイ語にも存在することが明らかとなった。日本語とタイ語の慣用句は語彙的変異形、統語的変異形ともに存在するが、それぞれ相違点と類似点がある。つまり、語彙的変異形の場合、両言語にも存在するタイプは 1)名詞の交替、2)動詞の交替、及び 3)対義語である。一方、日本語に存在するがタイ語には存在しないタイプは 1)使役形と 2)自・他動詞である。また統語的変異形の場合は、両言語にも存在するタイプは 1)命令表現化、2)意志表現化、3)連体修飾語の付加及び、4)連用修飾語の挿入・付加である。一方、日本語に存在するがタイ語には存在しないタイプは名詞句への転換だということが明らかになった。

本章では日本語の慣用句に存在する語彙的変異形及び、統語的変異形がタイ語の慣用句にも当てはまるかどうかを分析したが、タイ語に固有の慣用句の変異形についても今後研究を深める必要がある。また、この他に慣用句の意味に関わる固定性、及び意味的固定性の度合についても更なる検証が認められる。

章注

- (1) 原文のまま。ただし、「統語的変異形」の文中にある「省略」については、石田(1998)は触れていない。

第3章 日・タイ語の動詞慣用句の統語的階層関係

これらの慣用句のように、慣用句が文レベルで統語的な制約を受けるという特性を慣用句の「統語的固定性」と呼ぶ（石田 2001:24）。石田（2001）は慣用句の調査結果の分析を中心に、統語的操作間の階層関係を考察した。

一方、タイ語では、慣用句は「文字通りの意味とはまた別の意味に慣用的に使用する表現をいう」と定義されている（富田 1990 : 1806、The Royal Institute 1999）。Sorsothikul（1981）はタイ語だけではなく、言語によらず慣用句は形式的固定性を持つということを明らかにしたが、変異形や階層関係の存在については指摘しなかった（Sorsothikul 1981:1）。次いで、タイ語の慣用句の変異形の存在を指摘したのはカンタムパン（2012a）の研究であったが、その研究の中でタイ語における統語的な階層関係の研究についてまでは言及されなかった。そこで、本章では本研究の目的は石田（2001）の分析を踏まえつつ、タイ語慣用句の統語的操作に階層関係が見出されるかどうかを検討する。つまり、日本語の慣用句に見られる階層関係を分析し、タイ語における階層関係を対照分析することを目的とする。

3.2.2 動詞慣用句の統語的操作

慣用句は、統語的制約が強いということがよく指摘される。例えば、宮地（1982b）は慣用句の「形式上の制約」として、受身表現や否定表現などが作れないこと、慣用句に対して連体修飾語や副詞を付加・挿入できないことを挙げている。ところが、統語的制約が比較的強い慣用句もあれば比較的弱いものも認められるので、慣用句の統語的固定性は非常に幅のあることが特徴である（石田 2001 : 25）。森田（1985）は、慣用句の形態を変えることが困難であればあるほど、その句の結合度が高いと述べている。石田(2001)は慣用句の統語的制約の度合いを計る検証項目を次のように設定した。

表 3-1 動詞慣用句に対する統語的操作の階層関係

統語的操作のタイプ	統語的操作
レベル① 句の再構成を行う操作	【1】名詞句へ転換する
レベル② 文の再構成を行う操作	【2】受身表現にする
レベル③ 構成要素を他の要素と置き換える操作(1)	【3】命令表現にする 【4】意志表現にする
レベル④ 構成要素に他の要素を付加する操作	【5】連体修飾語を付加する 【6】敬語表現にする 【7】連用修飾語を挿入する
レベル⑤ 構成要素を他の要素と置き換える操作(2)	【8】肯定・否定表現にする
レベル⑥ 慣用句全体が関わる付加	【9】連用修飾語を付加する 【10】慣用句を修飾成分にする

上に設定した統語的操作のタイプは、レベル①からレベル⑥にいくにしたがって、次第

に慣用句に対する操作が行われやすくなっている。個々の慣用句についてどのような操作を許すのかを調べていくことで操作可能である統語的操作の上限を見出すことが出来る（石田 2001）。ある慣用句があるレベルの操作までを許す場合、その慣用句はその「レベルに属する」という言い方をする。その際、あるレベルに属する慣用句は原則として、それより下のレベルに含まれる操作も受けられる。石田（2001）は日本語の慣用句を対象として、上述の統語的操作を全階層で分析した。

本章では石田（2001）の分析結果を踏まえつつ、タイ語慣用句の統語的操作に階層関係が見出されるかどうかを検討する。以下は、統語的な操作を慣用句に対して加えにくいもの（レベル①）から加えやすいもの（レベル⑥）へと 6 階層に分ける。次に慣用句がある階層の操作を許したとき、それより下の階層の操作も可能かどうかを確かめる。

3.2.3 階層関係レベル①における句の再構成

3.2.3.1 レベル①における日本語慣用句

レベル①の操作は、慣用句内の構成要素である名詞と動詞を並べ換え、慣用句の統語的な機能を変化させる操作である（石田 2000 : 29）。具体的に言えば、慣用句としての動詞句を名詞句に転換する操作である。これを「句の再構成」と呼ぶことにする。例：「目を注ぐ」、「目を伏せる」、「手を打つ」などの例が適用される。

- (5) 「目を注ぐ」 → 注いだ目
「目を伏せる」 → 伏せた目
「手を打つ」 → 打った手

- (6) 「いま最終的に、かれらの党派へ向けて打つ手として、これがある！（石田 2001 : 66）

例に見られるように動詞慣用句が名詞句へ転換される。すると、名詞は句の主要部となり、動詞によって修飾されることになる。これらの慣用句はレベル①に属し、レベル②からレベル⑥の全ての操作を受けることができる。

ただし、「名詞句への転換」ができない例もある。

- (7) （手を焼く） → *焼く手 / *焼いた手 / *焼いている手
（目を掛ける） → *掛ける目 / *掛けた目 / *掛けている目

上記の「名詞句への転換」がタイ語の慣用句にも適用できるかどうか以下に検討する。

3.2.3.2 レベル①におけるタイ語慣用句

各単語がそれぞれ実質的な意味を持っている孤立語に属するタイ語の文法的機能は「語順」によって表される(堀江他 2009)。形容詞や動詞が名詞を修飾する時、名詞と修飾語が直接結びついた形と、修飾節が関係代名詞の「thii」によって導かれた形がある(三上 2002:94)。またこの関係代名詞「thii」が習慣的に省略されることもよくある。これにより、名詞句化がなされると見ることができる。次の例(8)は文中での使用例であるが、「thii」を省略されることもある。

- (8) phǒm mâi chǎp aahǎan thii phèt kǎnpai
 僕 NEG 好き 料理 (関係代名詞) 辛い ~すぎる
 <僕は辛すぎる料理は好きではない。>

更にタイ語慣用句では、「pàn hǎa」のような動詞句としての慣用句がある。それぞれの品詞を見てみると、「pàn」(回す)は動詞、「hǎa」(頭)は名詞である。(9)に見るように「pàn hǎa」(回す・頭)とは、慣用句として「人の考えを自分が思う通りになるようにさせる」と言う意味を持つ。

- (9) khun thùuk khun nít pàn hǎa maa rúplàw thǔŋdâai
 あなた PAS ~さん ニット(人名) 回す 頭 来る ですか だから
kliat khun nòy khanàatnii
 嫌う ~さん ノーイ こんなに
 <あなたがこんなにノーイさんを嫌っているのは、ニットさんがあなたにそうしむ
 けた(頭を捻った)からでしょう?> (宮本 1992: 24)

慣用句「pàn hǎa」の中で名詞と動詞を並び替えると、「hǎa thii pàn」または「hǎa pàn」となる。「hǎa pàn」も慣用句であり、前者と同じ構成要素であるにも関わらず、その意味は「pàn hǎa」の意味と異なっている。例(10)に見えるように「hǎa pàn」(頭・回る)とは「目が回るほど忙しくて働く、キリキリ舞をする」と言う意味である。

- (10) tǎntèe chán yáay maa yùu thiinii hǎa pàn thúkwan lǎey
 から(出発点) 私 移る 来る いる ここ 頭 回る 毎日 非常に
 <ここに移動してから、毎日目が回るほど忙しい。> (宮本 1992: 12)

以上のように、タイ語の慣用句「hǎa pàn」、「pàn hǎa」は日本語慣用句の「名詞句への転換」と一致していない。即ち、慣用句の中の名詞と動詞を並び変えられたとしても、並び変えた後の慣用句はもとの慣用句の意味と異なっている。故にタイ語における名詞句

への転換は容認できない。

3.2.4 階層関係レベル②における文の再構成

3.2.4.1 レベル②における日本語慣用句

レベル②は、慣用句を受身表現にする操作である。動詞慣用句が受動化する場合、通常の動詞を受動化する場合と同じように文全体の構造に変化が生じる（石田 2000：29）。慣用句を受身表現にする操作を「文の再構成」を行う操作とする。

原則として、ある慣用句がその「レベルに属する」という言い方をすると、そのレベルに属する慣用句は原則としてそれより下のレベルに含まれる操作も受けられると言える。具体的に言えば、レベル①に属する「手を打つ」（3.2.3）は「名詞句への転換」操作が可能であり、またそれより下のレベルに含まれる操作、即ち、レベル②の受身表現の操作も可能である（手を打たれる）。

(11) どんな手を打たれても屈服しないよ。

一方、「目を付ける」「手をつける」「口を利く」などはレベル②の受身表現にできる（例（12）、（13）（14））が、それより上のレベルに含まれる操作は受けられない。即ち、レベル①に含まれる「名詞句へ転換する」操作は受けられない（例（15）、（表 3-1 参照）従って、「目を付ける」「手をつける」「口を利く」はレベル②に属するとみなす。

(12) 「ほう、さすが、君だね。もうだれかに目をつけられたのか」（石田 2001：68）

(13) 山路は、復興の手もつけられていない街を見た驚きを、何度も繰り返した。
(石田 2001：68)

(14) 赤ちゃん言葉や子供をあやすような口を利かれてもあなたは我慢できますか？
(石田 2001：68)

(15) 「目を付ける」→ *付ける目／*付けた目／*付けている目
「手をつける」→ *つける手／*つけた手／*つけている手
「口を利く」→ *利く口／*利いた口／*利いている口

以上のことから、レベル①の「名詞句への転換」の操作は、レベル②の「受身表現」の操作よりも制約が強いことがわかる。

3.2.4.2 レベル②におけるタイ語慣用句

タイ語の受身文には数多くの形態があり、複雑であるが、一般的には「thùuk」、

「doon」、「daâiráp」などを動詞の前に置くと、受身の表現になる（宮本 1996 : 139）。

(16a) 被害を表す場合

khruu dàa chán

(先生 叱る 私)

<先生は私を叱った。>

chán thùuk (／doon) khruu dàa

(私 PAS(受身形) 先生 叱る)

<私は先生に叱られた。>

(16b) 恩恵を表す場合

thúkkhon lûak chán

(皆 選ぶ 私)

<皆が私を選んだ。>

chán dâairáp lûak càak thúkkhon

私 PAS(受身形) 選ぶ から 皆

<私は皆に選ばれた。>

次はタイ語の慣用句の例である。「kòt hǔa」(抑える・頭)は「頭を抑えつける」と言う意味である。「kòt hǔa」^②を受身の形にすると、「thùuk kòt hǔa」となる。

(17) tràapdai thîi yan pen khonchái kháw yùu kôo
～限り 関係代名詞 まだ である 女中 あの人 ～ている 結果を表す

tông thùuk kháw kòt hǔa yùurâmpai

～なければならない PAS あの人 抑える 頭 いつまでも

<あの人の中である限りいつまでも頭を抑えつけられなければならない。>

(宮本 1992:22 筆者一部改変)

「kòt hǔa」の他に、「pàn hǔa」(思い通りにさせる) (3.2.3) も受身表現「thùuk pàn hǔa」にできる。また「hàk nâa」(顔を潰す) (3.2.6.2.2)も受身表現「thùuk hàk nâa」に、「chiiik nâa」(顔を潰す)も受身表現「thùuk chiiik nâa」にできる。

(18) thâa khâarâatchakaan khon dai thùuk chiiik nâa yàaŋnán

もし 役人 人 どの PAS 破る 顔 そんな

chaawbânraantalàat cà? kèp pai luuw kan lăay wan

町の人 FUT 拾う 行く 噂する 一緒に 多くの 日

<役人のだれかが顔を潰されると、町の人達は何日も話を広めるのだった。>

(Chinwigai 2003:54)

既に検討してきたようにタイ語ではレベル①「名詞句への転換」の操作は行うことができない。そのため、日本語とは異なり、レベル②「受身表現」の操作との制約の強さを比較することはできない。

3.2.5 階層関係レベル③における構成要素の置き換え (1) : 命令・意志表現

3.2.5.1 レベル③における日本語慣用句

レベル③の操作は、慣用句の構成要素である動詞をモダリティ表現によって置き換える操作である。ここでいうモダリティ表現とは「命令表現」と「意志表現」のことである。本研究では肯定の命令表現だけでなく、否定の命令表現 (= 禁止表現) も「命令表現」とまとめて呼ぶことにする (石田 2000 : 30)。

次に、慣用句がある階層の操作を許したとき、それより下の階層の操作も許すかどうかを確かめる。まずはレベル①に属する「手を打つ」とレベル②に属する「口を利く」を検討する。

(19a) 「なんとか、このへんで手をうちなさいよ」 (命令表現化)

(19b) このへんで手をうとうと思った。 (意志表現化)

例 (19) において、レベル①に属する「手を打つ」は、それより下のレベル③の操作が可能である。

(20a) 「少尉ぐらいで大きな口を利くな」 (命令表現化)

(20b) 口を利こうとしたが、言葉が出なかった。 (意志表現化)

更に (20) においても、レベル②に属する「口を利く」は、それより下のレベルに含まれるレベル③の操作が可能である。

次に命令表現・意志表現を許す慣用句を観察してみよう。命令表現・意志表現を許す慣用句では、レベル①の名詞句への転換およびレベル②の受身表現が難しい、あるいは不可能であるものが多く見られる。例えば、「耳を貸す」について考察してみる。

(21a) 「そうそうおのぶさん、ちょっと耳を貸して」 (命令表現化)

(21b) …縁談がもち上がるんだけど、耳を貸そうともしないの。 (意志表現化)

彼は貸す耳を持たないように文中では可能である。

しかし、この慣用句は上のレベルである名詞句への転換も難しく、受身表現の制約も強い。こういった「耳を貸す」慣用句はレベル③に属するとみなす。

(22a) △貸す耳 / △貸した耳 / *貸している耳 (名詞句への転換)

(22b) *あいつに耳を貸されて困った。(受身表現化)

以上のことから、「命令・意志表現」の操作は「受身表現」及び「名詞句への転換」の操作よりも明らかに慣用句に対して制約が弱い、つまり、より自由に慣用句にしやすいとと言える。

3.2.5.2 レベル③におけるタイ語慣用句

以上、日本語の慣用句の命令表現・意志表現について述べた。次はタイ語の慣用句の命令表現・意志表現の順について述べる。

3.2.5.2.1 タイ語の命令表現

タイ語は動詞を強い語調で言うと命令形になる。即ち、動詞だけで命令を表すことができる (三上 2002 : 255)。または、助動詞「con」を前につけると、命令表現になる。

(23a) pai → 「pai!」、con pai
(行く → 行け! (命令))

否定の場合は「禁止表現」yaa を動詞の前に付ける。

(23b) pai → yaa pai
(命令の否定形・行く) <行くな。>

タイ語の慣用句の例では、次のようなものがある。「mút hǔa」(くぐる・頭)は「ひきこもる」に相当する。否定の命令表現「yaa mút hǔa」で表される。

(24) yaa mút hǔa yùu tèe nai bâan
命令の否定形 くぐる 頭 いる ばかり 中 家
kɛɛ yaj mâi òk pai nǎi læy ná?
きみ まだ NEG 出かける いく どこ 全然 間投詞
tǎntèe klàp maa càak mwajɲòk nǐnà?
以来 帰る 来る から (出発点) 外国 間投詞

<外国から帰ってきてからどこへも出かけない。家の中に引きこもっていないで。>
(宮本 1992:23)

3.2.5.2.2 タイ語の意志表現

タイ語の意志表現は「tâŋcai (wâa)+動詞」「～するつもりだ」で表される。例 (25) のように予定や計画、意志を表す。

(25) chán tâŋcai cà? pai thîaw pátthayaa wanaathít ní
私 つもり FUT 行く 遊ぶ パタヤ 日曜日 この
<私は今度の日曜日、パタヤへ遊びに行くつもりです。>

(26) lăŋcàak òk càak khúk léew kháw tâŋcai cà? koon hǔa
～してから 出る から 刑務所 もう 彼 つもり FUT 剃る 頭
khâw wát thanthii
入る お寺 すぐに
<彼は刑務所を出たらすぐに出家しようと思っています。>

(宮本 1992:22)

例 (26) では、意志表現「tâŋcai」と「出家する」という慣用句である「koon hǔa khâw wát」(剃る・頭・入る・お寺)を用いても文として成立することが判る。

(27) thəə tâŋcai bàak nâa maa hǎa khun thǔŋ thîinîi
彼女 つもり (下解説を参照) くる 訪ねる あなた まで ここ
kôu khon phró? mâi rúu cà? pai khǒrǒŋ khrai léew
も たぶん だから NEG 分かる FUT 行く 頼む だれ もう
kramaŋ
だろう
<彼女が恥を忍んでここまであなたを訪ねてきたのは、多分頼める人が
他にだれもいないのでしょう。>

(宮本 1992 : 23)

例(27)では、「bàak nâa」も意志表現「tâŋcai」を用いても文として成立することができる。

ちなみに、「bàak nâa」の意味は「つなぎ合わせるために材木や柱の端などを斜めにそぎ取ること」から意味が転じたもので、「やむにやまれず恥を忍んで、(援助などを)頼みに行く」という慣用句である。

以下では慣用句がある階層の操作を許したとき、それより下の階層の操作も許すと言えるかどうかを検証する。

まず、レベル①とレベル②「pàn hǔa」などを検討しよう。レベル① では、日本語と

違って、タイ語では関係代名詞「thîi」により「名詞句への転換」操作を受けられる慣用句が見当たらない。レベル②に属する「pàn hũa」(回す・頭)(人の考えを自分が思う通りにさせる)は「受身表現」の操作を受けることも、それより下のレベルの操作を受けることも可能である。

次に、レベル③意志表現の操作を行う。文の中に「tâncai」を加え、「tâncai pàn hũa」(意志表現・回す・頭)としても例文(28)のように文として成り立つ。

(28) kháv tâncai pàn hũa khun nêenɔɔn

彼 つもり 回す 頭 あなた かならず

<彼はあなたにしむけたと思うのよ。>

次に、レベル③に属する命令表現・意志表現を許す慣用句を観察してみよう。命令表現・意志表現を許す慣用句では、受身表現及び名詞句への転換が難しい、あるいは不可能であるものが多く見られる。例(29)では前出の「mút hũa」、「koon hũa khâw wát」および、「名誉を維持する」ことを意味する「kûu nâa」(3.2.6.2.2参照)(挽回する(または改正する)・顔)と「bàak nâa」を検討する。

(29a) 「mút hũa」 → 「yàa mút hũa」(否定の命令表現化)

「koon hũa khâw wát」 → 「tâncai koon hũa khâw wát」(意志表現化)

「kûu nâa」 → 「tâncai kûu nâa」(意志表現化)

「bàak nâa」 → 「tâncai bàak nâa」(意志表現化)

この慣用句は上位のレベルであるレベル①名詞句への転換の制約が強い。

(29b) 「mút hũa」 → * 「hũa mút」 / * 「hũa thîi mút」
(名詞句への転換)

「koon hũa khâw wát」 → * 「hũa koon khâw wát」 /
* 「hũa thîi koon khâw wát」
(名詞句への転換)

「kûu nâa」 → * 「nâa kûu」 / * 「nâa thîi kûu」
(名詞句への転換)

「bàak nâa」 → * 「nâa bàak」 / * 「nâa thîi bàak」
(名詞句への転換)

また、レベル②受身表現の制約も強い。次の例は非文である。

(29c) 「mút hũa」 → * 「thùuk mút hũa」(受身表現化)

- 「koon hũa khâu wát」 → * 「thùuk koon hũa khâu wát」 (受身表現化)
 「kûu nũa」 → * 「thùuk kûu nũa」 (受身表現化)
 「bàak nũa」 → * 「thùuk bàak nũa」 (受身表現化)

以上のことから、日本語と同様にタイ語の慣用句は「命令・意志表現」の操作は「受身表現」及び「名詞句への転換」の操作よりも明らかに慣用句に対して制約が弱い、つまり、より自由に慣用句にしやすいと言える。

3.2.6 階層関係レベル④における構成要素への付加

レベル④の操作は文中の共起関係(syntagmatic relations)に関わるものである。つまり、慣用句の構成要素である名詞や動詞に修飾語や敬語の接尾辞などを付加する操作である。日本語のレベル④の操作には次の三つが含まれている。連体修飾語の付加、敬語表現及び連用修飾語の挿入である。これに対して、タイ語のレベル④の操作には連体修飾語の付加と連用修飾語の付加があるが、尊敬語表現を作る操作はない。そのため、比較を行わない。

3.2.6.1 連体修飾語の付加

3.2.6.1.1 日本語の「連体修飾語の付加」

「連体修飾語の付加」は、慣用句の構成要素である名詞に連体修飾語を付加する操作である(石田 2000 : 32)。

- (30) (目を向ける) 恨めしそうな目を向ける、
 (目を光らせる) きびしい目を光らせる

これに対して、「連体修飾語の付加」ができない例もある。

- (31) (耳にする) *大きな / *するどい / *自分の 耳にする

3.2.6.1.2 タイ語の「連体修飾語の付加」

タイ語の修飾関係の原則は後置修飾関係つまり、「被修飾語＋修飾語」である。例えば、「nǎŋsǔw chán」(本 私 私の本)。その他に、ものの所有や所属を表す場合、日本語の「の」に相当する「khǒŋ」という語を使用する。この場合、修飾語が名詞のあとにくるので、語順は日本語と逆になり、英語の of と同じである。人の所有が明らかな場合には、「khǒŋ」を使用しないで直後に「もの」と所有者をただ並べる場合が多い。

(32) nǎŋsǔw (khǒŋ) chán (本・の・私) <私の本>

タイ語の慣用句では、次の (33) のような例がある。

(33) méɛwâa cà? mâi mii ŋənthɔŋ thii cà? tham
~ても FUT NEG ある お金 関係代名詞 FUT する
kôorǔrǎa kôo yaŋtɔŋ pai yìpyuwum kháw maa
豪華な も ~なければならない 行く 借りる 彼 来る
phûa ráksǎa nâa khǒŋ tuaeɛŋ
~ために 保つ 顔 の 自分
<たとえ豪華に振舞うような金がなくとも、自分の面子を保つために金を借りて来なければならないのだった。> (Chinvigai 2003 : 51)

「ráksǎa nâa」は日本語の「面子を保つ」の意味に相当する。この「nâa」(顔)は身体部分の意味から人間の面子という意味に拡張されている (Chinvigai 2003)。この文において「khǒŋ tuaeɛŋ」(自分の)という連体修飾語が「nâa」の後に付加される。

3.2.6.2 連用修飾語の付加

3.2.6.2.1 日本語の「連用修飾語の挿入」

「連用修飾語の挿入」は、慣用句の構成要素である動詞の直前に連用修飾語を挿入する、つまり、句中に連用修飾語を挿入する操作である (石田 2000 : 32)。

(34) (目を伏せる) 目を[哀しそう]に伏せた
(顔が利く) 顔が[大いに]利く

これに対して、「連用修飾語の挿入」ができない例もある。

(35) (頭に来る) *頭に完全に来た
*頭に全く来た
△頭にすぐ来た

(34)も(35)連用修飾語も慣用句の前に付加されれば、成立する

3.2.6.2.2 タイ語の「連用修飾語の付加」

タイ語の慣用句では、例 (36) 「(失望して) がっかりして顔の、(恐怖で) 色を失った」を意味する慣用句である「nâa sǎa」(顔・失う)を例にして、連用修飾語「thanthii」(す

ぐに)を付加し、検討する。

- (36) khun phan kamləŋ dæŋ òk maa kàp phûuyǐŋ
～さん パン(人名) ～ている 歩く 出る 来る と(一緒に) 女
khon nán phɔɔ hěn phanrayaa kôɔ nâa sǎa thanthii
人 その すると 見える 奥さん そして 顔 失う すぐに
<パンさんはその女と一緒に出てきたとき、奥さんを見つけて、
急に色を失った。>

(宮本 1992 : 17)

上記の例では、「nâa sǎa」の後に「thanthii」を「付加」することはできる。しかし、連用修飾語を「挿入」することは許さない(*nâa thanthii sǎa)。これは慣用句としてのまとまりがなくなるためである。言い換えれば、タイ語の慣用句は句の中に連用修飾語を「挿入」することはできないが、句の直後であれば、問題なく「付加」できるということである。従って、タイ語の場合には「連用修飾語の挿入」ではなく、「連用修飾語の付加」操作が可能である。

次に、慣用句がある階層の操作を許したとき、それより下の階層の操作も許すと言えるかどうかを検討する。上に見てきたレベル①-③の慣用句には、慣用句の構成要素への以下のような付加を許すものが多い。まず、日本語の例を見てみよう。

レベル①に属する慣用句「手を打つ」

- (37a) 強固な決意を思わせるきびしさが漂いはじめている。即位の数日後、元明はあざやかな手をうつ。授刀舎人の制度を新設したのだ。(連体修飾語の付加)
(永井路子(1994)『永井路子歴史小説全集』「書籍/9 文学」第2巻 中央公論社)

- (37b) 崩れかけ、手を早く打たないとだめになってしまう遺跡の修理代を出したこともある。

(連用修飾語の挿入) (『ボッコ』271、一部加筆)

レベル②に属する慣用句「手をつける」

- (38a) 「…どこから復旧の手をつけてよいのか途方に暮れています。」
(連体修飾語の付加)

- (38b) 手はまだ全然つけていない。(連用修飾語の挿入) (『とぶ』239、一部加筆)

レベル③に属する慣用句「耳を貸す」

(39) 耳をまともにはかさないことにしていた。(連用修飾語の挿入) (『バニ』122)

なお、「耳に入る」は連体修飾語を付加したり、連用修飾語を挿入したりすることも可能である。

(40a) 昨夜、そのことが遊びに来た香代子の耳に入った。(『男と』435)

(40b) …という言葉が、既に二度も會田の耳にもきれぎれにはいつてきた。(『真。空』285)

ところが、この慣用句は上の階層の命令・意志表現及び受身表現にすることができない。名詞句への転換も不可能である。そのため、この慣用句はレベル④に属することが判る。

- (40c) ① (名詞句) *入る耳 / *入った耳
② (受身) *耳に入られる
③ (命令) *耳に入りなさい / *耳に入らないで
④ (意志) *耳にしよう

以上の考察から、レベル④に含まれる操作は、レベル①~③の操作に比べると、慣用句に対して制約が弱い操作だと言える。つまり、レベル①~③の操作を許す慣用句は原則として、さらにレベル④の操作を許す。またレベル①~③の操作を許さない慣用句でもレベル④の操作は許すといったものが存在する。「耳に入る」のほかに、「口に合う」、「口に出す」、「目に入る」、「目に入れる」、「手を焼く」などがあるが、このような慣用句がレベル④の慣用句として分類される。

次に、タイ語慣用句の統語的階層関係について同様のことを考察していく。

レベル①では、日本語と違って、タイ語では関係代名詞「thii」により「名詞句への転換」操作を受けられる慣用句が見当たらない。

レベル②に属する「顔を潰す」という意味をもつ慣用句「hàk nâa」(折れる・顔)は「連用修飾語の付加」の操作を行うことができる。

- (41) kàət maa phâŋkhəəy hěn khunnŭu sui thùuk
生まれる 来る ~たばかり 見る お嬢さん スイ (人名) PAS
hàk nâa pen khraŋrêek
折れる 顔 である 初めて

(<http://ling.arts.chula.ac.th/tnc2/>) [PRNV111]

<スイお嬢さんが生まれて初めて、顔を潰されたところを見ました。> (筆者訳)

レベル③に属する「名誉を維持する、名誉を挽回する、顔を立てる」という意味を持つ慣用句「kûu nâa」(挽回する(または改正する)・顔)も「連体修飾語の付加」の操作を行うことができる。

(42) thəə pen lûuk kàtanyuu cwŋ ɣɔɔm tham thúkyàaŋ

彼女 である 子供 親孝行 だから 承知する やる 全部

phûa chûay kûu nâa bì?daa maandaa wái

ために 手伝う 挽回する 顔 父親 母親 ~ておく

<彼女は親孝行だから、親の名誉を挽回するためなら何でもする。>

(宮本 1992 : 20)

なお、「kûu nâa」の他に「ráksǎa nâa」、「nâa sǎa」もレベル③に属する慣用句である。レベル④に属する「面目をほどこす、褒められる」の意味を持つ慣用句「dâai nâa」(得る・顔)と、「恥をかく、恥ずかしい」の意味を持つ「khǎay nâa」(売る・顔)においても「連用修飾語の付加」の操作を受けられる。

(43a) phǒm ùtsàa tham sǎa welaa tâŋ hâa pii tɛɛ kháv

僕 せっかく やる かかる 時間 も 五 年 しかし 彼

dâai nâa pai khondiaw

得る 顔 いく 一人

<私は5年間もかかってしまったのに、彼一人だけほめられた。>

(宮本 1992 : 22)

(44a) thâa phǒm thùuk càpsài kuncɛɛmwu pai phóp khonrúucàk

もし 僕 させる 填める 手錠 行く 会う 知り合い

phǒm khonj khǎay nâa kháv yɛɛlɔəy

僕 多分 売る 顔 その人 大変

(<http://horo.teenee.com/horo-karma-51.html>)

<もし僕が手錠を填めさせられて知り合いに会いに行くのなら、僕は**大変恥を**かくでしょう。>

(筆者訳)

レベル④には「dâai nâa」「khǎay nâa」などがある。これらの慣用句では受身表現、意志表現・命令表現、名詞句への転換といった操作への制約は強い。

- | | | |
|-------|---------|-------------------------------|
| (43b) | ① (名詞句) | * 「 <u>nâa dâai</u> 」 |
| | ② (受身) | * 「 <u>thùuk dâai nâa</u> 」 |
| | ③ (命令) | * 「 <u>yàa dâai nâa</u> 」 |
| | ③ (意思) | * 「 <u>tàncai dâai nâa</u> 」 |
| (44b) | ① (名詞句) | * 「 <u>nâa thui khăay</u> 」 |
| | ② (受身) | * 「 <u>thùuk khăay nâa</u> 」 |
| | ③ (命令) | * 「 <u>yàa khăay nâa</u> 」 |
| | ③ (意志) | * 「 <u>tàncai khăay nâa</u> 」 |

タイ語の慣用句で、レベル④に含まれる操作は、レベル②ーレベル③の操作に比べると、慣用句に対して統語的制約が弱い。つまり、より慣用句に対して行い易い操作だと言える。

3.2.7 階層関係レベル⑤における構成要素の置き換え (2) : 肯定・否定表現

3.2.7.1 レベル⑤における日本語慣用句

レベル⑤の操作は慣用句の構成要素である動詞をモダリティ表現で置き換える操作である (石田 2000:33)。日本語の場合を考察して行く。

慣用句がある階層の操作を許したとき、それより下の階層の操作も許すと言えるかどうかを確かめる。

- (45) ①に属する「手を打つ」 → 手を打たない
 ②に属する「手をつける」 → 手をつけない
 ③に属する「足を洗う」 → 足を洗わない
 ④に属する「耳に入る」 → 耳に入らない

上記のレベル①～レベル④の慣用句の他にも、自由に肯定・否定表現で言い換えられるものが多く見られる。例えば、「耳にする」を見てみよう。

- (46a) 尾張出身の人ならば、反対させられそうなものと気をつけているが、まだそういう話も耳にしないので、単に一説として自分の知っていることだけを並べてみる。
 (柳田國男(2004)『毎日の言葉』教育出版)

しかし、「耳にする」は、レベル④より上の階層の操作が受けにくい、もしくは受けられない。「耳にする」を以下に検討してみよう。「耳にする」はレベル⑤に属する。

- (46b) ① (名詞句) *する耳 / *している耳
 ② (受身) *耳にされる
 ③ (命令) *耳にしなさい / *耳にしないで
 ③ (意志) *耳にしよう
 ④ (連体・付加) *自分の耳にする / *するどい耳にする
 ④ (連用・挿入) *耳に偶然した
 ④ (敬語) *お耳にする

「肯定・否定表現」は「名詞句への転換」、「命令表現」、「連体修飾語の付加」など、レベル①～④の操作と比べて慣用句に対して統語的制約が弱い。つまり、慣用句により行い易い操作だと言うことができる。

3.2.7.2 レベル⑤におけるタイ語慣用句

タイ語の否定文は動詞の前に「mâi」、「mâi dâai」等をつける。「mâi+動詞・形容詞」は状態や動作を否定する場合の表現である。「mâi dâai+動詞・形容詞」は、動作や状態が成立・実現するに至らないことを表す (三上 2002 : 102)。

- (47a) prûṅnii phǒm mâi wâaṅ
 明日 僕 NEG 暇な
 <明日私は暇ではありません。>

- (47b) phǒm mâidâai thamṅaan mûawaannii
 私 NEG (否定形) 働くきのう
 <私はきのう働きませんでした。>

タイ語の慣用句「姿が見えなくなる」ことを意味する「hăay nâa」(消える・顔)を例(48a)で、「顔を合わせる、逢着する、顔向けする」ことを意味する「sûu nâa」(立ち向かう・顔)を例(49a)で考察する。「hăay nâa」(消える・顔)の否定形は「mâidâai hăay nâa」である。

- (48a) min bòk mâidâai hăay nâa pai nǎi
 ミン(人名) 言う 否定形 消える 顔 いく どこ

(<http://www.igossip.com/?p=38293>)

<ミンはどこへも行かない、姿が見えなくなると言っていました。>

(筆者訳)

「sûu nâa」(立ち向かう・顔)の否定形は「mâi sũu nâa」である。

(49a)	méecà	khəəy	pen	kennam	móp	tàŋsĩikan
	ても	～たことがある	である	主唱者	デモンストレーション	色分け
	maakòŋ	tèe	wanníi	tháj	nátthawút	săikûa
	以前	しかし	今日	も	ナットウット・サイクア(人名)	の
	phákphûathai	lé	sõmsàk	kosăisùk	hèŋ	
	タイ貢献党(プアタイ党)	も	ソムサック・コサイスック(人名)	の		
	phákkaanmwaŋmài	klàp	tõŋ	maa		
	新政党(ガン・ムアン・マイ党)	かえって	～なければならない	くる		
	sũam	mùak	santaakóot	sài	sûa	sĩichomphuu
	かぶる	帽子	サンタクロース	着る	シャツ	ピンク
	nai	khây	oprom	làksùut	kaan	phátthanaa
	中	合宿	研修	講座	こと	展する
	tàŋkhontàŋ	<u>mâi</u>	<u>sũu</u>	<u>nâa</u>	kan	
	別々	否定形	立ち向かう	顔	～合う	

(<http://www.facebook.com/reddemocracy/posts/239421162795626>)

<貢献党のナットウット・サイクア氏と新政党のソムサック・コサイスック氏は互いに対立する派閥でデモの主唱者を務めたことがある。今日二人はお揃いのサンタクロースの帽子をかぶりピンク色のシャツを着て来なければならなかった。しかし、政治発展のための研修会においても、お互いに顔を合わせることはなかった。> (筆者訳)

慣用句の階層関係の原則として慣用句がある階層に所属する時、それより上の階層の操作は許さない。「hây nâa」(消える・顔)を、「sũu nâa」を以下に検討した。次のような時、「hây nâa」、「sũu nâa」はレベル⑤に属すると言える。

- | | | | |
|-------|---|---------|--|
| (48b) | ① | 名詞句) | * 「nâa <u>hây</u> 」 / * 「nâa thĩi <u>hây</u> 」 |
| | ② | (受身) | * 「thũuk <u>hây</u> nâa」 |
| | ③ | (命令) | * 「cõŋ <u>hây</u> nâa」 |
| | ③ | (意志) | * 「táncai <u>hây</u> nâa」 |
| | ④ | (連体・付加) | * 「 <u>hây</u> nâa khõŋ chán」 |
| | ④ | (敬語) | なし |
| | ④ | (連用・挿入) | * 「 <u>hây</u> thanthĩi nâa」 |

(49b) ① (名詞句)	* 「 <u>nâa s̄u</u> 」 / * 「 <u>nâa th̄i s̄u</u> 」
② (受身)	* 「 <u>th̄uuk s̄u nâa</u> 」
③ (命令)	* 「 <u>coŋ s̄u nâa</u> 」
③ (意志)	* 「 <u>t̄aŋcaj s̄u nâa</u> 」
④ (連体・付加)	* 「 <u>s̄u nâa kh̄oŋ ph̄oŋ</u> 」
④ (敬語)	なし
④ (連用・付加)	* 「 <u>s̄u nâa th̄anthii</u> 」

以上の考察をもとに、「肯定・否定表現」は「名詞句への転換」、「命令表現」、「連体修飾語の付加」など、レベル①～④の操作と比べて慣用句に対して統語的制約が弱い、つまり、より慣用句に対して行い易い操作だと言うことができる。

3.2.8 階層関係レベル⑥における慣用句全体に関わる付加

レベル⑥には、「慣用句の修飾成分化」及び「連用修飾語の付加」といった操作が含まれている。

3.2.8.1 慣用句の修飾成分化

「慣用句の修飾成分化」は、慣用句が修飾成分として名詞（句）に付加される操作である。

(50) 「いつも顔を合わせる男子学生や女子学生」などである。

例(50)に見るように、この操作をする時、「顔を合わせる」という慣用句自体が「男子学生や女子学生」に対して修飾する成分になる。

3.2.8.1.1 日本語慣用句の「慣用句の修飾成分化」

日本語では、レベル⑥の操作はレベル④の操作と同様、文中の共起関係に関わるものである。しかし、レベル④の操作は慣用句の構成要素に他の要素を付加するといった操作であるのに対して、レベル⑥には慣用句全体に他の要素が付加する操作や、慣用句全体を他の要素に付加する操作が含まれる（石田 2000 : 35）。「連用修飾語の付加」においては、慣用句は被修飾成分であり、それに修飾成分が付加される形となるが、「慣用句の修飾成分化」においては逆に、慣用句自体が修飾成分になり、被修飾成分である名詞（句）に付加される。しかし、ここでは、両方とも慣用句全体が関わっている点から、同じタイプのものとみなす。「慣用句の修飾成分化」の用例は以下の通りである。

- (51) レベル① この案で手を打つ人、
 レベル② 乱暴な口をきく者、
 レベル③ 政治家の言葉には耳を貸さない者、
 レベル④ ふと耳にはいった言葉、
 レベル⑤ 初めて耳にする名前

ところで、レベル⑥連用修飾語の付加、連体修飾成分として名詞（句）に付加できる慣用句で、レベル①～⑤の操作を受けられないものがある。例（52）「頭に来る」の用例を見てみよう。

- (52a) いいかげん頭にきた頃、やっと節子が着替えをもってきた。 (『死に』 41)
 (52b) まったく、頭に来る馬鹿が多い。 (『狂気』 89)

「頭に来る」は以上のように連用修飾語の付加、連体修飾成分になったりすることができるが、それより上の含まれる階層の操作を受けられない。

- (52c) ① (名詞句) *来る頭 / *来ている頭
 ② (受身) *頭に来られる
 ③ (命令) *頭に来なさい / *頭に来るな
 ③ (意志) *頭に来よう
 ④ (連体・付加) *大きな頭に来る
 ④ (敬語) *お頭に来る / *頭においでになる
 ④ (連用・挿入) *頭に完全に来る
 ⑤ (肯定・否定) △頭に来ない / △頭に来なかった

以上のことから「頭に来る」はレベル⑥に属することが判る。レベル⑥の操作は、レベル①—⑤の操作に比べると、慣用句に対して統語的制約が弱い、つまり、より慣用句に対して用いやすい操作と言える。

3.2.8.1.2 タイ語慣用句の「慣用句の修飾成分化」

タイ語では、形容詞や動詞が名詞を修飾する関係で結ばれるときには、名詞と修飾語が直接結びついた形と、修飾節が関係詞の「*thǎi*」によって導かれた形がある（三上 2002:94）。つまり、「連体修飾語の付加」においては「被修飾語（慣用句）＋「*thǎi*」＋修飾語」という形になる。それとは逆に、「慣用句の修飾成分化」においては「被修飾語（＋「*thǎi*」）＋修飾語（慣用句）」という順になる。つまり、慣用句自体は修飾成分になり、被修飾成分である名詞（句）の直後に置かれる。次に「慣用句の修飾成分化」の用例を示す。

(53) 「sadùt taa」(著しい・目) <目につく>

pen pâay thii sadùt taa mâak khít wâa nâacà?

である 看板 関係代名詞 著しい 目 とても 思う と きっと

rúu naithanthii

分かる すぐに

<目につく看板だから、すぐにわかると思います。>

(Neancharoensuk 2009 : 21)

慣用句「sadùt taa」(目につく)は名詞「pâay」(看板)を修飾する。つまり、修飾成分となる。

3.2.8.2 連用修飾語の付加

3.2.8.2.1 日本語慣用句の「連用修飾語の付加」

これまで見たように、「連用修飾語の付加」は慣用句の直前に連用修飾語を置くということである(石田 2000 : 35)。

(54) 「迂闊に手を出す」、運ばれてくる皿にほとんど手をつけず…」。

3.2.8.2.2 タイ語慣用句の「連用修飾語の付加」

すでに 3.2.6.2 では「連用修飾語」について述べた。日本語には「連用修飾語の挿入」操作がある。これに対してタイ語は「連用修飾語の挿入」ではなく、「連用修飾語の付加」操作が可能であった。タイ語の慣用句は句の直後(直前)であれば連用修飾語を問題なく「付加」できるということである。つまり、タイ語はレベル⑥の「連用修飾語の付加」はレベル④の「連用修飾語の付加」と同じであり、レベル④に分類することにする。

一方、タイ語は形容詞や動詞を修飾する成分(副詞的修飾語)には、副詞、前置詞句、数量名詞などがある。例(55)のように形容詞はそのままの形で副詞として動詞を修飾することができる(三上 2002 : 98)。

(55) kháw dæ̀n cháa 彼・歩く・ゆっくり) <彼はゆっくり歩いた。>

また慣用句は動詞(句)を修飾することができる。これにより、「連用修飾語の付加」がなされると見ることができる。つまり、慣用句自体は修飾成分になり、被修飾成分である動詞(句)の直後に置かれる。

(56) 「nâa hêeη」(顔・乾く) <ひもじさで(または失望して) やつれ果てた顔をする>

trɔŋ thùuk dù? sákphák dəən nâa hêeη òk maa
トロン(人名) PAS 叱る しばらく 歩く 顔 乾く 出る 来る

(<http://www.thairath.co.th/ent/novel/tawipob/ch1>)

<トロンは叱られて、しばらくしてやつれ果てた顔をして歩いてきた。>

「nâa hêeη」は連用修飾語の付加をしたりすることができるが、それより上のレベルの操作を受けられない。次に「nâa hêeη」を下記に検討してみよう。「nâa hêeη」はレベル⑥に属するとみなす。

(56a) ① (名詞句) * 「nâa thîi hêeη」

日本語と違って、タイ語では関係代名詞「thîi」により「名詞句への転換」操作を受けられる慣用句が見当たらない。

- ② (受身) → * 「thùuk nâa hêeη」
- ③ (命令) → * 「cɔŋ nâa hêeη」
- ③ (意志) → * 「táncaɪ nâa hêeη」
- ④ (連体・付加) → * 「nâa hêeη khɔ̌ŋ chán」⁽¹⁾
- ④ (連用・付加) → * 「nâa hêeη bɔ̌y」⁽²⁾
- ⑤ (肯定・否定) → * 「mâi nâa hêeη」

レベル⑥に含まれる操作は、レベル①~⑤の操作に比べると、慣用句に対して統語的制約が弱い、つまり、より慣用句に用い易い操作と言える。

3.3 結語・今後の課題

本章では、タイ語慣用句の統語的操作に階層関係が見出されるかどうかを検討した。即ち、日本語の慣用句に見られる全階層の階層関係を分析し、タイ語における全階層の階層関係と対照分析することを目的とした。その結果、慣用句の統語的操作の階層関係がタイ語にも存在することが明らかとなった。更に、日本語・タイ語の慣用句は統語的操作のタイプが同じではないことが分かった。

表 3-2 日本語動詞慣用句の統語的操作の階層関係

慣用句	[1]	[2]	[3]	[4]	[5]	[6]	[7]	[8]	[9]	[10]
手を打つ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
目を注ぐ	○	○	△	△	○	×	△	△	○	○
目を伏せる	○	○	○	○	△	△	○	○	○	○
手を着ける	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
目を付ける	×	○	○	○	△	○	○	○	○	○
口を利く	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
足を洗う	△	△	○	○	○	△	○	○	○	○
耳を貸す	△	×	○	○	×	○	○	○	○	○
口に出す	×	×	△	△	△	○	○	○	○	○
耳に入る	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○
顔が利く	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○
口に合う	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○
耳にする	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○
頭に来る	×	×	×	×	×	×	×	△	○	○

石田(2001)を一部改変

- | | | |
|---------------|-------------|-------------|
| [1]名詞句への転換 | [2]受身表現化 | [3]命令表現化 |
| [4]意志表現化 | [5]連体修飾語の付加 | [6]敬語表現化連用 |
| [7]連用修飾語の挿入 | [8]肯定・否定表現化 | [9]連用修飾語の付加 |
| [10]慣用句の修飾成分化 | | |

石田(2001)による日本語慣用句の研究を踏まえて、タイ語の慣用句を分析すると以下のようによまとめることができる。

- | | | |
|-------------|-------------|--------------|
| [1]名詞句への転換 | [2]受身表現化 | [3]命令表現化 |
| [4]意志表現化 | [5]連体修飾語の付加 | [6]敬語表現化連用 |
| [7]連用修飾語の付加 | [8]肯定・否定表現化 | [9]慣用句の修飾成分化 |

表 3-3 タイ語動詞慣用句の統語的操作の階層関係

	[1]	[2]	[3]	[4]	[5]	[6]	[7]	[8]	[9]
kòt hũa (抑える・頭) 「頭を抑えつける」	×	○	○	○	○	×	○	○	○
pàn hũa (頭・回る) 「目が回るほど忙しくて働く、キリキリ舞をする」と言う意味である。	×	○	○	○	○	×	○	○	○
chiik nũa (破る・顔) ＜顔を潰す＞	×	○	○	○	○	×	○	○	○
nũa dũa (顔・硬い) ＜厚顔無恥、心臓に毛の生えた＞	×	×	○	○	○	×	○	○	○
òk nũa (出る・顔) ＜表面に出る＞	×	×	○	○	○	×	○	○	○
mút hũa (くぐる・頭) ＜ひきこもる＞	×	×	○	○	○	×	○	○	○
koon hũa khũa wát (剃る・頭・入る・お寺) ＜出家＞	×	×	△	○	○	×	○	○	○
kũa nũa (挽回する(または改正する)・顔) ＜名誉を維持する、名誉を挽回する、顔を立てる＞	×	×	○	○	○	×	○	○	○
bàak nũa ⁽³⁾	×	×	○	○	○	×	○	○	○
nũa sũa (顔・失う) ＜(失望して)がっかりして顔の、(恐怖で)色を失った＞	×	×	○	○	○	×	○	○	○
ráksũa nũa (保つ・顔) ＜面子を保つ＞	×	×	△	○	○	×	○	○	○
khũa nũa (売る・顔) ＜恥をかく、恥ずかしい	×	×	×	×	○	×	○	○	○
dũa nũa 「面目をほどこす、褒められる」	×	×	×	×	○	×	○	○	○
hũa nũa (消える・顔) ＜顔を合わせる、逢着する、顔向けする＞	×	×	×	×	×	×	×	○	○
sũa nũa (立ち向かう・顔) ＜顔を合わせる、逢着する、顔向けする＞	×	×	×	×	×	×	×	○	○
nũa hũa (顔・乾く) ＜ひもじさで(または失望して)やつれ果てた顔をした＞	×	×	×	×	×	×	×	×	○

(筆者作成)

3.3.1 タイ語における慣用句の統語的操作には階層関係が存在する

従来、言語によらず慣用句は「形式的固定性」を持つという指摘がなされているが、本章では、慣用句の変異形について検討し、タイ語に慣用句の統語的操作の階層関係が存在することを明らかにした。

3.3.2 統語的操作のタイプ

3.3.2.1 日本語にもタイ語にも存在する慣用句の階層関係の操作

この階層関係には 1) 受身表現化 2) 命令表現化 3) 意志表現化 4) 連体修飾語の付加 5) 肯定・否定表現化 6) 連用修飾語の付加 (レベル④) 7) 慣用句の修飾成分化 がある。

3.3.2.2 日本語に存在するが、タイ語には存在しない慣用句の階層関係の操作

この階層関係の操作には 1) 名詞句への転換 2) 尊敬表現化 3) 連用修飾語の挿入・付加 がある。まず、レベル①の「名詞句への転換」の場合、日本語の慣用句では名詞句への転換が可能である場合がある。レベル①の操作は、慣用句内の構成要素で名詞と動詞が並べ換えられ、その結果、慣用句の統語的な機能が変化するという操作である (石田 2000 : 29)。これを「句の再構成」と見なした。例えば、「目を伏せる」→「伏せた目」などである。

タイ語では一般的な句においても「thii」などを用いることで名詞句への転換の操作ができる。形容詞や動詞が名詞を修飾する関係で結ばれるときには、名詞と修飾語が直接結びついた形と、修飾節が関係詞「thii」によって導かれた形がある (三上 2002:94)。しかし、この関係代名詞「thii」は習慣的に省略されることもよくある。例えば、一般の単語の句である「dùum náam」(飲む・水) → 「náam (thii) dùum」と言い換えることができる。

しかし慣用句に対しては「thii」により名詞句へ転換することは許されない。慣用句の場合、「tit muu」(付く・手) (持つ、携帯する) → 「*muu (thii) tit」などとなり、非文となる。また慣用句の中の名詞と動詞を並び変えられたとしても、並び変えた後の慣用句はもとの慣用句の意味と異なってしまう。日本語と異なり、タイ語では、慣用句の構成要素の語順が変わることにより慣用句全体としての意味を失ってしまうため、名詞句への転換を許される慣用句はない。

次にレベル④の「尊敬表現化」の場合、タイ語では孤立語に属するため尊敬を表す「お〜になる」のような日本語の形式を持たない。

また同じレベル④の「連用修飾語の挿入・付加」の場合、日本語と異なりタイ語では連用修飾語を「挿入」することは許さない。これは語順が変わり慣用句としてのまとまりがなくなるためである。しかしタイ語では連用修飾語を「付加」することはできる。これはレベル④「構成要素への付加」に関わる操作である。

さらに、「連用修飾語の付加」は、タイ語では上のようなレベル④「構成要素への付加」という操作のみならず、レベル⑥「慣用句全体に関わる付加」という操作を行うこと

でも理解できる。つまり、レベル④では慣用句自体の構成要素である動詞の直後に連用修飾語を付加する。これに対して、レベル⑥では慣用句自体が修飾成分になり、被修飾成分である動詞（句）の直後に置かれる。

以上、日本語慣用句の統語的操作を用いてタイ語の慣用句に対してもそれらの操作を受けられるか否かを分析した。今後の課題としては、タイ語に固有の統語的操作についても研究を深めるべきだと考える。慣用句の可能形、また授受表現についてどのレベルに入るかわからない。細かく研究する必要があると思われる。

章注

- 1) * 「nâa hêeη khǒη chán」 は個々の語の意味を合わせて「私の乾燥した顔」という意味に解釈できる。しかし、慣用句とする全体の固有の意味には解釈できない。
- 2) * 「nâa hêeη bỳ」 は個々の語の意味を合わせて「よく顔（の皮膚）が乾燥している」という意味に解釈できる。しかし、慣用句とする全体の固有の意味には解釈できない。
- 3) * 「bàak nâa」は「止む止まれず恥を忍んで、（援助などを）頼みに行く」という意味であり、「つなぎ合わせるために材木や柱の端などを斜めにそぎ取ること」から意味が転じた。

第4章 日・タイ語の慣用句の意味分析の対照研究

第4章 日・タイ語の慣用句の意味分析の対照研究

4.1 日・タイ語の慣用句の意味分析—分析方法—

第4章では、それぞれの動詞や慣用句間の違いを弁別する意味特徴を明らかにする。そのためにまず共通の意味を持つ語を集めた「語彙の場」を設定し、さらに前章で行った「置き換えテスト」や「副詞（句）との共起のテスト」といった操作を行う。「副詞（句）との共起のテスト」とは、まず対象の語について何らかの意味特徴を仮定し、その意味特徴を含む副詞（句）と対象の語との共起可能性を調べるものである。テストの結果に基づいて動詞・慣用句の意味の「成分分析」を行い、弁別の意味特徴を抽出し、分析を行う。この分析の方法は、以下の手順である。

- 1) 対象の語の用例を収集し、考察する。
- 2) 「置き換えのテスト」、「副詞（句）との共起のテスト」などの操作を行う。
- 3) これらの語を二つずつ比較・検討する。
- 4) 用例の確認は、日本語母語話者3名に日本語、タイ語母語話者3名にタイ語について依頼し、3人とも一致した答えを選択する。（詳細は参考資料245頁を参照されたい）
- 5) この調査の結果をもとに各語の個別に関わる弁別の意味特徴を抽出する。

4.2 日・タイ語の慣用句の意味分析—動詞慣用句と一般動詞—を中心に

上記の意味分析方法で、日・タイ語の慣用句の意味を対照分析する。《驚き》《聴覚活動》《所有・取得》に関しては石田（2001）の研究結果がタイ語でも当てはまるか検討するものであり、《怒り》に関してはIshida(2004)の研究を再検討し、さらに、タイ語との比較対照をして言語の違いについて考察する。

4.3 日・タイ語慣用句の対照的意味分析——《驚き》を中心に——

4.3.1 背景と目的

慣用句は句を構成する個々の語の意味の積み重ねとは異なり、句全体の固有のものとして扱われている（宮地 1982、村木 1991 など）。伊藤(1989) や村木 (1985、1991) によって、慣用句に「語彙性」という特性があると考えられている。「語彙性」とは、慣用句が二つ以上の単語の組み合わせであるにも関わらず、形式的にも意味的にも固定しており、句全体で単語と同じ振る舞いをするのである。このことは、慣用句が一般に他の単語との交替ができることからわかる。

- (1) 大事にしてくれた姉でした。当然、私たちは仲が良かったのです。でも、姉はわたしたちにも腹を立てている／怒っているのでしょうか？今は、どんな気持ちでいるのでしょうか？

(Yahoo!知恵袋／健康、美容とファッション／恋愛相談、人間関係の悩(2005年))

しかし慣用句の中には、単語との交替が不可能なものもある。しかし、このような他の単語と交替が不可能な慣用句は日本語の慣用句全体のごく一部である。単語との交替が可能な慣用句の方が圧倒的に多い。例えば、「頭に来る／怒る」、「腹を立てる／怒る」、「舌を巻く／驚く」、「目を見張る／驚く」などである。石田(2003)はこれらの慣用句は単語と対等の語彙単位であるとみなす。例えば、「驚く」の類義語にはこの2語の他にも、「目をむく」、「目の玉が飛び出る」、「肝を冷やす」、「肝を潰す」など複数の慣用句が見られるが本研究では、石田(2003)のあげた2語との対象を採用する。ある一つの慣用句の意味を分析するために、これと同じ「語彙の場」に属する他の語、つまり何らかの共通の意味を持っている他の慣用句や単語と比較し、これらの区別に関わっている弁別的意味特徴を一つずつ明らかにした。

- (2) 岩の軽業師の別名に背かず、その天賦のバランスには(舌を巻く／目を見張る／おどろく)ものがあつた。(「舌を巻く」=『夢の』:41)

上の置き換えた文は、意外な事に直面して驚いたというほぼ同じ内容を表している。つまり、「舌を巻く」、「目を見張る」、「驚く」との間には「共通の意味特徴」を持っていると考えられる。この「共通の意味特徴」を《驚き》と呼ぶことにする。(本研究では、共通の意味特徴は《 》で示す。意味特徴である《驚き》と一般動詞である「おどろく」は分別して用いる。弁別の意味特徴は< >で示す。)以下の用例は石田(2001)からのものである。

また、この三つの語は《驚き》を表す動詞慣用句・一般動詞が構成する「語彙の場」も所有している(石田 2003 : 3)。ところが、「舌を巻く」、「目を見張る」と「おどろく」は例(2)のように相互に置き換えられると言っても、全く同じ意味を表すわけではなく、意味上の差異を含んでいる。石田(2003)はこの意味的な差異を弁別の意味特徴として把握した。

タイ語にも《驚き》の「語彙の場」を構成する慣用句と一般動詞が存在する。しかし、これらを弁別する意味特徴の分析はこれまでほとんどなされていない。そこで本研究では、タイ語の慣用句における《驚き》の「語彙の場」を設定し、意味分析を行う。慣用句「**taa kháaj** (目・止まったまま)」、「**tua sán** (体・震える)」と一般動詞「**tòkcai** (驚く)」を取り上げて、これらの意味特徴の弁別的差異を把握することを目的とする。さらに、その結果を用いて日本語とタイ語との対照研究を行う。

まず、課題となる語の用例を収集し、考察する。次に「置き換えテスト」、「ただ～だけの挿入テスト」などのテストを用いて、これらの語を二語一組ずつ比較検討する。また複数の母語話者に用例の容認性を調査し、この調査の結果をもとに各語の区別に関わっている弁別的意味特徴を抽出する。

容認性の判定は次の記号をもって示す。

- 記号なし …………… 問題なく言える。普通に言える。
△ …………… 可能かもしれないが、普通は言わない。
※母語話者間で揺れがあったものも「△」で示す。
* …………… 非文

4.3.2 日本語の慣用句「舌を巻く」「目を見張る」と動詞「おどろく」の比較対照

4.3.2.1 「舌を巻く」と「目を見張る」

石田（2003）は「舌を巻く」と「目を見張る」を取り上げ、これらの弁別的な意味特徴を抽出した。下記の文脈において「目を見張る」と「舌を巻く」は「おどろく」に置き換えが可能で、「意外な物事に直面して驚いた」というほぼ同じ内容を表している。

- (3) 北がもう一つ {目を見張った／舌を巻いた} のは、呉の測候所の観測記録に関する次のような記述であった。（「目を見張った」=『空白』:391）

しかし、この二つの句をよく観察すると次のような意味の違いを明らかにすることができ。「目を見張った」は、呉の測候所の記述の内容やその詳細さなど「記述」そのものに対する驚きを表しているのに対して、「舌を巻いた」は記述を書いた者の力量に対する驚きを表している。

さらに、石田（2003）は様々な用例を取りあげて「目を見張る」と「舌を巻く」の違いを観察して分析した。その結果、＜内面性＞と＜外面性＞といった弁別的意味特徴を設定し、「舌を巻く」は＜内面性＞を持っているのに対して「目を見張る」は＜外面性＞を持っているとする。＜内面性＞は（能力など）内面的な性質に対する驚きを表している。＜外面性＞は実際目で見てわかる物事に対する驚きを表している。また、この二つの慣用句が互いに置き換えられるのは、驚きの対象が外面的とも内面的とも捉えられる場合であると考えられる。

4.3.2.2 「舌を巻く」と「おどろく」

次の文脈において「舌を巻く」と「おどろく」は置き換えが可能で、ほぼ同じ内容を表している。

(4a) 岩の軽業師の別名に背かず、その天賦のバランスには舌を巻くものがあった。

(『夢の』：41)

(4b) 岩の軽業師の別名に背かず、その天賦のバランスには驚くものがあった。

「舌を巻く」と「おどろく」とは、ある人の意外な面に直面してびっくりしている様子を表している。しかし、例(4a)の「舌を巻く」は例(4b)の「おどろく」と違って、この意味の他にさらに「称賛」の意味も表している。「舌を巻く」は感心・感服の意味、つまりプラスの評価をも表す。

(5a) 太郎のコンチェルトの演奏はほとんど完璧だったから花子は驚いていたわよ。

(石田 2003 : 8)

(5b) 太郎のコンチェルトの演奏はほとんど完璧だったから花子は舌を巻いていたわよ。

(5c) 太郎のコンチェルトの演奏は間違いだらけだったから花子は驚いていたわよ。

(5d)* 太郎のコンチェルトの演奏は間違いだらけだったから花子は舌を巻いていたわよ。

例(5b)と例(5d)のように、「舌を巻く」は「ほとんど完璧」といったプラス評価の文脈においては容認されるが、「間違いだらけ」といったマイナス評価の文脈においては容認されない。一方、例(5a)と例(5c)はプラス評価であっても、マイナス評価であっても両方とも容認される。「おどろく」がこのようにプラス評価の文脈にもマイナス評価の文脈にも使われることから、「おどろく」は<プラス評価>と<マイナス評価>の意味特徴に関してニュートラルであることが判る。

4.3.2.3 「目を見張る」と「おどろく」

本節は「目を見張る」と「おどろく」について考察する。

(6) 「知り合いか？」

「何言っているんです。尾島さんの奥さんじゃありませんか」

北岡は驚いて目を見張った。なるほど、よく見れば、確かに尾島久子である。

(『女社長』：410)

例(6)においては、主体が「驚いた」と「目を見張った」ことは、ほとんど同時内に起こったにも関わらず、別個の出来事であると解釈される。「北岡は驚いて目を大きく見開いた」と言い換えることができる。つまり「目を見張る」は身体部位の目(瞼)の物理的な動きをも表している。

(7a) 風子は肝を潰したのか、きょとんと目をみはつている。(『結婚』：326)

(7b)* 風子は肝を潰したのか、きょとんと驚いている。

また、「目を見張る」が「きょとんと」と言う副詞句と共起することからも、この慣用句に「驚きの様子、意外の意味」があることが窺える。つまりこの副詞句は普通、顔の表情や動作の機能を描くものなので、「目を見張る」がこれらと共起することは、この慣用句が何らかの表情・動作を表すことを示唆する。以上の事から、次のように<表出性>と意味的特徴を設定する。「おどろく」は<-表出性>であるのに対し、「目を見張る」は<+表出性>であるとする。

4.3.2.4 日本語の慣用句《驚き》に関する分析のまとめ

石田 (2003) によると、弁別的意味特徴をもとにして個々の慣用句と動詞を定義することができる。「目を見張る」は《驚き》の外に<外面性>と<表出性>をもっており、<プラス評価>と<マイナス評価>に関してニュートラルである。従って、この慣用句は「(人や物事の) 外面的な性質・様子に対して驚いて目を大きく見開く」ことを表し、「プラス・マイナス評価」の文脈どちらにも使われると言える。これに対して「舌を巻く」は<外面性>を持っていないので、「能力など内面的な性質に対して感心・感服する」ことを表し、「物理的な動作・表情は表さない」と言える。このように考えれば、類義語の関係にある慣用句や一般の語の意味的な違いを明確に指示できる。

表 4-1 「舌を巻く」、「目を見張る」、「おどろく」の弁別的意味特徴

意味特徴	弁別的意味特徴				
	<内面性>	<外面性>	<プラス評価>	<マイナス評価>	<表出性>
舌を巻く	+	-	+	-	-
目を見張る	-	+	±	±	+
おどろく	±	±	±	±	-

「+」: 意味特徴を持つ 「-」: 意味特徴を持たない 「±」: 意味特徴に関してニュートラル

以上、日本語の慣用句「舌を巻く」「目を見張る」と一般動詞「おどろく」に関して弁別的意味特徴を明らかにした。

4.3.3 タイ語の慣用句「taa kháaŋ」「tua sàŋ」と動詞「tòkcai」の比較対照

本節ではタイ語の《驚き》の「語彙の場」に関わっている慣用句と一般動詞を取りあげて、弁別的意味特徴を明らかにする。ここで取り上げるのは、慣用句「taa kháaŋ」(目・とまったまま)、「tua sàŋ」(体・震える)と一般動詞「tòkcai」(おどろく)である。

「tòkcai」(おどろく)は動詞であるが、「taa kháaŋ」(目・とまったまま)、「tua sàŋ」(体・震える)は副詞的修飾語である。タイ語の形容詞や動詞を修飾する副詞的修飾語には、副詞、前置詞句、数量名詞などがある。形容詞はそのままの形で副詞として動詞を修飾することができる(三上 2002 : 98)。

慣用句は動詞(句)を修飾することができる。これにより、「連用修飾語の付加」がなされる。つまり、慣用句自体が修飾成分になり、被修飾成分である動詞(句)の直後に置かれる。以下に用例を示す。「naa hêeŋ」(顔・乾く)とは、ひもじさで、または失望してやつれ果てた顔をしている様子を示す。

(8) trɔŋ thùuk dù? sákphák dæŋ nâa hêeŋ òk maa
 人名 PAS 叱る しばらく 歩く 顔 乾く 出る 来る

(<http://www.thairath.co.th/ent/novel/tawipob/ch1>)

<トロンは叱られて、しばらくしてやつれ果てた顔をして歩いてきた。>(筆者訳)

石田(2003)はさらに「舌を巻く」という慣用句についても研究を行ったが、「舌を巻く」をタイ語に直訳した「lín phan」は「早口言葉」という意味があり、日本語の意味とは異なる。そこで「驚く」と同様の意味をもつ「taa kháaŋ」(目・とまったまま)と「tua sàŋ」(体・震える)に関して研究を行う。

4.3.3.1 「taa kháaŋ」 と 「tua sàŋ」

本節は「taa kháaŋ」と「tua sàŋ」について考察する。

(9a) khâw maa duu blók tuaeŋ thǔŋkàp taa kháaŋ
 入る くる 見る ブログ 自分 まで 目・止まったまま
 phró? mâi khít wâa khráŋsùttháay thîi khǎn blók
 ~から(理由) NEG 思う と 最後 COMP 書く ブログ
 khuu mûa nùŋ piithîiléew
 は 時 一 昨年

(<http://kinthapat.exteen.com/20080625/entry>)

<自分のブログに入ってみて、目が止まってしまったほどです。最後のブログを書いたのは去年だったかしら。>

(9b)*khâw maa duu blók tuaeŋ thǔŋkàp tua sàŋ phró?
 入る くる 見る ブログ 自分 まで 体・震える ~から(理由)
 phró? mâi khít wâa khráŋsùttháay thîi khǎn blók
 ~から(理由) NEG 思う と 最後 COMP 書く ブログ

khuuw mûa nùŋ piithîiléew

は 時 一 昨年

((<http://kinthapat.exteen.com/20080625/entry>)から「tua sàŋ」に改変)

* <自分のブログに入ってみて、体が震えてしまったほどです。最後のブログを書いたのは去年だったかしら。>

上の例は、意外な事柄に直面して驚いたことを表している。例(9a)は目に見えるもの「ブログの内容」に対して驚いたことを表しているので、「taa kháaŋ」とは言えるが、「tua sàŋ」とは言えない。「tua sàŋ」は、対象を目に見える、見えないに関わらず、「恐ろしい」と言う感情を伴う。例(9b)では、その驚きの様子に「恐ろしい」という感情はないので「tua sàŋ」とは言えない。つまり、「taa kháaŋ」は目に見えるものに対して驚いた様子を表している。しかし、「tua sàŋ」は視覚に関係なく、驚きに恐怖を抱いたことを表している。

(10a) dèk phûuchaay yìp klòŋ òk maa bai nùŋ saanmăw pèət
子 男 拾う 箱 出る くる CL 一 サンマウ (人名) 開く
făa òk maa kòp tuanùŋ kràʔdòot òk maa thamaw
蓋 出る くる 蛙 一匹 跳躍 出る くる CAUS
saanmăw tòkcai taa kháaŋ læy
サンマウ (人名) 驚く 目・止まったまま ~しまう

((<http://www.oknation.net/blog/print.php?id=176519>))

<男の子は一つの箱をとってきました。サンマウが蓋を開くと、一匹の蛙が飛び出てきたので、驚いて目が止まってしまいました。>

(10b)* dèk phûuchaay yìp klòŋ òk maa bai nùŋ saanmăw pèət
子 男 拾う 箱 出る くる CL 一 サンマウ (人名) 開く
făa òk maa kòp tuanùŋ kràʔdòot òk maa thamaw
蓋 出る くる 蛙 一匹 跳躍 出る くる CAUS
saanmăw tòkcai tua sàŋ læy
サンマウ (人名) 驚く 体・震えるった ~しまう

((<http://www.oknation.net/blog/print.php?id=176519>)から「tua sàŋ」を改変)

* <男の子は一つの箱をとってきました。サンマウが蓋を開くと、一匹の蛙が飛び出てきたので、驚いて体が震えてしまいました。>

(10c) dèk phûuchaay yìp klòŋ òk maa bai nùŋ saanmǎw pèət
 子 男 拾う 箱 出る くる CL 一 サンマウ (人名) 開く
 fǎa òk maa nǔu tuanùŋ kràʔdòot òk maa thamaw
 蓋 出る くる 鼠 一匹 跳躍 出る くる CAUS
 saanmǎw tòkcai tua sàŋ ləəy
 サンマウ (人名) 驚く 体・震える っ た ~しまう

(10b)から「nǔu (鼠)」を改変)

<男の子は一つの箱をとってきました。サンマウは蓋を開いて、一匹の鼠が飛び出てきたので、体が震えて驚いてしまいました。>

例(10a)(10b)(10c)は、意外にも小動物が飛び出したことに直面して驚いたことを表している。例(10a)は目に見える「蛙が箱から飛び出した」事実に対してびっくりしたことを表しているので、「taa kháaŋ」とは言えるが、例(9b)と例(10b)はその驚きの様子に対する「恐ろしい」という感情がないので「tua sàŋ」とは言えない。しかし例(10c)のように容認性がより高くなる場合がある。この場合、男の子は鼠が非常に嫌いなことが仮定され、ネズミと言う対象に「恐ろしさ」を体感したと解釈されるからである。

上の例の考察を踏まえて、本研究では<恐怖>といった弁別的意味特徴を設定し、「tua sàŋ」は<恐怖>の意味特徴を伴っている。「taa kháaŋ」は<-恐怖>であるが、「tua sàŋ」は<+恐怖>である。

(11a) miaw nócy nâarâk plátlǒŋ mêe rǔw doon thín kôu mâi
 猫 小さい 可愛い 迷う 母 または PAS 捨てる そして NEG
 sâap yùu klaaŋ thanǒn tòkcai tua sàŋ phróʔ
 分かる いる 中 道 驚く 体・震える から (理由を表す)
 sǎŋ rôt
 音 車

(<http://www.facebook.com/media/set/?set=a.243642149021511.78805.128208590590564868&type=1>)

<お母さんからはぐれて迷子になったのか捨てられたのかわかりませんが、可愛い子猫が道の真ん中にいます。車の音に驚いて、体が震えています。>

(11b)* miaw nócy nâarâk plátlǒŋ mêe rǔw doon thín kôu mâi
 猫 小さい 可愛い 迷う 母 または PAS 捨てる そして NEG
 sâap yùu klaaŋ thanǒn tòkcai taa kháaŋ phróʔ
 分かる いる 中 道 驚く 目・止まったまま から (理由を表す)

sǎŋ rôt

音 車

(<http://www.facebook.com/media/set/?set=a.243642149021511.78805.128208590590564868&type=1>) から「**taa kháŋ**」を改変)

<お母さんからはぐれて迷子になったのが捨てられたの分かりませんが、可愛い子猫が道の真ん中にいます車の音に驚いて、目が止まっています。>

例(11a)と例(11b) は、意外な物事に直面して驚いたことを表している。(11a)は主体が「車の音」に対して驚いて恐ろしいことを表しているが、例(11b)の「**tòkcai taa kháŋ**」はこの「車の音」と矛盾している。この場合は「恐ろしい」という感情の対象が「車の音」であり、目に見えるものではないと判断されるため、「**tòkcai taa kháŋ**」とは言うことができない。

(12) luuw wâa ʔeŋ nǐitaam phûuchaay pai léew m̄ɛ ʔeŋ
 噂 と (伝聞) お前 駆け落ち 男の人 行く それで お母さん お前
 pai taam nàʔsiʔ weewwan taa khaán phûut mǎamǎa
 行く 追求 だよ (語尾) ウェーワン (人名) 目・止まった 言う 最低
 khrai pl̄i khàaw níi ph̄ɔ khrai man pen khon phûut
 誰 つく ニュース この お父さん 誰 第三人称 である 人 言う

(<http://ling.arts.chula.ac.th/tnc2/>)

<お前が駆け落ちしたので、お母さんがお前を追求したんだよ。ウェーワンは目が止まった。だれがこんなに最低な噂をしたの？ お父さん、言ったのはだれ？>

例 (12) では、私 (ウェーワン) のことを大げさに噂していることを聞いて、その噂に対して驚いたことを「**taa kháŋ**」と言っている。日本語では「目を見張る」は実際に目で見ている行動に対して驚きを表している (石田 2003 : 4)。しかし、同じ目を用いたタイ語の慣用句「**taa kháŋ**」では、実際に目に見えるものに驚くこと以外、耳で聞こえるものに驚くことに関しても用いることができる。しかし、本研究ではこれについて弁別的意味特徴を設定しない。それは、既に設定した意味特徴<恐怖>により、「**tua sân**」は<恐怖>を持っていることと、「**taa kháŋ**」は<恐怖>を持っていないことから十分に分別できるためである。

(13a) khonráay cháí aawútpwun cîichĩsáp phaainai pámtæmkéet rótyon...

犯人 使う 拳銃 強奪 中 ガソリンスタンド 車...

tamrùat cwɯj rútpai yaŋ thĩkkàəthèet...

警察官 だから 行く へ 現場...

dèkpám khɔŋj pámkéet daŋklàw ywun tua sàŋ dúay

人 の ガソリンスタンド そういう 立つ 体・震える で

aakaan tòkcai klua phaainai pám

挙動 驚く 怖い 中 ガソリンスタンド

tamrùat sòphtǎam dèkpám tháj sɔŋj hâikaan wâa...

警察官 質問する ガソリンスタンドの人 とも 二 証言 と (伝聞) ...

([http://www.manager.co.th/Local/ViewNews.aspx?NewsID=9550000070776
&TabID=1&](http://www.manager.co.th/Local/ViewNews.aspx?NewsID=9550000070776&TabID=1&))

<犯人はガソリンスタンドで拳銃を使って強奪した。…警察官が現場に駆けつけた。ガソリンスタンドの人は驚いて体が震えていた。警察官がガソリンスタンドの人に質問すると、…と証言した。 >

(13b)* khonráay cháí aawútpwun cîichĩsáp phaainai pámtæmkéet rótyon...

犯人 使う 拳銃 強奪 中 ガソリンスタンド 車...

tamrùat cwɯj rútpai yaŋ thĩkkàəthèet...

警察官 だから 行く へ 現場...

dèkpám khɔŋj pámkéet daŋklàw ywun taa kháaŋ

人 の ガソリンスタンド そういう 立つ 目・止まったまま

dúay aakaan tòkcai klua phaainai pám

で 挙動 驚く 怖い 中 ガソリンスタンド

tamrùat sòphtǎam dèkpám tháj sɔŋj hâikaan wâa...

警察官 質問する ガソリンスタンドの人 とも 二 証言 と (伝聞) ...

(([http://www.manager.co.th/Local/ViewNews.aspx?NewsID=9550000070776
&TabID=1&](http://www.manager.co.th/Local/ViewNews.aspx?NewsID=9550000070776&TabID=1&))から「taa kháaŋ」に改変)

<犯人はガソリンスタンドで拳銃を使って強奪した。…警察官が現場に駆けつけた。ガソリンスタンドの人は驚いて目が止まっていた。警察官がガソリンスタンドの人に質問すると、…と証言した。 >

(13c) khonráay cháí aawútpwun cîichĩsáp phaainai pámtæmkéet rótyon

犯人 使う 拳銃 強奪 中 ガソリンスタンド 車

dèkpám khɔŋj pámkéet daŋklàw ywun taa kháaŋ

人 の ガソリンスタンド そういう 立つ 目・止まったまま

dúay aakaan tòkcai klua phainai pám

で 挙動 驚く 怖い 中 ガソリンスタンド

(例(13b)から一部を改変)

<犯人はガソリンスタンドで拳銃を使って強奪した。ガソリンスタンドの人は驚いて目が止まっていた。>

例 (13a) はガソリンスタンドの人の事柄に対する驚きが続いていることを表している。この用例では、「tua sà̀n」とは言えるが、警察官が現場に着いた時点は犯人が強奪している事件が起こった時点から時間が経過してしまっているため、「taa kháan」とは言えない。しかし、例(13c) は犯人が強奪している場面が観察者の面前で展開しており、その瞬間にびっくりしていることを表している。このことから「taa kháan」は <瞬間性>という弁別的特徴意味を持っている。それに対して、「tua sà̀n」は事柄が起こった瞬間でも、事態が終わってから時間が経っていても、まだ恐怖が持続していることを表している。つまり「tua sà̀n」はこの意味特徴に関して<瞬間性>ニュートラルである。

4.3.3.2 「taa kháan」 と 「tòkcai」

次は「taa kháan」と「tòkcai」について分析する。

(14a) → ①

faràn tòkcai thǔ̀nkàp taa kháan

西洋人 驚いた ほど 目・止まったまま

múa hǔ̀n khwaam nótjaam khǔ̀wɔ̀n kaan sadɛɛn ram thai

時 見える こと 美しさ の こと ショー 舞踊 タイ

(http://dict.longdo.com/search/*%E0%B8%95%E0%B8%B2%E0%B8%84%E0%B9%89%E0%B8%B2%E0%B8%87*)

<西洋人はタイの舞踊の美しさを見て、見つめるほど驚いた。>

(14b) → ②

faràn tòkcai

西洋人 驚いた

múa hǔ̀n khwaam nótjaam khǔ̀wɔ̀n kaan sadɛɛn ram thai

時 見える こと 美しさ の こと ショー 舞踊 タイ

((http://dict.longdo.com/search/*%E0%B8%95%E0%B8%B2%E0%B8%84%E0%B9%89%E0%B8%B2%E0%B8%87*) の省略)

<西洋人はタイの舞踊の美しさを見て驚いた。>

(14c) → ③

*faràŋ taa kháan thũŋkàp tòkcai

西洋人 目・止まったまま ほど 驚く

múaa hěŋ khwaam ɲótɲaam khǒŋ kaan sadɛɛŋ ram thai

時 見える こと 美しさ の こと ショー 舞踊 タイ

((14a)から定位置の交換)

<??西洋人はタイの舞踊の美しさを見て、驚くほど見つめた。>

上の三つの例文(14a)(14b)(14c)の容認性の高さの度合いは上から①、②、③の順になる。例(14a)と例(14b)は両方とも文として成立し、意外な物事に直面して驚くというほぼ同じ意味を表している。例(14a)は、西洋人がタイの舞踊の美しさに驚き、その驚きの感情が目に出したことを表しているの、「taa kháan」と言える。(14b)も舞踊に対して驚いたのであるが、その「驚き」の感情が目に出されていない。つまり、どれほど驚いたのかという補足説明がされていない。例(14c)が容認されないのは、この「驚く」という感情の表出は「tòkcai」には含まれず、「taa kháan」(目が止まる)に含まれていると感じられるからである。つまり、このことから、<視覚認識>といった弁別的意味特徴を設定すると、「taa kháan」は<視覚認識>を持っているのに対して、「tòkcai」は<視覚認識>を持っていないと言える。

4.3.3.3 「tua sàŋ」 と 「tòkcai」

「tua sàŋ」 と 「tòkcai」 について観察する。

(15a) khâphacâw rúusùk mǔan thùuk khayàw hâi tùwn

私 感じる のように PAS 揺り CAUS 起こす

yàŋrɛɛŋ múaa tòkcai tùwn khûn maa kôw ɲoŋ

強く 時 驚く 起きる 上る 来る そして 錯覚

raw yùu khondiaw nîinaa

私 いる 一人 のよ(語尾)

múaa khít dâai wâa tŋ pen phèndinwǎi nêenêe

時 考える できる と(伝聞) はず である 地震 必ず

khâphacâw tòkcai mâak con tua sàŋ

私 驚く とても ほど 体・震える

(http://www.jaisamarn.org/1/gift/default.asp?s_giftno=53&PageNo=2)

<誰かに強く揺り起こされたように感じた。驚いて起きてみたら錯覚だった。誰もいないのに…地震だ!>と思ったとたん、体が震えるほど非常に驚いた。>

(15b) khâphacâw rúusùk mǔan thùuk khayàw hâi tùwn
 私 感じる のように PAS 揺り CAUS 起こす
 yàŋrɛŋ múa tòkcai tùwn khûn maa kôw ɲɔŋ
 強く 時 驚く 起きる 上る 来る そして 錯覚
 raw yùu khondiaw nîinaa
 私 いる 一人 のよ(語尾)
 mûa khít dâai wâa tɔŋ pen phèndinwâi nêenêe
 時 考える できる と(伝聞) はず である 地震 必ず
 khâphacâw tòkcai mâak
 私 驚く とても
 (http://www.jaisamarn.org/1/gift/default.asp?s_giftno=53&PageNo=2)を
 一部改変)
 <誰かに強く揺り起こされたように感じた。驚いて起きてきたら錯覚だった。
 誰もいないのに…地震だ!と思ったとたん、非常に驚いた。>

(15c) khâphacâw mâi tua sàŋ khêe tòkcai thâwnán
 私 NEG(否定形) 体・震える ただ おどろく だけ
 <…私は体が震えたのではなくて、ただおどろいただけです。>

(15d)* khâphacâw mâi tòkcai khêe tua sàŋ thâwnán
 私 NEG(否定形) おどろく ただ 体・震える だけ
 <…私はおどろいたことではなくて、ただ体が震えただけです。>

この例では、例(15a)と例(15b)は両方とも成立し、ほぼ同じ意味を表している。例(15b)は、地震は意外で驚くべきものであるが、話し手はその驚きの感情を表出してはいない。例(15c)は「ただ～だけ」というフレームによって「tua sàŋ」(驚いた)から感情の体への表出(体が震えた)の意味がとり除かれている。つまり表現しようとしている「驚く」いた事実には「+α」(補足説明)の意味がないことを明示している。そのため、後の文で「tòkcai」(驚く)を用いることができる。一方(15d)が容認されないのは、やはりこの「+α」(補足説明)の意味が「tòkcai」(驚く)の方には含まれず、「tua sàŋ」(体が震える)の方に含まれていると感ぜられるからである。そこで、<体感認識>といった弁別的意味特徴を設定すると、「tua sàŋ」は<体感認識>を持っているが、「tòkcai」は<体感認識>を持っていないと言える。

4.3.3.4 タイ語の慣用句《驚き》に関する分析のまとめ

以上考察した特徴をまとめた表 4-2 のようになる

表 4-2 「tua sàŋ」、「taa kháaŋ」、「tòkcai」の弁別的意味特徴

| 共通の
意味特徴《驚き》 | 弁別的意味特徴 | | | |
|-----------------------|---------|-------|--------|--------|
| | <恐怖> | <瞬間性> | <視覚認識> | <体感認識> |
| tua sàŋ
体・震える | + | ± | - | + |
| taa kháaŋ
目・止まったまま | - | + | + | - |
| tòkcai
おどろく | ± | ± | - | - |

「+」：意味特徴を持つ 「-」：意味特徴を持たない 「±」：意味特徴に関してニュートラル

「tua sàŋ」、「taa kháaŋ」、「tòkcai」は同じ「語彙の場」を構成していることが判る。

「tua sàŋ」は<恐怖>を含意している。<瞬間性>に関してはニュートラルである。

事態に対する驚きの感情があつて、さらに感情の表出がある。その表出が見えないので<視覚認識>はないが、体に出ているので<体感認識>はある。

「taa kháaŋ」は<恐怖>を持っていない。<瞬間性>を持っている。事態に対する驚きの感情から、すぐに目に表出したため<視覚認識>を持っているが、胴体には表出していないため<体感認識>は持っていない。

さらに、詳しく見れば、例(12)のように「taa kháaŋ」は実際の目で見えるものに対する驚きを表している。さらに、(耳で聞いた)話に対する驚きも表していることが分かった。

「tòkcai」は感情の表出がないため、<視覚認識><体感認識>は持っていない。

4.3.4 日本語とタイ語の《驚き》の意味特徴の対照比較

- 4.1 日本語の「舌を巻く」、「目を見張る」、「おどろく」は全ての動詞である。一方、タイ語の「tòkcai」は動詞であるが、「tua sàŋ」と「taa kháaŋ」は副詞的修飾語である。
- 4.2 上位関係(Hyponymy)の考えによれば、日本語の場合は、「おどろく」は上位語であり、「目を見張る」、「舌を巻く」は下位語である。タイ語の場合は、「tòkcai」は上位語として、「tua sàŋ」と「taa kháaŋ」は下位語としている。従って、「taa kháaŋ」のような下位語は、上位語「tòkcai」によって置き換えられる場合がほとんどであるが、「tòkcai」は「taa kháaŋ」などによって置き換えられない場合が多い。
- 4.3 「taa kháaŋ」は実際に目に見えることが事態に対して驚くことを表している。また、耳で聞こえたことに対して驚くことも表せる。一方、日本語の「目を見張る」は前述のように<外面性>という弁別的意味特徴を持っており、実際に目で見えるものに対する驚きのみを表す(石田 2003)。両方とも「目」についての慣用句であるが、

「taa kháan」はどのような目についての事態にも拡張して適用できるか今後の考察必要がある。

4.4 日・タイ語慣用句の対照的意味分析——《聴覚活動》を中心に——

慣用句とは、句を構成する個々の語の意味の積み重ねとは異なり、句全体で固有の意味をもつものである。そのため、個々の語を直訳したとしても全く意味が通じない。例えば「耳を傾ける」とは、耳を挿んで傾けることではない。また「耳を澄ます」とは、耳をきれいにするということでもない。タイで普及している辞典『日タイ辞典』によると、「耳を傾ける」を「努めて聞くこと」と定義している（Neanchareonsuk 2009）。また Tecchachokwiat et.al. (2003) によると、「耳を澄ます」とは、静かに集中して聞こうとすることと解説している。しかし、タイ人日本語学習者にとって、これらの定義を読んでこの慣用句の意味の違いを理解することは非常に難しい。タイ語の「hǔu phún」(耳・立てる)、「ñǎa hǔu」(傾ける・耳)も同様であり、タイ学士院仏暦 2542 年版タイ語辞典によると、「hǔu phún」は「熱心にする、聞きたがる、知りたがる」と言う意味であり、「ñǎa hǔu」は「耳を傾け、はっきりと聞くこと、聞くように意識する」と言う意味である。しかし、このように定義したとしても、はっきりと意味の違いを弁別することは難しいだろう。そこで本節では《聴覚活動》に関する動詞及び慣用句の弁別的意味特徴について、日本語とタイ語の意味上の類似点と相違点の対照比較分析を通じて、把握することを目的とする。

この研究では、まず共通の意味を持つ語を集めた「語彙の場」を設定し、さらに「置き換えテスト」による成分分析を行い、それぞれの動詞や慣用句間の違いを弁別する意味特徴を明らかにする。

4.4.1 背景と目的

慣用句は句を構成する個々の語の意味の積み重ねとは異なり、句全体の固有のものとしてされている（宮地 1982、伊藤 1989）。村木（1985）によると、慣用句には「語彙性」という特性があると考えられている。「語彙性」とは、慣用句が二つ以上の単語の組み合わせであるにも関わらず、形式的にも意味的にも固定されており、句全体で単語と同じ振る舞いをするのである。このような特徴から、一般に慣用句は単語との交替が可能であることを以下の聴覚活動を表す慣用句の例で検討する。

(16a) 和田社長は、いつも、ニュースに耳をすましている。（『毎日が日曜日』238）

(16b) 和田社長は、いつも、ニュースに耳を傾けている。

(16c) 和田社長は、いつも、ニュースを聞いている。

例(16)では、まず慣用句「耳を澄ます」と「耳を傾ける」と、動詞「聞く」の間には聴覚器官である耳を使用する活動を表す共通の意味特徴を持っており、本節ではこれを共通の意味特徴《聴覚活動》と考える(《 》は共通の意味特徴を示す)。さらに「耳を澄ます」、「耳を傾ける」、「聞く」は、共通の意味を共有する「語彙の場」を形成すると考える。これには《聴覚活動》を表す他の慣用句、例えば「耳にする」「耳を挟む」なども含まれる。石田(2001)の研究では、《聴覚活動》を持つ慣用句と動詞である「耳を澄ます」、「耳を傾ける」、「聞く」の弁別の意味特徴を明らかにするために意味分析を行っている。

そこで本研究では、タイ語における「耳を澄ます」、「耳を傾ける」、「聞く」と類似した意味を持つ《聴覚活動》を表す慣用句及び動詞である「hǔu phùŋ」、「ŋiá hǔu」、「fan」を対象として取り上げる。タイ学士院仏暦2542年版タイ語辞典によると、「hǔu phùŋ」は「熱心にする、聞きたがる、知りたがる」という意味であり、「ŋiá hǔu」は「耳を傾け、はっきりと聞くこと、聞くように意識する」という意味である。しかし、このように定義しても、はっきりと意味の違いを弁別することことはできない。そこで本節では《聴覚活動》に関する動詞及び慣用句の弁別の意味特徴について、日本語とタイ語の意味上の類似点と相違点の対照比較分析を通じて把握ことにする。

本研究における関心は《聴覚活動》に関する意味特徴を持つ動詞及び慣用句であり、聴覚器官である「耳」という語を構成要素に含んでいる。本節では日本語の慣用句の分析を行った石田(2001)の研究方法を用いて、タイ語で《聴覚活動》の意味特徴を持つ「耳」に関係する慣用句の検討を試みる。さらにそのタイ語の分析結果を用いて、石田の日本語における研究結果との対照比較分析を行う。

研究方法

(1) 《聴覚活動》の意味特徴を持つ慣用句と動詞の意味分析と、関係する日本語慣用句の再検討を行う。

(2) タイ語の中で「耳を傾ける」と「耳を澄ます」に最も近い意味を持ち、「hǔu」(耳)という語を含み、動詞「fan」(聞く)と対照分析が可能な慣用句をタイ学士院仏暦2542年版タイ語辞典の中から選択する。辞典の中に「hǔu」(耳)という語を含む慣用句は全24項目あり、その中で日本語の「耳を傾ける」、「耳を澄ます」に近い意味を持つ語は「hǔu phùŋ」と「ŋiá hǔu」の2語のみであった。

(3) 石田(2001)の分析枠組みに沿ってタイ語の語の成分分析(Componential Analysis)を行う。これは「hǔu phùŋ」、「ŋiá hǔu」、「fan」を二語一組ずつ、意味を比較分析するものであり、語を相互に取り換えることで文が成立するかを調べる「置き換えのテスト」や、副詞句を挿入して文が成立するかどうかを調べる「副詞(句)との共起のテスト」などを使って弁別の意味特徴を明らかにする。

(4) (3)で行ったタイ語の《聴覚活動》に関する動詞と慣用句の分析結果と石田が日本語の慣用句で明らかにした「聞く」、「耳を傾ける」、「耳を澄ます」の弁別の意味特徴を対

照比較する。

本研究では、まず慣用句「耳を傾ける」、「耳を澄ます」と動詞「聞く」の比較対照分析を通じて、石田（2001）の研究をまとめる。次にタイ語の慣用句「hǔu phùŋ」、「nĭa hǔu」と動詞「faŋ」の比較分析の結果を明らかにする。そして最後にタイ語と日本語との《聴覚活動》に関する語の意味特徴の比較を行う。これらの分析の中で使用する記号を以下のように定める。1）無印は、文の通りに理解することができる。つまり普通の文として成立する。2）△は、意味は理解できるが通常、文として使用されない。3）*は、文の通りには理解できない。つまり非文であることを意味する。

4.4.2 日本語の慣用句「耳を傾ける」「耳を澄ます」と動詞「聞く」の比較対照

まずは慣用句「耳を傾ける」、「耳を澄ます」と動詞「聞く」を二語一組ずつ比較対照分析した石田（2001）の研究をまとめる。

4.4.2.1 「耳を傾ける」と「耳を澄ます」

「耳を傾ける」と「耳を澄ます」はそれぞれ意識して音声を聞くことを意味しており、以下のように相互に入れ替えが可能である。

(17a) 窓の下から聞こえてくる町の音に耳を傾けた。(石田 2001:161)

(17b) 窓の下から聞こえてくる町の音に耳を澄ました。

しかし、この二つの慣用句の入れ替えは常に可能であるわけではない。以下の例（18a）、（18b）のように「耳を傾ける」は使えるが、「耳を澄ます」は意味が理解できても、通常使用されない。

(18a) 河野弁護士は、財前の言葉に耳を傾けながら、時々、手帳にメモし、…

(『白い巨塔』下:273)

(18b) △河野弁護士は、財前の言葉に耳を澄ましながら、時々、手帳にメモし、…

例(18)の二文はそれぞれ、河野弁護士が財前の話す言葉を意識して聞きながら、同時に手帳に記録しているところを叙述している。(18a)と(18b)の相違点は、(18b)において、「耳を澄ます」と「メモする」との繋がりは、(18a)に見られる「耳を傾ける」と「メモする」との繋がりがほど明確なものではないという点である。つまり(18a)の場合、河野弁護士は財前の話す言葉の内容を理解しようという意志をもって記録していることがわかる。

しかし、(18b) の場合、河野弁護士は財前の言うことを聞こうとする意志があるのかどうかまでは明確には判らない。「耳を澄ます」という語から理解できるのは、河野弁護士は財前の話を聞こうとする態度はしているが、財前の話の内容をきちんと聞いているかまではわからない。記録においても、財前の話をきちんと記録しているかどうかまではわからない。また「耳を澄ます」という語は、聴神経が知覚する音に対しても、またそういった音ではなくても用いることができる。つまり「耳を澄ます」行為は、音を聞く姿勢をとることを表すが、「耳を傾ける」行為は、音と共にその音が伝達する内容を聞き取る意志を表す。そこで次の例では「本気」を修飾語に用いてその意味を比較、検討してみる。

(19a) …笹竹中尉は我々の陳情には本気で耳を傾けようとしなかった。(『黒い雨』:172)

(19b) *…笹竹中尉は我々の陳情には本気で耳を澄まそうとしなかった。

(19a)は、笹竹中尉が自分たちの陳情の内容に対して理解を示さず、全く聞こうとしないことを表現したものである。(19a)において、「耳を傾ける」は、話の内容そのもの、もしくは聴覚に伝わって伝達された内容に対して聞こうと努めることを意味している。(19b)の「耳を澄ます」は、意識的には聞いているものの、内容や事柄の理解までを含む表現ではない。そのため「本気で」という修飾語とは意味が一致せず、一緒に用いることはできない。

このように「耳を傾ける」と「耳を澄ます」は意識して聞くという共通の意味をもってはいるが、関心を持つ意志という視点では異なっている。つまり、どの段階に対して関心を持つ意志を持っているかと言うことである。「耳を傾ける」では、音が聴覚器官たる耳に届いた段階に関心を持って聞く意志があることを表現している。しかし、「耳を澄ます」では、実際に耳が音を聞く以前の段階においてのみ、聞こうとする意志があることに注目している。次の例から補足してみよう。

(20a) 花子は耳を澄まして太郎の話を聞いた。(石田 2001:163)

(20b) ?花子は耳を傾けて太郎の話を聞いた。

例(20a)の「耳を澄ます」は自然な文として使用することができる。また例(20a)では「～て」の形を用いて、2種類の行為が並行して行われていることを表している。「耳を澄ます」は後の「聞く」という動詞と繋がって二語であらわすことができ、単に「聞いた」とした時とは異なる意味を表現している。「聞いた」とすると花子が太郎の話した言葉を聞くという行為の結果が重視される。しかし、「耳を澄まして」の場合、花子が興味をもって太郎の話し声(あるいは遠くにいたり、ささやくだけだったりするかもしれない)を聞こうと努めた行為の意志が重視される。

例(20b)の「耳を傾ける」の場合、あまり自然な文とされない。「耳を傾ける」と「聞く」は共に聴覚器官に入ってくる音を理解するという意味で行為の結果を表す。さらに「～て」の形をとることで、「耳を傾ける」と「聞く」という2種類の行為を連続的にやっていることを表している。「耳を傾ける」は、すでに努めて聞くようにすることと、聞こえた音を理解する意味を併せ持っている。そのため、次に続く動詞の「聞く」があると冗長な表現となる。

以上の事から、弁別的意味特徴として、＜意志重視＞と＜結果重視＞があることが明らかにされた。つまり、「耳を澄ます」では、＜+意志重視＞と＜-結果重視＞の意味特徴を伴う。「耳を傾ける」では、＜+結果重視＞と＜-意志重視＞の意味特徴を伴っている。

4.4.2.2 「耳を傾ける」と「聞く」

次に「耳を傾ける」と「聞く」を比較対照して考察する。例(21a)の「耳を傾ける」と例(21b)の「聞く」はともに置き換えが可能であるが、聴覚行動に関する行為の表現に違いがある。

(21a) 河野弁護士は、財前の言葉に耳を傾けながら、時々、手帳にメモし、…
(=(18a)再掲)

(21b) 河野弁護士は、財前の言葉を聞きながら、時々、手帳にメモし、…

例(22)では「聞く」は使うことができるが、「耳を傾ける」を使うと文の自然さは失われる。

(22a) 今朝は「一機北上しつつあり」と放送したが、毎日、夜となく昼となく聞く同じような放送だから大して気にしていなかった。(『黒い雨』:67)

(22b) ?…毎日、夜となく昼となく耳を傾ける同じような放送だから大して気にしていなかった。

例(22a)では、聞くという行為をしている行為者の意図に関係なく「放送」の音を知覚することを意味している。そのため、「聞く」は「行為をする意図を持たない」という意味特徴を持つことが判る。例(22b)では「耳を傾ける」に置き換えることができるが、例(22a)のように自然な文とはならず、意味解釈もまた異なる。これもまた聞くという行為をしている行為者の意図に関係なく、「放送」の音を知覚することを意味していると思われる。しかし他方で、文の主語となる主体が毎日昼夜なく同じように流され、気にしていなかった放送に関心を持って聞くようにしたとも解釈できる。「耳を傾ける」の場合、行われた行為そのものに行為の意志をともに表現する。そのため文としては不自然な文とな

る。他方、例(22a)では、毎日昼夜を問わず繰り返される同じような放送を全く気にも留めなくて単に聞くことを表現しているため、「聞く」という語には聞く意志が無く、聞くという行為を表現していると言える。さらに、次の例を見てみよう。

(23a) (親睦会で) たまたま 故郷の話を聞いて急に懐かしくなった。(石田 2001:167)

(23b) * (親睦会で) たまたま 故郷の話を耳を傾けて急に懐かしくなった。

(24a) その時、偶然 ふじ子さんの婚約の話を聞いたんです。(石田 2001:167)

(24b) * その時、偶然 ふじ子さんの婚約の話を耳を傾けたんです。

例(23)の修飾語「たまたま」と例(24)の「偶然」は文の中で行為の主体が行為について全く意図していなかったことを説明しており、この修飾語は主体の意志を表さない動詞と共に用いられる。例(23a)と例(24a)のように、「聞く」は「たまたま」とも「偶然」とも用いることができる。つまり「聞く」は主体の意志を表さない動詞とすることができる。しかし、「耳を傾ける」は「たまたま」や「偶然」とはともに用いることができない。これはこの語が<+意図性>の意味特徴を持つからである。

先に「聞く」は意志を表明しないで行為を表現することができる述べたが、さらに「聞く」は「耳を傾ける」と同様に行為者の意志を表現することも可能である。以下の例文を見ていく。

(25a) 「おかあさま、人間て小さい時にいい子でも、大きくなって、そんなふうに変わるものでしょうか」

さっきから二人の話をじっと聞いている母に、信夫はそうたずねた。

(『塩狩峠』:278)

(25b) …さっきから二人の話にじっと耳を傾けている母に、信夫はそうたずねた。

修飾語「じっと」は、行為の意志を表わす動詞句にのみ用いることができ、行為の意志を表さない時には用いることができない。例(25b)では、「じっと」は「耳を傾ける」とともに用いることができる。まとめると、(23a)、(24a)から「聞く」は<意図性>を意味特徴として有している。しかし例(25a)のように「たまたま」、「偶然」という修飾語とともに使用することができることから、<±意図性>がある。一方、「耳を傾ける」は<+意図性>の意味特徴を持つ。

4.4.2.3 「耳を澄ます」と「聞く」

4.4.2.1 の「耳を澄ます」と「耳を傾ける」の比較対照分析から、<意志重視>、<結果

重視>の二つの弁別的意味特徴を、4.4.2.2の「耳を傾ける」と「聞く」の比較対照分析から、<意図性>の弁別的意味特徴を得た。ここでは「耳を澄ます」と「聞く」の比較対照分析を行う。まず、例(26)と例(27)から分析を試みる。

- (26a) 河野弁護士は、財前の言葉に耳を傾けながら、時々、手帳にメモし、…
(=(18a, 21a 再掲))
- (26b) 河野弁護士は、財前の言葉を聞きながら、時々、手帳にメモし、…
- (27a) 二人は耳を澄ましたが、銃が井戸に沈む音をついに聞き取ることはできな
かった。
(『八甲田山死の彷徨』248)
- (27b) *二人は聞いたが、銃が井戸に沈む音をついに聞き取ることはできな
かった。

例(26)では、財前の話す言葉が聴覚器官で知覚され、加えて文の主体である河野弁護士が話の内容を理解していることを意味している。つまり「耳を傾ける」と「聞く」は共に<+結果重視>の意味特徴を有する。例(27b)では、「聞いた」と「聞きとることはできなかつた」とは互いに意味が対立するために、一つの文として繋げることは難しい。「聞きとることはできなかつた」は、(銃が井戸に沈む)音をとらえることができなかつたということであるが、ここでの「聞いた」は聞こうとする行為の意志を表した<意志重視>ではなく、意志に関わらず銃が井戸に沈む音を聞きとったという<結果重視>の語である。また、それに続く「聞きとることができなかつた」という文とは対立した意味になってしまう。しかし、(27a)では「耳を澄ます」は(銃が井戸に沈む)音を聞き取ることを意味していない。「耳を澄ます」は、音を聞くように努めることを意味しているだけであり、後に続く「聞き取ることはできなかつた」に対立することにはならない。以上のことから、「耳を澄ます」には<結果重視>の意味特徴がない(<-結果重視>)。一方、「聞く」は<+結果重視>と<-意志重視>の意味特徴を伴う。

4.4.2.2では、「聞く」は<意図性>の意味特徴に対してニュートラルであることが示された(<±意図性>)。次に「耳を澄ます」の持つ<意図性>の意味特徴について解説する。まず「たまたま」や「偶然」といった主体が意図していないことを示す修飾語とともに使用されない。その一方で、例(28)でみられるように「注意深く」のような特に主体が行った行為に対する意図を表現する修飾語とともに用いることができる。

- (28) すこし注意深く耳を澄ますと潮鳴りの音もする。(『鳳仙花』:173)

以上からまとめると、「耳を澄ます」は<+意図性>の意味特徴を伴うことが判る。

表 4-3 日本語における《聴覚活動》に関する動詞及び慣用句の弁別的意味特徴

| 共通の意味特徴
《聴覚活動》 | 弁別的意味特徴 | | |
|-------------------|---------|--------|-------|
| | <意志重視> | <結果重視> | <意図性> |
| 聞く | — | + | ± |
| 耳を澄ます | + | — | + |
| 耳を傾ける | — | + | + |

「+」：意味特徴を持つ 「-」：意味特徴を持たない、「±」：意味特徴に関してニュートラル

4.4.3 タイ語の慣用句「hũu phũnŋ」、「ŋiã hũu」と動詞「faŋ」の比較対照

4.4.2 では、日本語の慣用句「耳を澄ます」、「耳を傾ける」と動詞「聞く」の比較対照分析を行った。次に、タイ語の慣用句「hũu phũnŋ」と「ŋiã hũu」と動詞「faŋ」の比較対照分析を行う。まず「hũu phũnŋ」と「ŋiã hũu」、次に「ŋiã hũu」と「faŋ」、最後に「hũu phũnŋ」と「faŋ」の順に比較対照分析を行う。

4.4.3.1 「hũu phũnŋ」と「ŋiã hũu」

「hũu phũnŋ」と「ŋiã hũu」は共に耳を用いる聴覚行為に関する意味を持つ。さらに例(29)に見られるようにいくつかの文では相互に置き換えが可能で、ほとんど同じ意味を表す事ができる。

- (29a) sãmãinfi hãakin kan ñai baŋthii phũut à?rai nõckbãan kõw
 今の世の中 稼ぐ 一緒に 簡単 ときどき 話す 何か 外家 結果を表す
 tũŋ rawaŋ dũay khæy duu raaykaan
 ~なければならない 注意をする も ~たことがある 見る 番組
 nuŋ cam dãi khrãawkhrãaw wãa sũŋkhon phũamia pai
 ある 覚える できる あらすじ COMP 二人 夫婦 行く
 tham rũaŋ súwkhãay bãan thũi kromthũidin ŋon lâklãan tũn
 する こと 売買 家 で 土地局 お金 数百万 時
 ñaŋ rũw kũw khui kan pai rũay rũaŋ lũuksãaw câ?
 座る 待つ 結果を表す 話す 一緒に 行く 漫然と こと 娘 FUT
 riantũw thoو rũaŋ khaákhãay kamraikhãatthun rũaŋ ŋaŋkêp thũi
 進学 修士 こと 取引 損益 こと 貯金 COMP
 mii lâklãan wãa ñaayŋãay khuwkũw khui pai rũayrũay mãi khũt
 言う 数百万 言う 簡単 つまり 話す 行く 相変わらず NEG 考える

àʔrai hǎarúumâi wâa mítchǎachîip nâŋ hũu phũn faŋ yùu
 何 知らずに COMP 悪人 座る 耳・立てる 聞く ~ておく

khâanlǎŋ

後ろ

(<http://www.pantip.com/cafe/family/topic/N12430169/N12430169.html>)

<今の世の中、稼ぐのは簡単だ。家の外で話す時は気を付けたほうがいい。前にある番組で見て、あらすじを覚えているのだが、とある夫婦が数百万の家の売買の手続きをしに土地局に行き、座って待っている間、なんとなくおしゃべりする。娘が大学修士課程に進学する話だとか、取引の損得の話だとか、数百万の貯金の話だとか、そういった話を考えもなくだらだらと話している。そのすぐ後ろでは悪人が聞き取っていることに気付かない。>

(29b) sàmǎinîi hǎakin kan n̄ai baan̄thii phũut àʔrai n̄okbân
 今の世の中 稼ぐ 一緒に 簡単 ときどき 話す 何か 外家
 kôo t̄oŋ rawaŋ dũay khəəy duu
 結果を表す ~なければならない 注意をする も ~たことがある 見る
 raaykaan nuwŋ cam d̄ai khrâawkhrâaw wâa s̄oŋkhon phũamia pai
 番組 とある 覚える できる あらすじ COMP 二人 夫婦 行く
 tham rũaŋ súukhǎay bân th̄i kromth̄idin ŋən lâkláan t̄oŋ
 すること 売買 家で 土地局 お金 数百万 時
 n̄aŋ r̄o kôo khui kan pai rũay rũaŋ lúuksǎaw cáʔ
 座る 待つ 結果を表す 話す 一緒に 行く 漫然と こと 娘 FUT
 riant̄o thoo rũaŋ khaákhǎay kamraikhâatthun rũaŋ ŋən̄kêp th̄i
 進学 修士 こと 取引 損益 こと 貯金 関係代名詞
 mii lâkláan wâa n̄ayn̄ay khuwk̄o khui pai rũayrũay mâi kh̄it
 言う 数百万 言う 簡単 つまり 話す 行く 相変わらず NEG 考える
 àʔrai hǎarúumâi wâa mítchǎachîip n̄aŋ n̄ia hũu faŋ yùu
 何 知らずに COMP 悪人 座る 傾ける・耳 聞く ~ておく
 khâanlǎŋ

後ろ

((29a)の「hũu phũn」を「n̄ia hũu」に改変)

<今の世の中、稼ぐのは簡単だ。家の外で話す時は気を付けたほうがいい。前にある番組で見て、あらすじを覚えているのだが、とある夫婦が数百万の家の売買の手続きをしに土地局に行き、座って待っている間、なんとなくおしゃべりする。娘が大学修士課程に進学する話だとか、取引の損得の話だとか、数百万の貯金の話だとか、そういった話を考えもなくだらだら

と話している。そのすぐ後ろでは悪人が耳を澄ましていることに気付かない。>

しかし、例文 (30a) に見られるように「hũu phũn」は「ŋiã hũu」と常に置き換え可能になるわけではない。

- (30a) rũanlãw càak cháwmũwt wanaathít... lãŋcàak òk càak cùtsatãat
 話し から 明け方 日曜日 その後 出る から 出発点
 thĩi sũanlum pai dãi sákrayá? nákwĩŋ tem thanõnsãathõn
 で ルムピニ公園 行く PST 少しの間 ランナー いっぱい サートン通り
 tẽe thũkyàaŋ ŋĩapsà?ŋàt mii tẽe sãŋfiĩthãw krà?thop phũwũn
 でも 一切 静寂 ある だけ 足音 当たる 路面
 penrayá?rayá? kãp siaŋ pleeŋ dẽen bawbaw nai hũu tuaeŋ cũucũu
 ずっと と 音 歌 ダンス そっと 中 耳 自分 不意に
 mii siaŋ nákwĩŋ chay khonnuŋ takoon khũn maa waã ŋiãp caŋ
 ある 声 ランナー 男 一人 叫ぶ 出す 来る COMP 静か 非常に
 khõw siãŋ nõy dãiyin léew tĩŋ yĩm òk maa cai
 をください 声 少し 聞える もう ~なければならぬ 笑む 出る 来る 心
 yàak takoon tòp pai wãa hũu tẽe kuu yaŋ nõay yũu
 したい 叫ぶ 答え 行く COMP ヤッホー でも おれ まだ 疲れる ~ている
ŋiã hũu faŋ sãŋ tòp mãi mii khrai tòp nákwĩŋ tem
 傾ける・耳 聞く 声 答え NEG ある だれか 答え ランナー いっぱい
 thanõn tàaŋkhontãaŋ tãŋnãatãŋtaa wĩŋ núk léewkõw khãm dii
 道 それぞれの人 一生懸命 走る 思う そして 滑稽 良い
 naannaanthii cà? yũu nai thĩi fũuŋchon mãakmaay tẽe ŋĩapsà?ŋàt
 久しぶりに FUT いる 中 所 人びと 大勢 でも 静寂
 dãi khanãathĩi
 できる こんなに

(<http://www.pantip.com/cafe/lumpini/topic/L12474048/L12474048.html>)

<話は日曜の明け方から始まる。…ルンピニ公園のスタート地点から出発してから少し後、ランナーはサートン通りにいっぱいになった。しかし、ただ静寂で唯一路面に当たった足音だけがずっとダンス曲のように、私の耳の中でそっと響いていた。不意に一人の男性ランナーの叫ぶ声がしてくるのが聞こえた。静かすぎる。声を出してください。聞こえてしまうと思わず笑みがこぼれた。内心ヤッホーと叫び返してやりたかったが、俺もまだ疲れている。答える声に耳を澄ます。誰も答える者がいない。道にいっぱいにあふれているランナーは

それぞれ一生懸命に走っている。思えばとても滑稽なことだ。久しぶりに大勢の人々の中にいるのに、こんなに静寂のままでいられるなんて。>

- (30b) * rûaŋlâw càak cháwmûut wanaathít... lǎŋcàak òk càak cùtsatáat
 話 から 明け方 日曜日 その後 出る から スタート
 thîl sǎanlum pai dâai sákrayá? nákwîŋ tem thanǒnsǎathɔɔn
 で ルムピニ公園 行く PST 少しの間 ランナー いっぱい サートン通り
 tèe thúkyàaŋ ŋǎpsà?ŋàt mii tèe sǎŋfiitháw krà?thop phúuwn
 でも 一切 静寂 ある だけ 足音 当たる 路面
 penrayá?rayá? kàp siaŋ pleeŋ déen bawbaw nai hǔu tuaeŋ cùucuù
 ずっと と 音 歌 ダンス そっと 中 耳 自分 不意に
 mii siaŋ nákwîŋ chay khonnwŋ takoon khún maa waâ ŋiaþ caŋ
 ある 声 ランナー 男 一人 叫ぶ 出す 来る COMP 静か 非常に
 khǔw siǎŋ nǎy dâaiyin léew tǔŋ yím òk maa cai
 をください 声 少し 聞える もう ~なければならぬ 笑む 出る 来る 心
 yàak takoon tòp pai wâa hǔu tèe kuu yaŋ nùay yùu
 したい 叫ぶ 答え 行く COMP ヤッホー でも おれ まだ 疲れる ~ている
hǔu phùŋ faŋ sǎŋ tòp mâi mii khrai tòp nákwîŋ tem
 耳・立てる 聞く 声 答え NEG ある だれか 答え ランナー いっぱい
 thanǒn tàaŋkhontàaŋ tǎŋnâatǎŋtaa wîŋ núk léewkɔɔ khǎm dii
 道 それぞれの人 一生懸命 走る 思う そして 滑稽 良い
 naannaanthii cà? yùu nai thîi fũuŋchon mâakmaay tèe ŋǎpsà?ŋàt
 久しぶりに FUT いる 中 所 人びと 大勢 でも 静寂
 dâai khanàatnii
 できる こんなに

((30a) の「ŋia hǔu」を「hǔu phùŋ」に改変)

<話は日曜の明け方から始まる。…ルムピニ公園のスタート地点から出発して
 から少し後、ランナーはサートン通りにいっぱいになった。しかし、ただ静寂
 で唯一路面に当たった足音だけがずっとダンス曲のように、私の耳の中でそっ
 と響いていた。不意に一人の男性ランナーの叫ぶ声がしてくるのが聞こえた。
 静かすぎる。声を出してください。聞こえてしまうと思わず笑みがこぼれた。
 聞き取ろうとする内心ヤッホーと叫び返してやりたかったが、俺もまだ疲れて
 いる。答える声を聞き取る。誰も答える者がいない。道にいっぱいにあふれて
 いるランナーはそれぞれ一生懸命に走っている。思えばとても滑稽なことだ。
 久しぶりに大勢の人々の中にいるのに、こんなに静寂のままでいられるなんて。
 >

例(30a)の「答える声に耳を澄ます (ŋiá hũu)」と言う文を解説すると、文の主体は、彼の言葉に答える声が生まれてくるか否かに興味を持ち、努めて聞こうしている。つまりまだ答えの声や内容が耳に届いていなくとも、「ŋiá hũu」で表現し、聞いている態度をとることを重視している。話している内容や音を聞き取った結果を重視する意図はない。例(30a)から「ŋiá hũu」は<+意志重視>の弁別的意味特徴を持つことが判る。

さらに(30a)では、「ŋiá hũu」は通常答える声を聞くことを意味するが、答える声がなくとも用いることができることから、「ŋiá hũu」は<結果重視>の意味特徴を持たないことがわかる。よって<-結果重視>となる。

一方、例(30b)の場合は、「ŋiá hũu」を「hũu phũ̀ŋ」に置き換えた例文であるが、(30b)「hũu phũ̀ŋ faj sǎŋ tǝp」は非文となる。これは(30b)の全体の内容から解釈する必要がある。答える声を聴きたいという意図を伝えるという点において、この文の内容は受け入れがたい。と言うのも、「hũu phũ̀ŋ」は音を聞き取ったことを意味しているため、「hũu phũ̀ŋ faj sǎŋ tǝp」(答える声を聞き取った)と「mái mii khrai tǝp」(誰も答える者がいない)は意味が対立しており、ともに用いることはできない。「hũu phũ̀ŋ」では結果を伴ってしまい、主体の行為の意志のみを伝えることができない。つまり「hũu phũ̀ŋ」は<意志重視>の意味特徴を持たない(<-意志重視>)。

例(30a)では、「ŋiá hũu」は<意志重視>の意味特徴を持ち、<結果重視>の意味特徴を持たない。一方、例(30b)では、「hũu phũ̀ŋ」は<意志重視>の意味特徴を持たないことが判った。次の例でさらに分析を進めてみよう。

(31a) mái mii khrai wâŋ phaa pai thîaw phĩisaphái læy né?nam
 NEG いる だれか 空いている 連れる 行く 旅行 兄嫁 そして 紹介する
 wâa aw yàŋŋíi lɔŋ pai thîaw kàp thua ciin sì? raakhaa
 COMP にする これ ~てみる 行く 遊ぶ で ツアー 中国 ~しなさい 値段
 thùuk ná? phɔɔ dâaiyin kham wâa thùuk hũu phũ̀ŋ thanthii
 安い よ すると 聞える(伝聞) 言葉 COMP 安い 耳・立てる すぐに
 penŋaipenkan pai lôot
 どんなに~しても 行く 喜んで

(<http://www.pantip.com/cafe/blueplanet/topic/E9760323/E9760323.html>)

<誰も旅行に付いて来てくれる人がいない。すると兄嫁が、「こういうのはどう。中国ツアー旅行にしてみなさいよ。値段が安いわよ。」と紹介してくれた。安いと聞いて、すぐに話を聞き入れた (hũu phũ̀ŋ)。どんなにしても喜んで行くよ。>

(31b)* mái mii khrai wâŋ phaa pai thîaw phĩisaphái læy né?nam
 NEG いる だれか 空いている 連れる 行く 旅行 兄嫁 そして 紹介する

wâa aw yàanŋí lɔŋ pai thîaw kàp thua ciin si? raakhaa
 COMP にする これ ~てみる 行く 遊ぶ で ツアー 中国 ~しなさい 値段
 thùuk ná? phɔɔ dâaiyin kham wâa thùuk ŋîa hǔu thanthii
 安い よ すると 聞える (伝聞) 言葉 COMP 安い 傾ける・耳 すぐに
 penŋaipenkan pai lôot
 どんなに~しても 行く 喜んで

((31a)の「hǔu phùŋ」を「ŋîa hǔu」に改変)

<誰も旅行に付いて来てくれる人がいない。すると兄嫁が、「こういうのはどう。中国ツアー旅行にしてみなさいよ。値段が安いわよ。」と紹介してくれた。安いと聞いて、すぐに耳を澄ました (ŋîa hǔu)。どんなにしても喜んで行くよ。>

例 (31a) では、「phɔɔ dâaiyin kham wâa “thùuk” hǔu phùŋ thanthii」(「安い」と聞いて、すぐに話を聞き入れた) という部分が問題となる。この文は「phɔɔ ...(kôɔ)...」(~した途端(時) ~する) の構文を取り、その意味は、文の主体が兄嫁の紹介の言葉を聞いた後に、「hǔu phùŋ」(聞き入れた) と言うことである。「hǔu phùŋ」とは、聴神経が知覚し、内容を理解することであり、行動を起こした結果が重要になる。それ故に「hǔu phùŋ」は<結果重視>の弁別的意味特徴を持つと言える (<+結果重視>)。

一方、(31b) に関して、「hǔu phùŋ」を「ŋîa hǔu」に置き換えることはできない。例 (31b) において「*phɔɔ dâaiyin kham wâa thùuk ŋîa hǔu thanthii」(安いと聞いて、すぐに耳を澄ました) は非文となる。この場合、叙述している状況が「中国ツアー旅行の値段が安いということを聞いた」と言うことであり、例 (31b) の「中国ツアー旅行が安いということに耳を澄ませた」というのでは状況を説明しきれていない。と言うのも、前後の文章の意味が対立しており、「中国ツアー旅行の値段が安いということを聞いた」とは、すでに聴神経が受け入れ、意味を理解しているにもかかわらず、更に重ねて「中国ツアー旅行の値段が安いということに耳を澄ませた」というのでは、前後の文章で矛盾している。ただし、「ŋîa hǔu」は音が聴覚器官に伝わらなくても、例 (32) のように行為の態度を表す時に用いることはできる。

(32) phaisii lúkkhuŋ càak kâwii soofaa dæŋ pai thii nâatàŋ
 パイスィー (人名) 立ち上げる から いす ソファー 歩く 行く へ まど
 plaŋ mɔɔŋ òk pai thii prà?tuu rúa nâa bâan aakaan krà? wonkrà?waai
 ~ながら 見る 出る 行くところ 門 柵 前 家 様子 不安
 phayayaam ŋîa huǔ faŋ sǎŋ rótyon khǒŋ lúukchaai phawwanaa
 努力 傾ける・耳 聞く 音 車 の 息子 祈る

hâi mii sǎŋ rótyon maa còt thîi nâa bâan tɛ̀kɔ̀ phitwǎŋ
 CAUS ある 音 車 くる 止まる で 前 家 しかし がっかり
 phró? mâi mii sǎŋ thîiwâa maa hâi daaiyin
 から(理由を表す) NEG ある 音 そういった くる CAUS 聞える

(<http://www.pantip.com/cafe/writer/topic/W12504141/W12504141.html>)

<パイスイーはソファーから立ち上がると窓際へ歩いて行き、不安な様子で家の前の門柵を見つめ、息子の車の音に耳を澄ました。家の前で車が止まる音が聞こえるように祈ったが、そういった音が聞こえてくることは無くがっかりした。>

例 (32) では、パイスイーは息子の車の音を聞くために耳を澄ます (ŋiá hǔu)。しかし「そういった音が聞こえてくることは無」かった。「ŋiá hǔu」を用いる上で聴覚器官が音を知覚する必要はない。つまり、「ŋiá hǔu」は行為の意志を重視しており、<意志重視>の意味特徴を持つと言える (<+意志重視>)。しかし、音を受け取った結果を重視しないということから、<結果重視>の意味特徴を持たない (<-結果重視>)。

まとめると「ŋiá hǔu」は、<+意志重視>と<-結果重視>の弁別的意味特徴を持つ。一方で「hǔu phùŋ」は<-意志重視>と<+結果重視>の弁別的意味特徴を持つ。

4.4.3.2 「ŋiá hǔu」と「faŋ」

「ŋiá hǔu」と「faŋ」は、例 (33) のように相互に置き換えが可能である。

(33a) sǎmràp phûu thîi thamŋaan khun kɔ̀atcà? cəə kàp
 ~にとって 人 COMP 働く あなた かもしれない 会う と
 khèekindia thîi rua phasǎa rew mâak rǔu yîipùn thîi
 インド人 COMP まくしたてる 言葉 早い 非常に または 日本人 関係代名詞
ŋiá hǔu / léew ŋiá hǔu / ìik kwàacà? rúu wâa kháw
 傾ける・耳 もう 傾ける・耳 また 過ぎる 理解 と (伝聞) 彼ら
 phûut wâa à?rai rûaŋ kaanphûut múa faŋ mâak raw cà?
 話す と (伝聞) 何 話 話すこと 時 聞く 多い 私たち FUT
 khâwcai een bèep sumsáp lé? phûut dâai een
 理解 自然に ~のように 浸み込む と 話す できる 自然に

(<http://www.pantip.com/cafe/klaibann/topic/H12150063/H12150063.html>)

<ビジネスマンにとって、非常に早く言葉をまくし立てるインド人や、繰り返して聞く日本人に出会うかもしれない。彼がなにを話しているのか知り、たくさん聞く中で (彼らの) 話していることを心に浸み込むように理解する。そして自然に話すことができるようになるのだ。>

(33b) sǎmràp phûu thîi thamjaan khun kôàatcà? cǎe kàp
 ~にとって 人 COMP 働く あなた かもしれない 会う と
 khèekindia thîi rua phasǎa rew mâak rǔu yîipùn thîi
 インド人 COMP まくしたてる 言葉 早い 非常に または 日本人 関係代名詞
 fǎŋ lɛɛw fǎŋ iik kwàacà? rúu wǎa kháw phûut wǎa
 聞く もう 聞く また 過ぎる 理解 と (伝聞) 彼ら 話す と (伝聞)
 à?rai rúuŋ kaanphûut mǔa fǎŋ mâak raw cà? khǎwcai eej
 何 話 話すこと 時 聞く 多い 私たち FUT 理解 自然に
 bɛej swmsáp lé? phûut dǎai eej
 ~のように 浸み込む と 話す できる 自然に

((33a)の「ŋǎa hǔu」を「fǎŋ ~ fǎŋ」に改変)

<ビジネスマンにとって、非常に早く言葉をまくし立てるインド人や、繰り返して聞く日本人に出会うかもしれない。彼がなにを話しているのか知り、たくさん聞く中で(彼らの)話していることを心に浸み込むように理解する。そして自然に話すことができるようになるのだ。>

さらに例 (34) のように「ŋǎa hǔu」と「fǎŋ」をともに用いることもできる。

(34a) aacaan thǎŋsǎŋthân nǎŋ máwmǎy kan raw
 先生 両方 座る おしゃべり 一緒に(複数の主語が同時にする) 私達
 èej ŋǎa hǔu fǎŋ tɛ fǎŋ mâi rúurúuŋ sǎŋ khon càt
 隠す 傾ける・耳 聞く でも 聞く NEG 理解する 声 人 並ぶ
 thǎw sǎŋ dǎŋ penphí?sèet
 列 声 大きい 特に

(<http://www.pantip.com/cafe/siam/topic/F12424304/F12424304.html>)

<二人の先生は一緒に座っておしゃべりをしていた。私たちは隠れて聞き耳をそば立てていたのだが、何を話しているのかわからなかった。列にいた人の声がひどくうるさかったのだ。>

(34b) aacaan thǎŋsǎŋthân nǎŋ máwmǎy kan raw
 先生 両方 座る おしゃべり 一緒に(複数の主語が同時にする) 私達
 èej fǎŋ tɛ fǎŋ mâi rúurúuŋ sǎŋ khon càt thǎw sǎŋ dǎŋ penphí?sèet
 隠す 聞く でも 聞く NEG 理解する 声 人 並ぶ 列 声 大きい 特に

((34a)の「ŋǎa hǔu fǎŋ」を「fǎŋ」に改変)

<二人の先生は一緒に座っておしゃべりをしていた。私たちは隠れて聞いていたのだが、何を話しているのかわからなかった。列にいた人の声がひどくうるさかったのだ。>

さかったのだ。>

例 (34a) (34b) では、「隠れて聞き耳をそば立てる」も「隠れて聞く」も、その後の結果は何を話しているかわからないということである。「faŋ」(聞く)の意味は行為の結果を重視しない。しかし行為の意志を重視する。「faŋ」は<意志重視>という弁別的意味特徴を持つ (<+意志重視>)。

ところが、「ŋiã hũu」と「faŋ」の場合、例 (35) では置き換えることはできない。

(35a) raw kôw sài hũufan ŋiã hũu sùtrít càpcaikhwaam dái wâa...
私 も つける イヤホン 傾ける・耳 全力で 内容を理解する できる COMP
(<http://www.pantip.com/cafe/chalermkrung/topic/C12602321/C12602321.html>)
<私もイヤホンを付けて全力で耳を傾け、内容を理解できたことには...>

(35b)? raw kôw sài hũufan tãŋcai ŋiã hũu sùtrít càpcaikhwaam
私 も つける イヤホン 意図する 傾ける・耳 全力で 内容を理解する
dái wâa...
できる COMP...
<私もイヤホンを付けて全力で意図して耳を傾け、内容を理解できたことには...>
...> ((35a)に「tãŋcai」を追加)

(35c) raw kôw sài hũufan tãŋcai faŋ sùtrít càpcaikhwaam
私 も つける イヤホン 意図する 聞く 全力 内容を理解する
dái wâa...
できる COMP...

(35b) の「ŋiã hũu」を「faŋ」に改変)

<私もイヤホンを付けて全力で意図して聞き、内容を理解できたことには...>

(35b) で、「ŋiã hũu」と「tãŋcai」(意図する)をともに用いることは意味を理解できる内容ではあるが、文としての自然さを失う。例 (35c) では「ŋiã hũu」を「faŋ」に置き換えて「tãŋcai faŋ」とすると、正しい文として接続する。しかし、例 (35b) のように「tãŋcai ŋiã hũu」とすると意味が重なり、冗長に感じられる。これはつまり「ŋiã hũu」と言う慣用句にすでに行為の意図を表明する意味特徴 (<+意図性>) が含まれるため、改めて意図を表す「tãŋcai」とともに使う必要がないからである。一方、「faŋ」の場合は「tãŋcai」の持つ行為の意図の意味を含んでいない。つまり、<意図性>の意味特徴を伴っていない。しかし、「faŋ」には、例 (36) と (37) のように文脈から<意図性>の意味特徴を持つ場合と持たない場合もある。

- (36) *fəŋ p̄leŋ khǒŋ p̄hīthii thúk p̄leŋ léʔ mâi khəəy*
 聞く 歌 の ティー兄 全て 歌 と NEG ~たことがある
bwà... fəŋ léəw fəŋ iik
 飽きる 聞く 完了 聞く また

(<http://www.youtube.com/watch?v=iP2EhQ1BdJo>)

<ティー兄さんの歌を全曲聞いたが、飽きることが無い...聞いてはまた聞いている。>

「*fəŋ léəw fəŋ iik*」の意味は「何度も繰り返し聞くこと」である。つまり「*fəŋ*」は文中で行為を行う主体の意図を表す。

- (37) *p̄hǒm mâi dâai pai t̄è p̄hǒm baŋəən fəŋ wittayúʔ kháw léəw baŋəən*
 僕 NEG できる 行く でも 僕 偶然 聞く ラジオ 彼 そして 偶然
baŋəən wannán fəŋ dâai k̄w prakòt wâa kháw pai hǎa
 偶然 今日 聞く できる 結果を表す 出ると (伝聞) 彼 行く 探す
thīi càt dâai thīi roonr̄eem d̄èʔkr̄eənrátchadaa
 場所 開催 できる で ホテル ザ・グランドラッチャダー

(<http://allsearch.myfirstinfo.com/cgi-bin/mngnewssearch2?t=8&q=%ba%ba%d1%a7%e0%cd%d4%ad%bf%d1%a7>)

<僕は行くことができなかったのが、偶然、彼についてのラジオを聞いた。偶然今日聞くことができたので、彼が開催場所である、ザ・グランドラッチャダーホテルを見つけたと知った。>

「*baŋəən*」(偶然)の意味は、主体がラジオを聞くことを意図していないことを意味している。

例(35) (36) (37)をまとめると、「*fəŋ*」は行動の意図性を持つ時もある、持たない時もある。そのため「*fəŋ*」は<±意図性>の弁別的意味特徴を持つ。一方、「*ŋiá hǔu*」は<+意図性>の弁別的意味特徴を持つ。さらに「*fəŋ*」は<+意志重視>の意味特徴も伴う。

4.4.3.3 「*hǔu phùŋ*」と「*fəŋ*」

「*hǔu phùŋ*」と「*fəŋ*」は、例(38)のように場合によっては置き換えが可能である。

- (38a) *pâa ŋiap pai chûakhanàʔ léəwk̄w phûut khûn baubau əəciŋ*
 おばさん 静か 行く 一瞬 そして 話す 出す 小さい 本当に
sǒŋsai pai k̄ət naan léəw làʔ duu t̄è yaai k̄eə siʔ
 疑う 行く 生まれる 長く 完了 よ 見える だけ お祖母ちゃん きみ よ

yaŋ maa kəət léew læy nǔu **hǔu phún** tɛɛ yaŋ ləp taa
 もう 来る 生まれる 完了 しまう 私 耳・立てる でも まだ つぶる 目
 yùu yaay nǔu pai kəət pen khrai ná? yàak cà?
 ~ている おばあちゃん 私 行く 生まれる である だれか Q ~たい FUT
 rúu ciŋ
 知る 本当に

(<http://ling.arts.chula.ac.th/tnc2/>)

<おばさんは一瞬静かになり、そして小声で話し出した。「ええ本当に。おそらくはずっと前に生まれてしまっているのよ。見て、あなたのお祖母ちゃんよ。もうすでに生まれて来てしまっているの」。私は耳を澄ましていたが、まだ目をつぶったままでいた。私のお祖母ちゃんは誰に生まれかわったのだろうか？本当に知りたい。>

(38b) pāa ŋiəp pai chûakhanà? léewkô phûut khûn baubau æciŋ
 おばさん 静か 行く 一瞬 そして 話す 出す 小さい 本当に
 sŏŋsai pai kəət naan léew là? duu tɛɛ yaai keɛ si?
 疑う 行く 生まれる 長く 完了 よ 見える だけ お祖母ちゃん きみ よ
 yaŋ maa kəət léew læy nǔu **fan** tɛɛ yaŋ ləp taa
 もう 来る 生まれる 完了 しまう 私 聞く でも まだ つぶる 目
 yùu yaay nǔu pai kəət pen khrai ná? yàak cà?
 ~ている おばあちゃん 私 行く 生まれる である だれか Q ~たい FUT
 rúu ciŋ
 知る 本当に

(<http://ling.arts.chula.ac.th/tnc2/>を「fan」に改変)

<おばさんは一瞬静かになり、そして小声で話し出した。「ええ本当に。おそらくはずっと前に生まれてしまっているのよ。見て、あなたのお祖母ちゃんよ。もうすでに生まれて来てしまっているの」。私は聞いていたが、まだ目をつぶったままでいた。私のお祖母ちゃんは誰に生まれかわったのだろうか？本当に知りたい。>

「hǔu phún」 と 「fan」 は相互に置き換えが可能であるが、例 (39) のように場合によっては置き換えができない時もある。

(39a) mâi tŏŋkaan mii chûwsŋaŋ pen thîrúucàk tɛɛ baŋ rûaŋ
 NEG ~したい ある 有名 である よく知られている でも ある 話

thîi kui kan nai kuán thâa kəət mii nákkhàw

関係代名詞 話す 一緒に 中 グループ もし 起こる ある 記者

lǒŋ khâw maa khonj hǔu phùŋ léew dâai khàaw diidi

迷う 入る 来る だろう 耳・立てる 完了 とる ニュース いい

pai lèn yùu lăaywan

行く する ~ている 何日も

(<http://ling.arts.chula.ac.th/tnc2/>)

<有名になり、みんなに知られることは望まないが、グループの中で話していることが、もし記者が迷い込んで来て、聞きつけてしまい、センセーショナルな記事を書いて、何日も特集をつづけることになったら。>

(39b) ?mâi tɔŋkaan mii chûwsɔŋ pen thîirúucàk tɛ baŋ rúan

NEG ~したい ある 有名 である よく知られている でも ある 話

thîi kui kan nai kuán thâa kəət mii nákkhàw

関係代名詞 話す 一緒に 中 グループ もし 起こる ある 記者

lo khâw maa khonj fan léew dâai khàaw diidii pai lèn

迷う 入る 来る だろう 聞く 完了 とる ニュース いい 行く する

yùu lăaywan

~ている 何日も

((39a)の「hǔu phùŋ」を「fan」に改変)

<有名になり、みんなに知られることは望まないが、グループの中で話していることが、もし記者が迷い込んで来て、聞いてしまい、センセーショナルな記事を書いて、何日も特集をつづけることになったら。>

例 (39a) では、「記者が迷い込んで」来て、そのニュースを聞きつけるという仮定が設定される。ここでの「hǔu phùŋ」には行為を行う主体に意図は生じていない。そのため「hǔu phùŋ」は<意図性>の弁別的意味特徴を持たないと解釈される (<一意図性>)。これに対して、例 (39b) では、主体である「記者」の行為が「lǒŋ khâw maa khonj fan léew」の「lǒŋ khâw maa (迷い込んで来る)」と「fan léew (聞く)」と連続した動詞で表現されている。これは「lǒŋ khâw maa (fan) khonj fan léew」(迷い込んで来て、聞いてしまった)と解釈できる。タイ語では、「pai」(行く)や「maa」(来る)の後ろに動詞をつけると、「その動作をしに行く、しに来る」という複合動詞的な意味を持つ。そのため、「△lǒŋ khâw maa (fan) は「△聞くために迷い込んで来る」という意味に解釈されてしまうのである。「迷い込んで来る」時、主体は行為の意志を生じていないため、「聞く」という動作をしに迷い込んで来るという (39b) の状況は「聞く」と「迷い込んで来る」とが意味上で矛盾している。従ってに例 (39b) は不自然となる。

(40a) sǎŋ thoorasàp khǒŋ chaai nùm daŋ khûn kháw mɔɔŋ thəə
 音 電話 の 男の人 若い 大きい 鳴る 彼 見る 彼女
 pen chəəŋ khǒǒ àʔnúʔyâat léʔ kòt ráp dooy mâi lúk pai
 COP 態度 得る 許可 と 押す もらう で NEG 立ち上がる 行く
 càak tóʔ phríʔmaa thamthii mâi sǒncai tɛɛ hǔu phùŋ
 から つくえ プリマー (人名) ~の振り NEG 関心をもつ でも 耳・立てる
 dooy àttanomát
 で 自動

(<http://ling.arts.chula.ac.th/tnc2/>)

<若い男の携帯電話の音が大きく鳴り、彼は彼女に許可を得るように見つめ、机から立ち上がらないまま電話を受けた。プリマーは関心のないそぶりをするつも、自然と聞き耳そば立てた (hǔu phùŋ)。>

(40b)? sǎŋ thoorasàp khǒŋ chaai nùm daŋ khûn kháw mɔɔŋ thəə
 音 電話 の 男の人 若い 大きい 鳴る 彼 見る 彼女
 pen chəəŋ khǒǒ àʔnúʔyâat léʔ kòt ráp dooy mâi lúk pai
 COP 態度 得る 許可 と 押す もらう で NEG 立ち上がる 行く
 càak tóʔ phríʔmaa thamthii mâi sǒncai tɛɛ fan dooy
 から つくえ プリマー (人名) 振りをする NEG 関心をもつ でも 聞く で
 àttanomát
 自動

((40a) 「hǔu phùŋ」を「fan」に改変)

<若い男の携帯電話の音が大きく鳴り、彼は彼女に許可を得るように見つめ、机から立ち上がらないまま電話を受けた。プリマーは関心のないそぶりをするつも、自然に聞いた。>

例 (40b) は、「hǔu phùŋ」の代わりに「fan」が用いられているが、例 (40a) のいくつかの意味があいまいになってしまっている。例 (40a) では、プリマーが大きな音で鳴った若い男の電話の音に耳を澄まし (「hǔu phùŋ」)、若い男の電話口で話されようとしている会話に関して興味を抱いていると解釈できる。他方、例 (40b) では、プリマーが電話口で行われようとしている会話を聞こうとしていると解釈できるわけであるが、「fan」は全体的な文脈から先に大きな音が鳴った電話の声を理解したかどうかは意味していない。「hǔu phùŋ」は聴覚器官である耳が音を知覚したことを意味し、つまり、行為の意志を重視する (<+意志重視>)。また<+結果重視>の意味特徴も持つ。しかし、「fan」は音を聞き取り、内容を理解したことを表現するのに用いられるが、本当に耳にその音が知覚されたかどうかまでは判らない。その例は例 (41) に見ることができる。

(41) nɔŋ rɔŋ pleɛŋ phrɔʔ thúk phleɛŋ læy rɔɔ faŋ siŋkən
 彼 (年下の人) 歌う 歌 きれい 全て 歌 非常に 待つ 聞く シングル
 mài tùntəntùntən
 新しい どきどきする

(<http://www.pantip.com/cafe/chalermkrung/topic/C12644474/C12644474.html>)
 <彼の歌う曲はすべてきれいなので、新しいシングルが聞けるのをドキドキして
 待っている。>

さらに「faŋ」は聴覚器官である耳で音を知覚し、内容を理解したことを意味している。
 例 (41) に見られるように「faŋ léew faŋ iik」(繰り返し聞く)での「faŋ」は知覚した音に
 も、内容にも使うこともできるし、知覚しなくても構わない。よって、<±結果重視>の
 意味特徴を持つ。

以上考察してきたことを表 4.4 にまとめる。

表 4-4 タイ語における《聴覚活動》に関する動詞及び慣用句の弁別的意思特徴

| 共通の意味特徴
《聴覚活動》 | 弁別的意思特徴 | | |
|---------------------|---------|--------|-------|
| | <意志重視> | <結果重視> | <意図性> |
| faŋ
(聞く) | + | ± | ± |
| ŋiə hǔu
(傾ける・耳) | + | - | + |
| hǔu phùŋ
(耳・立てる) | - | + | - |

「+」: 意味特徴をもつ 「-」: 意味特徴を持たない 「±」: 意味特徴に関してニュートラル

4.4.4 日本語とタイ語の《聴覚活動》の意味特徴の対照比較

以上をまとめると、日本語とタイ語の《聴覚活動》の意味をもつ動詞及び慣用句の考察
 を通じて、4つの弁別的意思特徴があることが明らかになった。即ち、1. 耳を使う聴覚
 活動、2. 意志重視、3. 結果重視、4. 意図性、の4つである。さらに慣用句と動詞ご
 とに持っている弁別的意思特徴が異なる。その特徴を表 4-5 に示す。

表 4-5 日本語とタイ語の《聴覚活動》に関する動詞及び慣用句の弁別的意味特徴

| | 弁別的意味特徴 | | |
|---------------------|---------|--------|-------|
| | <意志重視> | <結果重視> | <意図性> |
| 聞く | － | ＋ | ± |
| 耳を澄ます | ＋ | － | ＋ |
| 耳を傾ける | － | ＋ | ＋ |
| faŋ
(聞く) | ＋ | ± | ± |
| ŋiá hǔu
(傾ける・耳) | ＋ | － | ＋ |
| hǔu phùŋ
(耳・立てる) | － | ＋ | － |

「+」: 意味特徴を持つ 「-」: 意味特徴を持たない 「±」: 意味特徴に関してニュートラル

(1) 「耳を澄ます」は、<+意志重視>、<-結果重視>、<+意志性>の弁別的意味特徴を持つ。タイ語でも「ŋiá hǔu」は「耳を澄ます」と三つとも同じ弁別的意味特徴をもつことが明らかになった。

(2) 「耳を傾ける」は<-意志重視>、<+結果重視>、<+意志性>という弁別的意味特徴を持つが、その意味領域は「聞く」よりも狭い。つまり、「聞く」は「耳を傾ける」よりも<-意志性>の意味特徴の分だけ多い。

(3) 「聞く」は、<-意志重視>、<+結果重視>、<±意志性>の意味特徴を持つ。さらに「聞く」は「耳を傾ける」や「耳を澄ます」よりも意味領域が広い。つまり「聞く」は上位語 (Hypernym) であり、「耳を傾ける」と「耳を澄ます」は下位語 (Hyponym) である。

(4) 「ŋiá hǔu」は<+意志重視>、<-結果重視>、<+意図性>の弁別的意味特徴を持つ。これは「耳を澄ます」と同じ意味特徴であり、「faŋ」は<±結果重視>と<±意図性>を持っており、「ŋiá hǔu」の意味領域は「faŋ」よりも狭い。

(5) 「hǔu phùŋ」は、<-意志重視>、<+結果重視>、<-意志性>の弁別的意味特徴を持つ。「hǔu phùŋ」の弁別的意味特徴において、「耳を澄ます」と全く逆である。しかし、「hǔu phùŋ」は、「耳を傾ける」や「聞く」と同じように<-意志重視>、<+結果重視>の弁別的意味特徴を持つ。ただし、「耳を傾ける」と「hǔu phùŋ」は<意図性>の有無によって異なっており、「聞く」も<±意図性>であるために「hǔu phùŋ」とは異なっている。

(6) 「faŋ」は、<+意志重視>の弁別的意味特徴を持つ。<結果重視>と<意志性>の弁別的意味特徴に関してはニュートラルな特徴を持っている。「faŋ」は、「ŋiá hǔu」や「hǔu phùŋ」に比べて意味の広い語であり、「ŋiá hǔu」や「hǔu phùŋ」は下位語、「faŋ」は上位語となる。さらに日本語における上位語となる「聞く」の意味特徴と比較し

た時、「fan」は「聞く」と同様の上位語ではある。しかし、タイ語の「fan」は<+意志重視>の意味特徴を持ち、他方、「聞く」は<-意志重視>であり、<+結果重視>をも伴う点において異なっている。

このように弁別的意味特徴の分析は、語の明確な定義をするために重要で、タイの日本語学習者や日本のタイ語学習者がよりの確に慣用句や動詞を選択するために役立つであろう。

この研究では、まず共通の意味を持つ語を集めた「語彙の場」を設定し、さらに「置き換えテスト」による成分分析を行い、それぞれの動詞や慣用句間の違いを弁別する意味特徴を明らかにした。

その結果、日本語とタイ語の《聴覚活動》に関する動詞及び慣用句の意味特徴について、4つの弁別的意味特徴の存在が明らかになった。4つの特徴とは、1) 聴覚器官の使用、2) 聴覚活動の意志の強調、3) 聴覚活動の結果の強調、4) 聴覚活動をする意志の表明である。これらの意味特徴を用いて弁別することが可能となることで、それぞれの語の意味をより正確に把握することができる。更にはタイ人日本語学習者や日本人タイ語学習者がそれぞれの語彙や慣用句を適切に使用できるようにするために役立つだろう。

4.5 日・タイ語慣用句の対照的意味分析——《所有・取得》を中心に——

本節では《所有・取得》に関して「khûu muu」(伴う・手)、「tit muu」(付く・手)といった慣用句と「thûu」(持つ)といった一般動詞を取り上げて、これらの意味特徴の弁別の差異を把握することを目的とする。さらに、日本語とタイ語との対照研究をしていきたい。

方法としては、まず、問題の語の用例を収集し、考察する。次に「置き換えのテスト」などのテストを用いてこれらの語を二つずつ比較・検討していく。複数の母語話者に用例の容認性を調査し、この調査の結果をもとに各語の区別に関わっている弁別的意味特徴を抽出する。

従来の研究において日本語の場合は、「手に入れる」、「手にする」、「得る」という語彙に関して、<物理的・空間的移動>と<所有の移動>、<具象性>と<抽象性>、及び<過程性>と<瞬間性>という弁別的意味特徴を持つと考えることで区別できる。

本節においてタイ語の場合にも、<移動性>、<専用性>、<具象性>及び、<抽象性>という弁別的意味特徴を設定し、それぞれ「khûu muu」(伴う・手)、「tit muu」(付く・手)と「thûu」(持つ)という語彙の意味を区別できることを明らかにする。また、上記の日本語慣用句の研究と対照して、その共通点と相違点を考察する。

4.5.1 背景と目的

慣用句は句を構成する個々の語の意味の積み重ねとは異なり、句全体で固有の意味を持つものとされている（宮地 1982、村木 1991 など）。伊藤(1989) や村木 (1985、1991) によると、慣用句には「語彙性」という特性があると考えられている。「語彙性」とは、慣用句が二つ以上の単語の組み合わせであるにも拘わらず、形式的にも意味的にも固定されており、句全体で単語と同じ振る舞いをするのである。このことは、慣用句が一般に単語との交替が可能であることからわかる。

(42) その耳をくすぐった暖かい息が、信夫には {得がたい/手に入れがたい} 宝のよ
うに思われてならなかった。(『塩峠』388)

ところが、慣用句の中には、単語との交替が不可能なものもある。しかし、単語と交替が不可能な慣用句は日本語慣用句全体の一部のみであり、単語との交替が可能な慣用句の方が圧倒的に多いことが観察される。例えば、「手にする／得る」、「手に入れる／得る」、「舌を巻く／驚く」、「目を見張る／驚く」などである。石田 (2001) はこれらの慣用句は単語と対等の語彙単位であるとみなした。さらに、ある一つの慣用句の意味を分析するために、これを同じ「語彙の場」に属する他の語、つまり何らかの共通の意味を持っている他の慣用句や単語と比較し、これらの区別に関わっている弁別的意味特徴を一つずつ明らかにした。

(43) 美人局や恐喝のあきらかな形を取らぬ圧力が、一層多額の金を {手に入れる/手
にする/得る} ために加えられることもあるだろう。(『技巧』85)

上例の置き換え文はほぼ同様に主体が対象を自分の所有とするという意味を表している。つまり、「手に入れる」「手にする」と「得る」の意味に「共通の意味特徴」を持つと考えられる。この「共通の意味特徴」を以下では《所有・取得》と呼ぶことにする。(《 》は共通の意味特徴を示す)。

また、上例の三つの語は《所有・取得》を表す動詞慣用句・一般動詞といった「語彙の場」も構成していると考えられる（石田 2001 : 138）。「語彙の場」とは、共通の意味領域を分かち合い、しかもお互いに直接対立している複数個の語から構成される系合構造 (structure paradigmatic) のことである (コセリウ 1982a:172)。なお、この語彙の場には「手に入れる」などのほかにも様々な慣用句や動詞が属していると思われる（例えば、「手に入る」、「獲得する」、「奪う」など）が、ここでは、「手に入れる」、「手にする」、「得る」に限定する。

一方、「手に入れる」、「手にする」と「得る」は (43) のようにお互いに置き換えられるとは言っても、これらは全く同じ意味を表すわけではない。石田 (2001) はこの三つの

意味的な差異を指摘している。

タイ語にも、《所有・取得》の意味を持つ「語彙の場」に属する慣用句や一般動詞が存在するが、これらの意味特徴の弁別がほとんどなされていない。そこで、以下では、《所有・取得》といった一つの「語彙の場」を設定し、「khûu mww」（伴う・手）、「tit mww」（付く・手）といった慣用句と「thǔw」（持つ）といった一般動詞を取り上げて、これらの意味特徴の弁別の差異を把握することを目的とする。さらに、日本語とタイ語との対照研究を通じて再確認したい。

研究の方法としては、前節と同じようにまず、語の用例を収集し、考察する。次に「置き換えのテスト」、「『ただ～だけ』のテスト」、などのテストを用いてこれらの語を二つずつ比較・検討する。複数の母語話者に用例の容認性を調査し、この調査の結果をもとに各語の区別に関わっている弁別的意味特徴を抽出する。

4.5.2 日本語の慣用句「手に入れる」「手にする」と動詞「得る」の比較対照

4.5.2.1 「手に入れる」と「手にする」

石田(2001)は「手に入れる」と「得る」を取り上げ、これらの弁別的な意味特徴を抽出した。下記の文脈において「手に入れる」と「手にする」は互いに置き換えが可能で、ほぼ同じ事柄（主体が対象を自分の所有とすること）を表わしている。

(44a) しかし、既に紙の値段はあがっているし、なかなか手に入れることができなかった。(『真空』211)

(44b) しかし、既に紙の値段はあがっているし、なかなか手にすることができなかった。

(44a)では、「手に入れる」は所有の移動を表わし、即ち主体が「紙」を自分のものにすることを表す。一方、(44b)では、「手にする」は「紙」を実際手に持つことを表すと解釈される。つまり、「手にする」は所有の移動ではなく、物理・空間的な移動を表している。

次の用例から、「手にする」と「手に入れる」との違いは、前者は物理・空間的な移動を表わすのに対して、後者は常に所有の移動を表わすという点であることがわかる。

(45a) 古本屋でその小説を手にしてばらばらめくったが、結局買わなかったんだ。

(45b) *古本屋でその小説を手に入れてばらばらめくったが、結局買わなかったんだ。

(45c) 古本屋でその小説を手にして、ばらばらと見てから買ったんだ。

(45d) *古本屋でその小説を手に入れて、ばらばらと見てから買ったんだ。

ここでは後の節の「買った」、「買わなかった」に注目したい。(45b)が容認されないのは、「手に入れて」が「買わなかった」と矛盾していると感じられるからである。これは、「手に入れて」が所有の移動を表わすのに対して、「買わなかった」は非所有の移動を表わすからである。また、(45d)が容認されないのは、「手に入れて」と「買った」が両方とも所有の移動を表わし、余剰的(redundant)と感じられるからである。

一方(45a)と(45c)が容認されるのは、「手にする」は所有の移動を問題にしないからである。これらの文では、「手にする」は単なる物理・空間的な移動を表わすと解釈でき、「買った」が表わす所有の移動にも、「買わなかった」が表わす非所有の移動にも一致する。

以上をまとめると、「手にする」は所有の移動、物理・空間的な移動を表わすのに対して、「手に入れる」は常に所有の移動を表わすと言える。そこで、〈所有の移動〉と〈物理・空間的移動〉という弁別的意味特徴を設定し、「手に入れる」は〈所有の移動〉を持つものに対し、「手にする」は〈所有の移動〉と〈物理・空間的移動〉に関してニュートラルであるとする。

4.5.2.2 「手に入れる」と「得る」

次の文において「手に入れる」と「得る」は互いに交換可能であり、ほぼ同じ事柄を表わしている。

(46) 病院では私は米軍の軍医や衛生兵に親しんで、書籍雑誌をほぼ不自由なく {手に入れる／得る} ことが出来たが… (『俘虜』212)

つまり、主体が対象を自分のものにすることを表わしている。

(47a) 僕は会社へ長距離電話をかけ、工場長から長期欠勤の許可を得て入院した。(『黒い』454)

(47b) *僕は会社へ長距離電話をかけ、工場長から長期欠勤の許可を手に入れて入院した。

上記の例 47 は「許可」というヲ格名詞は口頭の許可を表わし、つまり抽象物を表していると解釈されるからである。ところが、(47c)のように「会社へ長距離電話をかけ」を「直接会社へ行き」にすれば、この文は(47b)に比べて容認性が上がる。

(47c) △僕は直接会社へ行き、工場長から長期欠勤の許可を手に入れて入院した。

(47d) 僕は直接会社へ行き、工場長から長期欠勤の許可証を手に入れて入院した。

(47c)は、この文脈では、「許可」は許可証や説明書などの具体物を表わしていると解釈できるからであろう。さらに、(47d)のように「許可」を「許可証」にすれば、ごく自然な文になる。以上から、「手に入れる」は抽象物を対象とせず具体物を対象とすることがわかる。

なお、「手に入れる」と「得る」が互いに置き換えられる場合の中には、取得・所有の対象は具体物とも抽象物とも捉えられる場合が多い。例えば、次の例がある。

(48a) 記号士たちは不法に入手したデータを主として情報のブラック・マーケットに流し、莫大な利益を得る。(『世界』112)

(48b) 記号士たちは不法に入手したデータを主として情報のブラック・マーケットに流し、莫大な利益を手に入れる。

(48a)と(48b)はほぼ同じ事柄を表わしているが、詳しく見ると次のような違いが認められる。(48a)では、「利益」は金銭そのものではなく、例えば、金額や銀行の通帳に記された数字などの抽象的なものであると解釈できる。一方(48b)では、「利益」は金銭そのもの、すなわち、具体物であると解釈される。

以上、「手に入れる」と「得る」は<具象性>と<抽象性>という弁別的意味特徴によって区別できることを示した。「手に入れる」は一般的に具体物を対象とするのに対して、「得る」は抽象物を対象とすると言える。ただこれらの語彙の区別には他の意味特徴も関わっていると考えられる。次の用例を見てみよう。

(49a) 祖父が死んで思いがけず { 大金／200坪の土地 } を得た。

(49b) △祖父が死んで思いがけず { 大金／200坪の土地 } を手に入れた。

(49a)のように、「思いがけず」は矛盾しなかった出来事が起ったことを表わし、対象を取得することを瞬間的な出来事のように描いている。具体的に言うと、(49a)では、「大金」や「(200坪の)土地」が主体の手もとに突然に転がり込んだということを表わしている。このように「得る」が「思いがけず」と共起することから、対象を実際に取得する時点を中心として表わしていることが窺える。なお、(49b)のように「手に入れる」がこの文脈で容認されにくいのは、この慣用句の意味に<過程性>が含まれているからである。そこで、本節では、<瞬間性>という意味特徴を設定し、「得る」はこの特徴を持つのに対して「手に入れる」はこれを持たないことがわかった。

以上、「手に入れる」と「得る」の区別には<過程性>と<瞬間性>といった弁別的意

味特徴が関わっていることを示した。

4.5.2.3 「手にする」と「得る」

「手にする」と「得る」を、同様に<物理的・空間的移動>と<所有の移動>と言う弁別的意味特徴で分析すると、「手にする」はこれらの特徴に関してニュートラルである。これに対して「得る」は<+所有の移動>、また<-物理・空間的移動>であると考えられる。なぜならば、前掲(47a)のように対象を自分のものにすることを表わすが、次の(50b)のように対象を実際手に持つことを表わさないからである。

(50a) 背広を取り出し、整理タンスの抽出を引いて、クリーニング屋から戻ってきたばかりのワイシャツを手にした。(『天使』139)

(50b) *背広を取り出し、整理タンスの抽出を引いて、クリーニング屋から戻ってきたばかりのワイシャツを得た。

また「得る」は<抽象性>という意味特徴を持つが、これに対して「手にする」は<具象性>を持つと考えられる。「手にする」は次のように、(51)具体物を手に持ったり、(52)具体物を自分の所有にしたりすることを表わす。

(51) 植の靴音は狭い室内に響いた。伊津子は黙って編物を手にした。(『背徳』255)

(52) 暗号表を手にしたロシア側ではアンセルの手を借りることなく読解作業をおこなっていた… (『ポーツ』116)

しかし、(53b)のように抽象物を自分の所有とすることを表わさないのが普通である。

(53a) 「そうだ、ではこうしたらどうだ」と部長は、思いつきを得たかのように云った(『黒い』371)

(53b) * 「そうだ、ではこうしたらどうだ」と部長は、思いつきを手にしたかのように云った。

なお、(54)と(55)のように、「手にする」は取得のプロセスを表わす副詞(句)と「やっとのことで」などと共起しにくい。

(54) ? これは汗水をたらして手にした金です。

(55) * やっとのことで暗号表を手にしたロシア側ではアンセルの手を借りることなく読解作業をおこなっていた…

このことは、「手に入れる」が「得る」と同様、＜過程性＞を持たない一方、＜瞬間性＞を持つことを示唆するが、このことに関してはさらなる検討が必要である。

4.5.2.4 日本語の慣用句《所有・取得》に関する分析のまとめ

「手に入れる」、「手にする」、「得る」という語彙はそれぞれ《所有・取得》という共通の意味特徴の他に次のような弁別的意味特徴を持つと考えることで区別できる。まず、「手に入れる」と「手にする」であるが、「手に入れる」は＜所有の移動＞という弁別の意味特徴を持つのに対して、「手にする」は＜所有の移動＞と＜物理・空間的移動＞に関してニュートラルである。「手に入れる」は対象を自分のものにするを常に表すが、「手にする」は対象を自分のものにするを表したり、対象を実際手に取ることを表したりする。

次に「手に入れる」と「得る」であるが、これらはそれぞれ＜具象性＞と＜抽象性＞、また＜過程性＞と＜瞬間性＞という弁別の意味特徴を持つ。「手に入れる」は具象物を取得することを表わし、取得に至るまでの過程に重点がある一方、「得る」は抽象物を取得する行為を表わし、実際に対象を実際に受ける時点に重点が置かれる。

最後に「手にする」と「得る」であるが、「手にする」は＜所有の移動＞と＜物理・空間的移動＞に関してニュートラルであるのに対して、「得る」は＜所有の移動＞の特徴を有する。また、「得る」は＜抽象性＞を有するのに対して、「手にする」は＜具象性＞を有するという点でもこの二つは区別できる。

表 4-6 「手に入れる」、「手にする」、「得る」の弁別的意味特徴

| 共通の意味特徴
《所有・取得》 | 弁別の意味特徴 | | | | | |
|--------------------|----------|-------|-----|-----|-----|-----|
| | 物理・空間的移動 | 所有の移動 | 具象性 | 抽象性 | 過程性 | 瞬間性 |
| 手に入れる | － | ＋ | ＋ | － | ＋ | － |
| 手にする | ± | ± | ＋ | － | － | ＋ |
| 得る | － | ＋ | － | ＋ | － | ＋ |

「＋」：意味特徴を持つ 「－」：意味特徴を持たない 「±」：意味特徴に関してニュートラル

(石田 2001 : 185) をもとに筆者作成

上例では、日本語の慣用句「手に入れる」「手にする」と一般動詞「得る」に関して意味の特徴を弁別した。次に、その「置き換えのテスト」、「『ただ～だけ』のテスト」、「副詞(句)との共起のテスト」などの方法によりタイ語に関わる《所有・取得》の弁別的な意味を分析する。

4.5.3 タイ語の慣用句「khûu mww」、「tìt mww」と動詞「thǔw」の比較対照

本節ではタイ語の《所有・取得》の語彙の場に関わっている三つの慣用句や一般動詞を取りあげて、意味特徴を弁別する。ここで取り上げるのは、「khûu mww」（伴う・手）、「tìt mww」（付く・手）と「thǔw」（持つ）である。

「thǔw」（持つ）と「tìt mww」（付く・手）は動詞であるが、「khûu mww」（伴う・手）は副詞的修飾語である（The Royal Institute 1999）。タイ語の形容詞や動詞を修飾する語彙（副詞的修飾語）には、副詞、前置詞句、数量名詞などがある。形容詞はそのままの形で副詞として動詞を修飾することができる（三上 2002 : 98）。「khûu mww」にもそうした特徴が見られる。

4.5.3.1 「khûu mww」と「tìt mww」

以下では、関連している意味を表すと思われる「khûu mww」（伴う・手）、「tìt mww」（付く・手）と「thǔw」（持つ）といった慣用句や一般動詞を対象とし、これらの慣用句や動詞の共通の意味特徴を明らかにする。

なお、「khûu mww」（伴う・手）は名詞として「説明書」という意味をもつが、ここではこの名詞的用法を対象外とする。さらに、「tìt mww」（付く・手）という慣用句は日本語と同様に、構成要素の個々の単語で組み合わせられるが、全体の慣用句の意味は日本語と異なっており、別の意味を持つ。日本語の「手を付ける」は「仕事などを実際に処理しかかる。」という意味であり、「心配で仕事が手につかない」のように「手が付く」という類義語も持つ（井上 1992:11）。しかし、タイ語の「tìt mww」（付く・手）は持つ、手にとるという意味に近い。

「khûu mww」（伴う・手）と「tìt mww」（付く・手）の用例を見てみよう。次の文脈においてこの二つは交替可能であり、ほぼ同じ事柄を表わしている。

- (56a) khà?nà?nán phrá?yaa phahǒn rápprà?thaanaahǎan lé?
 その時 (タイ国) 第二等官位 パホン (人名) 召し上がる と
 tɛ̃ntua phróomsàp léew naaythahǎansǔa tháŋsǔwŋ sǔwŋ mii
 身支度 完全 もう 将官付部官 二人とも COMP ある
 ?aawút tɛ̃ephian pɔwŋphók khûu mww khonlá? krà?bòk kô
 武器 だけ ピストル 伴う・手 一人ずつ 一丁 (類別詞) そして
 phaa kan khûn rótyon mûŋnâa pai sùu thîi nátmǎay
 連れ立つ 合う 乗る 車 向かう 行く へ 場所 待ち合わせ
 <その時、パホン閣下はご飯を召し上がって身支度しました。専用のピストル
 を携行いた二人の将官付部官と集まって一緒に車に乗り、待ち合わせの場所に向
 かいました>

(<http://ling.arts.chula.ac.th/tnc2/> [PRNV02])

- (56b) **khàʔnàʔnán phráʔyaa pahǎn ráppràʔthaanaahǎan léʔ**
 その時 (タイ国) 第二等官位 パホン (人名) 召し上がる と
tèntua phróomsàp léew naaythahǎansǔa thǎnsǔɔŋ sũŋ mii
 身支度 完全 もう 将官付部官 二人とも COMP ある
ʔaawút tèephiaŋ pɔwɔnphók tít mɔw khonláʔ kràʔbòk kǔ
 武器 だけ ピストル 付く・手 一人ずつ 一丁 (類別詞) そして
phaa kan khũn rótyon mũŋnáa pai sùu thii nátmǎay
 連れ立つ 合う 乗る 車 向かう 行く へ 場所 待ち合わせ
 <その時、パホン閣下はご飯を召し上がって身支度しました。ピストルを携
 持した二人の将官府武官と集まって一緒に車に乗り、待ち合わせの場所に向かいま
 した>

(56a)は(56b)とほぼ同じ事柄を表わしている。このことから、「**khũu mɔw**」伴う・手)と「**tít mɔw**」(付く・手)の意味に共通の部分があることがわかる。つまり、主体が対象を自分のものにすることを表わしているのである。ただし(56a)は習慣的であり(56b)は一時的である。ところが、「**khũu mɔw**」伴う・手)を「**tít mɔw**」(付く・手)に置き換えると文の意味が変わる。

- (57a) **cāaw rāatchabùt mii dàap khũu mɔw lēmnuŋ chũu**
 王族 王子 ある 刀 伴う・手 一本 (類別詞) 名称
wāa dàaprāatchabùt
 COMP 刀 王子
 <王子には一本の序用専用 (伴う・手) の刀があります。「王子刀」という名です>

(<http://ling.arts.chula.ac.th/tnc2/> PRNV035)

- (57b) * **cāaw rāatchabùt mii dàap tít mɔw lēmnuŋ chũu**
 王族 王子 ある 刀 付く・手 一本 (類別詞) 名称
wāa dàaprāatchabùt
 COMP 刀 王子
 <王子には一本の携持した (付く・手) 刀があります。「王子刀」という名です>

(57a)は、常用している専用の刀を使用して、刀に名を付けるほどだと感じられる。王子が所有した刀であることから「王子刀」と名づけた。つまり、「**dàap khũu mɔw**」(刀・伴う・手)は刀を(王子の)自分の所有物としたことを表わしていると解釈される。

一方、(57b)のようにすると文の容認性が落ちる。後の節（「王子刀」と称する）では、刀は王子のものと想像しやすいが、前の節の「dàap tít mɯw」(刀・付く・手)は自分(王子)の所有した刀に関係せずに、刀を携帯した行為を表わしていると解釈されるため、前の節と後の節は意味的に整合しない。

上の例から、<専用性>という特徴を設定する。この「khûu mɯw」は<専用性>を持っているのに対し、「tít mɯw」は<専用性>を持っていないことが確認される。

「khûu mɯw」と「tít mɯw」がそれぞれどのような副詞(句)と共起するのかを調べてみよう。

- (58a) baanwan raw kôw pai khùt phùakman maa tòm
 ある日 私たち も 行く 掘る タロ芋 来る 煮る
 námtaan kin pen khǒŋwǎan náppen ʔaahǎanwǎaŋ thîi
 砂糖 食べる である 甘い物 見なす デザート COMP
 mâl leew khonciin theenthîi càʔ kin khǒŋwǎan dūay
 NEG 悪い 中国人 代わりに FUT 食べる デザート で
 klàp cháí tàʔkiap khûu mɯw thîi thanàt hǎn léew
 かえって 使う 箸 伴う・手 COMP 上手に 見る 回もう
 plèektaa
 目新しい

<時々私たちもタロ芋を掘って来て、お砂糖を入れて煮て、甘いものとして食べます。デザートとして食べるのに悪くないと持っています。中国人がスプーンの代わりに、(使いなれた)専用のお箸で上手に食べているのを見て、珍しいと感じています>

(<http://ling.arts.chula.ac.th/tnc2/> [PRSH011])

- (58b) * baanwan raw kôw pai khùt phùakman maa tòm
 ある日 私たち も 行く 掘る タロ芋 来る 煮る
 námtaan kin pen khǒŋwǎan náppen ʔaahǎanwǎaŋ thîi
 砂糖 食べる である 甘い物 見なす デザート COMP
 mâl leew khonciin theenthîi càʔ kin khǒŋwǎan dūay
 NEG 悪い 中国人 代わりに FUT 食べる デザート で
 chón klàp cháí tàʔkiap tít mɯw thîi thanàt hǎn
 スプーン かえって 使う 箸 伴う・手 COMP 上手に 見る
 léew plèektaa
 もう 目新しい

<時々私たちもタロ芋を掘って来て、お砂糖を入れて煮て、甘いものとして食

べます。デザートとして食べるのに悪くないと持っています見なしています。
 中国人がスプーンの代わりに、（たまたま）**携帯した**お箸で上手に食べている
 のを見て、珍しいと感じています >

(58a)が容認されるのは「お箸を常用している中国人」を表わしていると解釈されるからである。ここでは、箸は個人の中国人のものではなく、中国人全般のものを表していると判断される。「**khûu muuw**」(伴う・手)は「**thanàt**」(上手に)副詞と共起することから、箸を常用していることが上手に使えることを表わしていると考えられる。一方、(58b)が容認されないのは、「**tìt muuw**」が「**thanàt**」(上手に)副詞と共起しにくいからである。「**tìt muuw**」はお箸が使い慣れないのにたまたま上手に使ったという意味と矛盾している。さらに、次の例を見てみよう。

(59a) **wiw sǔay mâak sǐadaay ciŋciŋ mâidâai aw klòŋ tìt muuw**
 景色 美しい 非常に 残念 本当に NEG 取る カメラ 付く・手
maa

来る

<景色が非常に美しいです。大変残念ですが、カメラを**携帯**してきていません>

(<http://ling.arts.chula.ac.th/tnc2/> [NACHM053])

(59b) * **wiw sǔay mâak sǐadaay ciŋciŋ mâidâai aw klòŋ khûu muuw**
 景色 美しい 非常に 残念 本当に NEG 取る カメラ 伴う・手
maa

来る

<景色が非常に美しいです。大変残念ですが、**自分専用**のカメラを持ってきていません。>

(59c) **wiw sǔay mâak sǐadaay ciŋciŋ mâidâai aw klòŋ khûu muuw**
 景色 美しい 非常に 残念 本当に **NEG** 取る カメラ 伴う・手
maa khêe aw klòŋ tìt muuw maa thâwnán

来る **ただ** 取る カメラ 付く・手 来る **だけ**

<景色が非常に美しいです。大変残念ですが、**自分専用**のカメラを持ってきたのではなくて、**ただ**一つの普通のカメラを**携帯**しているだけです>

(59d) * **wiw sǔay mâak sǐadaay ciŋciŋ mâidâai aw klòŋ tìt muuw**
 景色 美しい 非常に 残念 本当に **NEG** 取る カメラ 付く・手

maa khêe aw klŋ khûu mww maa thawnán

来る ただ 取る カメラ 伴う・手 来る だけ

<景色が非常に美しいです。大変残念ですが、カメラを携帯してきたのではなくて、ただ自分専用のカメラを持ってきているだけです>

(59a)では、景色が美しいため写真を撮りたいがカメラを「携帯していない」ことを表わしていると解釈される。つまり、「tít mww」は<移動性>という特徴をもつ。(59b)は日本語では通用してもタイ語では容認しにくい。カメラを一つも持っていないことを表わしたいが、カメラを一つも持っていないのに、専用のカメラを望むのは矛盾している。「ただし～だけ」の置き換えテストで比較した場合をみてみよう。

(59d)が容認されないのは前の節の「残念」と後の節「ただ専用のカメラを持っているだけ」が矛盾しているからである。しかし、(59c)のように容認性がより高くなる場合がある。専用の(khûu mww 伴う・手)カメラを持ってきたのではなく、普通の携帯した(「tít mww」付く・手)カメラを持っていると解釈されるからである。つまり、「khûu mww」は<専用性>を持っており、<移動性>を持っていない。一方、「tít mww」(付く・手)は<専用性>を持っておらず、<移動性>を持っていることが分かる。

4.5.3.2 「tít mww」 と 「thǔw」

次に、「tít mww」(付く・手)と「thǔw」(持つ)を見てみよう。この二つは互いに置き換えられることがある。

(60a) khrán khǒw tènŋaan kòw súw dòokmái tít mww
時 ～をください 結婚する 結果を表す 買う 花 付く・手
pai chônùnŋ
行く 一束

<結婚のプロポーズをする時、花束を買って手に持って行きました>

(<http://ling.arts.chula.ac.th/tnc2/> [NACSS036])

(60b) khrán khǒw tènŋaan kòw súw dòokmái thǔw
時 ～をください 結婚する 結果を表す 買う 花 持つ
pai chônùnŋ
行く 一束

<結婚のプロポーズをする時、花束を買って持って行きました>

「tít mww」(付く・手)と「thǔw」(持つ)は互いに置き換えられないこともある。次の例を見てみよう。

- (61a) sǎŋ sǎisǎi khǒŋ cennîi pràʔchaasǎmphan nâa sǔay
 声 澄む の ジェンニー (人名) 受付 顔 きれい
 râŋ lâm thǎam pai yaŋ nùm lòo lûukhrûŋ phǐw
 体 大きい 尋ねる 行く へ 男子 ハンサムな ハーフ 肌
 khǎaw tua sǔuŋ thîl yuwn thǔw kràʔpǎwèekkasǎan
 白 体 高い COMP 立つ 持つ ブリーフケース
 yùu nâa kháwtêə pràʔchaasǎmphan khǒŋ bɔɔrisàt
 いる 前 カウンター 受付 の 会社
 <澄んだ声、きれいな顔、大きい体をしているジェンニーの受付の人は、カウンターの前にブリーフケースを**持ったまま立っている**白いハーフのハンサムな男性に向かって…と尋ねました>
 (http://www.aftc.or.th/pdf/nititut_chapter1.pdf)

- (61b) *sǎŋ sǎisǎi khǒŋ cennîi pràʔchaasǎmphan nâa sǔay
 声 澄む の ジェンニー (人名) 受付 顔 きれい
 râŋ lâm thǎam pai yaŋ nùm lòo lûukhrûŋ phǐw
 体 大きい 尋ねる 行く へ 男子 ハンサムな ハーフ 肌
 khǎaw tua sǔuŋ thîl yuwn tít muw kràʔpǎwèekkasǎan
 白 体 高い COMP 立つ 付く・手 ブリーフケース
 yùu nâa kháwtêə pràʔchaasǎmphan khǒŋ bɔɔrisàt
 いる 前 カウンター 受付 の 会社
 <澄んだ声、きれいな顔、大きい体をしているジェンニーの受付の人は、カウンターの前にブリーフケースを**携帯したまま立っている**白いハーフのハンサムな男性に…と尋ねました>

(61a)では「**thǔw**」(持つ)は主体が自分のものにすることを表わしている。男性はブリーフケースを床に置かずに手に持ったまま立っている。即ち、ブリーフケースを持ったままどこへも行かないということである。(61b)では、同時に二つの動作をし、主動詞「(カウンターの前に)立っている」ともう一つの移動性を持った動詞「**tít muw**」が意味上は矛盾している。(61b)が容認されないのは移動動詞ではない「立つ」と共起しにくいからである。つまり、「**tít muw**」(付く・手)は動詞自体<移動性>を持っている。一方、「**thǔw**」(持つ)動詞自体は<移動性>をもっていないと解釈される。しかし、移動動詞と共起すれば、<移動性>認められることもある。例えば、(60b)の「**thǔw pai**」(持つ・行く)などである。即ち、「**thǔw**」(持つ)は<移動性>に関してはニュートラルであると考えられる。

4.5.3.3 「khôu mɯw」 と 「thǔw」

4.5.3.1 では、「khôu mɯw」(伴う・手) と 「tít mɯw」(付く・手) が<移動性>と<専用性>という特徴を用いて区別できることを明らかにした。また、4.5.3.2 では、「tít mɯw」(付く・手) と 「thǔw」(持つ) が<移動性>という弁別的意味特徴を用いて区別できることを明らかにした。

Thai National Corpus (<http://ling.arts.chula.ac.th/tnc2/>) より用例を検索した結果によれば、「khôu mɯw」 と 「thǔw」 とを互いに交換できる文はほとんどないことが分かる。「thǔw」には次のような固有の熟語(複合語)がある。

| | |
|-----------------------|-----------|
| thǔw líkkhàsít | (著作権をもつ) |
| thǔw kammasít | (所有権をもつ) |
| thǔw sítthíbàt | (専売特許をもつ) |
| thǔw kammasít thîidin | (借地権をもつ) |

つまり、「thǔw」は<抽象性>を有している。さらに、例(61)の(ブリーフケース)のように<具象性>も有している。しかし、「khôu mɯw」は(56a)ピストル、(58a)箸、(59d)カメラのように<具象性>のみで、上のような抽象的な単語と共起しにくく、<抽象性>を有していないことを示唆する。一方、「tít mɯw」も「khôu mɯw」と同様に(56b)ピストル、(59a)カメラなどのように<具象性>を持っているが、<抽象性>を持っていない。

4.5.3.4 タイ語の慣用句《所有・取得》に関する分析のまとめ

表 4-7 「khôu mɯw」、 「tít mɯw」、 「thǔw」 の弁別的意味特徴

| 共通の意味特徴
《所有・取得》 | 弁別的意味特徴 | | | |
|---------------------------|---------|-----|-----|-----|
| | 専用性 | 移動性 | 具象性 | 抽象性 |
| khôu mɯw
(伴う・手) | + | - | + | - |
| tít mɯw
(付く・手) | - | + | + | - |
| thǔw
(持つ) | ± | ± | + | + |

「+」: 意味特徴を持つ 「-」: 意味特徴を持たない 「±」: 意味特徴に関してニュートラル

「khâu mww」(伴う・手)、「tìt mww」(付く・手)、「thǔw」(持つ)という語彙はそれぞれ《所有・取得》という共通の意味特徴の他に次のような弁別の意味特徴を持つと考えることで区別できる。まず、「khâu mww」(伴う・手)と「tìt mww」(付く・手)であるが、「khâu mww」は<専用性>という弁別の意味特徴を有しているのに対して、「tìt mww」は<専用性>を有していない。一方、「tìt mww」は<移動性>という弁別の意味特徴を有しているのに対して、「khâu mww」は<移動性>を有していない。

次に「tìt mww」(付く・手)と「thǔw」(持つ)であるが、これらはそれぞれ具象物を取得することを表わす。「thǔw」も<抽象性>を有しているのに対して、「tìt mww」は<抽象性>を有していない。また、「tìt mww」は<移動性>を有しているが、<専用性>を有していない。これに対して、「thǔw」は<移動性>と<専用性>に関してニュートラルである。

最後に「khâu mww」(伴う・手)と「thǔw」(持つ)であるが、これらはそれぞれ具象物を取得することを表わす。「thǔw」も<抽象性>を有しているのに対して、「khâu mww」は<抽象性>を有していない。また、「khâu mww」は<専用性>を有しているが、<移動性>を有していない。一方、「thǔw」は<専用性>と<移動性>に関してはニュートラルである。

4.5.4 日本語とタイ語の《所有・取得》の意味特徴の対照比較

日本語の「手に入れる」、「手にする」、「得る」は全て動詞である。一方、タイ語の「thǔw」(持つ)と「tìt mww」(付く・手)は動詞であるが、「khâu mww」(伴う・手)は副詞的修飾語として用いられる(The Royal Institute 1999)。しかし、ほとんどの分析において「tìt mww」(付く・手)も連体修飾語(56b)として使用されている。

(1) 移動という弁別の意味特徴に関しては、日本語は<物理・空間的移動>と<所有の移動>の2つを持っているが、タイ語は<移動性>1つのみである。タイ語の「tìt mww」は<所有の移動>の意味特徴を含まないが、<物理的・空間的移動>の意味特徴を含む。また、「khâu mww」は「所有」を表わすが、<所有の移動>という意味特徴は含まない。すなわち、タイ語では<移動性>という1つの特徴のみで意味を弁別できる。

(2) <専用性>は、タイ語にはあるが日本語にない特徴である。この意味特徴は「khâu mww」(伴う・手)と「tìt mww」(付く・手)の弁別を可能にする。

(3) <過程性>と<瞬間性>は、日本語にはあるがタイ語にはない特徴である。タイ語の「khâu mww」(伴う・手)、「tìt mww」(付く・手)、「thǔw」(持つ)は具象物を取得することを表わし、取得に至るまでの過程に重点がおかれる「手に入れる」のような意味や、抽象物を取得する行為を表わし、対象を実際に取得する時点で重点がおかれる「得る」のような意味を有していないためである。

(4) <具象性>と<抽象性>は、日本語にもタイ語にもある特徴である。本節では、日本語の「手」を使用した慣用句「手に入れる」、「手にする」とタイ語の「手」を使用した「*khûu muw*」(伴う・手)、「*tít muw*」(付く・手)とは具象物について使用していることが分かった。「得る」も「*thǔw*」(持つ)も抽象物について使用していることが分かった。

(5) 「手に入れる」、「手にする」、「*tít muw*」(付く・手)と「*khûu muw*」(伴う・手)は実際に手に持っていることを表している。また、「得る」と「*thǔw*」(持つ)は実際に手に持っていることも手に持っていないことも表わすことができる。

4.5.5 結語

本節では、《所有・取得》を表わす慣用句・一般動詞を中心として研究を行った。

タイ語に関しては、「*khûu muw*」(伴う・手)と「*thǔw*」(持つ)について考察した。これらの慣用句と一般動詞は同じ「語彙の場」に属することが確認された。以上の分析をまとめて見ると、<移動性>、<専用性>、<具象性>及び、<抽象性>という弁別的意味特徴を設定しながら、それぞれの「*khûu muw*」(伴う・手)、「*tít muw*」(付く・手)と「*thǔw*」(持つ)という意味を区別できることを明らかにした。また、日本語慣用句の研究と対照して共通点も相違点もあることを明らかにした。

「*khûu muw*」(伴う・手)と「*thǔw*」(持つ)に関して双方は同じ《所有・取得》といった「語彙の場」を有するが、詳しくみれば、「*khûu muw*」(伴う・手)は《所有》に近いが、「*thǔw*」(持つ)は《取得》に近いことが観察された。

<具象性>と<抽象性>は、日本語にもタイ語にもみられる特徴である。本節「では、日本語、タイ語双方の「手」を用いた慣用句のうち具象物を実際に手にとったという意味の慣用句のみ扱ったが、「手」を用いた他の慣用句は抽象物に意味を拡張するかどうかについてはさらなる考察必要がある。

4.6 日・タイ語慣用句の対照的意味分析——《怒り》を中心に——

4.6.1 背景と目的

本節では、これまでに用いた分析手法によって《怒り》を意義素とする慣用句・動詞の意味的特徴を分析する。ここでも、(62)のように交替性がみとめられる。

慣用句は句を構成する個々の語の意味の積み重ねとは異なり、句全体の固有のものとなっている(宮地 1982、村木 1991 など)。伊藤(1989)や村木(1985、1991)によると、慣用句には「語彙性」という特性があると考えられている。「語彙性」とは、慣用句が二つ以上の単語の組み合わせであるにも関わらず、形式的にも意味的にも固定されており、句

全体で単語と同じ振る舞いをするのであ。このことは、慣用句が一般に単語との交替が可能であることからわかる。

(62) まず、「そんなことを言われたら (腹が立つ／頭にくる／怒る) よ。わかる、わかる」
(中納言 2005 『Yahoo!知恵袋』)

(63) あんまり女性と関係を持った事がないのでは？恋愛下手なんですよ多分。確かに (腹が立つ／頭にくる／怒る) ような事を発言していますが、次回は耳を傾けてあげてみてください。
(中納言 2005 『Yahoo!知恵袋』)

上例の置き換え文ではほぼ同様に「不満・不快なことがあって、がまんできない気持ち」を表している。つまり、「腹が立つ」「頭にくる」と「怒る」は「共通の意味特徴」を持つと考えられる。この「共通の意味特徴」を本節では《怒り》と呼ぶことにする。

また、上例の三つの語は《怒り》を表す動詞慣用句・一般動詞といった「語彙の場」も構成していると考え (石田 2001 : 138)。

一方、「頭にくる」、「腹が立つ」と「怒る」は (62)、(63) のようにお互いに置き換えられるとは言っても、これらは全く同じ意味を表すわけではない。辞書を調べてみると、意味は次のようになる。

- 1) 「怒る」というのは「不満・不快なことがあって、我慢ができない気持ちを表す。腹を立てる。いかる。」
- 2) 「腹が立つ」というのは「怒らずにはいられない、しゃくに障る。」
- 3) 「頭にくる」というのは「怒りで興奮する。かつとなる。」

これらの意味は重なっているが、微妙な差異を内包していることが分かる。母語話者ではない日本語学習者にとってはこれらの差違は理解しにくく、区別して使用することは難しい。タイ人日本語学習者にとっても、これらの意味の差異は区別しにくく、学習が困難なようである。

また、宮地(1988 : 27)は、身体語彙の慣用句について「人間は人類として同じ身体を持っているが、その身体の部位の名称は社会や文化、思想、ものの見方などによって違っている。」という。さらに、慣用句の意味について、「…同じような意味の表現を、いくつかの言語において同じように表現することもあるし、そうでないこともある。一見同じような表現でも、その意味がまったく違うということもある」とも述べている。怒りについても同様のことが観察される。

本節ではタイ語の身体語彙を含む慣用句、特に《怒り》を表すタイ語慣用句の意味分析に注目する。タイ語には、慣用句と一般動詞といった「語彙の場」の《怒り》が存在する

が、これら一つ一つの弁別的意味特徴の検討はほとんどなされていない。本節では、「taa khǐaw」（目・緑色）、「nâa khǐaw」（顔・緑）と「kròot」（怒る）の三つの意味的な差異を把握することを目的とする。

研究の目的と調査データ

本節では、《怒り》という一つの「語彙の場」を設定する。「taa khǐaw」（目・緑色）、「nâa khǐaw」（顔・緑）といった慣用句及び「kròot」（怒る）といった一般動詞を取り上げて、これらの弁別的意味特徴の差異を分析する。

以下、タイ語のデータは Thai National Corpus Department of Linguistics Faculty of Arts Chulalongkorn University (<http://ling.arts.chula.ac.th/tnc2/>) のデータ、及び www.pantip.com のデータを検索した。

調査の方法

- 1) 対象となる語の用例を収集し、考察する。
- 2) 「置き換えのテスト」などのテストを行う。
- 3) これらの語を2つずつ比較・検討する。
- 4) 3名のタイ語母語話者に対して、用例の容認性を調査する。
- 5) この調査の結果をもとに各語の区別に関わっている弁別的意味特徴を抽出する。

4.6.2 日本語の《怒り》に関する先行研究

松木 (Matsuki 1995 : 146) によれば、怒りは、感情を包蔵する容器として見なされた『腹』に存在し、その怒りが強くなって制御できなくなると、怒りは別の容器である『胸』に上昇し、そこに収められる。しかしさらに怒りが強くなり、制御できなくなると、最終的に『頭』へと上昇する。つまり、日本語では、『腹、胸、頭』が怒りという感情が存在する場所ないしは容器と見なされているのである。さらに、松木は、このような怒りに関するシナリオ的知識が日本語に適用されていると指摘している。このような、怒りの起源は「腹」、行き場所は「頭」という考え方は、タイ語には存在しない。

一方さらに秋元 (2006) は日本語と英語の身体部位を含む慣用句の対照研究を行った。その結果、日本語では、「目」を含む慣用句が最も多く、次いで「手」「口」「胸」「足」の順になっている。それに対して英語では、"hand"、"head"、"foot/leg"、"eye"、"ear" の順になっている。さらに、文法的には日本語では、身体語彙を含む慣用句、動詞慣用句、形容詞慣用句、名詞慣用句の中で、動詞慣用句が最も多く、特に「ヲ格」をとるのが最も多いことが分かった。同様に英語においても動詞慣用句、前置詞・名詞慣用句、前置詞・名詞・前置詞慣用句、名詞慣用句があるが、その中では動詞慣用句、特に<他動詞+目的語>パターンが最も多かった。これらの観察に基づいて、日本語と英語で慣用句

数が多かった目／eye、手／hand、および 足／foot・leg を含む動詞慣用句のうち、これらを目的語とする慣用句の中での目／eye、手／hand および足／foot・leg の意味を観察した。秋元はこれらの慣用句の研究を通して、慣用句は人間の言語の普遍性を示していると同時にそれぞれの言語の持つ文化的背景の相違を反映していることを指摘した。

馬場（2001）は「腹が立つ」、「頭にくる」、「むかつく」を取り上げ、これらの弁別的な意味特徴を抽出した。馬場はこの 3 つの語（句）を共時的に分析し、名詞（句）の意味・用法の類似点・相違点を検討した。その結果「腹が立つ」、「頭にくる」「むかつく」のそれぞれ意味特徴を次のように説明している。

「頭にくる」：怒りが「むかつく」より強く、直接人を対象にとる。「ついに」と共起し、怒りの生起の実現の瞬間に注目する。

「腹が立つ」：心中の怒りの状態を専ら表す。「自分」を怒りの対象に取ることができ、内省的である。

「むかつく」：

（Ⅰ）生理的嫌悪感を表す。

（Ⅱ）直接人を対象にとる。怒りへの昇華が十分でなく、心理的嫌悪感が際だつ。

（Ⅱ）の心理的嫌悪感は、（Ⅰ）の生理的嫌悪感からのメタファーによって成り立っている。

以上のように、馬場はそれぞれの意味特徴について述べているが、それらの慣用句の弁別の意味特徴を比較して説明してはいない。さらに、「頭にくる」の意味的特徴の一部は怒りが「むかつく」より強いと設定している。日本語を母語とする者にはこういった特徴の示し方が理解されると考えられるが、日本語学習者は「むかつく」と「頭にくる」の意味の差を理解することは難しい。「頭にくる」の意味特徴を、他の語の意味特徴によらずに、設定することが必要である。つまり、個々の慣用句は意味的な特徴を把握し、他の語との比較に拠らない独立した弁別の意味特性を示す必要がある。

4.6.3 タイ語の慣用句「*taa khǐaw*」、「*nâa khǐaw*」と動詞「*kròot*」の比較対照

本研究ではタイ語の《怒り》という「語彙の場」に関わる三つの慣用句と一般動詞を取りあげて、意味特徴を弁別する。秋元（2006）は日本語も英語も身体部位を含む慣用句が最も多いのは「目」と主張している。そこでタイ語の慣用句についても「目」に焦点を当てて研究を行う。「*kròot*」《怒る》についての「目」を含む慣用句は、「*taa khǐaw*」（目・緑色）典型である。この慣用句と同様な構造で似ている意味を持つ「*nâa khǐaw*」（顔・緑色）と比較し研究を行う。従って、ここで取り上げるのは、「*taa khǐaw*」（目・緑色）、「*nâa khǐaw*」（顔・緑）と「*kròot*」（怒る）である。

富田は、「*taa khǎaw*」(目・緑色)、「*nâa khǎaw*」(顔・緑)の意味を以下のように解説している。

taa khǎaw (目・緑色) は「怒ってにらむさま」という意味である (富田 1990:706)。

nâa khǎaw (顔・緑色) は「苦痛、病気、疲労、激怒などによって青ざめた顔になる」という意味である (富田 1990:1883)。

双方の意味は似ているためタイ語学習者にこれらの意味は区別しにくい。そこで、まずこれらの意味的な特徴を考察してみよう。

「*kròot*」(怒る)は動詞であるが、「*taa khǎaw*」(目・緑色)、「*nâa khǎaw*」(顔・緑色)は副詞的修飾語である。まず、次の例をみてみよう。

(64) *mûawaanníi aacaan kròot phûakraw con nâa khǎaw læəy*
 昨日 先生 怒る 私達 ほど 顔 緑色 ~てしまう
 <昨日先生は顔が青ざめるほど私達に怒った。> (宮本 1992:4)

慣用句は動詞(句)を修飾することができる。これにより、「連用修飾語の付加」がなされる。つまり、慣用句自体は「顔が青ざめるほど」という修飾成分になり、被修飾成分である動詞(句)の直後に置かれる。さらに、以下に用例を示す。

(65) *mâi phûut aʔrai sák kham tɛɛ tham taa khǎaw*
 NEG 話す 何 ぐらい 一言 しかし する 目 緑色
 <一言も口にせずに怒ってにらんだ。> (宮本 1992:6)

(65)では「*taa khǎaw*」は「*tham*」にかかる程度修飾として用いられている

4.6.3.1 「*taa khǎaw*」と「*nâa khǎaw*」

本節では「*taa khǎaw*」と「*nâa khǎaw*」について考察する。次の例を見てみよう。

(66a) *mii khon maalee caidii ɔ̀k maa càak khlàp aasǎa*
 いる 人 マレーシア やさしい 出る 来る から ナイトクラブ 申し出る
chûay pai sòŋ phǒm kàp céemǔay thîi nâa roonrɛɛm
 手伝う 行く 送る 僕 と チェームアイ(人名) で 前 ホテル
phɔ̀w klàp maa thǔŋ aasòŋ mâi phɔ̀wcai mâak tham
 すると 帰る 来る 着く アーソン(人名) NEG 満足 非常に する

nâa khǎaw læy wooywaay phaasǎa ciin kàp céemǔay
 顔 ・ 緑色 ～てしまう 騒ぐ 言語 中国 と チェームアイ (人名)
 (<http://pantip.com/topic/30417437>)

<優しいマレーシア人がいた。ナイトクラブを出ると、彼が僕とチェームアイをホテルの前まで見送ると申し出てくれた。ホテルに帰り着くと、アーソンは非常に不満だった。怒りで青ざめた顔になり、中国語でチェームアイに騒ぎ立てた。>

(66b) mii khon maalee caidii còk maa càak khlàp aasǎa
 いる 人 マレーシア やさしい 出る 来る から ナイトクラブ 申し出る
 chûay pai sòŋ phǒm kàp céemǔay thîi nâa roonreem
 手伝う 行く 送る 僕 と チェームアイ (人名) で 前 ホテル
 phɔɔ klàp maa thǔŋ aasòŋ mâi phɔɔcai mâak tham
 すると 帰る 来る 着く アーソン (人名) NEG 満足 非常に する
taa khǎaw læy wooywaay phaasǎa ciin kàp céemǔay
 目 ・ 緑色 ～てしまう 騒ぐ 言語 中国 と チェームアイ (人名)

(<http://pantip.com/topic/30417437> から **taa khǎaw** を改変)

<優しいマレーシア人がいた。ナイトクラブを出ると、彼が僕とチェームアイをホテルの前まで見送ると申し出てくれた。ホテルに帰り着くと、アーソンは非常に不満だった。怒って睨んで、中国語でチェームアイに騒ぎ立てた。>

例 ((66a)、(66b)では「**nâa khǎaw**」とも「**taa khǎaw**」とも言える。共通の意味特徴を持つと考えられる。次の例 (67a) と (67b) も、例(66)と同様に、「**nâa khǎaw**」と「**taa khǎaw**」を置き換えることができる。しかし、対象者(「(**sài phîithûat**」(**phîithûat** に向かって))を (67a) と (67b) に入れた場合、(例 (67c) と (67d) のように「**nâa khǎaw**」または「**taa khǎaw**」のどちらか使用できない場合もある。

メールでのやりとり

(67a) nán phîithûat eŋ khǔɔ laa pai thamŋaan kòon ná?cá?
 では テュアド兄(人名) 自分で くれる 失礼する 行く 働く 先に 間投詞
 cáwnaay mɔɔŋ **nâa khǎaw** léɛw
 上司 見る 顔 ・ 緑色 もう

(<http://pantip.com/topic/30413759>)

<じゃあ、テュアド兄は仕事であるからこれで失礼するよ。上司が怒って顔が青くなっているから。>

(67b) *nán phĩthúat ej khǒw laa pai thamjaan kòn*
 では テウアド兄(人名) 自分で くれる 失礼する 行く 働く 先に
ná?cá? câwnaay mɔwŋ taa khǐaw léew
 間投詞 上司 見る 目・緑色 もう

(<http://pantip.com/topic/30413759> から taa khǐaw に改変)

<じゃあ、テウアド兄は仕事があるからこれで失礼するよ。上司が怒って睨んでいるから。 >

(67c) *nán phĩthúat ej khǒw laa pai thamjaan kòn*
 では テウアド兄(人名) 自分で くれる 失礼する 行く 働く 先に
ná?cá? câwnaay mɔwŋ taa khǐaw sài phĩthúat léew
 間投詞 上司 見る 目・緑色 に ピーテウアド(人名) もう

<じゃあ、ピーテウアドは仕事するからこれで失礼するよ。上司が私に怒って睨んでいるから。 >

(67d) **nán phĩthúat ej khǒw laa pai thamjaan kòn*
 では テウアド兄(人名) 自分で くれる 失礼する 行く 働く 先に
ná?cá? câwnaay mɔwŋ nâa khǐaw sài phĩthúat léew
 間投詞 上司 見る 顔・緑色 に テウアド兄(人名) もう

*<じゃあ、ピーテウアドは仕事するからこれで失礼するよ。上司が私に怒って青くなっているから。 >

例文 (67c)、(67d) において「*sài phĩthúat*」のように対象者を含んでいる場合は、(67c) は言えるが (67d) は言えない。(67d) が容認しにくいのは後の部分（「*sài phĩthúat*」(に向かって・テウアド兄(人名)) を必要としないからである。つまり、(67c) は上司が私 (*phĩthúat*) に視線を送ることを表す。視線の先にいる対象者を表現しても自然に聞える。一方、(67d) の場合、「*nâa khǐaw*」(顔・緑色)は上司の怒っている状態を比喩的に表す。すなわち上司はだれかにその「*nâa khǐaw*」という表情を送るのではなく、ただその表情をつくるのみである。従って、対象者を加えた(67d) の場合、怒っているという意味は理解できるが、不自然な文となってしまう。

ここで<対象者重視>という弁別的意味特徴を設定する。上例により「*nâa khǐaw*」は<対象者重視>という弁別的意味特徴を持っていないが、「*taa khǐaw*」は<対象者重視>という弁別的意味特徴をもっていることが分かった。

さらに「*nâa khǐaw*」は<-対象者重視>を持つことと「*taa khǐaw*」は<+対象者重視>を持つことを確認するために上記の例(66a), (66b)において文中に対象者を加えてみる。

「**phûakraw**」(私たち) という対象者を文に加えてみると、次のような文(66c)、(66d)になる。

(66c) *mii khon maalee caidii òk maa càak khlàp aasăa chûay
 いる 人 マレーシア やさしい 出る 来る から ナイトクラブ 申し出る 手伝う
 pai sòŋ phǒm kàp céemǔay thîi nâa roonɽem phɔɔ
 行く 送る 僕 と チェームアイ (人名) で 前 ホテル すると
 klàp maa thǔŋ aasôŋ mâi phɔɔcai mâak tham nâa khǐaw sài
 帰る 来る 着く アーソン NEG 満足 非常に する 顔・緑色 に
phûakraw ləəy wooywaay phaasăa ciin kàp céemǔay
 僕ら ~てしまう 騒ぐ 言語 中国 と チェームアイ (人名)

(66) の例文に「**sài phûakraw**」(対象者)を追加

*<優しいマレーシア人がいた。ナイトクラブを出ると、彼が僕とチェームアイをホテルの前まで見送ると申し出てくれた。ホテルに帰り着くと、アーソンは非常に不満だった。僕らにむかって怒りで青ざめた顔になった。中国語でチェームアイに騒ぎ立てた。>

(66d) mii khon maalee caidii òk maa càak khlàp aasăa chûay
 いる 人 マレーシア やさしい 出る 来る から ナイトクラブ 申し出る 手伝う
 pai sòŋ phǒm kàp céemǔay thîi nâa roonɽem phɔɔ
 行く 送る 僕 と チェームアイ (人名) で 前 ホテル すると
 klàp maa thǔŋ aasôŋ mâi phɔɔcai mâak tham taa khǐaw sài
 帰る 来る 着く アーソン NEG 満足 非常に する 目・緑色 に
phûakraw ləəy
 僕ら ~てしまう

(66b) に (対象者「**sài phûakraw**」)を追加

*<優しいマレーシア人がいた。ナイトクラブを出ると、彼が僕とチェームアイをホテルの前まで見送ると申し出てくれた。ホテルに帰り着くと、アーソンは非常に不満だった。僕らにむかって怒って睨んだ。中国語でチェームアイに騒ぎ立てた。>

対象者が必要であるかどうかを確認するため、対象者を例(66c)にも(66d)にも加えてみた。その結果、例(66c)は言えないが、(66d)は許容される。例(66d)はだれか対象者に「(怒って睨んだ)視線」を送ることを表せるが、例(66c)はだれか対象者に向かって「顔の表情」を送ることを表せず、(アーソンの非常に不満だった)「**nâa khǐaw**」という「顔の表情」自体を描写することを表すのみである。

これらの例から見れば、「**nâa khǎaw**」は<対象者重視>という弁別的意味特徴を持っていないが、「**taa khǎaw**」は<対象者重視>という弁別的意味特徴を有しているといえる。

4.6.3.2 「**nâa khǎaw**」と「**kròot**」

次に「**nâa khǎaw**」と「**kròot**」を考察する。次の例を見てみよう。

(68a) bunphòŋ kôw khon yàak rúu mǔankan wâa hàak pen
 ブンポン (人名) も だろう ~たい 知る 同じ COMP もし である
 phàʔnii pai sòŋ khǎwŋ míyoochí càʔ klâa tham tò
 パニー (人名) 行く 送る 物 みよし (人名) FUT あえて する ~に対して
 nâa phàʔnii mái sũŋ kôw dâi phǎn míyoochí **kròot**
 前 パニー (人名) Q COMP 結果を表す 得る 結果 みよし 怒る
nâa khǎaw cên maa hǎa bunphòŋ thîi ráan thanthii
 顔 緑色 急いで 来る 訪ねる ブンポン (人名) に 店 すぐに
 phróom pràʔyòok dùʔdùat wâa khun yaŋ mii khwaam
 同時に 文章 痛烈 と (伝聞) あなた まだ ある こと
 pen phôw khon yùu mái thũŋdâi sòŋ lûuksǎw pai nai
 である 父 人間 ~ている Q 結果を表す 送る 娘 行く 中
 thîi lewráay bɛɛpnán
 所 危険 こんな

(<http://pantip.com/topic/30618252>)

<ブンポンももしパニーに配達をさせたら、みよしはパニーの前(面前)でするかどうかわかりたいと思った。結局、みよしは**激怒した**。すぐにブンポンを訪ねて店にやってきました。「娘をあんな危険な所まで行かせて、父親の自覚があるのか?」>

(68b) bunphòŋ kôw khon yàak rúu mǔankan wâa hàak pen
 ブンポン (人名) も だろう ~たい 知る 同じ COMP もし である
 phàʔnii pai sòŋ khǎwŋ míyoochí càʔ klâa tham tò
 パニー (人名) 行く 送る 物 みよし (人名) FUT あえて する ~に対して
 nâa phàʔnii mái sũŋ kôw dâi phǎn míyoochí **kròot**
 前 パニー (人名) Q COMP 結果を表す 得る 結果 みよし 怒る
mâak cên maa hǎa bunphòŋ thîi ráan thanthii
 非常に 急いで 来る 訪ねる ブンポン (人名) に 店 すぐに
 phróom pràʔyòok dùʔdùat wâa khun yaŋ mii khwaam
 同時に 文章 痛烈 と (伝聞) あなた まだ ある こと

pen phôw khon yùu mái thǔŋdâi sòŋ lúuksǎw pai nai
 である 父 人間 ~ている Q 結果を表す 送る 娘 行く 中
 thîi lewráay bɛ̀ɛpnán
 所 危険 こんな

((68a) の「kròot nâa khǐaw」を「kròt mâak」に改変)
 <ブンポンももしパニーに配達をさせたら、みよしがパニーの前(面前)でするか
 どうか知りたいと思った。結局、みよしは**非常に怒った**。すぐにブンポンを訪ねて
 店にやってきた。「娘をあんな危険な所まで行かせて、父親の自覚があるのか？」
 >

(68c) bunphòŋ kôw khon yàak rúu mǔankan wâa hàak pen
 ブンポン(人名) も だろう ~たい 知る 同じ COMP もし である
 phàʔnii pai sòŋ khǒŋ míyoochí càʔ klâa tham tò
 パニー(人名) 行く 送る 物 みよし(人名) FUT あえて する ~に対して
 nâa phàʔnii mái sũŋ kôw dâi phǒn míyoochí nâa
 前 パニー(人名) Q COMP 結果を表す 得る 結果 みよし 顔・
khǐaw cên maa hǎa bunphòŋ thîi ráan thanthii
緑色 急いで 来る 訪ねる ブンポン(人名) に 店 すぐに
 phróom pràʔyòok dùʔdùat wâa khun yan mii khwaam
 同時に 文章 痛烈 と(伝聞) あなた まだ ある こと
 pen phôw khon yùu mái thǔŋdâi sòŋ lúuksǎw pai nai
 である 父 人間 ~ている Q 結果を表す 送る 娘 行く 中
 thîi lewráay bɛ̀ɛpnán

((68a) の「kròot nâa khǐaw」を「nâa khǐaw」に改変)
 <ブンポンももしパニーに配達をさせたら、みよしがパニーの前(面前)でするか
 どうか知りたいと思った。結局、みよしは**(怒りで)青ざめた顔になった**。すぐに
 ブンポンを訪ねてやってきた。「娘をあんな危険な所まで行かせて、父親の自覚が
 あるのか？」

この例では、(68a) (68b) (68c)は全て成立し、ほぼ同じ意味を表している。全ては「パニーに危険な所まで物を配達させること」に対して不満で怒るということを表している。(68b)は「kròot mâak」はみよしという主語の動作を表すが、(68c) (「nâa khǐaw」)は主語の《怒り》の状態を表す。一方、(68a)は「kròot nâa khǐaw」は「nâa khǐaw」の程度まで怒ることを表す。つまり、「kròot」と「nâa khǐaw」は共通の意味を持っている。しかし、「kròot」を「nâa khǐaw」に、「nâa khǐaw」を「kròot」に置き換えができない場合もある。

(69) luum pai wâa raw tŋ mâi prà?màat tèe
 忘れる ~てしまう と(伝聞) 私 ~なければならない NEG 油断 しかし
 wanní raw klàp prà?màat khâw pai kiawkhŋ kàp khrai
 今日 私 かえって 油断 入る 行く 連絡 と だれか
 baŋkhon thîi mâi khuan cà? cækan iik dûaykhwaamthîi
 ある人 理路関係代名詞 NEG べき FUT 会う また 理由を表す
 mâi duu hâi diidii kròot tuaen ciŋciŋ
 NEG 見る ~にする 良い 怒る 自分 本当に

(<http://guru.google.co.th/guru/thread?tid=4f70ae0e9d63371f>)

<自分が油断してはいけなことを忘れてしまった。今日は油断して、もう会わないほうがいと連絡してしまった。自分自身に対して本当に怒った。>

例 (69)では「kròot tuaen」(怒る・自分)はよく考えないでもう会わないほうが良いと接触した自分に対して怒っている。この場合はその接触した人に対して怒っているのではなくて、自分に対して怒っているわけである。怒る主体と怒る対象者は同じ人である。つまり、怒りの源は自分自身にある。

しかし、例(68b) (「kròot」)は主語(みよし)がブンポンに怒ることを表す。すなわち、怒りの源は他者に由来する。

上に述べたように、「kròot」の源は自分自身である場合も他者である場合もある。そこで、<自分を源とする>といった弁別的意味特徴を設定する。以下は<自己起因性>と呼ぶ。「kròot」は<自己起因性>という特性がある場合もあり、<自己起因性>という特性がない場合もある。<自己起因性>について、「nâa khǐaw」はどうであろうか。例(70a)、(70b)、(70c)を見てみよう。

(70a) kròot tuaen thîi mâi klâa tham dâitèe khít
 怒る 自分 関係代名詞 NEG 勇気 する だけ 考える

(<http://pantip.com/topic/30684477>)

<私は考えているだけでやる勇気がない自分自身に対して怒っている。>

(70b) * tham nâa khǐaw sài tuaen thîi mâi klâa tham dâitèe khít
 する 顔・緑色 に 自分 関係代名詞 NEG 勇気 する だけ 考える
 * <私は考えているだけでやる勇気がない自分自身に対して怒りで青ざめた顔になった。>

(70c) * kròot tuaen thîi mâi klâa tham dâitèe khít con
 怒る 自分 関係代名詞 NEG 勇気 する だけ 考える まで

nâa khǐaw

顔・緑色

* <私は考えているだけでやる勇気がない自分自身に対して青ざめた顔になるほど怒っている。>

例(70a)は「kròot tuaenj」(自分自身に対して怒った)と言えるが、(70b)と(70c)は「nâa khǐaw」は言えない。「nâa khǐaw」は怒りの源が自分自身に内在する場合には使用できない。そこで、「nâa khǐaw」は<—自己起因性>を伴う。

4.6.3.3 「taa khǐaw」 と 「kròot」

本節では「taa khǐaw」と「kròot」を考察する。次の例を見てみよう。

(71a) phîl sǒn kháv cà? thambun wankhət sǒmkhuan léew
 お兄さん ソーン(人名) 彼 FUT 布施する 誕生日 足る もう
 thîi phûakraw cà? heelo pai kan mâi khuan mii khrai
 COMP 私達 FUT 集まり 行く 一緒に NEG べき いる だれ
 khàat ɲaan ní nǒkcaak khâaphacâw sǎcai thîi pai
 欠席する パーティー この 以外 私 残念 COMP 行く
 rûamɲaan dūay mâidâi tìt thú?rá? sǎmkhan phîi sǒn
 参加する も NEG つく 用事 大切な お兄さん ソーン(人名)
 mɔŋ taa khǐaw khùu òk maa wâa thú?rá? a?rai
 見る 目・緑 脅す 出る 来る と(伝聞) 用事 何
 thũŋcà? sǎmkhan kwàa ɲaan khǒŋ chán
 まで 大切な より パーティー の 私

(<http://ling.arts.chula.ac.th/tnc2/> [NACHM065])

<ソーン兄さんはお誕生日のお布施のパーティーを行います。私達も皆で参加するべきですが、私は大切な用事があり、残念ながら出席ができません。ソーン兄さんは怒って睨みながら、どんな用事が、私のお布施のパーティーより大切なのかと脅してきました。>

(71b) phîl sǒn kháv cà? thambun wankhət sǒmkhuan léew
 お兄さん ソーン(人名) 彼 FUT 布施する 誕生日 足る もう
 thîi phûakraw cà? heelo pai kan mâi khuan mii khrai
 COMP 私達 FUT 集まり 行く 一緒に NEG べき いる だれ
 khàat ɲaan ní nǒkcaak khâaphacâw sǎcai thîi
 欠席する パーティー この 以外 私 残念 COMP

pai rûamɲaan dūay mâidâi tìt thúʔráʔ sǎmkhan
 行く 参加する も NEG つく 用事 大切な
 phîi sǔɔn kròt khùu òk maa wâa thúʔráʔ aʔrai
 お兄さん ソーン (人名) 怒る 脅す 出る 来る と(伝聞) 用事 何
 thũŋcàʔ sǎmkhan kwàa ɲaan khǒɔŋ chán
 まで 大切な より パーティー の 私

((71a)の「mɔɔŋ taa khǐaw」を「kròt」に改変)
 <ソーン兄さんがお誕生日のお布施のパーティーを行います。私達も皆で参加するべきですが、私は大切な用事があり、残念ながら出席ができません。ソーン兄さんは、**怒り**ながら、どんな用事が、私のお布施のパーティーより大切なのかと**脅**してきました。>

上の例は「不満・不快なことがあって、我慢ができない気持ち」を表している。(71a)と(71b)は双方とも主語(ソーン)が「自分の誕生日のパーティーに欠席すること」に対して怒ったことを表し、共通の意味をもっている。しかし、どんな場合でも「taa khǐaw」と「kròt」が交替可能わけではない。例(72a)と(72b)を検討してみよう。

(72a) thâa phǒn sùttháay òk maa pen yàaŋnán cingɲ raw
 もし 結果 最後 出る くる である こんな 本当に 私達
 kôɔ khonj tham aʔrai mâidâi lòp pai kròot ɲiapɲiap
 結果を表す だろう する 何 NEG こっそり 行く 怒る 静か
khondiaw

一人

<もし、実際にそのような結果ならば、どうしようもない。こっそり**一人**で怒るしかない。>

(<http://pantip.com/topic/30679494> (302-4))

(72b) *thâa phǒn sùttháay òk maa pen yàaŋnán cingɲ raw
 もし 結果 最後 出る くる である こんな 本当に 私達
 kôɔ khonj tham aʔrai mâidâi lòp pai tham taa
 結果を表す だろう する 何 NEG こっそり 行く する 目
khǐaw ɲiapɲiap khondiaw
 緑色 静か 一人

((72a)の「kròot」を「taa khǐaw」に改変)

*<もし、実際にそのような結果ならば、どうしようもない。こっそり**一人**で怒って睨むしかない。>

「*ŋiapŋiap khondiaw*」と言えば、この場面は一人にいるという状況が考えられる。一人にいる状況において(72a)「*kròot ŋiapŋiap khondiaw*」とは言えるが、(72b)「*tham taa khǐaw ŋiapŋiap khondiaw*」とは言えない。つまり、例(72a) こっそり一人にいる場合でも「*kròot*」(怒る)という動詞は成立する。「*kròot*」は動作の対象を必要としないためである。それに対して、「(tham) *taa khǐaw*」は怒りを表出する対象を必要とする。つまり、「こっそりと一人にいる」ことと「(tham) *taa khǐaw*」は矛盾していると考えられる。

さらに、例(71a)と(71b)を見てみよう。(71a)「*mɔŋ taa khǐaw khùu*」とも(71b)「*kròot khùu*」とも言える。「*khùu*」脅かすは相手を恐れさせるという動作のため、だれかに対して動作をすることが考えられる。「*mɔŋ taa khǐaw*」という動作あるいは「*kròot*」という動作をと伴いながら、同時に「*taa khǐaw*」、「*khùu*」という動作をすることができる。つまり、「*taa khǐaw*」、「*kròot*」は感情の<表出性>を表しているといえる。また同時に、例(72a)のように「*kròot*」は<表出性>を示さない場合もあることがわかる。

そこで、上の例の考察を踏まえて、本節では、<表出性>という弁別的意味特徴を設定し、「*taa khǐaw*」は<+表出性>を示すが、「*kròot*」は表出することも表出しないこともあることが分かる。つまり、<±表出性>を示すとする。

以上から分析の結果は次のようになる。

表 4-8 「*taa khǐaw*」、「*nâa khǐaw*」、「*kròot*」の弁別的意味特徴の一部

| | 共通の意味特徴
《怒り》 | 弁別的意味特徴 | | |
|--------------------------|-----------------|---------|---------|-------|
| | | <対象者重視> | <自己起因性> | <表出性> |
| <i>taa khǐaw</i>
目・緑色 | + | + | | + |
| <i>nâa khǐaw</i>
顔・緑色 | + | - | - | |
| <i>kròot</i>
怒る | + | | ± | ± |

「+」: 意味特徴を持つ 「-」: 意味特徴を持たない 「±」: 意味特徴に関してニュートラル

1. 「*taa khǐaw*」と「*nâa khǐaw*」

「*taa khǐaw*」と「*nâa khǐaw*」を比較し、<対象者重視>を弁別的意味特徴に設定した。(例 (66)、(67) を参照)

「*taa khǐaw*」は<+対象者重視>という特性を持つ。

「*nâa khǐaw*」は<-対象者重視>という特性を持つ。

2. 「nâa khǎaw」 と 「kròot」

「nâa khǎaw」 と 「kròot」 を比較し、＜自己起因性＞を弁別的意味特徴に設定した。
(例 (68)、(69)、(70) を参照)

「nâa khǎaw」 は ＜－自己起因性＞という特性を持つ。

「kròot」 は ＜±自己起因性＞という特性を持つ。

3. 「taa khǎaw」 と 「kròot」

「taa khǎaw」 と 「kròot」 を比較し、＜表出性＞を弁別的意味特徴に設定した。(例
(71)、(72) を参照)

「taa khǎaw」 は ＜＋表出性＞という特性を持つ。

「kròot」 は ＜±表出性＞という特性を持つ。

以上これらの 3 つの弁別的意味特徴について考察した。次に、置き換えのテストで
(ア) 「kròot」 は＜対象者重視＞を有するかどうか、(イ) 「taa khǎaw」 は＜自己起因性＞
を有するかどうか、(ウ) 「nâa khǎaw」 は＜表出性＞を有するかどうか、それぞれ検討す
る。

(ア) 「kròot」 は＜対象者重視＞を有するかどうか

前掲 (67) において「kròot」を用いた文を見てみよう。

(67e) nán phǐithûat eŋ khǒo laa pai thamŋaan kòon ná?cá?
では テウアド兄(人名) 自分で くれる 失礼する 行く 働く 先に 間投詞
câwnaay kròot léew
上司 怒る もう

(67a) の「nâa khǎaw」を「kròot」に改変
＜じゃあ、ピーテウアドは仕事するからこれで失礼するよ。上司が怒ったから。
>

(67f) nán phǐithûat eŋ khǒo laa pai thamŋaan kòon ná?cá?
では テウアド兄(人名) 自分で くれる 失礼する 行く 働く 先に 間投詞
câwnaay kròot phǐithûat léew
上司 怒る ピーテウアド(人名) もう

((67e) に「phǐithûat」を付加
＜じゃあ、ピーテウアドは仕事するからこれで失礼するよ。上司が私を怒ったか
ら。>

例(67e)、(67f) は両方とも同じ内容であるといえる。例(67f) は「kròot」の

phîithûat という対象者を入れたが、例(67e)は文脈から「kròot」の対象者を省いても、phîithûat を対象者としていることが理解できる。つまり「kròot」という動作の対象者を文面に表すかどうかに関わらず、対象者を必要としていることが分かる。そのため、「kròot」は<対象者重視>を有すると言える。

(イ) 「**taa khǐaw**」は<自己起因性>を有するかどうか

前傾(70)において「kròot tuaen」を改変した)下の例を見てみよう。

(70d) ***tham taa khǐaw sài tuaen thîi mâi klâa tham**
 する 目・緑色 に 自分 関係代名詞 NEG あえて する
dâitèe khít
 だけ 考える

((70b) から「nâa khǐaw」を改変)

*<私は考えているだけでやる勇気がない**自分自身に対して怒って睨んだ**。>

(70e) ***kròot tuaen thîi mâi klâa tham dâitèe khít con**
 怒る 自分 関係詞 NEG 勇気 する だけ 考える まで
taa khǐaw
 目・緑色

((70c) から「nâa khǐaw」を改変)

*<私は考えているだけでやる勇気がない**自分自身に対して睨むほど怒っている**。>

例(70a)は「kròot tuaen」(自分自身に対して怒った)と言えるが、(70d)と(70e)は「taa khǐaw」は使えない。「taa khǐaw」は怒りの源は自分自身に由来する場合は使用できない。そこで、「taa khǐaw」は<—自己起因性>を伴うといえる。

(ウ) 「**nâa khǐaw**」は<表出性>を有するかどうか

(71c) **phîi sǒn kháv cà? thambun wankàət sǒmkhuan léew**
 お兄さん ソーン(人名) 彼 FUT 布施する 誕生日 足る もう
thîi phûakraw cà? heelo pai kan mâi khuan mii khrai
 COMP 私達 FUT 集まり 行く 一緒に NEG べき いる だれ
khàat ɲaan ní nǒkcaək khâaphacâw sǎcai thîi pai
 欠席する パーティー この 以外 私 残念 COMP 行く
rûamɲaan dûay mâidâi tít thú?rá? sǎmkhan phîi sǒn
 参加する も NEG つく 用事 大切な お兄さん ソーン(人名)

mɔɔŋ nâa khǐaw khùu òk maa wâa thúʔráʔ aʔrai thǔŋcàʔ
 見る 目・緑 脅す 出る 来る と(伝聞) 用事 何 まで
 sǎmkhan kwàa ŋaan khǔɔŋ chán
 大切な より パーティー の 私

<ソーン兄さんがお誕生日のお布施のパーティーを行います。私達も皆で参加すべきですが、私は大切な用事があり、残念ながら出席ができません。ソーン兄さんは怒りで顔が青ざめながら、どんな用事が、私のお布施のパーティーより大切なのかと脅してきました。>

例(71c)のように「mɔɔŋ nâa khǐaw khùu」とも言えるが、例(71a)「mɔɔŋ taa khǐaw khùu」の意味とは同様であるとはいえない。「khùu」(脅す)は相手を恐れさせるという動作のため、だれかに対して動作をすると考えられる。「mɔɔŋ taa khǐaw」という動作をしながら、同時に「taa khǐaw」、「khùu」という動作をすることができる。しかし、「mɔɔŋ nâa khǐaw khùu」は、「mɔɔŋ」「nâa khǐaw」「khùu」の順で「mɔɔŋ」(見る)という動作をしてからどのような顔であるかを描写する。その後、だれかに対し「khùu」という動作をする。つまり、「nâa khǐaw」は一連の動作のなかでの<表出性>を示していると言える。

4.6.3.4 タイ語の慣用句《怒り》に関する分析のまとめ

上の例の考察を踏まえて、本研究では、「nâa khǐaw」は<+表出性>を示すとする。これらの検討した結果、「taa khǐaw」、「nâa khǐaw」、「kròt」についての弁別的意味特徴は表 4-9 のようになる

表 4-9 「taa khǐaw」、「nâa khǐaw」、「kròt」の弁別的意味特徴

| | 共通の意味特徴
《怒り》 | 弁別的意味特徴 | | |
|-------------------|-----------------|---------|---------|-------|
| | | <対象者重視> | <自己起因性> | <表出性> |
| taa khǐaw
目・緑色 | + | + | - | + |
| nâa khǐaw
顔・緑色 | + | - | - | + |
| kròt
怒る | + | + | ± | ± |

「+」: 意味特徴を持つ 「-」: 意味特徴を持たない 「±」: 意味特徴に関してニュートラル

「taa khǐaw」(目・緑色)、「nâa khǐaw」(顔・緑色)、「kròt」(怒る)という語彙はそ

れぞれ《怒り》という共通の意味特徴の他に次のような弁別的意味特徴を持つことがわかった。

まず、「*taa khǎaw*」(目・緑色)と「*nâa khǎaw*」(顔・緑色)であるが、「*taa khǎaw*」は<対象者重視>という弁別的意味特徴を有しているのに対して、「*nâa khǎaw*」は<対象者重視>を有していない。一方、「*taa khǎaw*」と「*nâa khǎaw*」両方とも<自己起因性>という弁別的意味特徴を有していないのに対して、<表出性>は持っているといえる。

次に「*nâa khǎaw*」(顔・緑色)と「*kròot*」(怒る)であるが、「*nâa khǎaw*」は<対象者重視>と<自己起因性>を有していないのに対して、「*kròot*」は<対象者重視>を有しているが、<自己起因性>についてはニュートラルである。一方、「*nâa khǎaw*」は<表出性>を有しているのに対して、「*kròot*」は<表出性>についてはニュートラルである。

最後に「*taa khǎaw*」(顔・緑色)と「*kròot*」(怒る)であるが、「*taa khǎaw*」は<対象者重視>と<表出性>を有しているのに対して「*kròot*」は<対象者重視>を有しているが、<表出性>に関してニュートラルである。一方、「*taa khǎaw*」は<自己起因性>を有していないことを表わす。それに対して、「*kròot*」は<自己起因性>に関してはニュートラルである。

本節では、タイ語慣用句の《怒り》について弁別的意味特徴を明らかにした。タイ語の表現は動作の一連のプロセスを重視した分析的な表現を好む傾向がある。この背景には、宗教などの要素、伝統文化影響も考えられる。概して、タイ人は表面は穏やかであるが、怒りが頂点に達した場合は、例えば、政治行動などに見られるように直接行動に移すケースも少なくない。

一般に感情表現や心情表現といわれるものには、動詞や形容詞を用いたもの、複合的な慣用句成分となったものなど多岐にわたり、また言語そのものと同時に、非言語的コミュニケーションによって現されることも少なくない。怒りにしても、表層的なもの、一時的なもの、継続持続的なものがあり、また、怒りがもたらされる契機や背景、即ち原因や理由、両者の環境など、文脈の分析も欠かせない。日本語においても「怒りをあらわにする」、「怒りがおさまらない」、「怒り心頭に発する」「怒りが爆発する」「怒りが鎮まらない」「怒髪天を衝く」など、怒りは古来からさまざまな表現がなされ、不快表現のなかでもその程度は広義であり、きわめて日常的である⁽¹⁾。

人間の日常生活における対人接触のほかに、様々な物理的障害、例えば、自然災害による被害は「腹を立てる」よりも「ダメージを受ける」という表現になる。また、人間以外でも、たとえば、環境破壊に対して、「自然は怒っている」のような言い方をする。これはまた、両言語の発想の習慣に基づくもので、言語文化の研究領域として興味深い。今後の課題としては、こうした日本語の多様な場面における《怒り》の観察と並行して、日・タイ語慣用句の対照的意味分析に取り組んで行きたい。さらに、その対極にある《喜び》のような別の感情表現についても研究する必要がある。

4.6.4 日本語の慣用句「頭にくる」「腹が立つ」と動詞「怒る」の比較対照

4.6.4.1 Ishida (2004)による研究の考察

Ishida (2004)では日本語の《怒り》の意味分析を行っている。対象語は「怒る」という一般動詞と、「頭にくる」、「腹が立つ」、「癩にさわる」、「腸が煮えくり返る」、「腹に据えかねる」、「むかつく」、「癩癩を起こす」、「切れる」、「腹を立てる」、「堪忍袋の緒が切れる」という《怒り》に関する慣用句について分析を行った。Ishida (2004)は日本語に関する動詞及び慣用句の意味特徴について5つの弁別の意味特徴を設定している。5つの特徴とは1) アスペクト 2) <現実化する前の時間の経過> 3) <漸進性> 4) <他者起因性> 5) <外面性>の設定である。以下はIshida (2004:1-15)がまとめた意味を日本語で表にしたものである。なお「怒る」は本章では「おこる」の意味に用いる。

表 4-10 日本語の《怒り》の慣用句と動詞の弁別の意味特徴

| | <継続性/>
<継続性/
状態性>
<瞬間性> | <現実化する
前の時間の経
過> | <漸進性> | <他者起因性
> | <外面性> |
|---------------|----------------------------------|------------------------|-------|-------------|-------|
| 怒る | <継続性> | ± | - | + | ± |
| 頭にくる | <継続性/
状態性> | ± | - | ± | - |
| 腹が立つ | <継続性/
状態性> | 不適用 | + | ± | - |
| 癩にさわる | <継続性/
状態性> | 不適用 | + | + | - |
| 腸が煮えく
り返る | <継続性/
状態性> | 不適用 | + | + | - |
| 腹に据えか
ねる | <継続性/
状態性> | + | - | + | - |
| むかつく | <継続性/
状態性> | - | ± | ± | - |
| 癩癩を起こ
す | <継続性> | ± | - | ± | + |
| 切れる | <継続性> | ± | - | + | + |
| 腹を立てる | <継続性> | ± | - | ± | - |
| 堪忍袋の緒
が切れる | <瞬間性> | + | - | + | + |

(筆者作成)

次に、上の5つの意味特徴に沿って考察する。

1) アスペクト及びIshida(2004)の再検討

Ishida(2004)の分析は《怒り》の慣用句や動詞は、ある程度の時間の経過をその内に含んで感情や状態を表現するというものである。アスペクトによって<継続性>、<状態性>及び<瞬間性>という3つのタイプに分ける。1) <継続性/状態性>はその慣用句が継続するものであり、状態として表現できるものである。例として「頭にくる」、「腹が立つ」、「癩にさわる」、「腸が煮えくり返る」、「腹に据えかねる」、「むかつく」がある。2) <継続性>は1)と同様に継続性があるが状態ではないものである。例として、「痛癩を起こす」、「切れる」、「腹をたてる」、「怒る」を挙げている。3) <瞬間性>はIshida(2004)によると瞬間的に起こるものである。例として「堪忍袋の緒が切れる」がある。以下の用例は特に断りが無い限りIshida(2004)による。

(73) 友達の自分勝手さにますます腹を立てた。

(74) 彼の演説内容にますます腸が煮えくり返った。

(73) と (74) では、副詞「ますます」を使用することで、その怒りが同じ状態ではなく怒りの程度が高くなることを表す。つまり「腹を立てた」「腸が煮えくり返った」ようにタ形で使用した際、そのできごととは継続していることを表す。(<+継続性>)。

(75a) 理不尽な扱いを受けたことに堪忍袋の緒が切れた。

(75b) *理不尽な扱いを受けたことにますます堪忍袋の緒が切れた。

(75a) では、「堪忍袋の緒が切れる」はタ形で表現し、瞬間的に怒りが生じたという意味である。「ますます」は度合いが上昇する意味であることから、「堪忍袋の緒が切れる」は(75b)のように「ますます」と共起しない。

しかし、Ishida(2004)は1人称が話している時点で怒っていることを表すには、「テイル」しか使えないという。「怒る」のル形は未来や習慣や過去のことについて語る時に使うことに限定してしまうと述べている。次のような例である。

(76a) 娘の連日の朝帰りに怒っている。

(76b) △娘の連日の朝帰りに怒る。

Ishida(2004)は「怒る」動詞は<継続性>を持つと述べている。さらに、Ishida(2004)によれば、(76c)「堪忍袋の緒が切れる」の「切れる」は過去の瞬間の事態を表し、(76d)「切れている」は、話し手がどうしても受け入れ難いことを語る際の表現で結果を述べるものである。しかし、(76e)「切れた」は、結果状態を表すと述べている。

(77b)「切れる」は、前述したように近似、未来の出来事を表すこと述べている。

(76c) △娘の連日の朝帰りに堪忍袋の緒が切れる。

(76d) ??娘の連日の朝帰りに堪忍袋の緒が切れている。

(76e) 娘の連日の朝帰りに堪忍袋の緒が切れた。

(77a) 妻の不倫に夫が切れている。 (作例)

(77b) △妻の不倫に夫が切れる。 (作例)

「癩癩を起こす」場合は(78a)のテイルは現在を表すが、(78b)のル形は習慣を表す。

(78a) 太郎は次郎に叩かれて癩癩を起こしている。

(78b) 太郎は次郎に { ?叩かれて / 叩かれると } 癩癩を起こす。 (作例)

「頭にくる」と「腹が立つ」の場合は、発話時に第一人称に怒りが生じていることを表し、ル形、テイル形で使用されている。

(79) ファン、選手を無視したオーナー達に { 腹がたつ / 腹がたっている }。

(80) テレビ局は野球のことしか頭にないようで、{ 頭にくる / 頭にきている }。

一方、「癩にさわる」場合は、発話時に第一人称に怒りが生じていることを表し、かつル形で使用されている。

(81a) なによりも、「ブルル…」という、そこから響いてくる音が癩にさわる。

(81b) △なによりも、「ブルル…」という、そこから響いてくる音が癩にさわっている。

本研究に関連した「怒る」、「頭にくる」、「腹が立つ」について Ishida(2004)は、発話時に 1 人称において怒りの発生を表す際は、「頭にくる、腹が立つ」、「怒っている、頭に来ている、腹が立っている」が使用されていると述べている。しかし、「頭にくる」と「頭に来ている」、「腹が立つ」と「腹が立っている」の差異については、述べられていない。また「怒っている」が「怒る」よりも出現度が高いということについては言及されていない。

Ishida(2004)は意味の成分分析という研究方法を使用している。意味の成分分析は弁別の意味特徴を設定したマトリックスで価値を表し、「プラス」「マイナス」という分け方をしている。Ishida(2004)はアスペクトという観点から、《怒り》に関する慣用句は<継続性><状態性>及び<瞬間性>をもつとしている。<継続性><状態性>及び<瞬間性>といった意味的側面ではないアスペクトを「プラス」「マイナス」の 2 極で分けることはできない。このような観点からアスペクトによる弁別のしかたは有効ではないと判断される。

「怒る」の場合に関して Ishida(2004)は<継続性>のみを持つと述べており、状態動詞と考えられ、「怒る」と「怒っている」の状況を挙げているが、差異については言及していない。ここでは、(76a)と(76b)の差異を議論したい。

(76a) 娘の連日の朝帰りに怒っている。 (前掲)

(76b) △娘の連日の朝帰りに怒る。 (前掲)

(76a)「怒っている」は父が娘の連日の朝帰りのことに対する今現在の怒りを述べる。娘が目の前にいてもいなくても「怒っている」が使える。連日娘の帰りが遅くて父が「怒っている」というように。しかし、父は娘に対して、直接文句を言ったわけではなく、一人で怒っている状態である。(76b)「怒る」は場面が限定されていて、習慣的なことや条件を伴う場合、未来について使うことができる。つまり、この場面では「怒っている」も「怒る」も状態を表すことが理解できる。

さらに、「頭にくる」のル形とテイル形の使用、「腹が立つ」のル形とテイル形の使用については、両方の形が使えると述べているが、どう違っているかは言及されていない。以下では、この点について述べたい。

(79) ファン、選手を無視したオーナー達に {腹がたつ／腹がたっている}。 (前掲)

(80) テレビ局は野球のことしか頭にないようで、{頭にくる／頭にきている}。 (前掲)

(79)はファンと選手などがオーナー達の態度に対して《怒り》を表す。「腹が立つ」は今現在の状況に《怒り》を感じていることである。「腹が立っている」は過去からの出来事も含め継続した《怒り》の状況である。(80)はテレビの視聴者が野球の番組しか放送しないのでテレビ局に対して怒りを表す。「頭にくる」はテレビをつけてまた野球をやっていると聞いたとたんに《怒り》が込み上げた状態で、つまり「～ル」は現在の状態を表し、「～テイル」は過去からの継続を表す。

2) 「怒りが現実化する前の時間の経過」及び Ishida(2004)の再検討

日本語の怒りの慣用句は、現実化する前の時間の経過があるかどうかで違いがある。この<現実化する前の時間の経過>に関しては、「ついに／とうとう」「すぐに／急に」と共起するか否かで弁別される。

「ついに／とうとう」は、<ある状況や状態の現実化を要求する時間>の意味を含み、これらの副詞と共起するか否かで、現実化する前の時間の経過があるかないかが分かる。

「堪忍袋の緒が切れる」と「腹に据えかねる」は怒りが発するまで累積期(潜在期)が要求される。例を見てみよう。

(76c) その父は、娘の連日の朝帰りについて堪忍袋の緒が切れた。

(82) とうとう鈴木さんは腹に据えかねて、仕切りの柵をくぐり抜け、隣の空き地へ踏み込んでいった。

「すぐに／急に」は、現実化する前の時間の経過がないことを意味する。「堪忍袋の緒が切れる」、「腹に据えかねる」を使用した文に「すぐに／急に」を入れてみると、許容しにくいことが分かる。

(82a) * 鈴木さんはすぐに腹に据えかねて、仕切りの柵をくぐり抜け、隣の空き地へ踏み込んでいった。

(82b) * 鈴木さんは急に腹に据えかねて、仕切りの柵をくぐり抜け、隣の空き地へ踏み込んでいった。

(83a)?? ラムズフェルド米国防長官は「バグダッドは無法地帯」という報道を聞き、すぐに堪忍袋の緒が切れた。

(83b)?? ラムズフェルド米国防長官は「バグダッドは無法地帯」という報道を聞き、急に堪忍袋の緒が切れた。

「堪忍袋の緒が切れる」「腹に据えかねる」は、「ついに／とうとう」とは共起するが、「すぐに／急に」とは共起しない。累積期が要求される<+現実化する前の時間の経過>が必要である。これに対して、突然怒ることで、現実化するのに時間の経過が必要ではない場合は、どうであろうか。「むかつく」の例を見てみよう。

(84) すぐにむかついたり、切れたりする子どもに育てているのはやっぱり大人なのです。

(85)* 2人の少年はゆう君の態度にとうとうむかついた、と話している。

「むかつく」は「すぐに／急に」と共起するが、「ついに／とうとう」とは共起しない。「むかつく」は、累積期が要求されない<-現実化する前の時間の経過>を表す。

一方、「腹が煮えくり返る」は、時間で分けられない、というより時間を超えている慣用句であり、「ついに／とうとう」「すぐに／急に」と共起しない。

(86a) イスラエル軍によるパレスチナ同胞への仕打ちを連日テレビで見て、アラブ民衆は腸が煮えくり返った。

(86b) * イスラエル軍によるパレスチナ同胞への仕打ちを連日テレビで見て、アラブ民衆はついに腸が煮えくり返った。

(74a) 彼の演説内容に腸が煮えくり返ってきた。

(74b) *彼の演説内容についに腸が煮えくり返ってきた。

Ishida (2004) は、「腸が煮えくり返る」と同様に、「癩にさわる」「腹がたつ」は時間で分けられないというより時間を超えていると述べている。つまり、<現実化する前の時間の経過>を適用できないということである。

Ishida によると、「腹が立つ」は<現実化する前の時間の経過>が不適用であるが、「頭にくる」「怒る」は<現実化する前の時間の経過>もあり得ると述べている。次の例を参照されたい。

(76d) その父は、娘の連日の朝帰りについて頭にきた。

(87) 感情の線がゆるみ、ちょっとした妻のことばもすぐ頭に来て、手を振り上げてしまう。

Ishida(2004)は「腹がたつ」は時間の経過と怒りの累積の度合いの基準は設定することはできないとしている。即ち<現実化する前の時間の経過>という特徴は不適用とは考えにくい。したがって、「腹が立つ」は、状況判断が難しく混乱を招きやすくだの場面で使用すれば良いのか分からなくなってしまうので、一概に不適用ということは言えない。

逆に、「頭にくる」などは、この点について<±現実化する前の時間の経過>を持つか持たないかということあまり考えずに広く使えるのである。

さらに、Ishida(2004)は「腹が立つ」は<現実化する前の時間の経過>という特徴は不適用と述べているが、「ついに」と共起しないわけではない。次の例を見てみよう。

(88a) メールはバンバン届く。サイトのメルマガまで届く。3日がたった。ついに腹が立った。いつになったら解約になるのだろう。

(BCCWJ Yahoo!ブログ 2008/Yahoo!サービス) (一部改変)

「腹が立った」では、解約したはずなのに、毎日まだメルマガが届いていて、3日経ってもコンピューターをつけて、またメルマガが届いているから、そのメルマガに向かって、怒りが生じたことを表している。

この場面では「腹が立った」が「ついに」と共起することができる。「腹が立つ」は「ついに」と不適用ではなく状況により適用できると考えられる。次に、「ついに」と「頭に来た」が共起する場合とどう違っているか論じたい。

(88b) メールはバンバン届く。サイトのメルマガまで届く。3日がたった。ついに頭にきた。いつになったら解約になるのだろう。

(BCCWJ Yahoo!ブログ 2008/Yahoo!サービス)

例(88b)「頭に来た」では解約してから、3日経ち、初めてコンピューターをつけたら、メルマガがまだ届いていたことに対し、瞬時に怒りが生じたことを述べている。この場合は「頭に来た」が使用できて、<現実化する前の時間の経過>を持たないことになっている。この場面では、両方の「頭にきた」と「腹が立った」は「ついに」と共起することが分かる。

(89) 哲学者は苦い顔で、「おもしろいですか？」そして、かう問い返すと急に腹が立って来たらしく、酒をぐっと飲みほして、…

(BCCWJ 丸谷才一(著) 1993 書籍/9 文学 女ざかり 文芸春秋)

例(89)で「腹が立つ」は「急に」と共起することが分かる。つまり、「腹が立つ」は、<現実化する前の時間の経過>を持つことも持たないこともある。

3) 漸進性:「だんだん〜てくる」の付加及びIshida(2004)の再検討

「だんだん〜てくる」は段階的な変化を表す。つまり、怒りの状態は時間の経過で現実化する。「てくる」は怒りのない状態から怒りの状態になることを表現する。

「腹がたつ」は「だんだん〜てくる」と共起するが、「ついに／とうとう」「すぐに／急に」とは共起しない。

(90) だんだん腹が立ってきた。政治は何をしている。俺たちが払った税金を、今被災者を助けず何に使うんだ。(Ishida 2004:8)

「切れる」「腹に据えかねる」は、「ついに／とうとう」「すぐに／急に」と共起するが、「だんだん〜てくる」とは共起しない。また、「堪忍袋の緒が切れる」「腹に据えかねる」「切れる」「怒る」は現在の怒りで、時間を分けられないことを表す。

(91) *最初は希望を持ったが、年金と多国籍軍参加でだんだん切れてきた。

(75c)*理不尽な扱いを受けたことにだんだん堪忍袋の緒が切れてきた。

「腹がたつ」「腸が煮えくり返る」「癩にさわる」は段階的に時を超えて、現実になることを表す。

(74c) 彼の演説内容にだんだん腸が煮えくり返ってきた。

「たつ」は「たってきた」、「煮えくり返る」は「煮えくり返ってきた」、「さわる」は「さわってきた」といえる。

このように、日本語の怒りに関する動詞や慣用句は、＜漸進性＞で区別できる。つまり、「腹がたつ」「癢にさわる」「腸が煮えくり返る」は、＜+漸進性＞である。「むかつく」は、＜±漸進性＞である。「頭にくる」、「腹に据えかねる」「癩癩を起す」、「切れる」、「腹をたてる」「堪忍袋の緒が切れる」と「怒る」は、＜-漸進性＞といえる。以下の例を参照されたい。

(92) ? 韓国高官は、なかなか会おうとしないホワイトハウス高官にだんだん怒ってきた。

(93) ? 僕は目の障害を馬鹿にされ、だんだん頭にきた。

(73a)? 友達の自分勝手さにだんだん腹をたてた。

(94) 調べでは、生徒は…女性と2人の左腕や右耳などに軽い怪我をさせた疑い。男子生徒は「体育祭を見ていたら {急にむかついた / だんだんむかついてきた} と話しているという。

以下、「頭にくる」「腹が立つ」の「～ル」形が現在の状態を表し、「～テイル」形は過去からの継続を表すことについて考察する。

(79) ファン、選手を無視したオーナー達に {腹がたつ / 腹がたっている}。 (前掲)

(80) テレビ局は野球のことしか頭にないようで、{頭にくる / 頭にきている}。 (前掲)

(79)はファンと選手などがオーナー達の態度に「怒り」を表す。「腹が立つ」は今現在の状況に「腹が立つ」ことを表す。「腹が立っている」は過去からのできごとも含め継続したい怒りの状況である。

(80)はテレビの視聴者が野球の番組しか放送しないのでテレビ局に対しての怒りを表す。「頭にくる」は、テレビをつけてまた野球をやっていると思ったとたんに怒りが込み上げた状態を表す。「頭にきている」は過去からのできごとも含め継続したい怒りの状況である。

つまり、「～ル」現在形は現在の状態を表し、「～テイル」形は過去からの継続を表す。

しかし、次の例文(95a)「腹が立つ」と(95b)「頭にくる」は、意味がほぼ同じである。「怒り」の感情はすぐに表わし、その場限りの怒りで継続はさほどではない状態を表している。

(95a) メニューの中の一品をオーダーしても素気なく、ありません、と言われると、腹が立つ。

(BCCWJ 阿木燿子(著) 1998 書籍/9 文学 ちょっとだけ随天使 講談社)
(一部改変)

(95b) メニューの中の一品をオーダーしても素気なく、ありません、と言われると、頭にくる。

(BCCWJ 阿木燿子(著) 1998 書籍/9 文学 ちょっとだけ随天使 講談社)

このように意味の違いが少ない「腹が立つ」と「頭にくる」だが、「だんだん～くる」と「ますます～」を使用することで違いが明らかになる。例文をみてみよう。

(79a) ファン、選手を無視したオーナー達にだんだん腹がたってくる。

((79)に「だんだん」を追加)

(79b) ファン、選手を無視したオーナー達にますます腹がたってくる。

((79)に「ますます」を追加)

(80a)*テレビ局は野球のことしか頭にないようで、だんだん頭にきている。

((80)に「だんだん」を追加)

(80b)?テレビ局は野球のことしか頭にないようで、ますます頭にきている。

((80)に「ますます」を追加)

上記のように「腹が立つ」に「だんだん」を付けると、時間の経過とともに怒りが少しずつ増していくことを表す。(79a)と(79b)「だんだん腹がたってくる」と「ますます腹がたってくる」の「だんだん～くる」、「ますます～くる」を使用できるのは、「腹がたつ」という怒りの状態が、時間の経過による怒りの累積も考えられるので漸進的な表現も可能であるといえる。しかし、(80a)と(80b)の「頭にくる」はその時の瞬間的な怒りを表すため「だんだん」や「ますます」の副詞と共起すると矛盾を生じる。従って、「腹が立つ」は漸進性を持っているが、「頭にくる」は漸進性を持っていない。よって、腹が立つは「+漸進性」であるが、頭にくるは「-漸進性」である。

4) 自己起因性と他者起因性：「自分に～／自分の～に～」との用法及び Ishida (2004) の再検討

Ishida (2004) は、怒りの感情というものは自分が原因で起こるものと、他者が原因であるものとに分けている。以下の例は自分が原因で自分に対して感情が向けられているものである。

- (96) 「自分にむかっていた。」打席に入る金本は、常に先手をとられる苦しい展開の中で期待に応えられずにいた自分に腹がたった。

一方、以下の「堪忍袋の緒が切れる」「腹に据えかねる」「癩にさわる」は、他者が原因となり外の対象や原因に対して怒りが向けられるものである。すなわち、〈+他者起因〉である。

- (76e) その父は、娘の連日の朝帰りについて堪忍袋の緒が切れた。
(102) とうとう鈴木さんは腹に据えかねて、仕切りの柵をくぐり抜け、隣の空き地へ踏み込んでいった。
(74d) 彼の演説内容にますます腸が煮えくり返った。

「頭にくる」「癩癩を起こす」「腹がたつ」「腹をたてる」「むかつく」は、「自分に／自分の～に～」をつけることもできる。〈±他者起因性〉を表す。

- (98) 朝青龍は… 6連勝中と相性のいい旭天鵬戦に敗れたこと以上に、自分の相撲内容に腹を立てているのかもしれない。〈-他者起因性〉

「堪忍袋の緒が切れる」「腹が煮えくり返った」「癩にさわる」は「自分に／自分の」と共起しない。

- (99) ?手法の仕事ができない自分にとうとう堪忍袋の緒が切れた。
(100) {*自分の相撲内容／*自分の醜態}が腹に据えかねた。
(101) ??チームの不人気を変えられない自分に腸が煮えくり返った。

Ishida はここでは、〈他者起因性〉に加えて〈自己起因性〉を〈±他者起因性〉としている。

Ishida (2004) の例を使用して「頭にくる」、「腹が立つ」、の他者起因性の弁別について、以下のように考える。

この項目について、Ishida (2004)がまとめた分析では〈他者起因性〉としているが、内容からすると「自分に／自分の～に」を入れられるかどうかのテストをしているので〈自己起因性〉とした方が相応しいように思われる。

また、松木 (1995) によれば、怒りの源は「腹」にあり、最終的に「頭」に至るとあるが、「頭にくる」は自己起因性を持ち、「ついに」という副詞によっては外に表出することで他者を対象とする要因になると思われる。これについて日本語母語話者 3 人にインタビ

ューを行った結果、《怒り》のイメージとして「怒りが腹から頭まで昇って行くと、外に発せられる」という説明を得た。即ち自分の頭に怒りが達した場合、自分自身に向かってその怒りを表すのではなく、外に表出することで頭に残らないと解釈できる。さらに、馬場（2001）は、「頭にくる」は、直接、人を対象にとり「ついに」と共起し、怒りの生起の実現の瞬間にあると述べている。

本研究では、＜自己起因性＞を設定し、「腹が立つ」は＜自己起因性＞を持っている状態とみなす。

5) 外面性：怒りの感情と怒りのふるまい：内心～、～らしい／ようだ

怒りを感じることに、その怒りを表に出すこととは異なる。「腸が煮えくり返っている」ことは純粋に内面的なことで、「口に出すか」「口に出さないか」ことは外面的なことである。

- (103) 「判決があつてから、多くの人から励ましの電話や手紙をいただいた。腸が煮えくり返っているが、自分では口に出せないという人は、是非私のところに連絡してほしいと思います。

内面的なことは、「内心」を入れても文意が通る（Ishida 2004:11）

- (104) 弟は（日朝協議の）進展のなさに内心腸が煮えくり返っていたらしい。
(105) 親日派のアーミテージ国務副長官らは、内心頭にきていたらしい。
(106) 決定したとき、上司は彼に「新天地でも頑張ってくれ」と声をかけたが、内心は腹を立てていたらしい。

「堪忍袋の緒が切れる」は、声、ことば、動きで分かる明白な怒りの表出であるから、「内心」を入れることはできない。

- (103a) …堪忍袋の緒が切れたが、自分では口に出せないという人…
(107a) ラムズフェルド米国防長官は「バグダッドは無法地帯」という報道に堪忍袋の緒が切れた。
(107b) *ラムズフェルド米国防長官は「バグダッドは無法地帯」という報道に内心堪忍袋の緒が切れた。

このように、外面に現れる怒りかどうかは 3 人称に「らしい」「ようだ」をつけることで分かる。これらは、話し手が不確実な事柄を言う時に用いる。怒っているらしい「らしい」は、根拠・推量をあらわしている。「怒っているようだ」の「ようだ」は、不確

実な断定をあらわしている。

つまり、外面に現れた怒りの感情を 3 人称主語の文に「らしい」「ようだ」をつけることで状態を表すことができる。

(108) (あの人は) 年下の者に注意されたことが癩にさわった {*φ/らしい}。

(109) ?些細なことから口論になり、10 倍 20 倍とまくしたてられた亭主が癩癩を起こした。

「怒る」は「ようだ/らしい」をつけると伝聞の意味になる。〈±外面性〉

(104a) 弟は (日朝協議の) 進展のなさに怒った。

(106a) 決定したとき、上司は彼に「新天地でも頑張ってくれ」と声をかけたが、内心は怒っていたらしい。

「頭にくる」「癩にさわる」「腹がたつ」「腹をたてる」「腹に据えかねる」「腸が煮えくり返る」「むかつく」は主体が 3 人称の時に、「らしい/ようだ」が使える。「癩癩を起こす」「切れる」「堪忍袋の緒が切れる」は、〈+外面性〉となる。

以上のように、Ishida(2004)は《怒り》について考察しているが、「頭にくる」、「腹がたつ」及び「怒る」の特徴について、筆者の分析は一部異なることが解った。(表 4-11 及び表 4-12 を参照されたい)

表 4-11 Ishida(2004)による日本語の「頭にくる」「腹がたつ」「怒る」の弁別的意味特徴

| 共通の意味特徴《怒り》 | <継続>
<継続/状態>
<瞬時> | <現実化する前の時間の経過> | <漸進性> | <他者起因性> | <外面性> |
|-------------|-------------------------|----------------|-------|---------|-------|
| 頭にくる | <継続/状態> | ± | - | ± | - |
| 腹がたつ | <継続/状態> | 不適用 | + | ± | - |
| 怒る | <継続> | ± | - | + | ± |

出典：Ishida (2004:14)より「頭にくる」「腹がたつ」「怒る」のみ

上記の Ishida(2004)において、以下の点について変更を加えた。1) アスペクトについての分析方法では弁別分析法という方法は不適切である。2) 「怒る」は<継続性>を持つのみではなく、<状態性>を持つこともある。3) <現実化する前の期間の経過>という特徴は「腹が立つ」について不適用と述べているが、「ついに」「急に」と共起することができる。4) <他者起因性>という特徴は、本研究では<自己起因性>とした。

表 4-12 筆者による「頭にくる」「腹がたつ」「怒る」の弁別的意味特徴の考察

| 共通の意味特徴 《怒り》 | | 弁別の意味特徴 | | | |
|--------------|---------|----------------|-------|---------|-------|
| | | <現実化する前の時間の経過> | <漸進性> | <自己起因性> | <外面性> |
| 頭にくる | <継続/状態> | ± | － | ± | － |
| 腹がたつ | <継続/状態> | ± | + | ± | － |
| 怒る | <継続/状態> | ± | － | － | ± |

(筆者作成)

以上のように、日本語の《怒り》について Ishida (2004)において の日本語の《怒り》の弁別の意味特徴を用いて精査を行ってきた。ここでは、タイ人日本語学習者が日本語を母語で学ぶ際に、理解が進むよう、タイ語の《怒り》の弁別の意味特徴を日本語の《怒り》の弁別の意味特徴と対照比較してみたい。以下、特徴的な「頭にくる」、「腹が立つ」、「怒る」を取り上げて検証する。

4.6.4.2 タイ語の概念から見た日本語の《怒り》

前節のタイ語の《怒り》の「*taa khǐaw*」(目・緑色)、「*nâa khǐaw*」(顔・緑色)、「*kròot*」(怒る)を比較し、意味的な弁別特徴を 1) 自己起因性 2) 表出性 3) 対象者重視という項目に分類して考察する。

1) 自己起因性

「頭にくる」、「腹が立つ」「怒る」、の順に考察する。

1.1 「頭にくる」、「腹が立つ」

(97a) エースナンバーをもらっていたのに、なにしてるんだ。自分の醜態に腹がたった。
(Ishida 2004:10)

例 (97a) はエースナンバーをもらっていて本来エースとしての責務を果たさなければならないのに、何も出来なかった自分自身の不甲斐なさに腹が立った場面で使用される。

また、「腹が立つ」の (97a)の文はエースナンバーをもらっていたのに、「なにしてるんだ」自分の醜態に腹がたった。という文章は、自分自身の醜態、不甲斐なさに腹を立てていると読み取れる。従って、「頭にくる」と同様に、「腹が立つ」も自己起因性を持つと言える。

しかし、(95a)の「腹が立つ」をみると、「腹が立つ」は、お客さんが、メニューを

注文したら、店員さんに「ありません」と素っ気無く言われ腹を立てた状況で、原因は、明らかに他人にあると言える。「腹が立つ」も、＜自己起因性＞を持つことも持たないこともある（＜±自己起因性＞）。

(95a) メニューの中の一品をオーダーしても素気なく、ありません、と言われると、
腹が立つ。 (前掲)

一方、(97b)「頭にくる」が使用できないということは、日本語母語話者へのインタビューから判明した。

(97b) *エースナンバーをもらっていたのに、なにしてるんだ。自分の醜態に頭にくる。
(97a)に「頭にくる」に交替 (筆者改変)

(97b)「頭にくる」が使用できないのは、自分自身の中に既に、感情が存在し時間の経過が伺われ、「頭にくる」という本来の意味から考えると、自分自身に使用するのには、不適切であると思われる。そのため、「頭にくる」は＜自己起因性＞を持たないことが分かる。

(98) コンピューターが言うことをきかない。もう頭に来た。 (筆者作例)

(98)「もう頭にきた」を使用する場合、例えば、コンピューターが思うようになかなか使えずに、仕事が捗らない時に癩癩を起こし、独り言で「もう頭にきた」と言うことがある。つまり、自分の能力に対して怒るということと、コンピューターが自分の思う通りにならないという意味で「頭に来る」は＜自己起因性＞を持つことも持たないこともある（＜±自己起因性＞）。つまり「頭にくる」も「腹が立つ」も＜自己起因性＞を持つことである。

1.2 「怒る」

「怒る」についての例文をみてみよう。

(110) 長男は、自分の思うようにならないと、すぐに怒る。 (前掲)

(111) うちの子は自分でやりたがるので、それはとてもいいことだと思って見ていますが、できないと、怒ったり泣いたり当たり散らしたりして手がつけられません。(2歳1か月の女の子)

(BCCWJ (江口信子(著) 2002 雑誌/総合/家庭/生活 すくすくネットワーク
(NHKテレビ放送テキスト 2002年4月号 (第26巻第1号、No. 121 日本放送出版協会)

(112) 戦時中のインフレ、買いだめを知っているから、「買いだめを煽るじゃないか」と怒るんだ。

(BCCWJ (伊藤隆/御厨貴/渡邊恒雄/飯尾潤(著) (2000) 書籍/3 社会科学 渡邊恒雄回顧録 渡邊恒雄|述;伊藤隆, 御厨貴, 飯尾潤|インタビュー・構成 中央公論新社)

例(110)では、長男は何らかの要因があつて自分勝手にできずに、一人で勝手に怒っている状況である。この場合の原因は、長男自身であるかもしれないし、他者であるかもしれない。つまり、<自己起因性>を持つ場合も持たない場合もあるということである。

また、(111)では、子供は自分で何でもやりたがるので、黙ってやらせてみるが、結局出来ないで「当たり散らす」という勝手に怒っている状態である。すなわち、<自己起因性>を持つと見なされる。

例(112)では、「怒る」原因は政治にあり、<一自己起因性>である。つまり、「怒る」は、<自己起因性>を持つことも持たないこともある(<±自己起因性>ことが分かった。

2) 表出性

「頭にくる」、「腹が立つ」、「怒る」の順に考察する。

2.1 「頭にくる」、「腹が立つ」

「頭にくる」と「腹が立つ」の例文をみてみよう。

(113a) ロークは手を伸ばして、彼女の顎をつかんだ。「そうすると、きみは 頭にくるだろう。そういうのが大嫌いなんだから。」

(BCCWJ (J・D・ロブ(著)/青木悦子(訳) 2004 書籍/9 文学 復讐は聖母の前でソニー・マガジズ)

(113b) ロークは手を伸ばして、彼女の顎をつかんだ。「そうすると、きみは 腹が立つだろう。そういうのが大嫌いなんだから。」

((113a) を「腹が立つ」に交替)

(113a) 「頭にくる」と(113b) 「腹が立つ」を使用する場合は、顎を掴んだロークに向かって女性は怒りが生じた状況を表す。また、「そういうことをされるのが大嫌いなんだから」という文脈から、顎を掴まれたことにより、彼女自身が怒り、手を払いのけたり、睨みつけたりという場面も読み取ることができる。つまり、表出性を持つ。また、逆に、ロークという人物が怖く、彼女が顎を掴まれて(113a)、「頭にくる」と(113b)「腹が立つ」という感情を抱いたとしても彼女がロークに表出を表さないことも解釈できる。従つ

て、(113a)「頭にくる」と(113b)「腹が立つ」は表出性を伴うものと伴わないものがある。つまり、〈±表出性〉と言える。

(113c) ロークは手を伸ばして、彼女の顎をつかんだ。「そうすると、きみは 頭にきて手を払いのけるだろう。そういうのが大嫌いなんだから。

((113a) に「手を払いのける」を付加)

(113d) ロークは手を伸ばして、彼女の顎をつかんだ。「そうすると、きみは 頭にきて睨み付けるだろう。そういうのが大嫌いなんだから。

((113a) に「睨み付ける」を付加)

(113a)「頭にくる」を使用する場合は、顎を掴んだロークに向かって女性は怒りが生じ、「頭にくる」はロークに表出を表すことも表さないことも解釈できる。つまり、「頭にくる」そのものは〈±表出性〉を伴う。(113d)「頭にきて睨み付ける」は言えるが、(113c)「頭にきて手を払いのける」の手を払うという行動が先に現れるとも考えられる。「腹が立つ」と「怒る」は「手を払う」行動は表さない場合もある。「頭にくる」は瞬間的に不満によって反応することもあることが分かった。

2.2 「怒る」

(114a) 授業中、ホワイトボードに書こうと思ってペンをとった。一本目インクが薄くうまく書けずに二本目三本目も書けない。頭に来てペンを投げた。(作例)

(114b) 授業中、ホワイトボードに書こうと思ってペンをとった。一本目インクが薄くうまく書けずに二本目三本目も書けない。腹がたってペンを投げた。

(114c)* 授業中、先生がホワイトボードに書こうと思ってペンをとった。一本目インクが薄くうまく書けずに二本目三本目も書けない。怒ってペンを投げた。

(114d) 授業中、先生がホワイトボードに書こうと思ってペンをとったが。一本目インクが薄くうまく書けずに二本目三本目も書けないようで、怒ってペンを投げた。

(114a)「頭にくる」と(114b)「腹が立つ」は書けないペンが原因となって怒りの行為が表れたもので、このような表現は〈表出性〉をもつ。(114c)「怒る」は第三者が先生という主語が「怒る」感情でペンを投げたことを描写しており、(114d)の「～よう」をつけると、許容される。(114d)「怒る」は〈表出性〉をもつ。

(110) 長男は、自分の思うようにならないと、すぐに怒る。(前掲)

例 (110) の場面で、長男が自分の願望が叶えられない場合「寝転んで大声でわめく」かもしれない。「黙ったまま拗ねる」かもしれない。表に出した場合は<表出性>をもつ。表に出さない場合は<表出性>をもたない。つまり、「怒る」は<±表出性>を伴う。

3) 対象者重視

3.1 「頭にくる」と「腹が立つ」

(113c) ロークは手を伸ばして、彼女の顎をつかんだ。「そうすると、きみは 頭にきて手を払いのけるだろう。そういうのが大嫌いなんだから。 (前掲)

(113e) ロークは手を伸ばして、彼女の顎をつかんだ。「そうすると、きみは 腹が立って手を払いのけるだろう。そういうのが大嫌いなんだから。

((113b) に「手を払いのける」を付加)

(113c) 「頭にきて手を払いのける」と (113e) 「腹が立って手を払いのける」では、両方とも彼女がその手を払いのけるという行動をロークという相手に向けて、「頭にくる」、「腹が立つ」という感情を表している。従って、対象者はその感情を向けられた相手ということである。(113c) (113e)は<対象者重視>を持つ。

(113d) ロークは手を伸ばして、彼女の顎をつかんだ。「そうすると、きみは 頭にきて睨み付けるだろう。そういうのが大嫌いなんだから。 (前掲)

(113f) ロークは手を伸ばして、彼女の顎をつかんだ。「そうすると、きみは 腹が立って睨み付けるだろう。そういうのが大嫌いなんだから。

((113b) に「睨み付ける」を付加)

さらに、(113d) 「頭にきて睨み付ける」と (113f) 「腹が立って睨み付ける」では、両方とも彼女がその睨みつけるという行動をロークという相手に向けて、「頭にくる」、「腹が立つ」という感情を表している。「睨み付ける」は「手を払いのける」より具体的アクションをはっきり表さなくても、相対した相手に視線を向けて「睨み付ける」ことで、感情を向けられた対象者がいると考えられる。従って、(113d) (113f)は<対象者重視>を持つ。

(114a) 授業中、ホワイトボードに書こうと思ってペンをとった。一本目インクが薄くうまく書けずに二本目三本目も書けない。頭に来てペンを投げた。 (前掲)

(114b) 授業中、ホワイトボードに書こうと思ってペンをとった。一本目インクが薄くうまく書けずに二本目三本目も書けない。腹がたってペンを投げた。 (前掲)

(114a)「頭に来てペンを投げた」の「頭にくる」は対象者がなくても怒りを生じているということであり、同様に(114b)「腹がたってペンを投げた」の「腹が立つ」も対象者がいなくても成立する。

(113a) ロークは手を伸ばして、彼女の顎をつかんだ。「そうすると、きみは頭にくるだろう。そういうのが大嫌いなんだから。」 (前掲した)

(BCCWJ (J・D・ロブ(著)/青木悦子(訳) 2004 書籍/9 文学 復讐は聖母の前でソニー・マガジズ)

(113b) ロークは手を伸ばして、彼女の顎をつかんだ。「そうすると、きみは腹が立つだろう。そういうのが大嫌いなんだから。」 (前掲した)

((113a) を「腹が立つ」に交替)

(113a)「頭にくる」と(113b)「腹が立つ」の差異について述べたい。「頭にくる」は顎を掴まれ、瞬間的に怒りを感じても、無表情でいられることもあり得るので、感情を向けられた相手はいないことも考えられる。つまり、対象者重視を持たない。一方「腹が立つ」も、「頭にくる」と同様に、顎を掴まれ瞬間的に怒りを感じ、「腹が立つ」ことは当然考えられるが、やはり、怖いと思えば、一瞬嫌な顔をして、腹が立っても、素振りは見せず表情を変えずにいることもあり得るので、感情を向けられた相手はいないことも考えられる。したがって、(114a)「頭にくる」と(114b)「腹が立つ」は<対象者重視>を持たない。前述の例を合わせ、<対象者重視>を持つことも持たないこともあると言える。

3.2 「怒る」

(110a) 長男は、自分の思うようにならないと、すぐにものを投げ、怒ったり、泣いたりします。

(BCCWJ あさま童風社(著) 2001 雑誌/総合/家庭/生活 すくすくネットワーク (NHKテレビ放送テキスト) 2001年11月号(第25巻第8号、No. 116) 日本放送出版協会)

(110b) 長男は、自分の思うようにならないと、すぐに怒る。

(110a)では、長男は自分勝手にしたいのに、何らかの要因でできずに、ものを投げ散らして泣く状況を母が説明している。長男は一人で勝手に怒り、どこかへ物を投げた。つまり、対象者がいないことである。(110b)では、長男は自分勝手にしたいのに何らかの要因でできずに、一人で勝手に怒っている状況である。同時に怒りの矛先を母親に向けて怒っているとも解釈できる。箆ったまま何も言わずに怒りを表現している状況と何らかの

対象者に怒りを表している場合もある。後者を明確にするために「母親に向かって」を入れてみると、(110c) のようになる。

(110c) 長男は、自分の思うようにならないと、母親に向かってすぐに怒る。

つまり、文には対象者が現れていないが、文脈から対象者の存在があってもなくてもよいことがわかる。「怒る」は<対象者重視>を持つこともあるし、持たないこともある。

以上、タイ語の概念から見た日本語の《怒り》について分析した。タイ語から見た概念<自己起因性><表出性><対象者重視>のなかで、Ishida(2004)と同様の特徴は<自己起因性>という概念がある。ただし、Ishida(2004)は<他者起因性>と名づけている。検討した結果、<自己起因性>については、「頭にくる」と「腹が立つ」は<±自己起因性>であり、Ishida(2004)と一致している。しかし、「怒る」は、Ishida(2004)は<+他者起因性>と述べているが、本研究では<±自己起因性>という結果が出た。以上を次の表4-13にまとめる。

表 4-13 「頭にくる」、「腹が立つ」、「怒る」 弁別的意味特徴における Ishida(2004)と筆者の比較

| 共通の意味特徴《怒り》 | | | 弁別的意味特徴 | | | | | | | |
|-------------|---------|---------------|----------------|---------------|-------|---------------|---------|---------------|-------|--|
| | | | <現実化する前の時間の経過> | | <漸進性> | | <自己起因性> | | <外面性> | |
| アспект | | Ishida (2004) | 本論 | Ishida (2004) | 本論 | Ishida (2004) | 本論 | Ishida (2004) | 本論 | |
| 頭にくる | <継続/状態> | ± | ± | - | - | ± | ± | - | - | |
| 腹が立つ | <継続/状態> | 不適用 | ± | + | + | ± | ± | - | - | |
| 怒る | <継続> | ± | ± | - | - | - | ± | ± | ± | |

「+」：意味特徴を持つ 「-」：意味特徴を持たない 「±」：意味特徴に関してニュートラル
(筆者作成)

日本語の《怒り》については、タイ語の《怒り》の弁別的意味特徴を使用し日本語の《怒り》に対応できるかできないかを検討した。タイ語の《怒り》の弁別的意味特徴を使用するのと同様に日本語の《怒り》の弁別的意味特徴に応用できれば、タイ人日本語学習

者は日本語を学習する時に、自分の母語のフレームで考えて日本語を学習しやすくなると考えられる。

考察した結果は、表 4-14 のようにまとめることができる。

表 4-14 日本語の《怒り》とタイ語の《怒り》の弁別的意味特徴の比較

| 共通の意味特徴
《怒り》 | 弁別的意味特徴 | | | | 弁別的意味特徴 | | |
|-----------------|---------|---------|-------|-------------------|---------|---------|-------|
| | <対象者重視> | <自己起因性> | <表出性> | | <対象者重視> | <自己起因性> | <表出性> |
| 頭にくる | ± | ± | ± | taa khǐaw
目・緑色 | + | - | + |
| 腹が立つ | ± | ± | ± | nâa khǐaw
顔・緑色 | - | - | + |
| 怒る | ± | ± | ± | kròot
怒る | + | ± | ± |

「+」：意味特徴を持つ 「-」：意味特徴を持たない 「±」：意味特徴に関してニュートラル
(筆者作成)

日本語の《怒り》の弁別的意味特徴は3つある。「頭にくる」、「腹が立つ」「怒る」は、それぞれ<対象者重視>・<自己起因性>・<表出性>に関してニュートラルであることが分かった。こういう特徴で「頭にくる」「腹が立つ」「怒る」を弁別できなくてもタイ人日本語学習者はこれらの特徴を認識し、日本語の文脈から状況を具体的見分けられると考えられる。

考察の過程で、日本語の《怒り》については「時間の経過」と「怒りの累積の度合い」も関係することがわかった。例えば「頭にくる」は、瞬間的に「カッとなる」ことで「怒りの累積の度合い」が少ないが、「腹が立つ」、「怒る」は「時間の経過」と「怒りの累積の度合い」が大きく反映し感情表現しているということがわかった。次の例を参照されたい。

(115a) 業者社長がオーナーの事もあるので、事を荒立てず済ませますとのことでしたが
…、怒るを通り越して、驚いてらっしゃいました。

(BCCWJ 2008 Yahoo!ブログ/Yahoo!サービス/Yahoo!ブログ)

(115b) 業者社長がオーナーの事もあるので、事を荒立てず済ませますとのことでしたが
…、頭にくるを通り越して、驚いてらっしゃいました。

((115a) に「頭にくる」に交替)

(115a) は怒り心頭ではあるが、相手がいろいろな体裁面も考えて事を荒立てずに穏便に済ませようとしていることに対して、「怒る」は「時間の経過」を表現に含むが、

(115b)「頭にくる」は瞬間的感情表現である。この場面では、「怒り」が表われることを意味する。「頭にくる」という瞬間的感情表現を使用するのは相反するものと思われる。

4.6.4.3 日本語の慣用句《怒り》に関する分析のまとめ

日本語から見た<漸進性>という概念は重要な特徴であるため、表 4-12 のようなく現実化する前の時間の経過><外面性>を使用すると共に、タイ語から見た概念のようなく自己起因性><表出性><対象者重視>も使用してまとめた結果は表 4-15 のようになる。

表 4-15 考察・研究した結果「頭にくる」、「腹が立つ」、「怒る」の弁別的意味特徴

| | | <現実化する前の時間の経過> | <漸進性> | <自己起因性> | <外面性> | <表出性> | 対象者重視 |
|------|---------|----------------|-------|---------|-------|-------|-------|
| 頭にくる | <継続/状態> | ± | - | ± | - | ± | ± |
| 腹が立つ | <継続/状態> | ± | + | ± | - | ± | ± |
| 怒る | <継続/状態> | ± | - | ± | ± | ± | ± |

「+」：意味特徴を持つ 「-」：意味特徴を持たない 「±」：意味特徴に関してニュートラル
(筆者作成)

表 4-15 をみれば、日本語の「頭にくる」「腹が立つ」「怒る」の違いが明確になった。

1) 「頭にくる」と「腹が立つ」

双方とも<継続/状態>である。さらに、<現実化する前の時間の経過>、<自己起因性>、<表出性>、<対象者重視>に関してニュートラルであるが、<外面性>を持たないことが分かった。また、「頭に来る」は<漸進性>を持たないが、「腹が立つ」は<漸進性>を持つことが分かった。つまり、<漸進性>において「頭にくる」と「腹が立つ」を弁別することができる。

2) 「頭にくる」と「怒る」

両方は<継続/状態>である。そして、<現実化する前の時間の経過>、<自己起因性>、<表出性>、<対象者重視>に関してニュートラルであるが、<漸進性>をもたないことが分かった。「頭にくる」は<外面性>を持たないが、「怒る」は<外面性>に関して

ニュートラルであることが分かった。つまり、＜外面性＞によって「頭にくる」と「怒る」を弁別することができる。

3) 「腹が立つ」と「怒る」

双方とも＜継続／状態＞である。さらに、＜現実化する前の時間の経過＞、＜自己起因性＞、＜表出性＞、＜対象者重視＞に関してニュートラルであることが分かった。

「腹が立つ」は＜漸進性＞を持つが、「怒る」は＜漸新性＞を持たないことが分かった。「腹が立つ」は＜外面性＞を持たないが、「怒る」は＜外面性＞に関してニュートラルであることが分かった。

これらの弁別的意味特徴はタイ人日本語学習者にとって重要な概念と考えられる。上述のしたように「怒りの累積の度合い」が大きく反映し、感情を表現しているということがわかった。

4.7 結語

以上、日・タイ語慣用句の《《驚き》》《所有・取得》》《聴覚活動》》《怒り》》意味特徴を対照比較し、表 4-16 のようにまとめた。

弁別的意味特徴は 4 つに分類できる。

1. 日本語にもタイ語にも存在する共通の弁別的意味特徴

それは、《聴覚活動》の＜意志重視＞＜結果重視＞＜意図性＞、《所有・取得》の＜具象性・抽象性＞、《怒り》の＜自己起因性＞である。

2. 言語の意味的特徴は弁別できるが、下位分類の必要性がある場合と必要がない場合。

2.1 タイ語に一つの弁別的意味特徴があるが、日本語に二つの弁別的意味特徴がある。

《所有・取得》に関しては、タイ語に＜移動性＞のみが存在するが、日本語には＜物理・空間的移動＞、＜所有の移動＞が存在する。つまり、日本語の＜移動性＞に関しては＜物理・空間的移動＞及び＜所有の移動＞という弁別的意味特徴を設けなくては慣用句の違いを言い表せないが、タイ語ではその下位分類する必要はない。

2.2 日本語には一つの弁別的意味特徴、タイ語には二つの弁別的意味特徴がある。

《驚き》に関しては、日本語に＜表出性＞のみが存在するが、タイ語には＜視覚認識＞、＜体感認識＞が存在する。つまり、日本語もタイ語も＜表出性＞を持つ。日本語では＜表出性＞という弁別的意味特徴で充分であるが、タイ語では、下位分類として＜視覚認識＞及び＜体感認識＞を設ける必要がある。

表 4-16 日・タイ語《驚き》《所有・取得》《聴覚活動》《怒り》の弁別的意味特徴の比較

| | 日本語 | タイ語 |
|---|---------------------------------|--|
| 《聴覚活動》
＜意志重視＞
＜結果重視＞
＜意図性＞
《所有・取得》
＜具象性・抽象性＞
《怒り》
＜自己起因性＞ | ○
○
○
○
○
○ | ○
○
○
○
○ |
| 《所有・取得》 | <物理・空間的移動>
<所有の移動> | > <移動性> |
| 《驚き》 | <表出性> < | <視覚認識>
<体感認識> |
| 《所有・取得》
＜過程性＞
＜瞬間性＞
《驚き》
＜外面性＞
＜プラス評価＞
《怒り》
＜現実化する前の時間の結果＞
＜漸進性＞
＜外面性＞ | ○
○
○
○
○
○
○ | なし
なし
なし
なし
なし
なし
なし |
| 《所有・取得》
＜専用性＞
《驚き》
＜恐怖＞
＜瞬間性＞
《怒り》
＜表出性＞
＜対象者重視＞ | なし
なし
なし
なし
なし | ○
○
○
○
○ |

(筆者作成)

3. 日本語に存在するが、タイ語に存在しない弁別的意味特徴

それは、《所有・取得》の 1<過程性> 2<瞬間性>、《怒り》の 3<現実化する前の時間の結果> 4<漸進性> 5<外面性>、《驚き》の 6<外面性> 7<プラス評価>である。

日本語では、上記7つの中で、1<過程性> 3<現実化する前の時間の結果> 4<漸進性>は動作や出来事がどの段階まで達しているかについての弁別的意味特徴と言える。タイ語では、出来事がどの段階まで達しているかについて重視するよりも、その出来事が生じた状態について重視しているのである。

さらに、<外面性>については、日本語は「らしい／ようだ」を文末につけて、話

し手がその内容をかなり確実だと思っていることを表す。その判断の根拠は外部からの情報や観察可能なことがらなど客観的なものであり、単なる想像ではないことを重視しているといえる。

4. タイ語に存在するが、日本語に存在しない弁別的意味特徴

それは、《所有・取得》の〈専用性〉、《驚き》の〈恐怖〉、〈瞬間性〉、《怒り》の〈表出性〉、〈対象者重視〉である。

タイ語では、〈専用性〉に関しては、物などを持つまでの過程を重視してないが、持っている状態を重視している。さらに、〈恐怖〉、〈表出性〉、〈対象者重視〉は気持ちや感情を表す表出に重視しているといえる。しかし、日本語では、表に表出を表すことを重視していないように思われる。

さらに、それぞれの《驚き》、《聴覚活動》、《所有・取得》、《怒り》語彙の場合ごとに、日本語とタイ語の弁別的意味特徴を考察して、3グループに分けた。

- (1) 日本語・タイ語の弁別的意味特徴で重なりがあるものについて、《聴覚活動》に関しては、日本語とタイ語の弁別的意味特徴が重なっていても語彙の意味範囲が異なるものがある。
- (2) 日本語・タイ語の弁別的意味特徴で、相違点もあり類似点もあるものについて、《所有・取得》に関しては、日本語もタイ語も《移動性》を持つということが類似点といえる。相違点に関しては以下のようなものである。

日本語の〈移動性〉に関しては〈物理・空間的移動〉及び〈所有の移動〉という弁別的意味特徴を設けなくては慣用句の違いを言い表せないが、タイ語ではその必要はない。《驚き》に関しては、日本語もタイ語も〈表出性〉を持つ。日本語では〈表出性〉という弁別的意味特徴で充分であるが、タイ語では、下位分類として〈視覚認識〉及び〈体感認識〉を設ける必要がある。
- (3) 日本語・タイ語の弁別的意味特徴で共通点はないものについて、《怒り》に関しては、日本語とタイ語は弁別的意味特徴がそれぞれ異なる。日本語では〈漸進性〉及び〈外面性〉を持つが、タイ語では〈自己起因性〉〈表出性〉〈対象者重視〉を持つ。タイ語から見た概念で弁別的意味特徴を日本語の《怒り》に使用してみた結果、日本語の《怒り》のそれぞれの語の意味を弁別できないことが分かった。

「頭にきて手を払いのける」「腹が立って睨みつける」のように「《怒り》の程度」によって、具体的に行動に表わされることもある。これらの行動表現と「《怒り》の程度」の関連についてもさらなる研究が求められる。

従って、今後の研究課題として、「《怒り》の程度」と行動の表現との関連について研究を進めたい。

章注

- 1) 「日本のやりかたに隣国は怒っている」とはいうが「日本のやりかたに隣国は腹を立てている」とは言いづらい。公私の使い分けなどの考慮すべき要因があると思われる。この場合、「不快感をあらわしている」といった言い方が好まれるが、こうした発想の比較についても今後の分析が必要である。

第5章 結論と今後の課題

第5章 結論と今後の課題

まず、日・タイ語の慣用句の変異形と固定性 次に、日・タイ語の動詞慣用句の統語的階層関係 そして、日・タイ語の慣用句の意味分析の対照研究について述べる。さらに、今後の研究の課題を述べる。

5.1 日・タイ語の慣用句の変異形と固定性

日本語の慣用句の語彙的固定性は絶対的特徴ではなく、変異形も存在する。石田(1998)の分析は、名詞の交替、動詞の交替、対義語の交替、使役及びその短縮形の交替の5つのカテゴリーに分けたものであるが、対義語、自動詞・他動詞、使役形は動詞であるため、筆者は大きく名詞と動詞に分け、動詞の上位分類として対義語、自動詞・他動詞、使役形を設けた。

表 5-1 で示したように、日本語の慣用句は語彙的変異形があるものとなないものに分けられる。変異形を持つ慣用句は形式的固定性の度合いが低いのに対して、変異形を持たない慣用句は形式的固定性の度合いが高い。例えば、名詞の交替のような操作では、「目が飛び出る」は「目玉が飛び出る」への交替が可能なので変異形を持ち、形式的固定性の度合いが低いグループに含まれる。一方、「目を白黒させる」は「*目玉を白黒させる」への交替が不可能なので変異形を持たず、形式的固定性の度合いが高いグループに含まれる。特に、使役変化では全ての慣用句に使役変化が存在するので、形式的固定性の度合いが高いグループに入る慣用句はこの中には含まれないということになる。

表 5-1 日本語の語彙的固定性・変異形

| 操作 | | 変異形がある | | 変異形がない | |
|-----------------------|---------------|-------------------------|------------------------------------|----------------------|------------------------|
| 名詞の交替 | | 目 <u>が</u> 飛び出る
口を挟む | 目 <u>玉</u> が飛び出る
言葉 <u>を</u> 挟む | 目 <u>を</u> 白黒させ
る | *目 <u>玉</u> を白黒
させる |
| 動
詞
の
交
替 | 異なる動詞 | 口を挟む
顔色を窺う | 口をさし挟む
顔色を見る | | |
| | 対義語 | 口を <u>開く</u> | 口を <u>閉ざす</u> | 顔が <u>広い</u> | *顔が <u>狭い</u> |
| | 自・他動詞 | 耳に <u>入る</u> | 耳に <u>入れる</u> | 肩を <u>並べる</u> | *肩が <u>並ぶ</u> |
| | 使役形・
その短縮形 | 顔を <u>合わせる</u> | 顔を <u>合わす</u> | | |

(筆者作成)

日本語と同様に、タイ語慣用句の語彙的固定性も絶対的特徴ではなく、変異形が認められるものもある。例えば、名詞の交替に関しては、**hǔa kòtmǎay** ((頭・法律) <何でも法律的に考える人>) は **hǔa mǎo** ((頭・法律者) <何でも法律的に考える人> クラクラする、目が回る) となる。同様に、動詞の交替に関しては **hǔa mǔn** ((頭・回る <働いて) キリキリをする、クラクラする、目が回る) は **hǔa pàn** ((頭・回る) <目が回るほど忙しくて、キリキリ舞をする>) となる。しかしながら、動詞も自動詞と他動詞の交替、及び使役形及びその短縮形に関しては、変異形のあるものは認められない。以下に詳しく述べる。

1) 自動詞と他動詞の交替の場合

タイ語の動詞は、自動詞と他動詞の両方を取るものが多く見られる一方、自動詞と他動詞が異なるものも存在する。タイ語は、孤立語のために <SVO> の語順を示す言語である。前述したように、<主語+動詞+ (目的語)> は語順によって主語と目的語が決定される。

慣用句においても同様であるが、自動詞と他動詞の形が同じであるために名詞が動詞の前に置かれる慣用句と、名詞が動詞の後ろに置かれる慣用句の意味が異なっている。前述の例を再掲する。

nâa sǎ

顔・失う

(名詞) + (自動詞) の意味は、「失望してがっかりした」という意味と「恐怖で顔色を失った」の2つの意味がある。ところが、語順を逆にすると

sǎ nâa

失う・顔

(他動詞) + (名詞) の意味は、「面子を失う」「顔がない」という意味になる。

同様に以下の慣用句も意味が異なる。

hǔa pàn

頭・回る

(名詞) + (自動詞) の意味は、「目が回るほど忙しく働く、キリキリ舞いになる」という意味がある。ところが、(他動詞) + (名詞) のように語順を逆にすると

pàn hǔa

回す・頭

「人の考えを自分の思い通りになるようにする」という意味になる。

2) 使役形とその短縮形の場合

タイ語は孤立語に属するため、使役でも日本語のような形態的変異形式がない。日本語の場合は「(顔を) 合う」という動詞を用いた慣用句はないが「(顔を) 合わせる」という

使役形で、かつ「(顔を) 合わす」のように短縮形にできるが、タイ語を使役形にする場合は、「khăay nâa」<恥をかく>という動詞に使役の意味を導く「hâi」を付けるだけなので、短縮形は使われない。

「khăay nâa」(売る・顔) <恥をかく>

「hâi khăay nâa」(使役形・売る・顔) <恥をかかせる>

このように、タイ語は孤立語のため活用形がなく、文の語順が重要である。語順が変わる前の文と、語順が変わった後の文は意味が異なってしまう。日本語は膠着語であることから、語順が変わっても意味が通じる。日本語はタイ語より語順を比較的自由に変えやすいといえる。さらに、文末の動詞を活用させることで文を様々な意味に変更できる。すなわち、日本語はタイ語より柔軟性が高く、かつ変異形を作ることができる。以下のように表 5-2 にまとめた。

表 5-2 タイ語の語彙的固定性・変異形

| 操作 | | 変異形がある | | 変異形がない | |
|-------|-----------|---|--|---|---|
| 名詞の交替 | | <u>hũa kòtmăay</u>
(頭・法律)
<何でも法的に考える人> | <u>hũa mớ</u>
(頭・法律者)
<何でも法的に考える人> | | |
| 動詞の交替 | 異なる動詞 | <u>hũa mủn</u>
(頭・回る)
<(働いて) キリキリ舞いをする、クラクラする、目が回る> | <u>hũa pàn</u>
(頭・回る)
<目が回るほど忙しくて、キリキリ舞いをする> | <u>hũa sĩa</u>
(頭・壊れる)
<いらいらする> | * <u>hũa taay</u>
(頭・死ぬ) |
| | 対義語 | <u>hũa thúp</u>
(頭・空気や光が全然または充分に通らない)
<愚かな> | <u>hũa sãi</u>
(頭・澄む)
<賢い> | <u>pàak khễn</u>
(口・硬い)
<あくまで言い張る、頑固に言い逆らいどうしても事実を認めようとしなない> | * <u>pàak ?òn</u>
(口・柔らかい) |
| | 自・他動詞 | | | <u>pàet òk</u>
(開ける・胸)
<本心をうちあける／胸襟を開く>
<u>chìik nâa</u>
(破る・顔)
<顔を潰す> | * <u>òk pàet</u>
(胸・開く)

* <u>nâa khàat</u>
(顔・破れる) |
| | 使役形・その短縮形 | | | <u>hâi khăay nâa</u>
(使役・売る・顔)
<恥をかかせる> | |

(筆者作成)

表 5-2 に示したように、タイ語には名詞の交替、動詞の交替、対義語の交替が可能な慣用句が存在する。ただし、自動詞と他動詞の交替、使役形及びその短縮形の交替が可能な慣用句は見つからない。

日本語の語彙的固定性・変異形については、日本語はタイ語より変異形の柔軟性が高いことが分かった。日本語とタイ語を対照比較した結果は次のとおりである。

5.1.1 日本語にもタイ語にも存在する慣用句の統語的変異形

この変異形には、1) 命令表現化、意志表現化、2) 連体修飾語の付加 3) 連用修飾語の挿入・付加 がある。但し、日本語の連用修飾語は「挿入」であるが、タイ語の連用修飾語は「付加」的現象がある。

5.1.2 日本語に存在するが、タイ語には存在しない慣用句の統語的変異形

この変異形は、日本語には「名詞句への転換」が特徴的に見られる。

日本語の統語的固定性・変異形については、表 5-3 のようにまとめることができる。

表 5-3 日本語の統語的固定性・変異形

| 慣用句
操作 | 名詞句への
転換 | 命令表現化 | 意志表現化 | 連体修飾の
付加 | 連用修飾の
挿入 |
|-----------|-------------|-------|-------|-------------|-------------|
| 手を打つ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 目を伏せる | ○ | ○ | ○ | △ | ○ |
| 口を挟む | × | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 目を離す | × | ○ | ○ | △ | ○ |
| 耳に入る | × | × | × | ○ | ○ |
| 手を焼く | × | × | × | ○ | ○ |
| 頭にくる | × | × | × | × | × |
| 歯が立たない | × | × | × | × | × |

○ 操作の可能 × 操作の不可能

(筆者作成)

表 5-3 にある 5 つの操作の検証によって、慣用句の統語的固定性の度合いを確認した。第 2 章において、石田 (2001) の慣用句の固定性という観点に基づいて日本語とタイ語を対照し、タイ語の慣用句も日本語と同様に変異形を持つことを明らかにした。ただし、タイ語では自他動詞の転換、名詞句への転換、連用修飾語の挿入において変異形がないという違いが見いだされた。これに関しては、日・タイ語統語的固定性・変異形の比較として次のタイ語の動詞慣用句の統語的階層関係において明らかにされた。

5.2 日・タイ語の動詞慣用句の統語的階層関係

従来、特定の言語によらず慣用句は「形式的固定性」を持つという指摘がなされているが、本研究では、慣用句の変異形について検討し、タイ語に慣用句の統語的操作の階層関係が存在することを示した。

5.2.1 慣用句の階層関係の操作に関する共通点

この階層関係には 1) 受身表現化、2) 命令表現化、3) 意志表現化、4) 連体修飾語の付加、5) 肯定・否定表現化、6) 連用修飾語の付加、7) 慣用句の修飾成分化、がある。

5.2.2 慣用句の階層関係の操作に関する相違点

日本語には存在するがタイ語には存在しない慣用句の階層関係の操作には 1) 名詞句への転換、2) 尊敬表現化、3) 連用修飾語の挿入・付加 がある。

まず、レベル①「名詞句への転換」の場合、日本語の慣用句では名詞句への転換が可能ということが顕著である。慣用句の統語的な機能が変化する操作である (石田 2000: 29)。これは「句の再構成」と見なされる。例えば、「目を伏せる」を「伏せた目」と転換する操作である。

タイ語では一般的な句においても関係代名詞の「*thîi*」を用いることで名詞句への転換の操作ができる。形容詞や動詞が名詞を修飾する関係で結ばれるときには、名詞と修飾語が直接結びついた形と、修飾節が関係代名詞「*thîi*」によって導かれた形がある (三上 2002: 94)。しかし、「*thîi*」は習慣的に省略されることもある。例えば、一般の単語の句である「*náam dùum*」(飲む・水) <水>を「*náam (thîi) dùum*」<飲料水>と言い換えることができる。

しかし慣用句に対しては「*thîi*」により名詞句への転換をすることは許されない。慣用句の場合、「*tit muw*」(付く・手) (持つ、携帯する) を名詞句にすると「**muw (thîi) tit*」となり、非文となる。また慣用句の中の名詞と動詞を並び変えても、並び変えた後の慣用句はもとの慣用句の意味と異なってしまふ。日本語と異なり、タイ語ではこのように慣用句の構成要素の順番が変わることにより、慣用句全体としての意味を失ってしまうた

め、名詞句への転換が許される慣用句は存在しない。

次にレベル④の「尊敬表現化」の場合、タイ語では尊敬を表す「お～になる」のような日本語の形式を持たない。これは、タイ語が孤立語であるからである。

また同じレベル④「連用修飾語の挿入・付加」の場合、日本語と異なり、タイ語では連用修飾語を「挿入」することは許されない。これはタイ語では文法的に挿入ができないためである。しかしタイ語では連用修飾語を「付加」することはできる。これは慣用句の全体に関わる付加ではなく、慣用句の動詞に付加する操作である。そのためレベル⑥ではなく、レベル④「構成要素への付加」と見なすことが適切であると考えられる。

以上、日本語慣用句の統語的操作を用いてタイ語の慣用句に対してもそれらの操作を受けられるか否かについて分析した。

さらに、「名詞句への転換」、「連用修飾語の挿入」については、タイ語のような孤立語の構造に関係があり、慣用句としては操作ができない。「尊敬表現化」もタイ語には活用形がないため、操作ができない。

第3章では、タイ語の慣用句においても日本語慣用句の統語的階層関係が当てはまるということが明らかになった。ただし、タイ語においては、レベル①に相当する慣用句は存在せず、また敬語表現による操作も行えないという違いがある。つまり、タイ語の慣用句も統語関係のレベルが上がるほど慣用句らしさが高まるという、日本語と同様の現象が確認された。

表 5-4 日本語の慣用句で統語的操作を受けられるもの（レベル①・②・⑤）

| 操作 | レベル①
「手を打つ」 | レベル②
「手をつける」 | レベル⑤
「耳にする」 |
|-------------|-----------------------|-------------------|-----------------|
| レベル①（名詞句） | ○打つ手がある／ない
○打っている手 | *つける手／
*つけている手 | *する耳／
*している耳 |
| レベル②（受身） | ○手を打たれる | ○手をつけられる | *耳にされる |
| レベル③（命令） | ○手を打ちなさい | ○手をつけなさい | *耳にしなさい／ |
| レベル③（意志） | ○手を打たないで | ○手をつけないで | *耳にしないで |
| レベル③（意志） | ○手を打とう | ○手をつけよう | *耳にしよう |
| レベル④（連体・付加） | ○自分なりの手を打つ | ○自分の手をつける | *自分の耳にする |
| レベル④（敬語） | ○きちんと手を打つ | ○きちんと手をつける | *するどい耳にする |
| レベル④（連用・挿入） | ○手をお打ちになる | ○手をおつけになる | *お耳にする |
| レベル④（連用・挿入） | ○手をすぐに打つ | ○手をすぐにつける | *耳に偶然した |
| レベル⑤（否定・肯定） | ○手を打たない | ○手をつけない | ○耳にしない |
| レベル⑥（連用・付加） | ○すぐに手を打つ | ○すぐに手をつける | ○偶然耳にする |
| レベル⑥（修飾成分） | ○手を打った人 | ○手をつけた人 | ○耳にした人 |

（筆者作成）

表 5-4 で示したような日本語と表 5-5 で示したようなタイ語とを比べると、日本語では、「名詞句への転換」操作を受けられるが、タイ語では、「名詞句への転換」操作ができない。ただし、「受身表現化」から操作を受けることは可能である。

表 5-5 タイ語の慣用句で統語的操作を受けられるもの（レベル②とレベル⑤）

| 操作 | レベル② | レベル⑤ |
|--------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| | 「kòt hũa」
(抑える・頭)
「頭を抑えつける」 | 「hẵy nẵ」
(消える・顔)
「姿が見えなくなる」 |
| レベル① (名詞句) | * 「hũa thũi kòt」 /
* 「hũa kòt」 | * 「nẵ thũi hẵy」 /
* 「nẵ hẵy」 |
| レベル② (受身) | ○ 「thủk kòt hũa」 | * 「thủk hẵy nẵ」 |
| レベル③ (命令) | ○ 「cụn kòt hũa」 | * 「cụn hẵy nẵ」 |
| レベル③ (意志) | ○ 「tẵcại kòt hũa」 | * 「tẵcại hẵy nẵ」 |
| レベル④ (連体・付加) | ○ 「kòt hũa (khỏn) chẵ」 | * 「hẵy nẵ khỏn chẵ」 |
| レベル④ (敬語) | なし | なし |
| レベル④ (連用・挿入) | * 「kòt thanthũi hũa」 | * 「hẵy thanthũi nẵ」 |
| レベル⑤ (否定・肯定) | ○ 「mẵ kòt hũa」 | ○ 「mẵ hẵy nẵ」 |
| レベル⑥ (修飾成分) | ○ 「khon thũi kòt hũa」 | ○ 「khon thũi hẵy nẵ」 |

(筆者作成)

日本語はレベル①からレベル⑥までの操作を受けられるが、タイ語はレベル①が存在せず、レベル②からレベル⑥までの操作を受けられる。このような言語の現象をみると、日本語の慣用句が可能な「名詞句への転換」という句の再構成を行う操作はタイ語の慣用句では不可能である。つまり、タイ語の慣用句は日本語より固定性が強いと言える。また、タイ語の慣用句はレベル④の「連用修飾語を挿入する」、「敬語表現にする」という操作も受けることができない。

慣用句変異形と慣用句の階層関係からみた慣用句らしさ

本研究では、慣用句の特性である統語的固定性、慣用的固定性を「慣用句らしさ」の度合いの目安になると考える。つまり、固定性の高いものは慣用句らしい慣用句であり、典型的な慣用句であると言える。一方、これらの特性の度合いが低い慣用句は慣用句らしくない、一般連語句に近い慣用句ということができる。

例えば、「頭にくる」や「歯がたたない」は統語的操作を受けられない、つまり変異形を持たない慣用句なので、統語的固定性、慣用的固定性の度合いが高い、典型的な慣用句ということになる。一方「顔を合わせる」は「顔を合わす」のように統語的操作を許し、し

かも「顔合わせ（をする）」のような変異形を持っているので、統語的固定性の度合いが低い（周辺の）慣用句であることになる。このような典型的な慣用句と周辺の慣用句の間に、他の様々な慣用句が「慣用句らしさの度合い」の相対的に高いものから相対的に低いものへと、段階的に分布していることになる。

表 5-6 日本語慣用句の「慣用句らしさの度合い」

| | 統語的固定性 | 慣用的固定性 | 固定性の度合い |
|-----------------|--------------|--------------|---|
| 目を向ける
顔を合わせる | レベル①
レベル① | レベル①
レベル① | 視線を向ける／
顔合わせ（をする）／顔を合わす／
合わせる顔がない／
合わす顔がない |
| 目を伏せる
手を打つ | レベル①
レベル① | レベル①
レベル① | *****
***** |
| 手を出す
口を挟む | レベル②
レベル② | レベル②
レベル② | 手出し（する）
言葉を挟む／口をさしはさむ |
| 目を付ける
足を引っ張る | レベル②
レベル② | レベル②
レベル② | *****
***** |
| 口を開く
顔を出す | レベル③
レベル③ | レベル②
レベル② | 口を閉ざす／口を閉じる
顔出し（をする） |
| 口を切る
足を洗う | レベル③
レベル③ | レベル②
レベル② | *****
***** |
| 耳に入る
顔が利く | レベル④
レベル④ | レベル③
レベル③ | 耳に入れる
顔を利かす／顔を利かせる／顔利き |
| 手を焼く
口に合う | レベル④
レベル④ | レベル③
レベル③ | *****
***** |
| 手に入る | レベル⑤ | レベル④ | 手に入れる |
| お目に掛かる
耳にする | レベル⑤
レベル⑤ | レベル④
レベル④ | *****
***** |
| 耳を澄ます | レベル⑥ | レベル⑤ | 耳を澄ませる |
| 歯が立たない
頭にくる | レベル⑥
レベル⑥ | レベル⑤
レベル⑤ | *****
***** |

（筆者作成）

ところで、このような「段階的な分布」を厳密に定めることが困難な場合がある。例えば、「手を打つ」は、「目を向ける」や「顔を合わせる」と同様に、レベル①の慣用句である。即ち、名詞句への転換・受身表現化・意志／命令表現化・連用修飾語の挿入・肯定・否定表現化・慣用句の修飾成分化の様々な統語的操作を受けられ、統語的固定性・慣用句性の度合いが低い。しかし、「手を打つ」は「目を向ける」や「顔を合わせる」とは違って変異形を持たない。「手を打つ」が「目を向ける」や「顔を合わせる」よりも形式的固定性の度合いが相対的に高いことを重視し、「手を打つ」は「目を向ける」「顔を合わせる」に比べて慣用句らしさの度合いも高いといえる。つまり、複数の慣用句はその統語的固定性・慣用的固定性の度合いが同じレベルであるとしても、変異形を持つかどうかという点で区別できると考える。

表 5-6 のように「手を打つ」のようなレベル①は「手を出す」のようなレベル②に比べると、統語的固定性・慣用句性の度合いが低いが、「手を出す」は変異形を持つのに対して「{手出し(する)}」「手を打つ」は変異形を持たないので、形式的固定性に関しては「手を出す」の方がその度合いが低い。したがって、「手を打つ」と「手を出す」についてどちらがより「慣用句らしい」のかが判断しにくいいため、レベル間にはっきりした段階があるというわけではない。

本研究では、タイ語慣用句の統語的操作に階層関係が見出されるかどうかを検討した。即ち、日本語の慣用句に見られる階層関係を分析し、タイ語における階層関係と対照分析することを目的とした。その結果、慣用句の統語的操作の階層関係がタイ語にも存在することが明らかとなった。更に、日本語・タイ語の慣用句は統語的操作のタイプが同じではないことが分かった。

石田(2001)の日本語慣用句の研究を踏まえて、タイ語の慣用句を分析すると、以下のようによまとめることができる。

レベル①では、日本語には名詞句への転換、タイ語では名詞句への転換という操作を受けられる慣用句もあれば、その操作を受けられない慣用句もある。これに対して、タイ語には、名詞句への転換という操作を受けられる慣用句が見当たらない。タイ語には文中の語順が重要である。したがって、句の再構成というプロセスを行いにくい。

タイ語にみられる各特性の度合いの強い典型的な慣用句には「*nâa hêɛŋ*」(顔・乾く) <ひもじさで(または失望して)やつれ果てた顔をした>がある。他方、一般連語句に近い慣用句には「*kòt hǔa*」(抑える・頭) <頭を抑えつける>がある。

「*nâa hêɛŋ*」(顔・乾く)は慣用句としての<ひもじさで(または失望して)やつれ果てた顔をした>という意味を持つ。また、被修飾語(顔)と修飾語(乾く)は、乾燥した顔という意味も持つ。現在このように「乾燥した顔」という意味として広く使用されているが、慣用句としての意味ではまだあまり使われていない。修飾された語としての意味と、慣用句としての意味は少ししか残っていない。

表 5-7 日本語とタイ語慣用句の「慣用句らしさの度合い」の比較

| 日本語の慣用句 | 統語的固定性 | タイ語の慣用句 |
|----------------------------------|------------------------------|--|
| 目を向ける
顔を合わせる
目を伏せる
手を打つ | レベル①
レベル①
レベル①
レベル① | (名詞句への転換を受けられる
タイ語慣用句は存在しない) |
| 手を出す
口を挟む
目を付ける
足を引っ張る | レベル②
レベル②
レベル②
レベル② | 「kòt hǔa」(抑える・顔)
＜頭を抑えつける＞
「pàn hǔa」(頭・回る)
＜目が回るほど忙しくて働く、
キリキリ舞をする＞
「chìik nâa」(破る・顔)
＜顔を潰す＞ |
| 口を開く
顔を出す
口を切る
足を洗う | レベル③
レベル③
レベル③
レベル③ | 「kûu nâa」(挽回する(または
改正する)・顔)
＜名誉を維持する、名誉を挽
回する、顔を立てる＞
「bàak nâa」 ¹⁾
「nâa sǎa」(顔・失う)
＜(失望して)がっかりした
顔の、(恐怖で)色を失った＞
「ráksǎa nâa」(保つ・顔)
＜面子を保つ＞ |
| 耳に入る
顔が利く
手を焼く
口に合う | レベル④
レベル④
レベル④
レベル④ | 「khǎay nâa」(売る・顔)
＜恥をかく、恥ずかしい＞
「dâai nâa」(得る・顔)
＜面目をほどこす、褒められ
る＞ |
| 手に入る
お目に掛かる
耳にする
耳を澄ます | レベル⑤
レベル⑤
レベル⑤
レベル⑤ | 「hǎay nâa」(消える・顔)
＜姿が見えなくなる＞
「sûu nâa」(立ち向かう・顔)
＜顔を合わせる、逢着する、
顔向けする＞ |
| 歯が立たない
頭にくる | レベル⑥
レベル⑥ | 「nâa hêeŋ」(顔・乾く)
＜ひもじさで(または失望し
て)やつれ果てた顔をした＞ |

(筆者作成)

「hǎay nâa」(消える・顔)＜顔を合わせる、逢着する、顔向けする＞と「sûu nâa」(立ち向かう・顔)＜顔を合わせる、逢着する、顔向けする＞は慣用句としての意味だけを持つ。

「ráksǎa nâa」(保つ・顔)は慣用句としての＜面子を保つ＞という意味を持つ。にきびがあるときに医者にみてもらって顔をよくする、という意味にも使用される。

「kòt hũa」(抑える・頭)は慣用句としての<頭を抑えつける>という意味を持つ。動詞と目的語を合わせた文の意味も持ち、「(だれか) 頭を抑える (押す)」という意味を持つ。文としての意味と、慣用句としての意味は関連性が見られる。しかし、「nâa hêɛŋ」(顔・乾く)と比べれば、「kòt hũa」は慣用句の意味と修飾された意味とは関連性が低い。

5.3 日・タイ語の慣用句の意味分析についてのまとめ

慣用句は具体的な概念を表し、その上位概念は一般語彙で表される。例えば、「驚く」>「舌を巻く」、「聞く」>「耳を傾ける」、「怒る」>「腹が立つ」である。日本語と同様、タイ語も慣用句の上位概念は一般語彙を表すことができる。例えば、「tòkcai (おどろく)」>「taa kháaŋ (目・止まったまま)」、「thũu (持つ)」>「tit muu (付く・手)」、「faŋ (聞く)」>「ŋiã hũu (傾ける・耳)」、「kròot (怒る)」>「taa khĩaw (目・緑色)」などであった。

具体的なことがらを表す慣用句は、各々ある弁別的特徴<x>を持ちつつ、(<+x>) その意味は上位概念に包含されているということである。例えば、「舌を巻く」は「+プラス評価」、「+内面性」であるのに対して、「おどろく」は「±プラス評価」「±内面性」や「taa khĩaw (目・緑色)」は<+表出性>であるのに対して、「kròot (怒る)」は<±表出性>であるということである。

本研究では、日本語とタイ語の弁別的意思特徴を考察して、次の3グループに分けた。

5.3.1 日本語・タイ語の弁別的意思特徴に重なりがあるもの

《聴覚活動》に関して、日本語もタイ語も<意志重視><結果重視>及び<意図性>という弁別的意思特徴を持つ(表5-8)。

表5-8 日本語とタイ語の《聴覚活動》の弁別的意思特徴の比較

| 共通の意思特徴
《聴覚活動》 | 弁別的意思特徴 | | |
|-------------------|---------|--------|-------|
| | <意志重視> | <結果重視> | <意図性> |
| ① 聞く | - | + | ± |
| faŋ (聞く) | + | ± | ± |
| ② 耳を傾ける | - | + | + |
| hũu phũuŋ (耳・立てる) | - | + | - |
| ③ 耳を澄ます | + | - | + |
| ŋiã hũu (傾ける・耳) | + | - | + |

「+」: 意思特徴を持つ 「-」: 意思特徴を持たない、 「±」: 意思特徴に関してニュートラル
(筆者作成)

1. 「聞く」と「faŋ (聞く)」は上位語であるが、それぞれの語の特徴と範囲は共通するものと異なるものがある。共通点は日本語の「聞く」とタイ語の「faŋ (聞く)」は<±意図性>を持つことである。異なる点をあげると、「聞く」は<+結果重視>であるのに対して、「faŋ (聞く)」は<±結果重視>である。また、「聞く」は<-意志重視>であるのに対して、「faŋ (聞く)」は<+意志重視>を持つ。

<結果重視>に関しては、「聞く」と「faŋ (聞く)」は語彙の範囲が違っていることであることであり、「faŋ (聞く)」は日本語の「聞く」より語彙の意味範囲が広いと解釈できる。タイ語の「faŋ (聞く)」は<結果重視>を持つが、日本語の「聞く」は<結果重視>を持たないことから、タイ人日本語学習者はこの点について間違えやすいことが推測できる。そのため、タイ人日本語教師は「聞く」に相当するタイ語は「faŋ」と言っても、必ずしも全て使用できるわけではない。注意を払うべきところである。

2. 日本語の「耳を傾ける」は「hũu phũŋ (耳・立てる)」が最も近い。「ŋia hũu (傾ける・耳)」の構成要素が同じであるため、タイ人日本語学習者にとって「耳を傾ける」は「ŋia hũu (傾ける・耳)」と間違える可能性がある。タイ人日本語教師は、まず「耳を傾ける」は「hũu phũŋ (耳・立てる)」との類似を教え、次に、相違点が「意図性」にあるということをお知らせすべきであろう。

3. 「耳を澄ます」は全ての意味特徴がタイ語の「ŋia hũu (傾ける・耳)」に相当する。タイ人日本語学習者にとって学習しやすいと思われる。ただ、「ŋia hũu (傾ける・耳)」は「耳を澄ます」と「耳を傾ける」と混乱しやすい傾向があるために、使用される状況に注意しなければならない。

5.3.2 日本語・タイ語の弁別的意味特徴に相違点もある、類似点もあるもの

5.3.2.1 《所有・取得》に関する日本語・タイ語の弁別的意味特徴

(1) 日本語にもタイ語にもみられる弁別的意味特徴

1.1 <具象性>・<抽象性>

これに関しては、タイ語の「thũu (持つ)」は<具象性>も<抽象性>もあるが、日本語の「得る」は<具象性>を持たないが、<抽象性>を持つ。これにより、「thũu (持つ)」は「得る」より語の範囲が広いことが分かった。<具象性>に関しては「thũu (持つ)」と共起するが、「得る」と共起しにくいという点で注意しなければならない。

1.2 <移動性>

タイ語には一つの<移動性>のみ持つが、日本語には2つの<物理・空間的移動>・<所有の移動>を持つ。日本語はタイ語より<移動性>について詳細に段階的に使用されることが分かった。

(2) 日本語には存在するがタイ語には存在しない弁別的意味特徴

これは、<過程性>・<瞬間性>についてである。タイ語には存在するが、日本語には存在しない弁別的意味特徴は<専用性>である。言い換えれば、<過程性>・<瞬間性>

は日本語の特有な弁別的意味特徴であり、〈専用性〉はタイ語の特有な弁別的意味特徴と言える。

日本語の「得る」は取得に至るまでの過程ではなく、こうした過程の終点に重点がおかれる。「取得に至るまでの過程」という基準での概念をもつ。タイ語は、所有物をよく使用している状態、または、所有物でなく携帯した物を使用している状態を表す。自分の所有物に重点がある場合は「khûu muu (伴う・手)」を使い、物を所有する状態を表す場合は「tit muu (付く・手)」を使う。日本語は取得に至るまでの過程を表すが、タイ語は物を所有した状態を表すことに重点がおかれる。以下、表 5-9 を参照されたい。

表 5-9 日本語とタイ語の《所有・取得》の弁別的意味特徴の比較

| 共通の意味特徴
《所有・取得》 | 弁別的意味特徴 | | | | | | 〈専用性〉 |
|--------------------|---------|-------|-------|-------|-------------|----------|-------|
| | 〈過程性〉 | 〈瞬間性〉 | 〈具象性〉 | 〈抽象性〉 | 〈物理・空間的移動性〉 | 〈所有の移動性〉 | |
| 手に入れる | + | - | + | - | - | + | |
| 手にする | - | + | + | - | ± | ± | |
| 得る | - | + | - | + | - | + | |
| khûu muu
(伴う・手) | | | + | - | - | | + |
| tit muu
(付く・手) | | | + | - | + | | - |
| thǔw
(持つ) | | | + | + | ± | | ± |
| | 〈過程性〉 | 〈瞬間性〉 | 〈具象性〉 | 〈抽象性〉 | 〈移動性〉 | | 〈専用性〉 |

「+」: 意味特徴を持つ、 「-」: 意味特徴を持たない、 「±」: 意味特徴に関してニュートラル
(筆者作成)

5.3.2.2 《驚き》に関する日本語・タイ語の弁別的意味特徴

石田 (2003) によると、日本語の《驚き》は、〈外面性〉、〈内面性〉、〈プラス評価〉〈マイナス評価〉及び〈表出性〉という弁別的意味特徴を持つ。〈外面性〉、〈内面性〉、〈プラス評価〉、〈マイナス評価〉については以下のように考える。

2 つの極である〈外面性〉〈内面性〉について、〈外面性〉の対極は〈内面性〉であり、〈外面性〉を持つことは〈+外面性〉〈-内面性〉となる。同様に〈外面性〉を持たないことは〈-外面性〉または〈+内面性〉である。すなわち、〈外面性〉または〈内面性〉を設定すれば、十分に意味特徴を弁別することができる。〈外面性〉か〈内面性〉のどちらにするかはタイ語の〈視覚認識〉〈体感認識〉という弁別的意味特徴を考慮に入れ、ここでは、〈外面性〉を設定することにした。

また、石田（2003）は<プラス評価><マイナス評価>の2つを設定しているが、同様に一つの極のみで十分に意味を弁別できるため、弁別的意味特徴として<プラス評価>を設定することにした。

日本語の《驚き》とタイ語の《驚き》の弁別的意味特徴の共通点は、<表出性>にあるといえる。しかし、<表出性>では、タイ語の《驚き》の内、「tua sà̀n（体・震える）」「taa khaáŋ（目・止まったまま）」、「tòkcai（おどろく）」の意味を十分に弁別することができない。さらに、下位分類する必要がある、<視覚認識>と<体感認識>に分けた。<視覚認識>は「taa khaáŋ（目・止まったまま）」の「目」の主な機能を、<体感認識>は「tua sà̀n（体・震える）」の体の主な機能を反映している。タイ人は、日本人より表出を表すことが比較的高いと言える。<表出性>は、感情の慣用句の意味を弁別する特徴に数えられる。これについてさらなる研究が求められる。

また、日本語は<外面性>と<プラス評価>という意味的な特徴は「舌を巻く」「目を見張る」という感服や評価など言語活動を反映していることにも見られる。これは「舌を巻く」「目を見張る」の意味的な特徴の独自性と言える。

タイ語の「tua sà̀n（体・震える）」と「taa khaáŋ（目・止まったまま）」は<恐怖>と<瞬間性>という意味的な特徴を持つ。これらはそれぞれの慣用句の独自性をよく反映している。

表 5-10 日本語とタイ語の《驚き》の弁別的意味特徴の比較

| 共通の意味特徴
《驚き》 | 弁別的意味特徴 | | | | | |
|-----------------------|---------|---------|---------|---------|-------|-------|
| | <外面性> | <プラス評価> | <表出性> | | <恐怖性> | <瞬間性> |
| 舌を巻く | — | + | — | | | |
| 目を見張る | + | ± | + | | | |
| おどろく | ± | ± | — | | | |
| tua sà̀n
体・震える | | | — | + | + | ± |
| taa khaáŋ
目・止まったまま | | | + | — | — | + |
| tòkcai
おどろく | | | — | — | ± | ± |
| | <外面性> | <プラス評価> | <視覚認識性> | <体感認識性> | <恐怖性> | <瞬間性> |

「+」：意味特徴を持つ、 「—」：意味特徴を持たない、 「±」：意味特徴に関してニュートラル
(筆者作成)

5.3.3 日本語・タイ語の弁別的意味特徴に共通点がないもの

これは《怒り》についてである。《怒り》に関する日本語の慣用句「頭に来る」「腹が立つ」「怒る」を<現実化する前の時間の経過>、<漸進性>、<自己起因性>、<外面性>、<表出性>、<対象者重視>という弁別的意味特徴で検討した。この3つの慣用句の意味を弁別できる特徴は<漸進性>と<外面性>のみである。一方、タイ語の「*taa khǐaw* (目・緑色)」、「*nâa khǐaw* (顔・緑色)」、「*kròot* (怒る)」は<自己起因性>、<表出性>、<対象者重視>という弁別的意味特徴を持つことが分かった。

表 5-11 日本語とタイ語の《怒り》の弁別的意味特徴の比較

| 共通の意味特徴
《怒り》 | <現実化する前の時間の経過> | <漸進性> | <自己起因性> | <外面性> | <表出性> | <対象者重視> |
|--------------------------|----------------|-------|---------|-------|-------|---------|
| 頭にくる | ± | - | ± | - | | |
| 腹がたつ | ± | + | ± | - | | |
| 怒る | ± | - | ± | ± | | |
| <i>taa khǐaw</i>
目・緑色 | | | - | | + | + |
| <i>nâa khǐaw</i>
顔・緑色 | | | - | | + | - |
| <i>kròot</i>
怒る | | | ± | | ± | + |
| | <現実化する前の時間の経過> | <漸進性> | <自己起因性> | <外面性> | <表出性> | <対象者重視> |

「+」：意味特徴を持つ、「-」：意味特徴を持たない、「±」：意味特徴にしてニュートラル

(筆者作成)

日本語の<漸進性>は、怒りを生じた感情を表すまで怒りの累積期間をもつ。これは「だんだん〜てくる」と共起するかどうかというテストで明らかになる。

第三者が怒りを生じた感情が内心にあり表出しない状況を述べる場合に、《怒り》に「らしい／ようだ」を使える場合は<+外面性>、「らしい／ようだ」を使えない場合は<-外面性>とする。日本語は、「らしい／ようだ」を文末につけて、話し手がその内容を確実だと思っていることを表す。判断の根拠は、外部からの情報や観察可能なことなどが客観的なものであり、単なる想像ではない。

タイ語は、第三者の振る舞いや感情を描写するとき、「*duu thâathaaŋ / duu mǔan*」という表現を使うが、第三者が「怒る」ように見えるときには次の表現を使用する。

(a) *phǒm kròot læw* (ぼく・怒る・もう) <僕はもう怒った>

(b) *kháw kròot læw* (彼・怒る・もう) <彼はもう怒っている>

(c) *kháw duu mûan kròot lèéw* (彼・怒る・もう) <彼はもう怒っているらしい>

外部から見て、怒っている感情を判断したときに「怒る」に (b) 「*duu mûan*」をつけなくても、(c) 「*duu mûan*」をつけなくても使用できる。従って、「外面性」は日本語にある特徴であるが、タイ語にはないことが分かった。日本語は《怒り》を表出するまでの時間の経過が慣用句に反映されるが、タイ語には経過よりも状態に関して重視する傾向がある。

カンタムパン (2011:60) はタイ人日本語学習者の変化を表す表現について研究した。変化の表現についてのフォローアップ・インタビューの結果を日本語の目標言語の習得段階に分けて整理すると、タイ人学習者の誤用のタイプは下記のとおりである。

1. 変化の意味が含まれていることに全く気がつかない。
2. 変化の意味を含んでいることは分かるが、変化を表す表現が必要だとは考えなかった。
3. 変化の表現が必要だということは理解したが、活用する際に誤用を犯した。

以上の結果、タイ人学習者が使用する日本語は、変化を表す過程に重点をおかずに状態におくことが予想される。指導は、「漸進性」について特に強調して行うべきであろう。

今後の課題

本論文では、日本語の慣用句に「口を挟む」「言葉を挟む」と、名詞の交替があるように、タイ語の慣用句にも「*hǔa kòtmǎay*」(頭・法律) / 「*hǔa mǎj*」(頭・法律者) <何でも法律的に考える人>と、名詞の交替があることを明らかにした。また、日本語の慣用句に「口を挟む」「口をさし挟む」と、動詞の交替があるように、タイ語の慣用句にも「*hǔa mǔn*」(頭・回る) <(働いて) キリキリ舞をする> / *hǔa pàn* (頭・回る) <目が回るほど忙しくて、キリキリ舞をする>と、動詞の交替があることを明らかにした。

日本語には慣用句の名詞化が可能であるが、意味が同じであるものと名詞化によって意味の異なるものがある。前者は、「手を出す」「手出し」、後者は「手を打つ」「手打ち」、「顔を出す」「顔出し」などである。タイ語の場合は、動詞の前に「*kaan*」「*khwaam*」(こと／の)を置くと名詞化することができ、意味が変わらない。即ち、統語的に品詞が変わるだけである。今後の課題として、変異形及び階層関係の分類の再考が必要であろう。

章注

- 1) 「*bàak nâa*」は「やむにやまれず恥を忍んで、(援助などを)頼みに行く」という意味であり、「つなぎ合わせるために材木や柱の端などを斜めにそぎ取ること」から意味が転じた。

参考文献

日本語文献

- 秋元美晴 (2006) 「日本語と英語の身体語彙を含む慣用句」『ことばと文化をめぐって—外から見た日本語発見記』ひつじ書房 pp. 101-121
- アグス スヘルマン スルヤディムリア (2002) 「身体語彙慣用句の日本語・インドネシア語対照研究—日本語教育に資するために—」名古屋大学大学院文学研究科 国文学専攻国語学専門博士論文
- アピウオンガーム、アラディー (2005) 「タイ語の『caj』について — 日本語の「気」と比較して —」『国際交流基金バンコク日本文化センター日本語教育紀要』第2号 (2005年8月発行)
- 石田プリシラ (1998) 「慣用句の変異形について—形式的固定性をめぐって—」『筑波大学応用言語学』第5巻 pp. 43-56
- 石田プリシラ (2000) 「動詞慣用句に対する統語的操作の階層関係」『日本語科学』7号国立国語研究所 pp. 24-43
- 石田プリシラ (2001) 「日本語慣用句の研究—慣用句の特性と意味を中心に—」、筑波大学博士論文 (言語学) 学位請求論文
- 石田プリシラ (2003) 「慣用句の意味分析—《驚き》を表す動詞慣用句・一般動詞を中心に—」『筑波大学 人文社会科学研究科 文芸・言語専攻 応用言語学領域 筑波応用言語学研究10』抜刷
- 石田プリシラ (2004) 「動詞慣用句の意味的固定性を測る方法—統語的操作を手段として—」『国語学』第55巻4号 pp. 42-56
- 伊藤眞 (1989) 「Phraseologie をめぐる諸問題」『福岡大学人文論叢』第21巻 第1号 pp. 385-411
- 伊藤眞 (1990) 「慣用句とその Variation」『福岡大学人文論叢』第22巻 第2号 pp. 331-348
- 伊藤眞 (1997c) 「言語の具象性・比喻製・受動性—日・独慣用句をめぐって—」『ヴォイスに関する比較言語学的研究』三修社 pp. 249-297
- 伊藤眞 (1999c) 「慣用句の具象性についての—考察」『言語文化論集』第51号、筑波大学現代語・現代文化学系、pp. 95-117
- 今井忍編 (2012) 『日本語とタイ語の対照研究—研究史概要』今井忍編 大阪大学日本語日本文化教育センター
- 大岡保三 (1975) 『語源・慣用語』VIII、教育出版

- カノックワン・ラオハブラナキット・片桐、パッチャラボン・ゲーウキチサダン、ソムキアット・チャウエンキットワニット(2011)「タイにおける日本語研究の傾向—1986年～2009年に公開された研究を対象に—」『日本語とタイ語の対照研究—2009年度までの動向—』大阪大学日本語日本文化教育センター
- カンタムパン・スントラー (2011)「日・タイ人日本語学習者の誤用分析—変化を表す表現『ナル』を中心に—」東京学芸大学教育学研究科国語教育専攻日本語教育コース修士論文
- カンタムパン、スントラー (2012a)「日・タイ語の慣用句の変異形と固定性の対照研究」『語学教育研究論叢』、第29号、大東文化大学語学教育研究所、pp. 161-181
- カンタムパン、スントラー (2012b)「日・タイ語の動詞慣用句の統語的階層関係—下位の階層—」『外国語学会誌』第41号、大東文化大学外国語学会、pp. 251-265
- カンタムパン、スントラー (2012c)「日・タイ語慣用句の対照的意味分析—《驚き》を中心に—」『日タイ言語文化研究』創刊号 日タイ言語文化研究所 pp. 69-83
- カンタムパン、スントラー (2012d)「日・タイ語の動詞慣用句の統語的階層関係の分析—全階層について—」『指向 日本言語文化学・応用日本語学論究』第9号 大東文化大学大学院 外国語学研究所日本語言語文化学専攻誌 pp. 104-119
- カンタムパン、スントラー (2013a)「日・タイ語慣用句の対照的意味分析—《所有・取得》—を中心に」『指向 日本言語文化学・応用日本語学論究』第10号 大東文化大学大学院外国語学研究所 日本言語文化学専攻誌 pp. 84-99
- カンタムパン、スントラー (2013b)「日タイ言語の現場指示詞と文脈指示詞—タイ語指示詞「NII」「NAN」「NOON」の用法について—」『語学教育フォーラム 指示詞研究の新天地 平日本語と外国語との対照研究応用日本語学研究会』第28号 2013. 3. 20 大東文化大学語学教育研究所 pp. 69-84 (共著)
- カンタムパン、スントラー (2013c)「日・タイ語の動詞慣用句の統語的階層関係—『上位の階層』を中心に—」In *MANUTSAT PARITAT: Journal of Humanities* 第35号 Srinakharinwirot University pp. 19-32
- カンタムパン、スントラー (2013d)「日・タイ語慣用句の対照的意味分析—《聴く》—を中心に」(A Comparative Semantic Analysis of Verb and Idioms Related to 《Sense of hearing》 in Thai and Japanese) In *大会論文集 Thailand-Japan in the ASEAN Socio-Cultural Context* 第6号 2013. 9 Japanese Studies Association in Thailand pp. 165-185
- カンタムパン、スントラー (2014)「タイ語の慣用句の意味分析—《怒り》を中心に—」『日タイ言語文化研究』第2号 日タイ言語文化研究所 pp. 164-178
- コセリウ E. 宮坂豊夫・西村牧夫・南館英孝訳 (1982a)『構造的意味論』(コセリウ言語学選集第1巻) 三修社

- サイソンプーン、ラダポーン (2006) 「身体部位『顔』の意味拡張：日本語とタイ語の比較」『日本認知言語学会論文集』6号 pp. 12-22
- サイソンプーン、ラダポーン (2006) 「身体部位『顔』の意味拡張：日本語とタイ語の比較」『日本認知言語学会論文集』6号 pp. 12-22
- 田島毓堂 (2002) 『比較語彙研究の試み9』名古屋大学大学院国際開発研究科
- 田中寛 (2004) 『統語構造を中心とした日本語とタイ語の対照研究』、ひつじ書房
- 田中寛 (2011) 「タイ語のことわざ、慣用句について—比較言語文化論への誘い—」『語学教育フォーラム 第23号 タイ語慣用句拾遺 ことわざ 成語 慣用句にみるタイ語文化の世界』大東文化大学語学教育研究所 pp. 4-18
- 寺村秀夫 (1982) 『日本語のシンタクスと意味I』くろしお出版
- ナイダ A. ユージン著 ノア・S. ブラネン監訳 升川潔、沢登春仁訳 (1977) 『意味の構造：成分分析』研究社
- 松本泰丈 (2006) 『連語論と統語論』大日本印刷
- 三上直光 (2002) 『タイ語の基礎』白水社
- 宮地裕 (1977) 「慣用句と連語成句」『日本語教育』33号
- 宮地裕 (1982a) 「動詞慣用句」『日本語教育』47号 日本語教育学会 pp. 91-102
- 宮地裕 (1982b) 「慣用句の解説」『慣用句の意味と用法』、明治書院。pp. 237-265
- 宮地裕 (1985) 「慣用句の周辺—連語・ことわざ・複合語—」『日本語学』1月号 明治書院 pp. 62-75
- 宮地裕 (1986) 「日本語慣用句考」『日本語・日本文化研究論集』3号 大阪大学文学部 pp. 1-25
- 宮地裕 (1989) 「日本語基本慣用句二〇〇句」『奥村三雄教授退官記念 国語学論叢』桜楓社 pp. 127-145
- 宮地裕 (1991) 「慣用句の意味」『「ことば」シリーズ34 言葉の意味』文化庁 pp. 65-76
- 宮本マラシー (1997) 『大阪外国語大学学術研究双書 17 タイ語の言語表現』大阪外国語大学学術出版委員会
- 村木新次郎 {1985} 「慣用句・機能動詞結合・自由な語結合」『日本語学』1月号 明治書院 pp. 15-27
- 村木新次郎 (1991) 『日本語の動詞の諸相』ひつじ書房
- メーターピスィット, タサニー・坂田睦深・チュンシリウィロート, アルニー (2001) 「タイ人日本語学習者のアスペクト表現」『日本語教育のためのアジア諸言語の対訳 作文 データの収集とコーパスの構築』国立国語研究所 pp. 81-94
- 森田良行 (1985) 「動詞慣用句」『日本語学』1月号 明治書院 pp. 37-44
- 森田良行 (1990) 『日本語学と日本語教育』凡人社
- 森田良行 (2010) 『日本語の慣用表現辞典』東京堂出版

ハルゴ サブタジ(2012) 「日本語とインドネシア語の慣用句の変異形に関する対照分析—身体に関する慣用句を中心として—」大東文化大学大学院 外国語学研究科
日本語文化学専攻修士論文

福田浩子 (2003) 舛山洋介編『コミュニケーション学：その展望と視点』松柏社
堀江薫・パルデシ, プラシヤント (2009) 山梨正明編『(講座 認知言語学のフロンティア⑤) 言語のタイポロジー—認知類型論のアプローチ—』研究社

英語文献

- Belin and Kay (1969) *Basic Color Terms* Berkley. University of California Press
Coseriu, Eugenio and Horst Geckeler. (1981) *Trends in structural Semantics*.
Tübingen: Narr.
- Fraser, Bruce. (1970) “Idioms within a Transformational Grammar.” *Foundations of Language* Vol 6 No. 1, pp. 22-42
- Ishida Priscilla. (2004) “A semantic analysis of Japanese anger idioms: With a view toward contrastive analysis” In *Tsukuba journal of applied linguistics* (筑波応用言語学研究) No. 11 pp. 1-15
- Liu Dilin. (2008) *Idioms: Description, Comprehension, Acquisition, and Pedagogy* New York: Routledge
- Matsuki Keiko. (1995) “Metaphors of anger in Japanese” In *Language and the Cognitive Construal of the World*, ed. John R. Taylor and Robert E. MacLaury, Berlin: Mouton. pp. 137-151
- Nida A. Eugene (1975) *Componential Analysis of Meaning*. Mouton: The Hague.
- Osgood, Charles E. May, William H. and Miron, Murray S. *Cross Cultural Universal of Effective Meaning* Chicago: University of Illinois Press.
- Smith, L. P. (1925) *Words and Idioms: Study in the English Language*, 5th Edition, Constable and Company Ltd., London
- Weinreich, U. (1972) *Exploration in Semantic Theory*, Mouton: Paris.

タイ語文献

- Chinwigai, Wanna. (2003) “A Comparative Study of face-related figurative languages in Thai and Japanese” Master Thesis’ s Graduation of Japanese Studies, Thammasat University.

- Larpsrisawad, Nida. (2006) 「現代における慣用句の研究— タイの学生のための慣用句辞典の作成—」『国際交流基金バンコク日本文化センター日本語教育紀要』 第3号 (2006年8月)
- Lee JiEun. (2002) “Colors in Cross-Cultural Communication : A Comparative Study of Color Metaphors and Idioms in Thai and Korean” Master’s Thesis of Linguistics, Thammasat University.
- Methapisit, Tasanee. (2002) “Transitive Verbs With Counterpart and Transitive Verbs With No Counterpart in Japanese” *Journal of Liberal Arts* Faculty of Liberal Arts Thammasat University 2, No.1., pp.147-166.
- Pathrapanupat, Jiraporn. (1978) “Expression using as an Idiom in Thai” Master’s Thesis of Thai, Chulalongkorn University.
- Prasithrathasint, A. (1985) Change in the Passive Constructions in Written Thai During the Bangkok Period. Ph.D. dissertation. University of Hawaii.
- Ratnakun, Suriya. (2011) Attasatbueangton. Nakhon Pathom : Sathabanwichaiphasa lae watthanatham phuea phatthana chonnabot Maha witthayalai Mahidol.
- Saengaramruang, Wanna (2005) Aahaan kaankin nai sap le Samnuan yerraman le Thai. (Essen und Trinken im Wortschatz und in Redewendungen in Deutschen und im Thai) Bangkok : Chulalongkorn University Printing House.
- Sorsothikul, Rachanee. 1981. Resemble Meaning of Thai Idioms and English Idioms (Samnuan Angklit le Samnuan Thai thii mii khwammay klayklungkan). Bangkok: Chulalongkorn University Press.
- Thongbai Yomana (2007) “Belief and Faith in Thai Idioms” Master Thesis’s Graduation of Education, Srinakharinwirot University.
- Wongwanich Pattariya (2013) “Study of guessing the meaning of body-related Japanese idioms by Thai learners” Master’s Thesis of Japanese Studies, Thammasat University.

その他・辞典等

- 井上宗雄 (1992) 『例解慣用句辞典「言いたい内容から逆引きできる」』 創拓社
- 大岡保三 (1975) 『語源・慣用語』Ⅷ、教育出版株式会社
- 亀井孝・河野六郎・千野栄一 (1996) 『言語学大事典 第6巻 述語編』初版 三省堂
- 北原保雄編 (2010) 『明鏡国語辞典第2版』大修館書店
- 国語学会編 (1980) 『国語学大辞典』東京堂出版
- 佐藤喜代治編 (1977) 『国語学研究辞典』明治書院

- 佐藤正文、ウティチャムノン・ワッタナー (2006) 『実用タイ語会話 1』 バンコク：泰日経済技術振興協会
- 白石大二(1969) 「解説 慣用句論」『国語慣用句辞典』 東京堂出版 pp. 3-82
- 白石大二 (1977) 「解説 国語慣用句とその研究をもたらすもの」『国語慣用句大辞典』 東京堂出版 pp. 527-593
- 高見澤孟・伊藤博文・ハント蔭山裕子 (2004) 『新・はじめての日本語教育 1 日本語教育の基礎知識』 アスク
- 辻幸夫編 (2002) 『認知言語学キーワード辞典』 研究社
- 富田竹二郎 (1990) 『タイ語辞典 改訂版』 天理養徳社
- 松村明編 (1971) 『日本文法大辞典』 明治書院
- 宮本マラシー (1996) 『サワディー—日常生活の中のタイ語会話 (2)』 国際国語学社
- Nanchareonsuk Suneerat. (2009) Step up Samnuan yiipun le khamprasom kanji 日本語単語ドリル 慣用句・四字熟語. Bangkok : TPA Press
- Ratchabandittayasathan, (1996) Photchananukrom chabap ratchabandittayasathan *Pho. So. 2525*. Krungthep: Aksoncharoenthat.
- Techachokwiat Jurarat, Bunsom Noppawan, Sangthongsuk Prapa, Sillapatkul Wanchai, Ngamchatakorn Wipa, Na Ranong Soysuda (2003) Potchananukrom Yiipun Thai 日・タイ辞典 Bangkok :TPA Press
- The Royal Institute (1999) The Royal Institute Dictionary B.E. 2542. Bangkok: Aksorn Charoen Tat.

用例出典

タイ語

- 富田竹二郎 (1990) 『タイ語辞典 改訂版』 天理養徳社
宮本マラシー (1992) 『タイ語「身体用語」慣用句』、大阪外国語大学タイ語研究室 (非売品)
Neancharoensuk、Suneerat (2009) 『日本語単語ドリル 慣用句・四字熟語』
Bangkok : TPA Press
Panthumetha、Nawawan (2001) 『語彙目録』 Bangkok : Amarin
Pattamanun、Supa (1995) 『覚えておきたいきまりことば (慣用句) 事典』 Bangkok
Technological Promotion Association (Thai-Japan)
The Royal Institute (1999) *The Royal Institute Dictionary B.E.2542*. Bangkok:
Aksorn Charoen Tat. (タイ学士院仏歴 2542 年版タイ語辞典)

TNC: Thai National Corpus Department of Linguistics Faculty of Arts

Chulalongkorn University (<http://ling.arts.chula.ac.th/tnc2/>)

MANAGER ONLINE <<http://www.manager.co.th/home/>>

ONLINE JAPANESE THAI DICTIONARY <<http://www.jtdic.com/2008/japanese.aspx>>

PANTIP.com <<http://www.pantip.com/>>

日本語

石田 (2001) が引用したデータ

『慣用句の意味と用法』 宮地裕編 1982b 明治書院

『広辞典』 第4版 新村出編 1996 岩波書店

『親和英中辞典』 第4版 R.M.V. Collick・日南田一男・田辺宗一編 1995 研究社

『成語林 故事ことわざ慣用句』 中型版 1993 旺文社

『日本国語大辞典』 1981 小学館

『新潮文庫の100冊』 1995 CD-ROM版

『空白』 = 柳田邦男『空白の天気図』 /

『結婚』 = 山口瞳『結婚します』 /

『夢の』 = 森村誠一『夢の虐殺』

『技巧』 = 吉行淳之介『技巧的生活』

『真空』 = 野間宏『真空地帯』

『天使』 = 高橋三千綱『天使を誘惑』
『背徳』 = 黒岩重吾『背徳のメス』
『俘虜』 = 大岡昇平『俘虜記』
『ポーツ』 = 吉村昭『ポーツマスの旗』
『黒い雨』: 井伏鱒二
『塩狩峠』: 三浦綾子
『白い巨塔』下: 山崎豊子
『八甲田山死の彷徨』: 新田次郎
『風仙花』: 中上健次
『毎日が日曜日』: 城山三郎

※以上のものは、宮地裕編(1985b)『日本語慣用句用例集』(大阪大学文学部)からの引用。

『女社長』 = 赤川次郎『女社長に乾杯』

『黒い』 = 井伏鱒二『黒い雨』

『塩狩』 = 三浦綾子『塩狩峠』

『世界』 = 村上春樹『世界の終わりとハードボイルド・ワンダーランド』

※以上のものは、日本語用例の出典文献 (『新潮文庫の100冊』(CD-ROM版・1995)からの引用。

北原保雄編(2010)『明鏡国語辞典第2版』大修館書店

新村出編(1983)『広辞苑第3版』岩波書店

「中納言」『現代日本語書き言葉均衡コーパス』(BCCWJ)

日本国語大辞編集委員会 小学館国語辞典編集部編(2006)『日本国語大辞典 精選版』
小学館

附録

体に関する慣用句の分類一覧

附録(1)

Pattamanun (1995) 『覚えておきたいいきまりことば (慣用句) 事典』より
体に関する慣用句の分類一覧

附録(2)

宮地 (1982b) 「慣用句解説」『慣用句と意味の用法』より体に関する慣用
句の分類一覧

附録 (1)

Pattamanun (1995) 『覚えておきたいきまりことば (慣用句) 事典』 より 体に関する慣用句の分類一覧

体に関する慣用句の分類一覧 (1)

Pattamanun (1995)による『覚えておきたいきまりことば (慣用句) 事典』は、衣食住や道具、自然、言葉、文芸や娯楽、人間の動作や状態、感情などに関する日本語慣用句を分類している。本研究では身体部位を含んだ慣用句を対象としたため、体に関する日本語慣用句を抽出し、それら日本語慣用句からタイ訳への直訳文から本来の意味の連想が可能か考察し分類する。以下の4つのタイプに分けられる。

- (1) タイ語に直訳すれば、それぞれの構成要素の総和の意味から、実際に正しく理解できる。(15例)
- (2) タイ語直訳文からそれぞれの構成要素の総和の意味は理解できるが、タイ語の直訳文の意味と日本語慣用句の意味が同じではない。(15例)
- (3) タイ語直訳文からそれぞれの構成要素の総和の意味は理解できるが、その日本語慣用句の意味を連想ができない。(16例)
- (4) タイ語直訳文の総和の意味が全く通じないものとなる。(15例)

体に関する慣用句の分類一覧 (1)

(1) タイ語に直訳すれば、それぞれの構成要素の総和の意味から、実際に正しく理解できる。(15例)

| 日本語の慣用句 | 直訳 | 意味 |
|---------|---------------------------------------|--|
| 足が棒になる | khăa klaai pen máiphlɔŋ | khăa pen máaiphlɔŋ
khăa khěŋ |
| 頭が下がる | kôm hũa | γɔɔmráp nápthũw |
| 息があう | lom hăaical khaŋ kan dii | khâwkan dâai dii |
| 肩を落とす | lài tòk | mòt kamlaŋcai |
| 肩を並べる | khiaŋ bàa khiaŋ lài | 1) dæŋ khiaŋ kan pai
2) mii khwamsaamâat phɔɔkan |
| 口がすべる | pàak lûwŋ | phlěə phláŋ pàak |
| 口車に乗せる | lǒŋ lom pàak | phûutcaa wànlɔɔm kèŋ |
| 手に負えない | ráp muw mâi wăi | yâak kæŋpai ráp muw mâi wăi |
| 二の足をふむ | kâw thîi sɔɔŋ yaŋ yàp
yũu kàp thîi | yâm tháaw yũu kàp thîi |
| 二枚舌を使う | cháí sɔɔŋ lín | phûut koohòk
phûut sɔɔŋ khráŋ mâi mũan kan |
| まゆをひそめる | khamùat khíw | tham nâataa bùutbũŋ phró? mii
rũaŋ kaŋwoncai rũw mâi sabaaycai |
| 身の毛がよだつ | khõn lúk | khõnlúk dûay khwaam năaw rũw
khwaam rúusùk klua yàŋ mâak |
| 耳をうたがう | mâi chúa hũu | dâairáp faŋ rũaŋ thîi mâi khâatkhit
maa kòɔn cuŋ mâi àat thamcai hâi
chúa dâai nai thanthii, mâi chúa
hũu |
| 目が高い | taa sũuŋ | mii rótní?yom dii |
| 目がない | mâi mii taa | 1) mâi mii taa mɔɔŋ yàŋwũw ⁽¹⁾
chɔɔp mâak
2) mài mii khwaam sãamâat nai
kaan prà?mæŋ khunkhâa khɔɔŋ
dâai yàŋ thũuktɔŋ |

(2) タイ語直訳文からそれぞれの構成要素の総和の意味は理解できるが、タイ語の直訳文の意味と日本語慣用句の意味が同じではない。(15例)

| 日本語の慣用句 | 直訳 | 意味 |
|---------|---------------------------|--|
| 腕をあげる | yók khěen khûn | mii phátthanaakaan dii khûn |
| 顔が広い | nâa kwâaŋ | pen khon kwâŋkhwǎaŋ |
| 顔から火が出る | nâa lúk pen fai | àpaay khǎaynâa mâak |
| 肩身がせまい | lài khéep | rúusùk àpaay |
| 口がかたい | pàak khěŋ | mâi phûut àʔrai dooy mâi khít |
| 首を長くする | yûut khoo | รื้อ ย่าง ใจ คืดคื้อ |
| 手を打つ | tòp mww | 1) triam pŏŋkan
2) banlúʔ khôo tòkloŋ nai kaanceracaa |
| 手をぬく | thǔon mww | tham bèep lûaklûak |
| 手を焼く | fai lûak mww | mâi sâap càʔ càtkaan yàaŋrai dii |
| 耳がいたい | pùat hǔu | khwaam rúusùk khǒmkhùwn thîi tŏŋ faŋ khonùwn phûut thúŋ cùtòon rǔw khôo bòkphlŏŋ khǔŋ toneeŋ |
| 耳をかたむける | ŋîa hǔu faŋ | tâŋcai faŋ yàaŋ sǒncai |
| 胸がつぶれる | hǔaòk phanthalaa | khwaam rúusùk hòchìawcai phrŏʔ mii rûaŋ sâwcai tòkcai rǔw kaŋwon |
| 胸をなでおろす | lûup òk | rúusùk lôoŋòk mâi kaŋwoncai ìik tòo pai |
| 胸がつぶれる | hǔaòk phanthalaa | khwaam rúusùk hòchìawcai phrŏʔ mii rûaŋ sâwcai tòkcai rǔw kaŋwon |
| 目に物見せる | tham hâi hěn khǔŋ kàp taa | kaan tham hâi phûuùwn lambàak rǔw dùatrŏon chanít tŏŋ còtcam pai ìiknaan |

(3) タイ語直訳文からそれぞれの構成要素の総和の意味は理解できるが、その日本語慣用句の意味を連想ができない。(15例)

| 日本語の慣用句 | 直訳 | 意味 |
|---------|--------------------------------------|---|
| 首が回らない | khɔɔ mǔn mâidâai | mâi sǎamâat cháikhwaun nîisǐn dâai |
| 首をつっこむ | yûuwn khɔɔ | khâwrûam |
| 腰をすえる | yòn kôn loŋ | 1) khâw sǎŋkàt
2) yàaŋ ciŋcaŋ |
| 舌をまく | lín phan kan | pràʔthápcai mâak |
| 筋がいい | sǎi lûat dii | mii khwam sǎamâat mâak |
| 手に汗をにぎる | muuw kam ɲua | tùwntên wàatsǎaw |
| 手も足も出ない | yûwat mâi òk tháŋ
khěen tháŋ khǎa | mâiàat tham àʔrai dâai |
| 冷や汗をかく | ɲua yen òk | rúusùk tùwntên tòkcai klua rǔw
aay mâak mâak |
| 骨が折れる | kradùuk hàk | kaan tham siŋdaisiŋnùŋ dūay
khwaam yâak lambàak yîŋ |
| 骨身にしみる | swm khâw núa khâw
kradùuk | khwaam rúusùk yindii rǔw thúk
yàaŋ runreŋ raaw kàp wâa khwaam
rúusùk nán swm phàan khâw pai
nai rǎaŋkaay |
| 身にしみる | swm sǎap khâw pai nai
kaay | 1) khwaam rúusùk sǎapsúŋ
2) rǎaŋkaai sǎamâat thonthan tò
àʔrai baŋyàaŋ dâai dii |
| 身もふたもない | tua kôw mâi mii fǎa kôw
mâi mii | kaan phûut thîi chátcen kǎen pai
tham hâi mâi nâa sǎncai |
| 胸をなでおろす | lûup òk | rúusùk lôŋòk mâi kaŋwoncai iik
tòw pai |
| 目の色を変える | plian sǐi taa | wɛɛwtaa rǔw thâathii thîi plianpai
phróʔ kròt tòkcai rǔw caicòtcò
yùukàp kaan tham siŋnùŋ siŋdai |
| 目を細める | rîi taa | diicai con òk nòwkâa |
| 目を見はる | bèaŋ taa | tham taa too bèakkwâaŋ cǎŋmɔwŋ
dūay khwaam tòkcai |

(4) タイ語直訳文の総和の意味が全く通じないものとなる。(16例)

| 日本語の慣用句 | 直訳 | 意味 |
|----------|------------------------------|--|
| 足が出る | khăa ηōk òk maa | 1) kəən ηōppraaman
2) thùuk pəətpħǎy òk maa |
| 息をのむ | dùum lom hăaicai | pràthápcai |
| 腕によりをかける | fân khěen pen kliaw | tâŋcai tham yàaŋtemthîi |
| 肝に銘じる | tham roibàak wái thîi tàp | còtcam wái nai cai |
| のどから手が出る | mɯɯ yûun òk maa
càak khɔɔ | yàak dâai con thon mâi wăi |
| 歯が立たない | fan mâi tâŋ | 1) khěŋ mâak kàt mâi khâw
2) mâi mii kamlaŋ cà? sôu dâai |
| 鼻にかける | khwěen wái thîi càmuuk | kaan sadɛɛŋ thâathii yêyîŋ wâa mii diikwâa khonùun |
| 鼻持ちならない | càmùuk thon mâi dâai | khîiòo mâak con thon mâi dâai |
| 鼻をあかす | pəətpħǎi hâi hěn
càmùuk | lôŋcai thîi samâat kamcàt bùkkon thîi mii khwaam sâamâat nûa kwâa pai dâai |
| 歯に衣着せぬ | mâi sài sôaphâa hâi fan | kaan pûut bɛɛp mâi kreencai khrai nûk yàaŋrai kô phûut pai yàaŋnán mâi khamnuŋ thŭŋ khwaam rúusùk khǔŋ phûufan |
| 腹におさめる | kèp wái nai thóŋ | kèp pen khwaamlâp |
| 腹を決める | kamnòt thóŋ | kaan tàtsĩncai yàaŋ nêwnêe |
| 腑に落ちない | mâi khâw thŭŋ cai | mâi khâw cai, mâi phɔɔcai |
| 耳にたこができる | hŭu pen taa plaa | fan rûaŋ dæm sâmsâak lăay khraŋ con bùa,
fan lăaykhraŋ con bùa |
| 身を粉にする | tham tua pen phǔŋ | khwaam khayăn khăkhěŋ thamŋaan mâi yôthó tò khwaam yâaklambàak |

(筆者作成)

附録 (2)

宮地(1982b)「慣用句解説」『慣用句と意味の用法』より体に関する慣用句の分類一覧

宮地（1982b）による「慣用句の解説」は、日本語の慣用句を解説し、それらの慣用句を他言語に翻訳している。その中で、タイ語訳の慣用句を収集した。以下の4つのタイプに分けられる。

- (1) 日本語の身体部位を含んだ慣用句は、タイ語に訳すと同じ身体部位を含んだ慣用句である。(20例)
- (2) 日本語の身体部位を含んだ慣用句は、タイ語に訳すと違った身体部位を含んだ慣用句である。(9例)
- (3) 日本語の身体部位を含んだ慣用句は、タイ語に訳すと身体部位を含まない慣用句である。(41例)
- (4) 日本語の身体部位を含まない慣用句は、タイ語に訳すと身体部位を含んだ慣用句である。(12例)

体に関する慣用句の分類一覧 (2)

- (1) 日本語の身体部位を含んだ慣用句は、タイ語に訳すと同じ身体部位を含んだ慣用句である。(20例)

| 日本語慣用句 | | タイ語慣用句 | |
|-------------------|--|-----------------------------------|----------------|
| 慣用句 | 意味 | 慣用句 | 意味 |
| 顔が青くなる
(p. 4) | 困った事態に直面したとき、恐れや緊張や不安のために顔色が変わる様子を指す。「顔が青くなる」は実際の顔色の変化を表す場合が多いが、「青くなる」はより抽象的、比喩的な表現で「こわくなる」や「不安になる」に近い意味をもつ。 | nâa sîit
(顔・色が薄くなる) | 顔に血の気がない様子を示す。 |
| 足を引っ張る
(p. 23) | 人の行為、あるいは特色の状態が、他人に行為や事業、集団内での成功・地位・評価・ある事柄の実現などを、意思的・無意思的に、結果として妨害すること。 | pàt khêeŋ pàt khă
(払う・すね・払う・足) | 足やすねをはらう |
| 顔をする
(p. 51) | その表情をする。そういう顔の様子を見せる。「ドンナ顔」の部分が慣用的な比喩になっていて、単に表情というよりある態度や心情をあらわしている場合がある。 | tham nâa
(する・顔) | 顔をする |
| 口に合う
(p. 80) | 飲食物が好みになうこと。味が気に入ること。飲食物以外のものについて比喩的に使うこともある。 | thùuk pàak
(当たる・口) | 口に当たる (合う) |

| | | | |
|--------------------------------|--|---|-----------------------------|
| <p>手を焼く
(p. 142)</p> | <p>(ある事物や人を取り扱うのに) 手数がかかって面倒だったり、あるいはどう対処したらよいかわからなくて、処置あるいは対応の仕方に困る。</p> | <p>① ?aw mâi wăi
(待つ・NEG・COMP) ② ráp muuw mâi wăi
(受ける・手・NEG・COMP)
(筆者改変)</p> | <p>取り扱えない</p> |
| <p>身につく／身につける
(p. 187)</p> | <p>「身につく」
① 飲食物栄養が体のためになり血肉となる。
② 自分の本当の所有になる。
③ 知識を深めたり、技術に熟練したり、習慣に習熟したりして、そのものが本当に自分のものになる。
④ 服装や態度などが自分のものになっていてしっかり似合う。
「身につける」
① 衣服、装飾品などを体につける。着たりはいたりする。
② 知識、習慣などに習熟して自分のものにする。</p> | <p>① tít tua
(つく・身)
② ?aw tít tua
(持つ・つける・身)</p> | <p>① 身につく
② 身につけて持つ</p> |
| <p>身の置きどころがない
(p. 189)</p> | <p>不安や悲しみ、恥ずかしさ或いは自分は本来居るべきでない場面に遭遇して、身をどう対処すればよいかわからないで落ち着かず、いらいらして様子。</p> | <p>tham tua mâi thùuk
(する・身・NEG・正しい)</p> | <p>身をどう対処すればよいかわからない</p> |
| <p>身の毛もよだつ (p. 190)</p> | <p>恐ろしさのため、体の毛が立つ。また、そのように非常に恐ろしく感じる。寒さに体がふるえる場合も使いうるが、現在では、この用法はほとんど見られない。</p> | <p>① khǒn lúk
(毛・立つ)
② khǒn hũa lúk
(毛・頭・立つ)</p> | <p>① 毛がよだつ
② 髪の毛がたつ</p> |

| | | | |
|-------------------------|--|---|------------------|
| 耳にする
(p. 192) | (声・音・言葉・話などを) 自分の意思とは関係なく、たまたま聞きつける。 | ①dâiyin maa
(聞こえる・来る)
②khâw hũu
(入る・耳) | ①聞こえてくる
②耳に入る |
| 耳にはいる
(p. 193) | (声・音・言葉・話などを) 自分の意思とは関係なくひとりで聞こえたり、また主体の知るところとなること。 | khâw hũu
(入る・耳) | 耳に入る |
| 耳を傾ける
(p. 196) | (話・音・声などに対し) 聞こうという意志を持って注意を向けて聞く。 | ŋâ hũu faŋ
(傾ける・耳・聞く) | 耳を傾けて聞く |
| 耳を澄ます
(p. 198) | 主に、直接ある物音をよく聞こうとして、注意を集中する、注意して聞くとの意であり、場合によっては、抽象的に「～世間の世論にも耳を澄まし…」のような意にも用いられる。一方よく聞こうと注意する、ことは無関係に、心を澄まして聞く、との意にも用いる。 | ŋâ hũu faŋ
(傾ける・耳・聞く) | 耳を傾ける |
| 身を粉にする
(p. 201) | ある目的、主に生活のため体が粉になる位、苦勞をいとわず一生懸命努力し、働くこと。 | tua pen kliaw
(身・である・糸) | 身がより糸になる |
| 目がない
(二)
(p. 205) | 鑑識力、洞察力がないの意味から、物事の価値や成行きを正しく判断したり見極めたりする力がないこと。 | mâi mii taa
(NEG・ある・目) | 目がない |
| 目につく
(p. 213) | いろいろみえているものがある中で、特にあるものが目立って見える。 | tôŋ taa
(当たる・目) | 目に当たる |

| | | | |
|----------------------|--|--------------------------------------|---------|
| 目にとまる
(p. 214) | いろいろみえているものがある中で、特にあるものに視線がひきつけられる。 | sàʔdùt taa
(躓く・目) | 目に躓く |
| 目のかたきにする
(p. 218) | 憎くて仕方がなく何かにつけて恨みに思っ敵視する。 | mɔɔŋ taa khwǎŋ
khwǎŋ
(見る・目・敵意) | 敵意の目で見 |
| 目をつける
(p. 221) | 何かを狙ったり、ある目的のために何かに着眼する。または、監視の対象として気をつけて注視する。じっと様子を見る。 | mǎai taa
(狙う・目) | 目に入る |
| 目を見はる
(p. 224) | 驚いて、目を大きく見開くこと。 | tham taa too
(する・目・大きい) | 目を大きくする |
| 目を遣る
(p. 226) | 視線を(対象物の方へ)向ける。見ようと思って意図的にする場合にも、なんとなしに視線を動かす結果あるものの方へ視線がいく場合にも使う。 | praay taa
(向ける・目) | 目を向ける |

(2) 日本語の身体部位を含んだ慣用句は、タイ語に訳すと違った身体部位を含んだ慣用句である。(9例)

| 日本語慣用句 | | タイ語慣用句 | |
|---------------------------|--|---|----------------|
| 慣用句 | 意味 | 慣用句 | 意味 |
| 足が地に着かない (p. 10) | ① 何かに心が奪われ、または気持ちが上ずって、落ち着かなくなる状態。
② 理論・考え・計画などが現実から遊離していること。 | cai mâi yùu kàp núa kàp tua
(心・NEG・居る・と・肉・と・体) | 心が体にいらない |
| 足がすくむ (p. 12) | 何かの原因で、気持ちがひるみ、前へ進もうとしていた足(意思)(行動)が萎縮すること。 | khàw ?òon
(ひざ・弱い) | ひざが弱くなる |
| 足かせになる (p. 13) | 人、または政策やプランなどが、それ自身を持っている条件のために、行動・運用・自由が妨害されること、またその状態。 | klaay pen tua thuanj
(～になる・である・体・重み) | 遅らせるものになる |
| 足並みをそろえる／足並みがそろろう (p. 14) | ある事柄について、同ペースで、同じ方向へ進む、同じ方向の行動をとる。 | khianj bàa khianj lài
(並べる・肩・並べる・肩) | 肩をそろえる |
| 足を洗う (p. 19) | 長期間にわたって深い関係にあった事柄や職業との関係をすっかり断ってしまうこと。好ましくない事柄から離れてよい状態になる意で、行為に対してプラスの評価がある。 | láan muu
(洗う・手) | 手を洗う |
| 頭にくる (p. 24) | 自己または他者の言動によって、それに関わる人物が感情を害して怒る。 | kròot con lúæt khûn nâa
(怒る・ほど・血・登る・顔) | 血が顔にのぼるほどとても怒る |

| | | | |
|------------------------------|--|--|------------------|
| <p>肩身が狭い
(p. 56)</p> | <p>他人に対して肩や身を狭めて接するという意味から、他人から世間に対して、面目が立たない、顔向けできない、という意である。(『吉田』の記述に従う)</p> | <p>tua lîp
(身・やせおとろえる)</p> | <p>身がやせおとろえる</p> |
| <p>鼻をあかす
(p. 163)</p> | <p>意表をつくようなことをして、今まで優位に立っていた相手をびっくりさせ、見返す。</p> | <p>sɛɛŋ nâa
(越す・前)</p> | <p>追い越した</p> |
| <p>歯に衣を着せない
(p. 164)</p> | <p>相手に遠慮せず、自分の思っていることをはっきり言う。</p> | <p>mâi yán pàak
(NEG・止める・口)</p> | <p>口を止めない</p> |

- (3) 日本語の身体部位を含んだ慣用句は、タイ語に訳すと身体部位を含まない慣用句である。(41例)

| 日本語慣用句 | | タイ語慣用句 | |
|-----------------------------|--|--|--------------------|
| 慣用句 | 意味 | 慣用句 | 意味 |
| あげ足を取る
(あげ足取り) (p.7) | 相手の些細な欠点や言いそこない・言葉尻を捉えてなじり責める。また、相手の言葉によって、故意に言いがかりをつけて、自分の主張に有利なように導くこと。 | khooɣ càp phìt
(待つ・つかむ・間違い) | 他人の間違いをつかもうと待っている。 |
| 足もとを見る
(p.17) | ことを行う(交渉など)相手に対し、その弱みを見ぬいて、自分に有利なように対処しようとする態度・様子 | rúu cùt ʔòɔn
(分かる・点・弱い) | (相手)の弱点がわかっている |
| 足を運ぶ
(p.20) | ある場所まで、自ら行くこと。行為としては「行く」と同義であるが、行為の中になんらかの意図をもって(他の手段によらず)自分自身わざわざ出向くというニュアンスがこめられている。 | ʔùtsàa pai
(わざわざ・行く) | わざわざ行く |
| あの手この手
(p.29) | いろいろな方法・手段。「苦心して案出する」とか「これでもかこれでもかと手を尽くす」というニュアンスがある。 | wíthii nán wíthii níi
(方法・その・方法・この) | あの方法この方法 |
| うしろ指をさされる／うしろ指をさす
(p.35) | かげで他人から非難されること。 | thùuk nintaa láplǎŋ
(CAUS・悪口・後ろ) | 後ろで悪口を言われる |
| 奥歯にものはさまる。
(p.42) | 言い方や表現が率直明確でない様子をたとえていう。口に出さないうで、なにか隠しているという含みのあることもある。 | phúut mâi mòt plùuək
(言う・NEG・なくなる・皮) | 皮がまだ残っているように(言う) |
| 顔が広い
(p.50) | 世間に名前が知られていて、知り合いが多い。 | (kon) kwâaŋ khwǎaŋ
((人)・広・広々) | 広い(人) |

| | | | |
|-------------------------|--|--|------------------------------|
| 肩の荷が下りる／肩の荷を下ろす (p. 55) | 肩の荷が下りる＝責任や負担から解放される。肩の荷を下ろす＝責任を果たす。 | ① mət phaará?
(なくなる・責任／負担)
② plòtplûəŋ phaará?
(解放する・責任／負担) | ①責任・負担がなくなる
②責任・負担を解放する |
| 聞き耳を立てる (p. 64) | 人の話や物音などを聞こうとして、注意を集中する。ものがけで聞き耳を立てることもあり、話している人の前で聞き耳を立てることもあるが、多くは前もって何かの話や物音が聞こえてきて、それをよく聞こうとして聞き耳を立てる。たまに聞き耳を立てることがある。 | ʔəɛp faŋ
(隠れる・開く) | 隠れて聞く |
| 口にする (p. 82) | ①ある事柄・言葉を言う
②食べる、或いは飲む。 | ①khui (話す)
②kin (食べる)
(慣用句ではない) | ① 話す・しゃべる
② 食べる |
| 口火を切る (p. 83) | ある物事(論理・攻撃など)をある集団の中で最初に始める、そのきっかけをつくる。また単に最初に発言する。 | râəm
(はじめる、きっかけ) | 最初に発音又は行動をするという普通の言葉を使う。 |
| 口をそろえる (p. 85) | 二人以上の人と同時に同じ意見を述べること。まえてもって、口うらをあわせて、はなしを一致させることもふくめていう。 | pen sǎŋ diawkan
(である・音・同じ) | 異口同音に |
| 口をたたく (p. 86) | 勝手なことを言うこと。常にマイナスの評価が伴い、言われた言葉の持つマイナスの性格が、(～口)という表現される。 | ①phûut (話す)
②khuy (しゃべる)
例 khui too | ①話す
②しゃべる
例
大きな口を叩く |

| | | | |
|-------------------------|--|---|------------------|
| 首をかしげる
(p. 87) | 不審または疑問の気持ちを抱く様子。(否定的なニュアンスを含み、反対意志の婉曲な表現である場合が多い) | sǒŋsǎy
(疑う) | 不審に思う |
| 小耳にはさむ
(p. 100) | 話一部などを偶然にちらりと聞く。 | dâiyin maa lawlaw
(聞こえる・来る・偶然) | 偶然にちらり聞いた |
| 舌つづみを打つ
(p. 105) | 食べているものが非常に美味しく(思わず)舌を鳴らすこと。非常に美味しい物を味わって楽しむこと。 | ①námllaay lǎi
(よだれ・流れる)
②námllaay hòk
(よだれ・落ちる)
③ námllaay sǎw
(よだれ・溜まる) | |
| 舌を巻く
(p. 107) | 素晴らしい出来ばえ・圧倒するような状況・心意気・能力などに非常に驚き感心する。 | thûŋ
(驚き感心する) | 非常に驚き感心する |
| 白い目で見
(p. 116) | 冷淡な目、あるいは憎らしみや反感を含んだ態度を示す。 | məŋ dūai sǎaytaa
plèekplèek
(見る・で・視線・妙) | 妙な目で見 |
| 手にする
(p. 137) | ①あるものを手にとる、或いはもつ。
②あるものを自分の所有にする。 | ①yip (取る)
②thúu (持つ) | ① 手で取る
② 手で持つ |
| 手も足も出ない
(p. 138) | 自分から積極的に何かをしよう、または働きかけようと思っても、どうにも出来ない状況にあること。 | mâi rúu cà? tham
yàŋrai dii
(NEG・分かる・FUT・する・どうやる・良い) | どうすることも出来ない |
| 手を打つ
(一)
(p. 139) | あり得るべき事態、またはある目的に対して、あらかじめ有利なように適当な措置をとる。手段を講じること。 | triam wái
(lûaŋnâa)
(用意する・～しておく・(予め)) | (あらかじめ) 用意しておく |

| | | | |
|-----------------------------|--|--|------------------------|
| 手を打つ
(二)
(p. 141) | 取引、交渉事のある時点で、妥協しまとめ成立させること。 | tòkloŋ
(合意する) | 合意する、承諾する |
| 長い目で見
(p. 150) | 現状を見てものごとを判断するのではなく、将来を期して見守る。 | mɔ̀ŋ kaan klai
(見る・出来事・遠い所) | 事情・出来事などを遠い所まで見る。 |
| 二の足を踏む
(p. 155) | 思い切って新しいこと又は物事を進めることができず、どうしようと迷う。 | sǎŋ cìt sǎŋ cai
(二・気・二・心) | 二つの心 |
| 歯が浮く
(p. 160) | 軽薄な言動し接したり、口先だけの称賛を耳にしたりして不快になること。また、不快な音を耳にして歯の根がゆるむように感じる事。 | faŋ léew khlùwunsâi
(聞く・そして・吐く) | 聞くと吐きたい |
| 歯切れが悪い
(p. 161) | ①物事ははっきり明確に言わないこと。(はっきり言うべきであることをはっきり言わない、というマイナス評価がある。) ②物事の決着が論理的明快さを欠き、わりきれない感じを残す。 | ①phûut lian
(話す・避ける)
②phûut klòpklúan
(話す・逸らす) | 話を逸らす |
| 歯止めをかける／歯止めがかかる
(p. 162) | 事態のある方向への進行、事柄のある傾向への動きを食いとめ、阻止すること。 | ① khiit sên
(引く・ライン)
① kamnòt khǎ̀pkhèet
(決める・範囲) | ①ラインを引く
②ラインを決めてとめる |
| 腹が立つ／腹を立てる
(p. 167) | 心中に怒りの感情の生じる状態を言う。 | ①kròot (怒る)
② lûət khún nâa
(血・登る・顔) | ①怒る
③ 顔に血が登る |
| 腹がへる
(p. 168) | 空腹になること。 | ①hǐw (腹が空く)
④ thóŋ wâaŋ
(腹・空く) | ①腹が空く
②腹が空く |

| | | | |
|-----------------------------|--|---|------------|
| 身がはいる／
身を入れる
(p. 183) | 「身がはいる」は、ある物事に自然に気が乗って一生懸命にする。
「身を入れる」は、他のことに気を散らさず一生懸命にする。 | thûm thee
(込む・注ぐ) | 注ぎ込む |
| 身も蓋もない
(p. 199) | 確かに現実はそのようであるが、露骨すぎて情味も奥深さも失われてしまう。言わなくてもいいようなことを言ってしまうて恥ずかしくなる様。 | khwǎan phàa sâak
(斧・割る・枯れ木) | 斧で木を割る |
| 胸がつぶれる
(p. 202) | 他からの刺戟で、心に強い感情や思いが起こり、ショックをうける様子。現在では、恐れ・悲しみ・心配・おどろき・などが原因となる場合が多いが、古くは喜び・期待・いやな感情などにもひろく用いられたようである。 | cai sàan rá?rua
(心・震える・ぶるぶる) | 胸がぶるぶるふるえる |
| 目がない
(一)
(p. 203) | ある人や事物を、他のものをさしおいてとびつく位、度を超えて非常に好んでいる状態。 | lǒŋ (夢中) | 夢中になる |
| 目くじらを立てる
(p. 205) | ある人Aから見れば些細なことなのに、ある人Bがことさらそれをとりあげて怒ったり、小言を言ったりすること。 | khà?mǔŋ taa
(見詰める・目) | 凝視する、見詰める |
| 目に浮かぶ
(p. 211) | 現実には目の前にないもの・さま・けしきなどが、あたかも存在するように自然に思い出される、あるいは想像される。 | phùt khûn maa nai
khwaamkhít
(浮かぶ・上る・来る・中・想像) | 想像に浮かび上がる |
| 目にする
(p. 212) | 自分の意志とは無関係に見る(見える)こと。 | hǎn (見える) | 見える |

| | | | |
|-------------------|--|---|----------------|
| 目にはいる
(p. 215) | 意志とは関係なく、目によってももの存在などを
知る。 | praakòt kèe sǎaitaa
(表れる・に・視
界) | 視界に表れる |
| 目に見えて
(p. 217) | ①ある事柄、状態、行動
などの変化が、外から見
てもはっきりとわかる様
子。
②(①から転じて) 将来
起こることが、今現在起
こっていることのように、
かなりの確実性をも
って予想できる。 | hěn dâi chát
(見える・COMP・は
っきり) | はっきり見えて |
| 目を落とす
(p. 220) | 視線を下の方にあるもの
に向ける。 | mɔŋ loŋ maa
(見る・下ろす・来
る) | 見おろす |
| 目をつぶる
(p. 223) | 本来は許されるべきでない
ことや、欠点など見て
知っていながら、見逃し
たり黙認してとがめない
こと。また、じっとがま
んする、あきらめるこ
と。じっと目をつぶって
いるという意から、別に
何の手も打たないでじっ
としているの意もある。
他に「死ぬ」意もある。 | ① plòy (放す)
② ʔòtton
(我慢する) | ①見逃す
② 我慢する |

(4) 日本語の身体部位を含まない慣用句は、タイ語に訳すと身体部位を含んだ慣用句である。(12例)

| 日本語慣用句 | | タイ語慣用句 | |
|-------------------|--|--|-------------------------------|
| 慣用句 | 意味 | 慣用句 | 意味 |
| あっけにとられる (p. 26) | 言動や出来事を視覚・聴覚などを通して感知し、その意外性・突然性におどろきあきれ、その状態がある短い期間継続する様をいう。価値評価を含んだ言葉ではない。 | ʔâa pàak wǒ
(開く・口・開いている状態) | 口が開いている状態 |
| 得体が知れない (p. 39) | その人の素性、また物事の由来を知るすべがないこと。不気味だという感情を含んだ言葉であり、異様な雰囲気や相手を・状況にたいして感じるときに使われる場合が多い。 | mâi rúu hǔa nɔɔn
plaaitháw
(NEG・分かる・頭・寝る・足先) | 寝台のどの側が頭の方なのか、どの側が足の方なのか分からない |
| 音頭を取る (p. 48) | 物事をするときに先に立って皆ををひっぱって行く。 | ① pen phúnam
(である・指導者)
③ pen tuatâŋ
tuatii
(である・指導者・設立者) | ①指導者
②指導者の役割をとる |
| 金に糸目をつけない (p. 57) | 金を惜しみなく使って事にあたる。 | ŋan thɔɔŋ pen
khǒɔŋ nôɔk kaay
(銀・金・である・物・外・体) | 金は身体の一部ではない |
| 気をつける (p. 77) | (特定のことがらに対して) 注意力を働かせる。 | ráʔwaŋ (tua)
(注意する・(体)) | 注意する |
| 血相を変える (p. 90) | 怒り・驚き・危機感など強い感情で表現が変わり、何らかの能動的な行動を起こそうとする様子。 | nâa thòɔt sǐ
(顔・変える・色) | 顔色があせる |

| | | | |
|--------------------------|---|--|---------------------------------------|
| 地団駄を踏む
(p. 109) | ①思う通りにならない、
または取り返しのつかない
ことに対する悔しさを表し、
またその悔しさが表現できな
くてもどかしいさまを表す。
②胸にさし追った事柄の要求を
相手に訴えるために、実際に地
面を強く踏む、足踏みする。 | ①tên rấwrấw
(踊る・激しい)
②tii ʔòk chók hủa
(打つ・胸・殴る・頭) | ①激しくはね回る
②(自分の)胸を打ったり、頭
を殴ったりする |
| しゃくにさわ
る (p. 112) | 気に入らないことか、気持ち
の悪くなるようで、不愉快を感
じ、むしゃくしゃくすること。 | khàt cai
(障る・心) | 心に障る |
| 途方にくれる
(p. 144) | 途方とは手段・方法・すべの意
で「途方にくれる」は、よい方
針や手段が見付からず、どうし
たらよいのか分からなくなって
困り切っている様子を表す。 | khâw taa con
(入る・目・困る) | 困る場合に入る |
| 一役買う
(p. 170) | 自分から進んで全体の中の
一つの役割を引き受ける。また、
結果的に本人の意識とは無関
係に貢献する。 | yủwn muw
(出す・手) | 手を出す |
| ひんしゆくを
買う
(p. 177) | 人々に不快感を与えるよ
うな行為をしてきられ、軽蔑さ
れる。 | khwảạ hủu
khwảạ taa
(障る・耳・障る・目) | 耳にも障り、目にも障る |
| 見るかげもな
い (p. 200) | 姿、形などがみにくく貧弱さ
ま。 | ①mâi pen rủp pen
rậạ
(NEG・である・形・である・跡)
③ duu mâi dâi
(見る・NEG・COMP) | ①形にならない
④ 見るに堪えない |

参考資料

参考資料(1) 検索したデータとインフォマントの判断

- (1) 頭にくる (2) 腹が立つ (3) おこる

参考資料(2) インタビューによる調査の結果

《怒り》についての調査

1. 『現代日本語書き言葉均衡コーパス』(Balanced Corpus of Contemporary Written Japanese, 略称 BCCWJ) をオンラインで検索するツール「中納言」を利用した。BCCWJ のデータを検索する。
「頭にくる」84 文、「腹が立つ」110 文、「怒る」90 文、合計 284 文
(参考資料(1)を参考されたい)
2. 全てのデータを判断して、意味が適切でない文を削除して、適切な例文の数は
「頭にくる」55 文、「腹が立つ」87 文、「怒る」63 文、合計 205 文
3. 母語話者 3 人には、「頭にくる」と「腹が立つ」、「怒る」と「腹が立つ」、「怒る」と「頭にくる」のペアが交替できるか質問をする。
4. 3 人とも一致の答えの例だけを選択する。

日本語母語話者

A 氏：日本の国立大学工学部卒。25 歳の男子。英語・タイ語でコミュニケーション能力あり。

B 氏：会社員 50 歳の女子。タイ語学習の経験あり。

C 氏：専業主婦 85 歳の女子。英語能力多少あり。

タイ語母語話者

A 氏：日本の国立大学博士課程在学中。35 歳の男子。日本語・英語のコミュニケーション能力あり。

B 氏：日本の私立大学日本語教育修士の会社員 40 歳の男子。日本語・英語のコミュニケーション能力あり。日本のタイ語学校での教授経験あり。

C 氏：日本の私立大学博士修了者女性 37 歳の女子。日本語・英語のコミュニケーション能力あり。日本のタイ語学校での教授経験あり。

5. 筆者は母語話者ではないため「頭にくる」「腹が立つ」「怒る」の入れ替えが可能か日本語母語話者に確認を依頼する。(参考資料(2)参考されたい)

参考資料(1) 《怒り》に関して検索したデータとインフォマントの判断

(1) 頭にくる

| 番号 | 例文 | 怒る | | | 腹が立つ | | |
|----|---|----------|----|----|------|----|----|
| | | A氏 | B氏 | C氏 | A氏 | B氏 | C氏 |
| 1 | 空審議のようなことをやっていたんでは、全く私どもは <u>頭にくる</u> わけでございます。(小川(新)委員、1984国会会議録/衆議院/常任委員会 国会会議録 第101回国会) | △ | △ | △ | ○ | × | ○ |
| 2 | ヒヨドリ連日の飛来で <u>頭にくる</u> な～、密を吸いに来るらしいので実害は少ないのかも知れませんが何となく嫌な感じ?ー (Yahoo!ブログ/趣味とスポーツ/趣味 2008 Yahoo!ブログ Yahoo!) | △ | × | × | ○ | △ | × |
| 3 | て頂いたり、手伝って頂いたり・・・お世話になる時の礼儀は忘れないつもりです。 <u>【頭にくること】</u> ・空スペースに駐車しようとして通り過ぎ、Rに入れてバックし始めた途 (Yahoo!ブログ/趣味とスポーツ/乗り物 2008 Yahoo!ブログ Yahoo!) | 例文として不適切 | | | | | |
| 4 | 「ご飯は何だったの?」献立を答えたら「ラーメンがいいな」ですってもう <u>頭にくる</u> わよ…ね (Yahoo!ブログ/Yahoo!サービス/Yahoo!ブログ 2008 Yahoo!ブログ Yahoo!) | 例文として不適切 | | | | | |
| 5 | メールはバンバン届く。サイトのメルマガまで届く。3日がたった。いい加減 <u>頭にくる</u> 。いつになったら解約になるのだろう。メルマガに問い合わせを発見。またメール。解約 (Yahoo!ブログ/Yahoo!サービス/Yahoo!ブログ 2008 Yahoo!ブログ Yahoo!) | △ | × | △ | ○ | ○ | ○ |
| 6 | 基本的に相手にしていないので、全く気にしていませんが、黙って聞いていれば <u>頭にくる</u> ことも…。たまにキレそうになりますが、ここは関係ないと思い、我慢!我慢!今も腹が (Yahoo!ブログ/芸術と人文/文学 2008 Yahoo!ブログ Yahoo!) | △ | × | △ | ○ | △ | ○ |
| 7 | てください。できたら、お名前も、よろしくお願ひします。だいが削除されたんですね。 <u>頭にくる</u> ことってありますよね。ボクも、1日で3(000点くらい削除された経験があります。削 (Yahoo!知恵袋/その他/アダルト 2005 Yahoo!知恵袋 Yahoo!) | 例文として不適切 | | | | | |

| | | | | | | | |
|----|--|----------|---|---|---|---|---|
| 8 | 連絡いただかなければ・・・」というような予告をしたほうがいいのでしょうか？なんか <u>頭にくる</u> ので即刻手続きしようと思っているのですが・・・期限を切ってから削除した方が良く (Yahoo!知恵袋/Yahoo! JAPAN/Yahoo!オークション 2005 Yahoo!知恵袋 Yahoo!) | 例文として不適切 | | | | | |
| 9 | た事ありますか？結局、怪我もしていなければ慰謝料、保険もおきないと思うし。すごく頭にくるただのビックリ損ですよ。まあ無事なので良かったですけど。その轢かれそうになった (Yahoo!知恵袋/地域、旅行、お出かけ/交通、地図 2005 Yahoo!知恵袋 Yahoo!) | △ | × | △ | ○ | △ | ○ |
| 10 | 全くの初心者です。スペイン語のVは英語のBで発音するのですか？ 頭にくる場合、冠詞がつく場合などで違うのですか？ カタカナのべでいいと書いてあったのです (Yahoo!知恵袋/教養と学問、サイエンス/言葉、語学 2005 Yahoo!知恵袋 Yahoo!) | 例文として不適切 | | | | | |
| 11 | よく電車内で化粧をする女性をマナー違反だという書き込みがありますが、どこらへんが頭にくるのでしょうか？私は20代男性です。確かにみつともないとは思いますが、別に他人に迷 (Yahoo!知恵袋/マナー、冠婚葬祭/マナー 2005 Yahoo!知恵袋 Yahoo!) | △ | × | × | ○ | △ | ○ |
| 12 | しょうか。よくあることです。そこいらへんは少しばかり我慢しましょう。まあ、とても <u>頭にくる</u> ことだとは思いますが。 (Yahoo!知恵袋/子育てと学校/小・中学校、高校 2005 Yahoo!知恵袋 Yahoo!) | △ | × | △ | ○ | △ | ○ |
| 13 | 自分の否を認めません。性格面で改善してもらいたい所があるのですが、指摘されると頭にくるらしく、一日しかとされたこともあります。気位の高い人に聞く耳をもたせる方法はある (Yahoo!知恵袋/健康、美容とファッション/恋愛相談、人間関係の悩み 2005 Yahoo!知恵袋 Yahoo!) | △ | × | △ | △ | △ | ○ |
| 14 | 言われても無理じゃないですか。それと同じで時間薬も必要とするのです。目にはいると頭にくる とは思いますが、仕事上迷惑を被るなら上司に申し出て改善を要求する。そうでなければ (Yahoo!知恵袋/健康、美容とファッション/健康、病気、ダイエット 2005 Yahoo!知恵袋 Yahoo!) | △ | △ | △ | △ | △ | △ |
| 15 | なんか大きな力が働いてるのかなあ・・・???そんなに違くないねえ~~~~~ったく、頭にくる ね。やっぱ、噂は本当なんだ・・・ (Yahoo!知恵袋/スポーツ、アウトドア、車/スポーツ 2005 Yahoo!知恵袋 Yahoo!) | × | × | × | ○ | △ | ○ |
| 16 | 厚生年金掛金値上げだって、政治家や官僚たち 頭にくる ね。保養施設などいろいろつくって、赤字で捨て値同然で払い下げ。掛金値上げ だって聞 (Yahoo!知恵袋/ニュース、政治、国際情勢/政治、社会問題 2005 Yahoo!知恵袋 Yahoo!) | × | × | × | △ | △ | △ |

| | | | | | | | |
|----|---|----------|---|---|---|---|---|
| 17 | たぶん発音的には「クオン」が一番近いと思いますが、韓国語は「ガギグゲゴ」の文字が 頭にくる と濁らずに「カキケコ」の発音になります。クオン・サンウになると思います。グオン (Yahoo!知恵袋/エンターテインメントと趣味/芸能人、タレント 2005 Yahoo!知恵袋 Yahoo!) | 例文として不適切 | | | | | |
| 18 | 一マも、研究の動機も、たいへんおもしろいと思いました。ただアンケートの項目に、「頭にくる」「むっとする」といった、よく使われる表現がないのが気になりました。質問の項目は(教科書/国語/中 2005 国語 1 宮地裕 ほか著 光村図書出版株式会社) | 例文として不適切 | | | | | |
| 19 | ットではあまり感情を見せたりしませんよね。片岡：基本的に僕は焦らないというか、頭にくる ことはたくさんあるんですけど、レースはなるべく感情に左右されないように意識してま (水野 智之(著)/片岡 龍也(著) / 1970 男/ 男 2005 雑誌/工業/機械 AUTO SPORT 2005年2月10日号(第42巻第6号、通巻1002号) 三栄書房) | △ | × | △ | ○ | △ | ○ |
| 20 | しか、義昭は天下の政治に関われないということである。これは義昭にとってはかなり 頭にくる 内容である。「これが将軍か、これでは案山子も同然ではないか」というのが義昭の本 (井沢 元彦(著) 1950 男 2005 雑誌/教育・学芸/文学/芸術 文芸ポスト 2005年冬号(季刊第27号、第37巻2号、通巻1788号) 小学館) | △ | △ | △ | ○ | △ | ○ |
| 21 | 自分がしたいようにしかなないからでしょう？ ありがとうって言おうと思ってるのに、頭にくる こと言うし、カッカさせるから、ありがとうっていう言葉が言えなくなっちゃうのよ！」 (ユ ホヨン(著)/長谷川由起子(訳) / 1950 / 女 書籍/9 文学 2005 パリの恋人 上 キム・ウンスク, カン・ウンジョン 脚本;ユ・ホヨン 著;長谷川由起子 訳) | × | × | × | ○ | △ | ○ |
| 22 | くなるまで来ないさ。手早く済ますよ。店がきれいになるのはいいことじゃないか」「頭にくる ことがあるんなら酒でも食らってるよ。力仕事なんてやったらよけい頭に血が上るじゃな (ユ ホヨン(著)/長谷川由起子(訳) / 1950 / 女 2005 書籍/9 文学 パリの恋人 上 キム・ウンスク, カン・ウンジョン 脚本;ユ・ホヨン 著;長谷川由起子 訳 竹書房) | × | × | × | △ | △ | × |
| 23 | しくさせておける」ロークは手を伸ばして、彼女の顎をつかんだ。「そうすると、きみは 頭にくる だろう。そういうのが大嫌いなんだから。自分で、あと二時間くらいベッドにいようと決 (J・D・ロブ(著)/青木悦子(訳) 1950/ 1960 女/ 女 2004 書籍/9 文学 復讐は聖母の前で J.D.ロブ 著;青木悦子 訳 ソニー・マガジンズ) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| | | | | | | | |
|----|---|----------|---|---|---|---|---|
| 24 | 慢性胃炎と言われたんやけど…。胃腸は元来強いと思っていたから、心臓か、脳梗塞とか 頭にくる と思っていた。まさか胃癌になるとは。しかしついにきたって感じ。ほんまにまいったわ」 (川 一(著) 1940 男 2004 書籍/9 文学 癌は、神様からのプレゼントだった川一 著 新風舎) | 例文として不適切 | | | | | |
| 25 | セアラが出て行くと、アンはうんざりしたように溜息をついた。「女の子って、まったく 頭にくる わ。セアラがどんなにわたしの痛にさわるか、あなたにはとてもわからないでしょうよ、(アガサ・クリスティー(著)/ 中村 妙子(訳) 1890/ 1920 女/ 女 2004 書籍/9 文学 娘は娘 アガサ・クリスティー 著;中村妙子 訳 早川書房) | × | × | × | △ | △ | △ |
| 26 | 分が否定されたから」という答えが導き出されたなら、今度は「なぜ自分が否定されたら 頭にくる のか」を自問してください。「なぜ」「なぜ」を繰り返していくと、自分がどんな場面(中丸 薫(著) 1930 女 2004 書籍/3 社会科学 闇の世界権力をくつがえす日本人の力超パラダイムシフト 割られた十六菊花紋を復元せよ! 中丸薫 著 徳間書店) | △ | × | △ | ○ | △ | ○ |
| 27 | くれないか。ガリラヤでは今でも近所の人たちは、あなたのことを変人扱いをして本当に 頭にくる よ。でも僕の妻になれば、いくらなんでもそんなことは言わせやしないよ。僕の姉もクロ (G・カミンズ(著)/ 山本 貞彰(訳) 1890/ 1930 女/ 男 2004 書籍/1 哲学 霊界通信イエスの少年時代 貧窮の中の小さな王者 G.カミンズ 著;山本貞彰 訳 潮文社) | × | × | × | ○ | △ | ○ |
| 28 | くら注意して洗っても、いくらでいねいにアイロンをかけても、それでも皺は残った。「頭にくる わ、このシャツ」小さくつぶやく。いくらなでつけても頑固な皺が消えないので、あせり (ジョイ・フィールディング(著)/ 吉田 利子(訳) 1940/ 1940 女/ 女 2002 書籍/9 文学 グランド・アヴェニュー ジョイ・フィールディング 著;吉田利子 訳 文藝春秋) | × | × | × | △ | △ | △ |
| 29 | シートに頭をもたせて目を閉じた。そしてあっという間に眠りこんでしまった。「君は 頭にくる だろうな」ダッシュの音が彼女をうたた寝から引き戻した。「部屋が一つしかなかった (ジョアン・ロス(著)/ 柴田 礼子(訳) / 1960 / 女 2002 書籍/9 文学 ルールは無用 ジョアン・ロス傑作集1 ジョアン・ロス 作;柴田礼子 訳 ハーレクイン) | 例文として不適切 | | | | | |
| 30 | ていないって事か。現実にはこの俺の問題であるが、絶望って事なのか。それにしても 頭にくる のが俺の担任のババー、「先生助けて」と言ったのに、それも俺一人じゃない、女子の山 (佐藤 錦(著) 男 2002 書籍/9 文学 いじめへの逆襲 佐藤錦 著 近代文芸社) | 例文として不適切 | | | | | |

| | | | | | | | |
|----|---|----------|---|---|---|---|---|
| 31 | がれっつ。お前が、いいって薦めるからこの病院へきたんじゃないかっ」 ストレートに 頭にくる 。だが、その間に割って入った藤原は、本気で直矢の肩を突き飛ばした。「痛ッ!!な (鷹野 京(著) 2002 書籍/9 文学 ドラマチックに恋をしよう いとしのテディ・ボーイ 鷹野京 著 プランタン出版;フランス書院(発売)) | × | × | × | × | △ | × |
| 32 | o「残す」v s . 完了形 l e l o i p a のような) 接頭的重複もないので、おのずから語 頭にくる のは「語基 (b a s e) 」である (若干の語基は, 「語根 (r o o t) 」とこれを語基化 (宮岡 伯人(著) 1930 男 2002 書籍/8 言語 「語」とはなにか エスキモー語から日本語をみる 宮岡伯人 著 三省堂) | 例文として不適切 | | | | | |
| 33 | ップを置いた。「ビル・クランシーときたら、ぜんぜん自分の流儀を曲げないんだもの、頭にくる わ。コンクリートに彫ったみたいに日課がきちんと決まっているの。毎週決まった曜日に (パメラ・ロス(著)/ 中村美秀(訳) // 2001 書籍/9 文学 ロマンチックが好き パメラ・ロス 作;中村美秀 訳 ハーレクイン) | × | × | △ | ○ | △ | ○ |
| 34 | 答えていた。「ええ、やいてますよ。テスが僕以外の男に抱かれるなんて、考えただけで 頭にくる 」 大胆な発言をした自分自身に驚き、ジャックはどっかりと椅子に沈み込んだ。だが、 (Braun Jackie. (著)/ 黒瀬みな(訳) 2001 書籍/9 文学 フィアンセは当店で聖夜はあなたと ジャッキー・ブラウン 作;黒瀬みな 訳 ハーレクイン) | × | × | × | △ | ○ | ○ |
| 35 | なかには立ち止まって見たり、すれ違ったのに戻ってきて、顔を覗き込んだりするのだ。頭にくる。しかし、その時はなんでかなあ、と思う部分もあった。今まで私が抱っこしていたと (稲川 尚子(著) 1950 女 2001 書籍/9 文学 ママと呼んで! 由くん 稲川尚子 著 まどか出版) | 例文として不適切 | | | | | |
| 36 | 常に親しいが、日本人にはほとんど馴染みのない動物といえば、まず驢馬 (ロバ) がその筆 頭にくる のではないか。もともと、私の子供の頃に「ロバのパン屋」というものがあって、ロバの (鹿島 茂(著) 1940 男 2001 書籍/7 芸術・美術 人獣戯画の美術史 鹿島茂 著 ポーラ文化研究所) | 例文として不適切 | | | | | |
| 37 | せん。ドジでもいい、自然に子どもと接しよう 子どもたちに聞くと、父母の対応が一番 頭にくる のが「ぼくたちがお皿を落として割ると、『なにやってるの!』と怒るくせに、自分が割 (増田 修治(著) 1950 男 2001 書籍/3 社会科学 話を聞いてよ、お父さん! 比べないでね、お母さん! 熱血どんぐり先生と「子どもの詩の世界」に出発! 増田修治 著 主婦の友社;角川書店(発売)) | × | × | × | × | ○ | ○ |

| | | | | | | | |
|----|--|----------|---|---|---|---|---|
| 38 | を読み込みたい場合には、あらかじめExcel側で、目的のワークシートがブックの先頭にくるように並び替えて置く必要があります。1 Wordを起動して、目的の文書ファイルを（大津 真(著) 1950 男 2001 書籍/0 総記 極めるExcel 2002 For Windows 大津真 著 ローカス) | 例文として不適切 | | | | | |
| 39 | 画、ほとんどボクが成功させたのに、C主任は自分の手柄のように課長に報告している。頭にくるよ」みんなそれぞれ、お互いのことについて、腹に一物もっているが、それを口にだし（実著者不明 2004 書籍/1 哲学 ワルの知恵本 マジメすぎるあなたに贈る世渡りの極意 門昌央と人生の達人研究会 編 河出書房新社) | × | × | × | △ | ○ | ○ |
| 40 | とても申しわけなくて仕方がありませんでした。このことがあってから、僕はどんなに頭にくる ことがあっても、また叩かれても、父に絶対手をあげることはしませんでした。そし（笹沢 左保(著) 1930 男 1981 書籍/9 文学 明日はわが身 人間ならば魂の開発を 笹沢左保 著 いんなあととりっぶ社) | × | × | × | × | ○ | ○ |
| 41 | しまう。ひいては世の中の美しさまで壊してしまうことになる。腹を立てる感情には、頭にくる、怒る、かんしゃく、気短、むくれる、すねる、くやしがるなどいろいろある。また外へ（御木 徳近(著) 1900 男 1976 書籍/4 自然科学 老春謳歌 長生きの秘訣 御木徳近 著 芸術生活社) | 例文として不適切 | | | | | |
| 42 | ってね。「ほんとにもう、この頃の先生、たたいりして。いやーッ! もう…」って、頭にくる 母さん、いるわけ。そりゃ先生、たたくのはあんまりいいことじゃありませんけど、その（坂東 義教(著) 1920 男 1979 書籍/3 社会科学 坂東先生の教育講座 子どもを育てるモーニングショー 坂東義教 著 全国朝日放送) | ○ | ○ | △ | × | △ | ○ |
| 43 | ら」とほぞくのである。こういう発言に対して私は馬乗りになって首をしめたくなるほど頭にくる。何が主人だ、何が子供だ、最初からそんなことわかりきってるじゃないか。「こんな（群 ようこ(著) 1950 女 2003 書籍/9 文学 午前零時の玄米パン 群ようこ 著 角川書店) | × | × | × | △ | ○ | ○ |
| 44 | 彼女に何と言え方がいいのかはもっとわからない。勿論、怒って当然のことなのだが、私は頭にくる というより、ただ仰天していて、どうして良いか—というのが正直なところだった。で（室井 滋(著) 1960 女 2003 書籍/7 芸術・美術 まんぷく劇場 室井滋 著 文藝春秋) | △ | △ | ○ | △ | △ | ○ |

| | | | | | | | | |
|----|---|----------|---|---|---|---|---|--|
| 45 | 、何度も同じ説明をさせることを避けるためです。何度も同じ事柄を説明することほど、頭にくる ことはありません。ただでさえ気が立っているお客さまの感情の火に油を注ぐようなもの (古谷 治子(著) 1950 女 2003 書籍/3 社会科学 心を動かす電話の応対 古谷治子 著 オース出版) | × | × | △ | ○ | △ | ○ | |
| 46 | そもそも、百万などという金は部屋にないし、どこにもない。嘘と分かれば、コルドンは 頭にくる に違いない。それまでに、手立てを講じる必要がある。コルドンが言う。「まず、そ (逢坂 剛(著) 1940 男 2002 書籍/9 文学 熱き血の誇り 下巻 逢坂剛 著 新潮社) | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | |
| 47 | いる。「まあ、ムショにぶちこまれるよりはましだけどさ」「そりゃ、そうだけど、頭にくる よなあ」と、隣にいた小太りの若者が言う。「もとはといえば、あいつがあんなべらぼ (岳 真也(著) 1940 男 2000 書籍/9 文学 風の祭礼 岳真也 著 作品社) | × | × | △ | ○ | △ | ○ | |
| 48 | とよ。報道される半分は不正確なんだから。しかも、それで通ると思っているんだから、頭にくる わよ。たしかにそれで通っちゃうんだもの。だって、コリンに何ができる？ 新聞を訴え (ジョイ・フィールディング(著)/ 吉田 利子(訳) 1940/ 1940 女/ 女 1999 書籍/9 文学 私のかけらを、見つけて ジョイ・フィールディング 著;吉田利子 訳 文藝春秋) | △ | × | △ | ○ | △ | ○ | |
| 49 | 件とでも、《存在しないハープ奏者》事件とでも、あるいは全部ひっくるめて《多すぎて 頭にくる 幽霊》事件とでもね。ぼくらはやっと、ひととおりに見て歩いたところなんだ。まだお目に (ポール・ギャリコ(著)/ 山田蘭(訳) 1890/ 1960 男/ 女 1999 書籍/9 文学 幽霊が多すぎる ポール・ギャリコ 著;山田蘭 訳 東京創元社) | 例文として不適切 | | | | | | |
| 50 | 結論を下した。しかしそれにしても、そばにいられるととにかく重苦しいのだ。とりわけ 頭にくる のは、いつもこちらに背を向けて座る癖だった。「それにあの人は背中じゃしゃべるじゃな (ウラジーミル・ナボコフ(著)/ 若島 正(訳) 1890/ 1950 男/ 男 1999 書籍/9 文学 ディフェンス ウラジーミル・ナボコフ 著;若島正 訳 河出書房新社) | × | × | × | ○ | △ | ○ | |
| 51 | 彼女は楽しそうに笑い声をたてた。「どうしていずみさん達はそんなに仲がいいの？ 頭にくる こととかないの？」 私が聞くと、彼女は煙草の火を消してカフェオレを啜りながら考え (山本 文緒(著) 1960 女 1998 書籍/9 文学 紙婚式 山本文緒 著 徳間書店) | ○ | △ | ○ | ○ | △ | ○ | |

| | | | | | | | |
|----|---|----------|---|---|---|---|---|
| 52 | ったのよ。ピエロD もう少しでやばかったわよ。ピエロA だいたいおまえをみると 頭にくる んだよ。ちょっとぐらい頭がいいからってよ。ピエロG 誠の時だっておまえさえ、黙っ (山本 茂男(著) 男 1997 書籍/分類なし 中学校劇1年 ドラマで楽しむ 木村たかし ほか編 小峰書店) | × | × | × | ○ | ○ | ○ |
| 53 | のがあります。 行頭禁則とされているものには、まず、句読点があります。それらが行 頭にくる 場合は、通常、前の行末に版面からはみ出させて置く“ぶら下げ(ぶら下がり)”としま (徳留 徳(著) 1930 男 1997 書籍/0 総記 初めての人でもよくわかる編集の基礎知識 徳留徳 著 新井出版社;星雲社(発売)) | 例文として不適切 | | | | | |
| 54 | 明をしていた。 ギンちゃんがいやに、れい子さんにやさしいので、ギッチョンチョンは 頭にくる ようだった。「これ、ずいきと豚肉のピーナツ和え」とギンちゃんがいうと、「ずい (灰谷 健次郎(著) 1930 男 1996 書籍/分類なし 太陽の子 長編小説 灰谷 健次郎 著 理論社) | × | × | × | △ | △ | ○ |
| 55 | 徒がぞろりぞろり、家の前をひっきりなしに行ったりきたりするのでは、おれでなくとも 頭にくる だろう。話によれば、この予備校の学生数は十万人だそうである。静かな美しい高級住宅 (筒井 康隆(著) 1930 男 1996 書籍/9 文学 アルファルファ作戦 筒井康隆 著 中央公論社) | ○ | × | × | ○ | △ | ○ |
| 56 | ヤな時もある。ナズナさんはわがままな親なだけで、私がかわいそうな娘だけやって、 頭にくる 時もある。でも、私はまだ成長期やし、星野ナズナさんはもう終わったから…。 私はま (ひこ・田中(著) 1950 男 1995 書籍/9 文学 お引越し ひこ・田中 著 講談社) | 例文として不適切 | | | | | |
| 57 | が包囲してるの。一台のジープで五台分の駐車スペースを占領してるんだから。まったく 頭にくる わ…」一言も礼を言わずに女は車に戻るとルノーの横をバックしていった。シトロエン (コリン・フォーブス(著)/ 小西 敦子(訳) 1920/ 1940 男/ 1993 書籍/9 文学 マレンゴ作戦発動す 下 コリン・フォーブス 著; 小西敦子 訳 扶桑社) | × | × | × | △ | △ | ○ |
| 58 | 「あいつら、おれがいくら胸にナイフが刺さってたって言っても、信用しねえんだよな。 頭にくる ぜ」立石はぶりぶりしている。「なんととっても遺体がないからな。殺人事件という (宗田 理(著) 1920 男 1993 書籍/9 文学 ぼくらの「第九」殺人事件 宗田理 著 角川書店) | × | × | △ | △ | △ | ○ |

| | | | | | | | |
|----|--|----------|---|---|---|---|---|
| 59 | うってことが無視され、おれたちはあっさりひとくりにされちまう。それにはときどき 頭にくる 」トロイはひと息つき、額にしわを寄せた。「昔ある作家がいて…おかしいな、名前をま (チャールズ・ウィルフォード (著)/ 沢 万里子(訳) 1910/ 1950 男/ 女 1989 書籍 /9 文学 あぶない部長刑事 マイアミ・ポリス チャールズ・ウィルフォード 著;沢万里子 訳 扶桑社) | 例文として不適切 | | | | | |
| 60 | きに用いられる。 命令文は、一般に、助動詞要素をもたず、本動詞の原形不定詞形が文 頭にくる 。しかし、標記の文にみられるように、助動詞 d o を用いた命令文も存在する。つまり、(実著者不明 1987 書籍/8 言語 例解現代英文法事典 安井稔 編 大修館書店) | 例文として不適切 | | | | | |
| 61 | そうなる場合もあるが、それは完全にベンチがゲームを壊したことになる。意外と一番、 頭にくる パターンがこれで、「どうしてあの選手を変えるんだ?」と思う場合はゲームへの興味を (2008 Yahoo!ブログ/趣味とスポーツ/スポーツ Yahoo!ブログ Yahoo!) | 例文として不適切 | | | | | |
| 62 | 。怒鳴る、叫ぶ、コントロールできなかったんだ。ショットが思った通りに打てないと、 頭に来る んだ。もう一度失敗すると『ラケットをどうにかしなきゃ』と思ったものさ」そのころの (2008 Yahoo!ブログ/Yahoo!サービス/Yahoo!ブログ Yahoo!ブログ Yahoo!) | × | × | × | ○ | △ | ○ |
| 63 | 国の内外ともに、 頭に来る ことばかりですが、そういう時にちょうどええ曲が。この曲、以前にE X I L E のでや (2008 Yahoo!ブログ/エンターテインメント/音楽 Yahoo!ブログ Yahoo!) | × | × | × | ○ | ○ | ○ |
| 64 | ロウィルスを検索し始めてよ～もう一時間半以上経とつるがな～ちっとも終われせんが～ 頭に来る が～たいがいせんといかん！ちっとも眠れんがね。もっと高速にしてくれんかね！ (2008 Yahoo!ブログ/コンピュータとインターネット/コンピュータ Yahoo!ブログ Yahoo!) | 例文として不適切 | | | | | |
| 65 | う見えます。ついでだからもう一つ言ってしまうと自分が出品した時より高く落札されて 頭に来る みたいだけどそれはその人の出品方法が下手なだけ (2005 Yahoo!知恵袋/Yahoo! JAPAN/Yahoo!オークション Yahoo!知恵袋 Yahoo!) | 例文として不適切 | | | | | |
| 66 | た。ぬま地にやって来るガンのすがたが、かなたの空に黒く点々と見えだしました。先 頭に来る のが、残雪にちがいありません。その群れは、ぐんぐんやって来ます。「しめたぞ。(2006 教科書/国語/小 国語 五下 大地 宮地裕 ほか著 光村図書出版株式会社) | 例文として不適切 | | | | | |

| | | | | | | | |
|----|---|----------|---|---|---|------|---|
| 67 | 、これだけ頭に来る言い方が出来る奴は一人しかいない。仁藤だ。まったく、どこまでも 頭に来る 奴。 見れば一階の左端にある通信室から、ゆっくりと歩み出てきている。先に着いてい (日明 恩(著) 1960 女 2005 書籍/9 文学 鎮火報 日明恩 著 講談社) | × | × | × | ○ | △ | ○ |
| 68 | ごもつともな警告だが、もう少し言いようというものがあるだろう。もちろん、これだけ 頭に来る 言い方が出来る奴は一人しかいない。仁藤だ。まったく、どこまでも頭に来る奴。 見れ (日明 恩(著) 1960 女 2005 書籍/9 文学 鎮火報 日明恩 著 講談社) | × | × | × | ○ | △ | ○ |
| 69 | かったが、その顔は「え？」と言っていた。「だいたいみんな、はき違えてやがるのが 頭に来る 」 「はき違えている？」 わけが判らないと言った口調の小坂に、ぴしゃりと言い返し (日明 恩(著) 1960 女 2005 書籍/9 文学 鎮火報 日明恩 著 講談社) | × | × | × | ○ | △ | ○ |
| 70 | 彼は非常に一本気ない男で仕事もできます。ただ、ちょっと気が短いところがあって、 頭に来る とすぐに思ったことを口に出して言うてしまうのです。それで何回も失敗を繰り返してき (水落 英雄(著) 1960 男 2005 書籍/1 哲学 手相が教えるあなたの開運期 水落英雄 著 たちばな出版) | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ |
| 71 | (ピアノ) ▲曲目●モーツァルト〈私はあなたを後に残す、この別れを〉●ピッチンニ〈頭に来る 高慢ちき〉●マルティーニ〈愛の喜びは〉●ベッリーニ〈私のフィルレの悲しげな姿よ〉 (実著者不明 2004 書籍/分類なし モーツァルトのオペラ大特集 音楽之友社) | 例文として不適切 | | | | | |
| 72 | って、不屈のローズも何度か脳卒中に襲われ、心身が衰えた。「年を取るってほんとうに 頭に来る ものだわ」。ローズはいまいましげに言った。そして一九八四年の復活祭の日曜日に重い (ボニー・アンジェロ(著)/ 山村 宜子(訳) / 1940 女/ 女 2004 書籍/2 歴史 ファーストマザーズ わが子をアメリカ大統領にした母親たち ボニー・アンジェロ 著;山村宜子 訳 清流出版) | × | × | × | ○ | △ | ○ |
| 73 | るだろうか。 まず「誰」に関わることかが問題になるだろう。そして《私が》が文の先 頭に来る 。次にその《私が》「なにをする」のかが問題になり、《訪れた》が来る。そして「どこ (野内 良三(著) 1940 男 2003 書籍/8 言語 うまい!日本語を書く12の技術 野内良三 著 日本放送出版協会) | 例文として不適切 | | | | | |
| 74 | じゃんよ。二点の差ってよ」と伊藤がおどけながら吉川と松岡を見やっている。「宮田が 頭に来る 訳よなあ、あいつ九十五点だとよ」と伊藤は含み笑いを作り、「まあ約束だから仕方あん (佐藤 錦(著) 男 2002 書籍/9 文学 いじめへの逆襲 佐藤錦 著 近代文芸社) | × | △ | △ | × | を立てる | △ |

| | | | | | | | | |
|----|---|----------|---|---|---|------|---|--|
| 75 | 、この世ではもう、呼吸ができなくなるかもしれないのだ。だが、そのフトシも、ついに 頭に来る 日が来た。その日、デパートのショッピングバッグをぶらさげて帰ってきた中ネエの夏 (山中 恒(著) 1930 男 2001 書籍/分類なし ねえちゃんゲキメツ大作戦 山中恒 作 理論社) | △ | △ | × | △ | △ | × | |
| 76 | の先行詞から除外されやすく、文尾に置かれた副詞は先行詞に含まれやすい。これは、文 頭に来る 副詞がその後に来る文 (S) とは切り離されて、別の要素と考えられやすく、そのため旧 (高見 健一(著) 1950 男 2001 書籍/8 言語 日英語の機能的構文分析 高見健一 著 鳳書房) | 例文として不適切 | | | | | | |
| 77 | されたらって思うと、出かけられると思う？ アリバイ的に分かったこと言うから、また 頭に来る のよ」離婚も考えているという彼女は、この八年の間、夫への恨みつらみをしこたま貯 (宮子 あずさ(著) 1960 女 1998 書籍/3 社会科学 老親の看かた、私の老い方 看護婦が考えた「老い」と「介護」 宮子あずさ 著 講談社) | × | △ | △ | ○ | △ | △ | |
| 78 | くらいすら寒い、晚餐はもとより寝たままで、酒はニューシャテル・ルージュ、白酒は 頭に来る から、晚餐には赤い方がいいでしょうなどと、親切な注意もうれしかった。何しろ二人と (辻村 伊助(著) 1880 男 1998 書籍/2 歴史 スウィス日記 辻村伊助 著 平凡社) | 例文として不適切 | | | | | | |
| 79 | んな浮浪者みたいな髪形にする暇があったら、もうちょっと中身にも磨きをかけなよ」 頭に来る 女だ。さっきは外人の真似をさせておいて一人で笑い、今度は頭が悪いと馬鹿にする。も (山本 甲士(著) 1960 男 1997 書籍/9 文学 バッドブラッド 山本甲士 著 角川書店) | × | × | × | △ | △の立つ | △ | |
| 80 | ている。この現代社会でもっとも欠けている価値観を列挙すれば、「思いやり」がその先 頭に来る 。他人を意識して、他人を大事にすることである (それが本来の個人主義の定義であると (コリーヌ・ブレ(著) 女 1997 書籍/5 技術・工学 山猫の愛のように おべんとうのなかのエロス コリーヌ・ブレ 著 読売新聞社) | 例文として不適切 | | | | | | |
| 81 | 不可避免的に諸々の根本的な変革が招来されるのであろうということ、しかもその変革の筆 頭に来る ものが、自分らの猜疑に満ちた、拘束的な封建権力の保持の破壊であろうことを見、かつ (丸山 眞男(著) 1910 男 1996 書籍/0 総記 丸山眞男集 第2巻 松沢弘陽、植手通有 編 岩波書店) | 例文として不適切 | | | | | | |

| | | | | | | | |
|----|--|---|---|---|---|---|---|
| 82 | 死なんですからね。余裕なんざありませんよ」 「くそっ。つばめがそういうこと言うと 頭に来る なあ。てめえは車内設備に金かけすぎてんだよ。たかが鹿児島本線を走るのに何を気取っ (清水 義範(著) 1940 男 1994 書籍/9 文学 戦時下動物活用法 清水義範 著 実業之日本社) | × | × | × | △ | △ | ○ |
| 83 | 、感情家ですぐに興奮する性格の持ち主にちがいない。少し乱暴な言葉を使えば、すぐに 頭に来る だろう。私は図板の上の紙に鉛筆を走らせた。 「第三艦隊はいずこにありや? 全宇 (高木 彬光(著) 1920 男 1992 書籍/9 文学 連合艦隊ついに勝つ ミッドウェーからレイテ海戦まで 高木彬光 著 光文社) | ○ | ○ | △ | × | ○ | △ |
| 84 | 始末だ。 それでいて、依然としてルパンの盗癖はなおらないから、正義の刑事としては 頭に来る 。 だが、ランはいっこうに動じない。膝にルパンの愛妻 (といっても入籍前だ) マルチ (辻 真先(著) 1930 男 1987 書籍/9 文学 四国殺人Vルート 迷犬ルパンと「坊っちゃん」 長編ユーモア推理小説 辻真先 著 光文社) | × | × | △ | ○ | △ | △ |

(2) 腹が立つ

| 番号 | 例文 | 頭にくる | | | 怒る | | |
|----|--|----------|----|----|----|----|----|
| | | A氏 | B氏 | C氏 | A氏 | B氏 | C氏 |
| 1 | を手に入れていたと、努めて難癖をつける。そうして人がその敷地を誉めるとなんとなく腹が立つ。口惜しいからである。考えてみると、ためらって決められないのは自分のせいである (申 栄勲 (著)/市岡 実幸(訳)/李 終姫(訳)/西垣 安比古(訳) 1930// / 1940 男/女/女/男 2005 書籍/5 技術・工学 韓国の民家 申栄勲 著;金大璧 写真;西垣安比古 監訳;李終姫,市岡実幸 訳 法政大学出版局) | 例文として不適切 | | | | | |
| 2 | い。例えばメニューの中の一品をオーダーしても素気なく、ありません、と言われると、腹が立つ。そんな小さな“NO”にも、心が平静でいられなくなる。そして、NOよりももっと (阿木 燿子 (著) 1940 女 1998 書籍/9 文学 ちょっとだけ墮天使 阿木燿子 著 講談社) | ○ | ○ | ○ | × | × | △ |
| 3 | までもでもあんまり女性と関係を持った事がないのでは?恋愛下手なんですよ多分。確かに腹が立つような事を発言していますが、次回は耳を傾けてあげてみてください。「なんでそういう (2005 Yahoo!知恵袋/健康、美容とファッション/メンタルヘルス Yahoo!知恵袋 Yahoo!) | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ |
| 4 | ずかしさ 亭主が外に若い女をつくって、毎晩帰ってこない。「本当にけしからん」って腹が立つけど、じっと考えてごらんなさい。昔は渴愛でカッカして結婚したけれども、五年経ち、 (瀬戸内 寂聴(著) 1920 女 2005 書籍/9 文学 寂聴人は愛なしでは生きられない 瀬戸内寂聴 著 大和書房) | △ | ○ | ○ | × | × | △ |
| 5 | 店しました。途中で父さんも一人乱入して支援学級の親同士の話から子供の成長の話とか腹が立つ話とかお開きになったとき、乱入した大熊さんが一言「カジカジー良かったね。こうやっ (2008 Yahoo!ブログ/学校と教育/学校 Yahoo!ブログ Yahoo!) | 例文として不適切 | | | | | |
| 6 | さをした。「本当、文句なしのひと言に尽きますよ、ボス」暑いひと言に尽きる。腹が立つほど陽気なディスクジョッキーによれば、気温はすでに四十度を超えている。そのさなか (Marton, Sandra. (著)/藤村 華奈美(訳) // 女 2003 書籍/9 文学 虚飾の街のナイト バロン家の恋物語 サンドラ・マートン 作;藤村華奈美 訳 ハーレクイン) | × | × | △ | × | × | × |

| | | | | | | | |
|----|--|---|---|---|---|---|---|
| 7 | い。だが、きみの態度には少々むかつ腹が立つね」
「こっちも、あんたのドジにむかつ 腹が立つ よ。
防弾チョッキに散弾をうけたことにもな」 「無謀
なことをするからだ」 「ほう？ (クレイグ・ホ
ールデン(著)/ 近藤 純夫(訳) / 1950 男/ 男
1995 書籍/9 文学 リバー・ソロー クレイ
グ・ホールデン 著;近藤純夫 訳 扶桑社) | × | × | × | × | × | ○ |
| 8 | ています。しまいには私から話した物事を聞いて、
興味ないし～。ってしらけた対応。。 腹が立つ
＝・、。こんな先輩と仕事たとしたら、どう思われ
ますか??私がおかしいのでしょうか (2005
Yahoo!知恵袋/職業とキャリア/労働問題、働き方
Yahoo!知恵袋 Yahoo!) | ○ | ○ | ○ | △ | △ | △ |
| 9 | 、そこに金の卵があると思え」これが発明のコツ
です。 私たちの職場や家庭の中で、 腹が立つ こ
とは多いものです。 機械に挟まれてケガをした、
クソツと腹が立つ。お客さんがわが (平井 工
(著) 男 2003 書籍/5 技術・工学 一人ででき
る特許の取り方・活かし方 成功事例が教える
平井工 著 日刊工業新聞社) | △ | △ | ○ | × | △ | △ |
| 10 | 4泊で、32万。払わなければいけませんか? 「一
人だからご祝儀は2万」といってるし 腹が立つ ん
ですが。招待状も出していないのですから、出席し
てもらわなくてもいいのです。今おつ (2005
Yahoo!知恵袋/マナー、冠婚葬祭/冠婚葬祭 Yahoo!
知恵袋 Yahoo!) | ○ | △ | ○ | × | × | × |
| 11 | 尽くしてくれることを期待してはいけないのだ。間
違った期待を抱くから、社員に対して 腹が立つ の
である。 組織に対する忠誠心というのは、江戸時
代から強調され始めたものである。 (上野 健一
(著) 1960 男 2002 書籍/1 哲学 勝つための非
常識のすすめ あなたの人生と事業を成功に導く密
教法則 上野健一 著 こう書房) | × | △ | × | × | △ | ○ |
| 12 | 枚置いて出ていく。五百円という値は大衆的であ
る。三重の塔の二千五百円は今思っても 腹が立つ
が。 「ありがとうございました」という女主人の
声は甘くて大阪弁の抑揚も可愛らしく (田辺 聖
子(著) 1920 女 1990 書籍/9 文学 春情蛸の足
田辺聖子 著 講談社) | △ | △ | ○ | × | × | × |
| 13 | たびに不思議に思ったが、自分が泥をぬられ唾を吐
きかけられた気分になり、むしように 腹が立つ の
だった。それはご機嫌とりだと思われた。わたしの
女っぽさを証明しているようだった (エリカ・ジ
ョング(著)/ 柳瀬 尚紀(訳) 1940/ 1940 女/ 男
2005 書籍/9 文学 飛ぶのが怖い エリカ・ジ
ョング 著;柳瀬尚紀 訳 河出書房新社) | × | △ | × | × | × | × |

| | | | | | | | |
|----|---|----------|---|---|---|---|---|
| 14 | 原地帯へ分け入るルートに変更する。道の状況はいいが、やたらと金を取る有料道路には 腹が立つ。メキシコ庶民が走れる金額ではない。日本の、くそ忌々しい高速道路を思い出す。グ (戸井 十月 (著) 1940 男 1999 書籍/9 文学 越境記 五大陸走破行全記録 1 戸井十月 著 ビー・アール・サーカス;そしえて(発売) | ○ | △ | ○ | × | × | × |
| 15 | ち着こうと思ったってなかなかそうはいきませんよね。まず、「そんなことを言われたら 腹が立つよ。わかる、わかる」と自分を認めた後なら、「怒ってる気分悪いから、もうやめよう (2005 Yahoo!知恵袋/健康、美容とファッション/メンタルヘルス Yahoo!知恵袋 Yahoo!) | ○ | ○ | × | △ | ○ | × |
| 16 | が変わってもとのもくあみ、その時ヘラヘラして人の好きそうな笑顔を見せるだけに一層 腹が立つ。一番いやなのは、女房は顔を合わせてもニコニコするだけで、ハナには一切直接口をき (青島 幸男 (著) 1930 男 1981 書籍/9 文学 人間万事塞翁が丙午 青島幸男 著 新潮社) | ○ | △ | △ | × | × | × |
| 17 | 事場での子供達の喧騒は平気ですが・・・病院という、自分と向き合う場所では、非常に 腹が立つ！連れて来なければ仕方ないお母さんの気持ちは、凄くよくわかる。でも、自分でも、驚 (2008 Yahoo!ブログ/Yahoo!サービス/Yahoo!ブログ Yahoo!ブログ Yahoo!) | ○ | △ | △ | △ | × | × |
| 18 | うわで、大変…。息子を捜してあちこち歩き回ったあの途方もない時間。心配するやら、 腹が立つ やらで、泣けてきたことも数知れず。当然、自分の趣味を楽しむどころか、邪魔されて壊 (あらかわ菜美(著) 1940 女 2004 書籍/5 技術・工学 「自分の時間」生み出し作戦 イライラしないママになる！ 家事も子育ても仕事もうまくいく 35の方法 あらかわ菜美 著 大和出版) | ○ | ○ | △ | △ | × | × |
| 19 | 嫉妬である。Kは嫉妬から発した批判の声をかなしみながらも、「蔵を建てる隣りの 腹が立つ という譬えもある。気にしないことだ」と上司から励まされ、がんばっている。紙を買 (川村 優 (著) 1920 男 1997 書籍/2 歴史 日本地図に賭けた人生 川村優 著 東京書店) | 例文として不適切 | | | | | |
| 20 | も～韓国には頭がくし 腹が立つ。なんなんだあの国の新聞は？九州の地震では天罰と書き、今回の電車事故では自尊心も (2005 Yahoo!知恵袋/ニュース、政治、国際情勢/ニュース、事件 Yahoo!知恵袋 Yahoo!) | 例文として不適切 | | | | | |

| | | | | | | | |
|----|--|---|---|---|---|---|---|
| 21 | んつけてくる人や、私のことを目の敵にしてくる学校の先生とか先輩には、殺したいほど腹が立つことがある」— でも、あなたが殺さないのはなぜ？「その気持ちをおさえられへん自 (最相 葉月 (著) 1960 女 2003 書籍/9 文学 最相葉月のさいとび 最相葉月 著 筑摩書房) | ○ | △ | × | △ | △ | × |
| 22 | ・・・30代主婦人を許してあげる気持ちを忘れないようにしてる言い方・態度など、腹が立つ事ってありますよねでも、我慢してたら余計に腹が立つので「この人も今日は嫌な事があ (2005 Yahoo!知恵袋/Yahoo! JAPAN/Yahoo!知恵袋 Yahoo!知恵袋 Yahoo!) | ○ | ○ | △ | △ | × | × |
| 23 | のピストルで武装して、ベンの納屋をめざして馬を走らせた。スタッブズ氏の貸し馬は腹が立つほど鈍足だったので、妻の身を案じて気が気でない子爵はじきにじれったくなって連れを (アン・アシュリー(著)/古沢 絵里(訳) // 女 2002 書籍/9 文学 消えた子爵夫人 アン・アシュリー 作;古沢絵里 訳 ハーレクイン) | ○ | △ | × | × | × | × |
| 24 | る。やつらは、ぼくのことを人間だとか父だとかカケラも思っちゃいけないんじゃないかと腹が立つことさえあります。不用意に人のそばをやたらに密着して歩くので、ぼくの皮は踏む、す (西 成彦 (著) 1950 男 1992 書籍/5 技術・工学 パパはごきげんななめ 西成彦, 伊藤比呂美 著 集英社) | ○ | ○ | × | △ | × | △ |
| 25 | ヨックを受けているという。「一貫性のない紆余曲折は純愛にあらず」だからあの女にゃ腹が立つ ヨン様 31 土下座でなびくユジンに反論 「本当は気が強そうなのに、すぐ涙を見せ (実著者不明 2004 雑誌/総合/一般 女性セブン 平成 16 年 7 月 15 日号 (第 42 巻第 27 号、通巻 1973 号) 小学館) | ○ | △ | × | △ | × | × |
| 26 | うことは、むしろ好感を覚えているのであり、あの巨鼻を思い浮かべるだけで、むかむか腹が立つようなことはない。一夜が明けると、だいぶ冷静になっていた。もう依怙地に扱き下ろ (佐藤 賢一 (著) 1960 男 2001 書籍/9 文学 二人のガスコン 上 佐藤賢一 著 講談社) | × | × | × | × | × | × |
| 27 | 忘れられません。ていうか何事もなかったように旦那と暮らしてるのかと思うとすげー腹が立つ。「戻りたくて戻ったわけじゃない」って？ だったら何で今も旦那と暮らしてんのさ。(2005 Yahoo!知恵袋/健康、美容とファッション/恋愛相談、人間関係の悩み Yahoo!知恵袋 Yahoo!) | △ | △ | △ | × | × | × |

| | | | | | | | |
|----|---|----------|---|---|---|---|---|
| 28 | (17) 善いことをすると 腹が立つ ●わずかなクッキーを隣家にプレゼントしても、「ありがとう」の一言がなかったらおも (伊藤 健太郎(著)/ 明橋 大二(著) 1960/ 1950 男/ 男 2001 書籍/1 哲学 なぜ生きる 高森顕徹 監修;明橋大二, 伊藤健太郎 著 1 万年堂出版) | 例文として不適切 | | | | | |
| 29 | 覚*大鶴義丹結婚秒読み*一平が三平へ襲名披露この3つ。な一んか、腹の底から異常に 腹が立つ んですけど (笑) こんなくだらないニュース? (話題にもならん。。。) に貴重な朝の時 (2008 Yahoo!ブログ/Yahoo!サービス/Yahoo!ブログ Yahoo!ブログ Yahoo!) | △ | × | × | × | × | × |
| 30 | おのおのが座りますと、「あれだけの頭が、弱気なことを言っている。姐御というのも 腹が立つ が、金を作りに行ったきり帰らず、去り状を置いて行くとは、とんでもない女だ。皆、明 (夢野 晴吉(著) 1920 男 2004 書籍/9 文学 新門辰五郎平成新講談 神田紅 監修;夢野晴吉 著 旺史社) | ○ | ○ | × | × | × | × |
| 31 | と言われるわけです。意識的に直腹筋緊張を与えることは誰でもできます。でもそれは「腹が立つ」というのとは違います。つまり、すぐに弛み得るからです。もし、そういう一時的な「 (岡島 瑞徳(著) 1940 男 1998 書籍/4 自然科学 女のからだ、自分で改善! 生理痛から婦人病まで 岡島瑞徳 著 筑摩書房) | 例文として不適切 | | | | | |
| 32 | 入少ねえもん。買えねえよ。アンタ (所氏) は儲けてるからそんな事言えんだよと思い、 腹が立つ ね。 (2005 Yahoo!知恵袋/スポーツ、アウトドア、車/自動車 Yahoo!知恵袋 Yahoo!) | ○ | △ | × | × | × | × |
| 33 | 、こんな母親が子供をまともに育てていけるのだろうか。 何度いってもわからぬ子供に 腹が立つ ことはあるだろう。けれども、状況が状況ではないか。自分の管理不行届きで商品を落と (斎藤 茂太(著) 1910 男 2005 書籍/1 哲学 「なぜか人に思われる人」の共通点 斎藤茂太 著 新講社) | △ | △ | △ | ○ | × | × |
| 34 | よしやろうと市役所へ30分位かかったが無事終了自分が人に物言うほど偉くはないけど 腹が立つ 時ってありますよね~和ませてくれたのはトヨタの営業マン車内の抗菌と消臭メンテナン (2008 Yahoo!ブログ/生活と文化/季節 Yahoo!ブログ Yahoo!) | ○ | △ | ○ | × | △ | × |
| 35 | 健太が呟く。「気にすんなよ。俺ももう気にしてない。…あいつに妙な誤解をされたのは 腹が立つ けど」 独り言のように付け加えられた言葉を聞き、果林は慌てた。「あ、あのっ、十文 (甲斐 透(著) 2003 書籍/9 文学 かりん増血記 1 甲斐透 著;影崎由那 原作 富士見書房) | ○ | ○ | △ | × | × | × |

| | | | | | | | |
|----|--|----------|---|---|---|---|---|
| 36 | <p>と違ってね。だって、香菜を殺しておいてのうのう
 としている人がいると思うと、無性に 腹が立つ じ
 ゃない」 公平は無言で洋子を見つめた。やがて、
 視線を離し、遙か向こうの緑の丘に (黒崎 緑
 (著) 1950 女 1993 書籍/9 文学 柩の花嫁 聖
 なる血の城 黒崎緑 著 講談社)</p> | 例文として不適切 | | | | | |
| 37 | <p>は、どのような効果を上げているだろうか。考えて
 みよう。 子どもあつかいされると、 腹が立つ こ
 とがあるよね。「ひろし」もそうだったんじゃない
 かな。 この「お父さん」は、毎月 (2006 教科
 書/国語/小 国語 六上 創造 宮地裕 ほか著
 光村図書出版株式会社)</p> | ○ | ○ | × | × | × | × |
| 38 | <p>「どうかなさいまして」 廊下で会釈した菊枝は、
 びっくりしたように立ち止まった。 腹が立つ よう
 な初々しさである。 「いや、別にー」 素っ気な
 く道場へ出てきてしまったが、誰 (山手 樹一郎
 (著) 1890 男 2002 書籍/9 文学 拾った女房/矢
 一筋 山手樹一郎 著 光風社出版;成美堂出版
 (発売))</p> | 例文として不適切 | | | | | |
| 39 | <p>うけど。とにかく聞き流すしかないですよ。反論し
 ても結局強くは言えないし、ただただ 腹が立つ の
 で聞き流すに限ります。ちなみに私は子育ての本を
 2冊プレゼントされました。全然あ (2005
 Yahoo!知恵袋/子育てと学校/子育て、出産 Yahoo!
 知恵袋 Yahoo!)</p> | 例文として不適切 | | | | | |
| 40 | <p>した、損をしたということを感じずにきた。だから
 世間がキヤノンと同族経営だと言うと 腹が立つ 。
 同族であってもなくても、私は創立者である御手洗
 会長の理想主義が好きだし、それを (実著者不明
 2001 書籍/5 技術・工学 キヤノン高収益復活の
 秘密 日本経済新聞社 編 日本経済新聞社)</p> | ○ | △ | × | × | × | △ |
| 41 | <p>、わかりますよ、ママも何だかんだいっても二宮金
 次郎ですからね」 「そう、我ながら 腹が立つ 」
 「ま、今日は適当なところで切りあげて、早目に帰
 ってください」 「そうさせてもら (山口 洋子
 (著) 1930 女 1987 書籍/9 文学 銀座春灯
 山口洋子 著 文芸春秋)</p> | 例文として不適切 | | | | | |
| 42 | <p>のか、と思いながらも、隣のテーブルの女達に、や
 はり笑みを浮かべた自分に対してだ。 腹が立つ 。
 情けない。ムシャクシャする。 うっすらと髭を生
 やした自分の顔が無理にも笑みを浮 (藤沢 周
 (著) 1950 男 2005 書籍/9 文学 焦痕 藤沢
 周 著 集英社)</p> | ○ | △ | × | × | × | × |

| | | | | | | | |
|----|--|----------|---|---|---|---|---|
| 43 | 出てきて、喉がつまった。 くやしい！ くやしいくやしいくやしい！ でも、いちばん 腹が立つのは、自分自身にだ。足手まといで役立たず。そうじゃないってことを、証明したいのに (橘香 いくの(著) 1960 女 1998 書籍/9 文学 カブラルの呪われた秘宝 有閑探偵コラリーとフェリックスの冒険 橘香いくの 著 集英社) | ○ | △ | × | × | × | × |
| 44 | に元彼、元彼女と比較しない人の方がいないと思います。お互いにそれを口に出されると 腹が立つけど、それでも今は自分が恋人ならいいじゃないですか？お互い様だと思います。(2005 Yahoo!知恵袋/健康、美容とファッション/恋愛相談、人間関係の悩み Yahoo!知恵袋 Yahoo!) | ○ | △ | △ | × | × | × |
| 45 | 帰るぞ」 「うッス！」 そしてこれが白木風の返事の仕方だった。 「思い出だけで 腹が立つ ッス」 「面白そうな上司だなあ。来村さんね。覚えとこう」 「何か？」 話の腰を (高里 椎奈(著) 1970 女 2005 書籍/9 文学 銀の檻を溶かして 薬屋探偵妖綺談 高里椎奈 著 講談社) | 例文として不適切 | | | | | |
| 46 | 『他人の厚顔無恥に 腹が立つ とき、ただちに自らに問うてみよ。「世の中に恥知らずの人間が存在しないということが (2008 Yahoo!ブログ/芸術と人文/文学 Yahoo!ブログ Yahoo!) | 例文として不適切 | | | | | |
| 47 | のオーナー夫婦と雑談中に、お店のママからこんな話を聞いたとのこと。 「本当にもう 腹が立つ ぐらい出してないからねえ…。でも、負けると分かっているもつい近所だから行っちゃう (実著者不明 2003 書籍/分類なし パチンコ新海物語攻略の(裏) v.2 シーズ情報出版) | 例文として不適切 | | | | | |
| 48 | ろにいるのです。それを、私や大山所長を捕まえて、それで幕にしようとしているから、 腹が立つのです。おまけに、その諸悪の根源の大ボスが好き勝手なことをやって、業者を泣かして (内田 康夫(著) 1930 男 1995 書籍/9 文学 札幌殺人事件 下 内田康夫 著 光文社) | 例文として不適切 | | | | | |
| 49 | 職場決めろ！斬り・・・」というようなイメージに写って仕方がありません。本当に 腹が立つ が結局「職安職員は公務員で己らの生活は安泰なので失業の経験がない。よってそのよう (2005 Yahoo!知恵袋/職業とキャリア/就職、転職 Yahoo!知恵袋 Yahoo!) | ○ | △ | × | × | × | × |
| 50 | 場や家庭の中で、腹が立つことは多いものです。機械に挟まれてケガをした、クソッと 腹が立つ。お客さんがわがままだ、不愉快だ。夫婦喧嘩した、いまいましい。どうもうまくいかな (平井 工(著) 男 2003 書籍/5 技術・工学 一人でできる特許の取り方・活かし方 成功事例が教える 平井工 著 日刊工業新聞社) | 例文として不適切 | | | | | |

| | | | | | | | |
|----|--|----------|---|---|---|---|---|
| 51 | か？気を使って「おねえさん」と言ってもなぜ怒られるんですか？前者→その通りだけに 腹が立つ・・・・・・！後者→明らかに嘘だと分かる・・・・・・！（2005 Yahoo!知恵袋/教養と学問、サイエンス/一般教養 Yahoo!知恵袋Yahoo!) | 例文として不適切 | | | | | |
| 52 | ないだろ？」 「それは、だから、仕事のこととかもいろいろあって」 憎らしいのは、腹が立つのは、真紘がまだこんなに久我のことを好きなせいだ。その一言に尽きる。 幻滅でき （和泉 桂（著） 2002 書籍/9 文学 シークレット・レッスン 和泉桂 著 講談社） | 例文として不適切 | | | | | |
| 53 | な仕草で口をいじくっている。いまではすっかりおなじみになったこの仕草を見るとなぜ 腹が立つのか、クライドは自分でもわからない。フェリシアが年とともに身につけた見苦しい習性 （ジョン・アップダイク（著）/ 大浦 暁生（訳） 1930/ 1930 男/男 1991 書籍/9 文学 イーストウィックの魔女たち ジョン・アップダイク 著;大浦暁生 訳 新潮社） | ○ | △ | × | × | × | × |
| 54 | お金ではないかもしれないけれど、わたしのひと月分の家賃を払える額なのよ。まったく 腹が立つわ。貧しい子供たちが医療保険に加入できなくても不思議ではないわね。シングルマザー （Brashear, Jean.（著）/ 南 さゆり（訳） // 女 2005 書籍/9 文学 花婿の拒絶 ジーン・ブレイシャー 作;南さゆり 訳 ハーレクイン） | ○ | △ | △ | △ | × | × |
| 55 | 殿の女御の、しかも女房ごときにあのような暴言を聞かされようとは。 思い出だけで 腹が立つ。女御の女房ごときに誇りを傷つけられたと憤慨する伊周に、少年は侮蔑もあらわに言 （宮乃崎 桜子（著） 女 1999 書籍/9 文学 燐火鎮魂 斎姫異聞 宮乃崎桜子 著 講談社） | ○ | △ | × | △ | × | × |
| 56 | な自分が嫌なのですが、このもやもや、どうしたらいいのでしょうか？穏やかで賢い妻に 腹が立つのです。頭が良い以上に心くばりの上手な奥さんのようですね。年配の方と上手にお付き （2005 Yahoo!知恵袋/健康、美容とファッション/メンタルヘルス Yahoo!知恵袋 Yahoo!) | × | × | × | × | × | △ |
| 57 | 、いろんな思いが複雑に交錯し、自分でもよくわからなくなっていて、そのために自分自身に 腹が立つ というものだった。ジェフという男がマドリッドであんなひどいことをしたのも、わたし （シドニィ・シェルダン（著）/ 中山 和郎（訳）/ 天馬 龍行（訳） 1910/ 1910/ 1930 男/ 男/ 男 1991 書籍/9 文学 明日があるなら 下 シドニィ・シェルダン 著;天馬龍行, 中山和郎 訳 アカデミー出版サービス） | × | △ | × | × | △ | × |

| | | | | | | | |
|----|--|----------|---|---|---|---|---|
| 58 | ～ 今日のみ教え～ 腹が立つ どころか かえって
その人が気の毒になれ信心する人は、腹の立つこと
があっても腹を立 (2008 Yahoo!ブログ/Yahoo!サ
ービス/Yahoo!ブログ Yahoo!ブログ
Yahoo!) | 例文として不適切 | | | | | |
| 59 | な狼牙ではないが、この時は閨崎の挑発に身をふる
わせていた。 誰にでも、言われると 腹が立つ と
いうことがある。狼牙の場合、ナスのような頭とバ
カにされることであろうか。 閨崎 (伊東 アキ
カズ(著) 1960 男 2004 書籍/9 文学 大番長
立志編 アリスソフト 原作;伊東アキカズ 著 角
川書店) | 例文として不適切 | | | | | |
| 60 | 、何もおっしゃらなかったの? 「…ああ」
「なぜ? 腹は立たなかったの?」 「腹が立つ
というよりは…」 潮は少し言いにくそうに続け
た。 「私はね、そのたびごとに相手の (高瀬
美恵(著) 1960 女 1997 書籍/9 文学 殺意のア
バランシュ 高瀬美恵 著 講談社) | ○ | △ | × | ○ | △ | ○ |
| 61 | 今日本に滞在している中国のお方、今の自国を見て
何を思いますか?教科書問題にも 腹が立つ が、大
使館攻撃にも腹が立つ。このランドでは日本政府は
外交の面で完全負け。 余計な (2005 Yahoo!知
恵袋/ニュース、政治、国際情勢/政治、社会問題
Yahoo!知恵袋 Yahoo!) | × | △ | × | × | × | × |
| 62 | 両手を見下ろしてから再び視線を上げた。「いい
え」と言い直した。「つらいというより 腹が立つ
わ。裁判になれば、私以上にケイシーが苦しむこと
になるのよ。私を罰するだけのために (Spindler,
Erica. (著)/ 平江 まゆみ(訳) / 1950 / 女 2003
書籍/9 文学 密使 エリカ・スピンドラー 著;
平江まゆみ 訳 ハーレクイン) | ○ | △ | × | × | × | × |
| 63 | ようにしてる言い方・態度など、腹が立つ事ってあ
りますよねでも、我慢してたら余計に 腹が立つ の
で「この人も今日は嫌な事があったんだ」って思っ
てあげるようにしてるこうして、毎 (2005
Yahoo!知恵袋/Yahoo! JAPAN/Yahoo!知恵袋 Yahoo!
知恵袋 Yahoo!) | ○ | △ | △ | × | × | × |
| 64 | 父さんは、もう、いないんだ。みんなは遊んでいる
時でも、おとうさんの話をする。私は 腹が立つ 。
でも、お母さんは、もっと悲しいに違いない。高根
小三 新川ちえこ (仮名) 私がは (実著者不明
2003 書籍/0 総記 心に残るとっておきの話
第8集 潮文社編集部 編 潮文社) | ○ | △ | △ | × | × | × |

| | | | | | | | |
|----|--|----------|---|---|---|---|---|
| 65 | <p>收税吏よろしくぢやないか！俺は奴が嫌ひだ、クリスト教徒だからな。だが、それより腹が立つのは、あの止め度ない頭の低さ、言はれるままにただで金を貸し、このヴェニスの子を（シェークスピア(著)/ 福田 恒存(訳) 1560/ 1910 男/ 男 1992 書籍/9 文学 福田恒存翻訳全集 第5巻 文芸春秋)</p> | ○ | △ | △ | × | × | × |
| 66 | <p>中で腹の問題を書いたんですよ。今の時代の若者が、いろいろ変わってきている。昔、「腹が立つ」と言ったのが、「むかつく」と、胸まで来て、今は「切れる」といって、頭までじかに（小島 ゆかり(著)/ 赤瀬川 原平(著) 1950/ 1930 女/ 男 2004 雑誌/総合/一般 ミセス 2004年11月号 (通巻第598号) 文化出版局)</p> | × | △ | × | × | × | × |
| 67 | <p>ないのよ。ひどいと思わない！？謙虚なんてものじゃないわ！あれじゃあ拒絶よ！腹が立つったら…冗談じゃないわ。こうなったら意地でもつきまとしてやる…そうしなきゃ、気が（前田 珠子(著) 1960 女 2001 書籍/9 文学 神威抱く者 前田珠子 著 小学館)</p> | ○ | △ | × | △ | × | ○ |
| 68 | <p>法はないのでしょうか？「取り敢えず」男子にも声をかけて形だけでも一緒に練習する。腹が立つかも知れないが、女子は男子に文句をつけずに、自分のパートを完璧にマスターする。指（2005 Yahoo!知恵袋/子育てと学校/小・中学校、高校 Yahoo!知恵袋 Yahoo!）</p> | ○ | △ | ○ | × | × | ○ |
| 69 | <p>。よいと思って努めているのに、相手が“ほめもせず”“感謝もしない”と、とたんに腹が立つ。「あんなにしてやったのに」「これだけしてやっているのに」「してやっている」（伊藤 健太郎(著)/ 明橋 大二(著) 1960/ 1950 男/ 男 2001 書籍/1 哲学 なぜ生きる 高森頭徹 監修;明橋 大二, 伊藤健太郎 著 1万年堂出版)</p> | ○ | △ | ○ | × | × | × |
| 70 | <p>分観客数： 16377人 勝てないですね～（° c _ , °）プッ あまりにも弱くて腹が立つ（`△´●）怒 面白くない～！！（`Ⅵ´#）昨日に続いて、仁志にやられましたね（2008 Yahoo!ブログ/趣味とスポーツ/スポーツ Yahoo!ブログ Yahoo!）</p> | 例文として不適切 | | | | | |
| 71 | <p>苦笑した。この男は、人の考えぬことを考える奴だと思った。「斬りすてたいほど腹が立つなら、わしの言葉をよく考えてくれ。おぬしほどの立場になれば、もはや自分だけのこと（澤田 ふじ子(著) 1940 女 2004 書籍/9 文学 陸奥甲冑記 澤田ふじ子 著 中央公論新社)</p> | 例文として不適切 | | | | | |

| | | | | | | | |
|----|---|----------|---|---|---|---|---|
| 72 | <p>というのとは違います。つまり、すぐに弛み得るからです。もし、そういう一時的な「腹が立つ」状況まで文字通りに「腹が立つ」と感じるとしたら忙しくて仕方ないことになります。（岡島 瑞徳（著）1940 男 1998 書籍/4 自然科学 女の中から、自分で改善！ 生理痛から婦人病まで 岡島瑞徳 著 筑摩書房）</p> | 例文として不適切 | | | | | |
| 73 | <p>は、どこも店員の質が悪い。接客態度もなってなければ商品知識がないに等しくて本当に 腹が立つ！ コジマ電気は、いついっても店員がいないか少なすぎる。しかも2～3前の型のものに（2005 Yahoo!知恵袋/暮らしと生活ガイド/家事、住宅 Yahoo!知恵袋 Yahoo!）</p> | ○ | △ | △ | × | × | × |
| 74 | <p>のほうかうわてであった。校長はしらんふりをしていた。田村はしかたなく授業を始め、腹が立つと生徒の頭をポカンとやっていた。田村が風邪で休んでおると、クラスの源三がや（高谷 清（著）1930 男 2005 書籍/2 歴史 異質の光糸賀一雄の魂と思想 高谷清 著 大月書店）</p> | ○ | △ | ○ | × | △ | × |
| 75 | <p>っぱりこんな人たちだったわ～！と楽しんで来ました。。こういうのが、毎回だとほんと 腹が立つけどたまにだと面白いっす！しかも、相変わらず義母が♂に「揚げナス3枚！」って頼む（2008 Yahoo!ブログ/家庭と住まい/家庭 Yahoo!ブログ Yahoo!）</p> | ○ | △ | ○ | × | × | × |
| 76 | <p>だ。それが癪にさわる。もっとひどいことに、不安になって抑制をなくし、そのために 腹が立つ。カジが自分のカップを手にとり、テーブルをまわってななめ前の席にするりと座ると、（キャロライン・クロス（著）/ 那珂 ゆかり（訳）// 女 2003 書籍/9 文学 シークとプリンセス 愛と裏切りのコネリー家3 キャロライン・クロス 作；那珂ゆかり 訳 ハーレクイン）</p> | ○ | △ | ○ | △ | × | × |
| 77 | <p>さんと仲良くなっちゃ、むくれるよな」 凶星だった。本当のことを言われれば、誰でも 腹が立つ。思いを寄せている相手から言われれば、なおさらのこと。ひらりは、カッとなって言い（内館 牧子（著）1940 女 1993 書籍/9 文学 ひらり 上内館牧子 著 角川書店）</p> | ○ | △ | ○ | △ | △ | ○ |
| 78 | <p>中略）はらわたが煮えくり返る怒り心頭に発するむかっ腹を立てる色をなす顔色を変える 腹が立つ おかんむりだつのを出す気にさわる司会 ありがとうございます。それでは、小山さん（2005 教科書/国語/中国語1 宮地裕 ほか著 光村図書出版株式会社）</p> | ○ | △ | ○ | △ | △ | ○ |

| | | | | | | | |
|----|--|----------|---|---|---|---|---|
| 79 | 同じことを親に言われると、それが正しいことでも腹が立つ。自分が何に腹が立つのかということヒントにすると、自分以外の他者の気持ちもわか
(和田 秀樹(著) 1960 男 2003 書籍/3 社会科学「要領」のいい生き方を教えなさい 和田秀樹 著 ポプラ社) | ○ | △ | ○ | × | × | ○ |
| 80 | 自分も子供だったからです。実際に自分の子供が出来てからも、無性にかわいくて、でも 腹が立つ こともしばしばで。でも、自分の子だから許せることってたくさんあります。大丈夫です (2005 Yahoo!知恵袋/子育てと学校/子育て、出産 Yahoo!知恵袋 Yahoo!) | ○ | ○ | ○ | × | △ | ○ |
| 81 | だ」 およそ自分が思いもつかなかったことを気にしているフィツの正義感に、ペチカは 腹が立つ のと同時に、たまらない不安を覚えた。何か大切なものを失ってしまうような堪え難い (向山 貴彦(著) 1970 男 2001 書籍/9 文学 童話物語 上 向山貴彦 著 幻冬舎) | ○ | △ | △ | × | △ | × |
| 82 | 波立ってきて、今にもそこに倒れそうになった。夫が女に金をしばられていると思うのも 腹が立つ が、夫が女に金もださずつづいているということの方がもっと屈辱的なのに気づいた。金 (瀬戸内晴美(著) 1920 女 1987 書籍/9 文学 蜜と毒 瀬戸内晴美 著 講談社) | ○ | △ | ○ | × | × | ○ |
| 83 | ないのが現実であった。 赤坂ユープラザはロビーもラウンジも豪華だった。 朋恵には 腹が立つ ことばかりだが、ユープラザは土地がタダ、建設資金は年金の積立金だから、これもタダ (木谷 恭介(著) 1920 男 2005 書籍/9 文学 襟裳岬殺人事件 木谷恭介 著 徳間書店) | ○ | △ | ○ | × | △ | △ |
| 84 | なる。 やったのは香沙薙桂だが、それを阻止できなかったのは自分だ。不甲斐なさに、 腹が立つ 。ホワイトウルフの治癒能力で消せないものかと訊いてみたのだが、ホワイトウルフが (志村 一矢(著) 1970 男 1999 書籍/9 文学 月と貴女に花束を 2 志村一矢 著 メディアワークス;角川書店(発売)) | × | △ | × | × | × | × |
| 85 | 、モトカノだね。よくされてたってことは悪かったのかな？痛いのは心では痛くなくて、 腹が立つ のは心が痛いのか、殴られる理由が本当になのかどっちかだね。 (2005 Yahoo!知恵袋/健康、美容とファッション/恋愛相談、人間関係の悩み Yahoo!知恵袋 Yahoo!) | 例文として不適切 | | | | | |
| 86 | 柄で、ときには張合いがなく感じたりもいたしますが、親しい仲にもなれない代わりに、 腹が立つ とか憎しみなどは一度も感じたことはございません。この一家も金沢や仙台、ニューヨー (桑井 いね(著) 1900 女 1976 書籍/5 技術・工学 おばあさんの知恵袋 桑井いね 著 文化出版局) | ○ | △ | ○ | △ | △ | ○ |

| | | | | | | | |
|----|--|---|---|---|---|---|---|
| 87 | くることも…。たまにキレそうになりますが、ここは関係ないと思い、我慢！我慢！今も 腹が立つ こともあるけど、あと少しだから我慢、我慢！です！
(2008 Yahoo!ブログ/芸術と人文/文学 Yahoo!ブログ Yahoo!) | ○ | △ | ○ | × | × | ○ |
| 88 | 側であるからこそ、自分が見つめる側でいたいと。石井一 そう。その傍観者的な態度に 腹が立つ 人もいよう、で、「もっと自分をさらけ出して楽しめよ」とか言われるときもあります (中村 うさぎ(著)/石井 政之(著) 1950/ 1960 女/ 男 2004 書籍/1 哲学 自分の顔が許せない! 中村うさぎ, 石井政之 著 平凡社) | × | △ | ○ | × | × | ○ |
| 89 | っているからね。かばいたくもなるでしょう。正直言ってときどきあなた達を見ていると 腹が立つ ことがあるの。この子達の半分はあの人が作ったんだ、と思うとね。全部私が作ったのな (吉元 由美(著) 1960 女 1995 書籍/9 文学 天使の樹 吉元由美 著 福武書店) | ○ | △ | ○ | × | × | ○ |
| 90 | とが少なくなつては来ました。(その様な公務員連中に高給が払われている事には今でも 腹が立つ が・・・) (2005 Yahoo!知恵袋/職業とキャリア/就職、転職 Yahoo!知恵袋 Yahoo!) | × | △ | ○ | × | × | △ |
| 91 | 、いまましい。どうもうまくいかない、ああ腹だたい。…と。ところでこのように 腹が立つ という感情は、私たちの欲せざる感情、すなわち不快感情です。不快感情の裏には必ず具 (平井 工(著) 男 2003 書籍/5 技術・工学 一人できる特許の取り方・活かし方 成功事例が教える 平井工 著 日刊工業新聞社) | × | × | ○ | × | × | ○ |
| 92 | に入るか気に入らないか、そんなことは分かりませんが、それで評価をされるのも非常に 腹が立つ のですが、みなさんだったらどうしますか?松:「非常に良い」と評価してB L竹:同等 (2005 Yahoo!知恵袋/Yahoo! JAPAN/Yahoo!オークション Yahoo!知恵袋 Yahoo!) | △ | △ | ○ | × | × | × |
| 93 | わ。それからさ、あのくそおやじ、目をくるくる回したのよ、からかうみたいに。ほんと 腹が立つ 。そのときからあいつが怖くて。もし怖がってること知られてて、あたしが振り返ってあ (ジョイス キャロル オーツ(著)/井伊 順彦(訳) 1930/ 1950 女/ 男 2002 書籍/9 文学 フォックスファイア ジョイス・キャロル・オーツ 著;井伊順彦 訳 DHC) | ○ | △ | ○ | × | × | × |

| | | | | | | | |
|-----|--|----------|---|---|---|---|---|
| 94 | て嫌いではなかった。 いや、本当は尊敬していた。 だからこそ、ベフデティの言葉に 腹が立つのだ。 オルドビスのことを貴様はどれほど知っているのだ！ と怒鳴りたい欲求にも (河原 よしえ(著) 1950 女 1991 書籍/9 文学 青き大地の声 砂の民の伝説2 河原よしえ 著 勁文社) | × | △ | △ | × | × | × |
| 95 | カップルはケンカをしないこと。意地の張り合いをしてはお互いにとって損なので、腹が立つ ことがあってもにっこり笑顔でうまくかわしましょ う。水族館や海、川など水に関すると (小林 祥晃(著) 1940 男 2005 書籍/分類なし 誕生月でわかる Dr. コパの風水大開運 2006 年版 2月生まれ 小林祥晃 著 日本文芸社) | ○ | △ | ○ | △ | △ | △ |
| 96 | にある。「面白く終るようなお話は却っていつそつまらなく終るもの」の下手さ加減には 腹が立つ。もしこの見つともない下手さ加減が、たとえば本文中に挿入された幾つかの「自由詩」 (ジャン・コクトー(著)/ 澁澤 龍彦(訳) 1880/ 1920 男/ 男 2000 書籍/9 文学 ポトマック ジャン・コクトー 著;澁澤龍彦 訳 河出書房新社) | × | △ | ○ | × | × | × |
| 97 | 思い出ただけで 腹が立つ ことってありますか？ 私は、1ヶ月前彼氏が(私の目の前で)知り合いの飲み屋のおねえ (2005 Yahoo!知恵袋/健康、美容とファッション/メンタルヘルス Yahoo!知恵袋 Yahoo!) | ○ | × | ○ | △ | × | × |
| 98 | を出すと、哲学者は苦い顔で、「おもしろいですか？」そして、かう問ひ返すと急に 腹が立つて来たらしく、酒をぐつと飲みほして、「榊原さん、断るならさつさと断りなさいよ。(丸谷 才一(著) 1920 男 1993 書籍/9 文学 女ざかり丸谷才一 著 文芸春秋) | ○ | △ | ○ | × | △ | × |
| 99 | ターが有料と聞いて腹を立てた覚えがあります。水で金を取る？う～～～今でも、何故か 腹が立つ こと@!@>硬水の味はわたし、好きなんですけれどね^^>炭酸水は苦手。@私もダメ (2008 Yahoo!ブログ/Yahoo!サービス/Yahoo!ブログ Yahoo!ブログ Yahoo!) | 例文として不適切 | | | | | |
| 100 | 々堂々と入社試験を受けて合格した人達なのに、私みたいなのがひょっこり入って来たら 腹が立つ と思う。ヨンジェ： だけど、あんまりひどいようだったら話せよ。ユンヒ： 余計な事 (カン・ウンキョン(著)/ 森村 ひろ(訳) 1970/ 女/ 2004 書籍/9 文学 ホテリアー シナリオ・フォト book カン・ウンキョン 脚本;森村ひろ 訳 英知出版) | ○ | △ | ○ | ○ | × | ○ |

| | | | | | | | |
|-----|--|---|---|---|---|---|---|
| 101 | 自分の意志で選択してきたはずのことが、全部他人の思うがままだったなんて言われたら 腹が立つ だろう。 けど、まあ、ちょっと落ち着いてくれ。「そうじゃないわ」 我が妻の、こ (友野 詳 (著) 1960 男 1997 書籍/9 文学 奈落にときめく冒険者 安田均 原案;友野詳 著 角川書店) | ○ | △ | ○ | ○ | △ | ○ |
| 102 | 国のお方、今の自国を見て何を思いますか？教科書問題にも腹が立つが、大使館攻撃にも 腹が立つ。このランドでは日本政府は外交の面で完全負け。余計なことで東亜地域で日本は孤立 (2005 Yahoo!知恵袋/ニュース、政治、国際情勢/政治、社会問題 Yahoo!知恵袋 Yahoo!) | × | △ | △ | × | × | △ |
| 103 | 、その笑い声は硬く、怒りをはらんだものだった。「たまにそのことを考えると、無性に 腹が立つ わ。それこそ彼をー」自分が言おうとしていることに気づき、彼女はふと言葉を切った。(Spindler, Erica. (著)/ 平江 まゆみ(訳) / 1950 / 女 2003 書籍/9 文学 密使 エリカ・スピンドラー 著;平江まゆみ 訳 ハーレクイン) | ○ | △ | △ | × | × | △ |
| 104 | ケンカを売るような口調(記調?)で、ほとんどチンピラです。みなんさん、このように 腹が立つ、いじの悪い不屈きな回答者にあつた場合、どのように対処しておられますか?(やはり (2005 Yahoo!知恵袋/Yahoo! JAPAN/Yahoo!知恵袋 Yahoo!知恵袋 Yahoo!)) | ○ | △ | △ | × | × | × |
| 105 | しが習慣になつてる? いじわる度はまあまあレベル。まっすぐ直線っぽくかいた人一度 腹が立つ と一生キライになる!? おこらせたらいちばんこわいタイプ。とくに、ワクいっぱい (実著者不明 2003 書籍/1 哲学 めざせ人気者!超おもしろ占い マイバースディ編集部 編 実業之日本社) | ○ | △ | △ | × | △ | × |
| 106 | を取る。「何をするの?」と言いながら、自分のことばの馬鹿さかげんに我ながら猛烈に 腹が立つ。「わかってほしいんだ、ジュリアナ…」とジョンは口を切る。彼は夕べからひっきりな (パトリック・ベッソン(著)/ 朝比奈 弘治(訳) 1950/ 1950 男/ 男 1992 書籍/9 文学 ダラ パトリック・ベッソン 著;朝比奈弘治 訳 新潮社) | × | △ | × | × | × | × |
| 107 | 三つ折りにしてひもにしたりする。それを何度もやってやっつと一円。子どもながらにね、 腹が立つ んですよ。原始左翼の生まれる土壌ですよ。革命勢力の。(笑) そのうちだんだん手順 (小島 ゆかり(著)/ 赤瀬川 原平(著) 1950/ 1930 女/ 男 2004 雑誌/総合/一般 ミセス 2004年11月号(通巻第598号) 文化出版局) | × | △ | △ | × | △ | △ |

| | | | | | | | |
|-----|--|---|---|---|---|---|---|
| 108 | 論できなくする。マティアスが相手だったら、怒れば怒るほど、すっきりするどころか腹が立つのに。贈り物ぐらいで、憤りが萎えたりしないだろうに。もっとも、マティアスはエレ（谷 瑞恵（著）女 2001 書籍/9 文学 魔女の結婚 運命は祝祭とともに 谷瑞恵 著 集英社） | ○ | × | × | × | × | × |
| 109 | おいてあげましょう。また勃発するでしょうか。。。やはり、ご自分の息子さんだから腹が立つのだと思います。知り合いの方から『うちの息子が〜』って聞かされた場合、質問者さん（2005 Yahoo!知恵袋/子育てと学校/小・中学校、高校 Yahoo!知恵袋 Yahoo!） | ○ | ○ | △ | × | ○ | △ |
| 110 | （雨に煙る緑もきれいだなあ）とか思っているときに、いきなりエッチな話をされると、腹が立つ。「もう、がまんできない。いいか、福島。エッチな話は1日5回まで。それ以上いつ（斉藤 政喜（著）1960 男 2001 書籍/2 歴史 シェルパ斉藤の東海自然歩道全踏破 213万歩の旅 斉藤政喜 著 小学館） | ○ | △ | △ | × | × | ○ |

(3) おこる

| 番号 | 例文 | 頭にくる | | | 腹が立つ | | |
|----|--|----------|----|----|------|----|----|
| | | A氏 | B氏 | C氏 | A氏 | B氏 | C氏 |
| 1 | は顔色ひとつ変えずに言う。これはまさに“含みのある皮肉”というもので、余誠格は 怒る どころか喜び出し、余荘児の顔をひとつまみして出て行こうとした。「どこへ行くので (高陽(著)/永沢 道雄(訳)/鈴木 隆康(訳) / 1930/1910 / 男/ 男 1995 書籍/9 文学 西太后 第8巻 高陽 著;鈴木隆康, 永沢道雄 訳 朝日ソノラマ) | 例文として不適切 | | | | | |
| 2 | んが、戦時中のインフレ、買いだめを知っているから、「買いだめを煽るじゃないか」と 怒る んだ。 そうしたらしばらくしての読売の社会面トップには、あらゆる物資がギッシリ棚 (伊藤隆(著)/御厨 貴(著)/渡邊 恒雄(著)/飯尾潤(著) 1930/ 1950/ 1920/ 1960 男/ 男/ 男/ 男 2000 書籍/3 社会科学 渡邊恒雄回顧録 渡邊恒雄 述;伊藤隆, 御厨貴, 飯尾潤 インタビュー・構成 中央公論新社) | △ | × | △ | △ | × | ○ |
| 3 | 後、ついに野本君が爆発する。「なんだあの女は。君はあんな女を叩き出すべきだ」と 怒る 。すると突然、島さんが野本君を押し倒し、馬乗りになって、「あれはぼくのワイフ (野上 照代(著) 1920 女 (2001 書籍/7 芸術・美術 天気待ち 監督・黒澤明とともに 野上照代 著 文藝春秋) | △ | × | × | △ | × | × |
| 4 | えたわけね?」「そう。ディーゼルカーの車両を。」 「なるほど。それなら秀くんが 怒る のもわかるわ。それにしても…。」 「なんだい?」「おかあさんって、そんな小説で (有栖川 有栖(著) 1950 男 2003 書籍/9 文学 虹果て村の秘密 有栖川有栖 著 講談社) | 例文として不適切 | | | | | |
| 5 | 安になり、当時のことを思い出してしまいます。夫には、許したときに「また思い出して 怒る かも」とは言っていますが今夫に切れても良いでしょうか?本当に仕事が忙しかったら (2005 Yahoo!知恵袋/健康、美容とファッション/恋愛相談、人間関係の悩み Yahoo!知恵袋 Yahoo!) | △ | × | △ | ○ | △ | ○ |
| 6 | 「仏の顔も三度まで」と言う、ことわざがありますが普段優しい私だって、これは 怒る よ!って ことありますか?仏の顔も三度までいかに温和で慈悲ぶかい人でも、たびたび無 (2005 Yahoo!知恵袋/教養と学問、サイエンス/言葉、語学 Yahoo!知恵袋 Yahoo!) | △ | △ | ○ | ○ | △ | △ |

| | | | | | | | |
|----|--|---|---|---|---|---|---|
| 7 | で。業者社長がオーナーの事もあるので、事を荒立てず済ませますとのことでしたが…、怒る を乗り越えて、驚いてらっしゃいました。○○ヨシは自分で取引主任資格を持たないので (2008 Yahoo!ブログ/Yahoo!サービス/Yahoo!ブログ Yahoo!ブログ Yahoo!) | × | × | × | △ | × | ○ |
| 8 | 化し、通いあう情感をもとむべくもない東京を「村」などと形容したら、「村」のほうが怒るだろう。それでは東京を「世界最大の都市」と言いきれぬであろうか。気心の知れない (木村尚三郎(著) 1930 男 1988 書籍/2 歴史 西欧文明の原像 木村尚三郎 著 講談社) | △ | × | △ | △ | × | △ |
| 9 | かっている。紅が言ったとおり、二十六歳の男性が恋人を作るのはごく正常なことだ。怒る ほうがおかしいのだ。アランドラが言ったこともまた、正しいのかもしれない。一奈 (高瀬美恵(著) 1960 女 1997 書籍/9 文学 殺意のアバランシュ 高瀬美恵 著 講談社) | △ | ○ | × | △ | △ | △ |
| 10 | まま伝えた。先生も、きっと驚くに違いない。いや、病院の態度や、大学での対応に、怒る のではないかと思ったのだが、意外にも、「やはりな」と、低い声で、いわれた。どう (西村京太郎(著) 1930 男 1988 書籍/9 文学 十津川警部の挑戦 本格ミステリー長篇 下 西村京太郎 著 実業之日本社) | △ | × | ○ | △ | △ | ○ |
| 11 | 「あんたさ、おばあちゃんのこと、かっこよくかきすぎじゃない？」私、あれほど怒る とは思ってもみなかった。付け鼻をむしりとして私に投げつけかけ、唇をかんで、しばら (いしいしんじ(著) 1960 男 2004 書籍/9 文学 ぶらんこ乗り いしいしんじ 著 新潮社) | △ | × | × | △ | △ | △ |
| 12 | 題が借金の原因なのに、彼が由美子さんに責任を押しつけているとすれば、由美子さんは怒る べきだし、真相を明かすべきです。そう主張した被害者もいるのですが、“私が暴露し (実著者不明 2002 雑誌/総合/一般 女性セブン 平成 14 年 12 月 12 日号 (第 40 巻第 46 号、通巻 1898 号) 小学館) | × | × | × | △ | △ | × |
| 13 | 相談したりするだけなんですけど。彼氏は他の男と二人で会うというだけでたぶん猛烈に怒る ので、他の皆さんはどう思っているのか知りたいです。相手によってですね。貴方の彼氏 (2005 Yahoo!知恵袋/健康、美容とファッション/恋愛相談、人間関係の悩み Yahoo!知恵袋 Yahoo!) | △ | × | △ | △ | △ | × |

| | | | | | | | |
|----|---|---|---|---|---|---|---|
| 14 | 派遣社員”の信用って薄いですよ。自分は好きなようにやって、いざ切られるとなると 怒る というのは、ずいぶんワガママな話だなんて思います。私の周りにいた派遣社員が“あま (2008 Yahoo!ブログ/Yahoo!サービス/Yahoo!ブログ Yahoo!ブログ Yahoo!) | ○ | △ | △ | ○ | △ | △ |
| 15 | ンカン」そう報告する本人には何の危機感もないらしい。にやにやしている。「でもね、怒る くらいなら最初から説明を求めないで欲しいよね。課長と同じで、ひとの努力を無駄にす (西澤保彦(著) 1960 男 1998 書籍/9 文学 実況中死 神麻嗣子の超能力事件簿 西澤保彦 著 講談社) | × | △ | △ | × | △ | ○ |
| 16 | もいいけどね」 「いいけどって…、あんたねえ…」 あんまりな薫の言い草に、朱緒は 怒る のを乗り越えて呆れてしまった。「祐さんなら、敵わないと思ったって体張って助けて (綾乃なつき(著) 1970 女 1998 書籍/9 文学 夢見る乙女じゃいられない ヨコハマ浪漫す 綾乃なつき 著 集英社) | × | × | ○ | × | × | △ |
| 17 | 忙しい長島さんが、どうやってコーチしますねん。明らかにでっち上げ記事ですわ。男が 怒るのはこういうときや、とぼくは思います。細かいことでいちいち文句やなんや、と言うの (板東英二(著) 1940 男 1986 書籍/7 芸術・美術 プロ野球ここを喋る奴はウチから出ていけ ここまで知られたら非常事態 板東英二 著 青春出版社) | △ | × | ○ | △ | △ | △ |
| 18 | うに、あるいは物語めいたものであったかもしれない。だがもしそうなら、人に見せたと 怒る こともないであろう。結婚当初の二人は明るくのびやかな歌の応酬をしている。「今は (田辺聖子(著) 1920 女 2005 書籍/9 文学 田辺聖子全集 第15巻 田辺聖子 著 集英社) | × | △ | ○ | △ | △ | △ |
| 19 | これも師匠譲りなのか、タンゴは胸の前で両手をこすり合わせてにやにやす。私は 怒る 気さえなくした。この悪ふざけの大好きな、子供じみた悪魔に腹を立てたところで、いま (伊神貴世(著) 1970 2002 書籍/9 文学 イゾルデの庭 伊神貴世 著 白泉社) | × | × | ○ | × | × | △ |
| 20 | で謝ってきたのですから「今度からがまんしようね」って言ってあげてください。それと 怒る ときは感情的にならない方が絶対がいい！どっちかという、もし1個だけがまんした (2005 Yahoo!知恵袋/子育てと学校/子育て、出産 Yahoo!知恵袋 Yahoo!) | × | × | ○ | × | × | ○ |

| | | | | | | | |
|----|--|----------|---|---|---|---|---|
| 21 | えると得策であるまい」王異「そうか・・・ハーレム要員を始末すれば、いくらなんでも 怒るか」張春華「と言うわけで、貴方、早速これを持って私と共に蜀に付いてきなさい」王異 (2008 Yahoo!ブログ/趣味とスポーツ/趣味 Yahoo!ブログ Yahoo!) | × | × | △ | × | △ | △ |
| 22 | だと思ったからだ。しかし、そういうと、激怒された。侮辱だといって顔を真っ赤にして 怒る。飲酒量が多いのは仕事のせいでストレスがあるからで、この程度ならいくらでもいる、 (秋月菜央(著) 1950 女 1997 書籍/3 社会科学 アダルト・チルドレン「癒しと再生」 秋月菜央 著 二見書房) | × | × | × | × | × | △ |
| 23 | が寂しいって言うから一晩中付き合ってたのに、突然帰れはないでしょ!!!」 「怒る なよ一、また電話するから」 五条は紗南を抱いたまま歩き始めた。 「ろくでなしー! (高橋良輔(著) 1940 男 1997 書籍/9 文学 こどものおもちゃ ガールズバトルコメディ 6 高橋良輔 著;小花美穂 原作 集英社) | × | × | × | × | × | × |
| 24 | 乱していたものが、少しずつ整えられ、落ちついていく。その過程でSさんは、「すぐ 怒る 性格だったけれど、その手前で一呼吸おけるようになりました。自分でいうのもおかしい (片野ゆか(著) 1960 女 2003 書籍/6 産業 犬が本当の「家族」になるとき 片野ゆか 著 講談社) | ○ | × | △ | ○ | × | △ |
| 25 | 、石の壊される音はさっきより近く、断続的に聞こえる。フィン一世公は半ば怯え、半ば 怒る かのようになり、うめいた。「わたしを出せ…。剣を…」 「シルが戻ってきたのが、いけなか (青木祐子(著) 1960 2003 書籍/9 文学 ソード・ソウル 遥かな白い城の姫 青木祐子 著 集英社) | × | × | △ | × | × | △ |
| 26 | 鉄拳がうなりますよ! いくら私が、20年前はシティボーイだったとしても、私だって 怒る 時は怒るんですからね! もう、ちゃんと真面目に書いてくださいね!」と、逆上のあま (タカイチ アラタ(著) 1950 男 2003 書籍/1 哲学 10日間イメージトレーニング 願望が面白いほど実現する タカイチアラタ 著 同文館出版) | 例文として不適切 | | | | | |
| 27 | つきテレビのドキュメント番組で見たけどホストって常連が少し離れただけでなぜすごい 怒る の? 「おまえのせいで俺今月○○払わなきゃ行けなくなったんだぞ。」おまえのせいって (2005 Yahoo!知恵袋/職業とキャリア/労働問題、働き方 Yahoo!知恵袋 Yahoo!) | × | × | ○ | △ | × | △ |

| | | | | | | | |
|----|--|----------|---|---|---|---|---|
| 28 | ただちょっと質問しただけなのにムキになって男を馬鹿にするなどか、すぐ怒る 男性はよっぽど女性にもてないとか、何か原因があると思いますか？トラウマでもあるん (2005 Yahoo!知恵袋/健康、美容とファッション/恋愛相談、人間関係の悩み Yahoo!知恵袋 Yahoo!) | ○ | △ | ○ | ○ | △ | △ |
| 29 | ると思ったの。でも、これじゃ恥ずかしいと思って、先生に聞いたの」私「おかあさんが怒る と思ったから、こわかったんだ!？」道子「だって、おかあさんにウソついたんだもの。(実著者不明 1999 書籍/3 社会科学 「親業」ケースブック 子どもの心を開く聞き方と話し方 小学生編 近藤千恵 監修 大和書房) | × | × | △ | × | × | △ |
| 30 | 早く、短気に議論をもち出したことに、本当のところ狼狽していた。彼がこんなに簡単に怒るとは、確かにおもしろいことだった。リジーは、同感というように、ハワードと話し始め (アマンダ・クロス(著)/瀧田 佳子(訳) 1920/ 1940 女/女 1996 書籍/9 文学 ハーヴァードの女探偵 アマンダ・クロス 創作;瀧田佳子 訳三省堂) | 例文として不適切 | | | | | |
| 31 | っていつているし、本当かどうか知らないけど、わたしと結婚する前のことじゃ、本気で怒る わけにもいかないわね」獲物にじゃれつき、弄んでいるという言い方だった。「とも (清水一行(著) 1930 男 2000 書籍/9 文学 腐蝕帯 清水一行 著 集英社) | 例文として不適切 | | | | | |
| 32 | ちゃんとこなせば、私生活に文句はいわない。そのかわり、やることをやらなかったら、怒る。また選手に約束を守らせるには、私が約束を守ることを選手たちに認識させなければ (五明 みさ子(著) 1940 女 2001 書籍/7 芸術・美術 女は女が強くなる 井村雅代, 宇津木妙子, 五明みさ子 著;山田ゆかり 聞き書き 草思社) | × | × | × | × | × | × |
| 33 | よ。さびしく一人寝ているのにきみがあんな声を聞かせたので、怒っている」「どうして怒るの?」「女は怒るんだ。これが男なら、おもしろがって聞く。覗いて見たがる。もちろん (富島健夫(著) 1930 男 2003 書籍/9 文学 はだかの少女 富島健夫 著 廣済堂出版) | 例文として不適切 | | | | | |
| 34 | ました。私が心配性なのをわかっているはずなのに彼女は何回も守ってくれません。私が怒る たびに、「もっとあなたのこと考える、こんなに好きなのに・・・心配させてごめんね・・・ (2005 Yahoo!知恵袋/健康、美容とファッション/恋愛相談、人間関係の悩み Yahoo!知恵袋 Yahoo!) | × | × | △ | × | △ | △ |

| | | | | | | | |
|----|---|----------|---|---|---|---|---|
| 35 | マンモスは飼うと隣の家の人とかに怒られますか？ 怒る よ。でもさ俺さはじめにんげんギョートルズみたいなマンモスの食べ方に憧れているんだ (2005 Yahoo!知恵袋/教養と学問、サイエンス/動物、植物、ペット Yahoo!知恵袋 Yahoo!) | × | × | × | × | × | × |
| 36 | 事に。可愛い鉢を買ってこようと思ったのに、畑先生ってば「いらん事すなっ！！」って 怒る んですよ〜。まあ、使っていない鉢は破れ温室の中にゴロゴロしてるんですが。ずっと畑 (2008 Yahoo!ブログ/家庭と住まい/住まい Yahoo!ブログ Yahoo!) | × | × | △ | × | × | △ |
| 37 | ないことが多過ぎる様子だった。川瀬助教授と真鍋は、またしても挨拶抜きで消えたと 怒る だろうが、二人とは、ずっと以前からそういう挨拶抜きの付き合いだった。だが、遊佐 (大石英司(著) 1960 男 1991 書籍/9 文学 異常犯罪捜査官 大石英司 著 天山出版) | △ | × | × | △ | × | △ |
| 38 | け、なだめすかし、エレインを反論できなくする。マティアスが相手だったら、怒れば 怒る ほど、すっきりするどころか腹が立つのに。贈り物ぐらいで、憤りが萎えたりしないだろ (谷瑞恵(著) 女 2001 書籍/9 文学 魔女の結婚運命は祝祭とともに 谷瑞恵 著 集英社) | 例文として不適切 | | | | | |
| 39 | ヤキの夢を見、その途中でのび太に起こされ、「まだひとつも食べてなかったのに」と、怒る のだ。20105 最近の研究では、人間が「夢」を見るのは、起きて活動している間に (実著者不明 1993 書籍/7 芸術・美術 ドラえもんの秘密 世田谷ドラえもん研究会 著 データハウス) | 例文として不適切 | | | | | |
| 40 | も、鋭い男性はその一瞬を見逃しません。同性ならば、なおさらそうです。「あの人、怒ると止まらないタイプよ。気をつけなくちゃ」得意な時、油断している時、アクシデント (安奈泉(著) 女 2005 書籍/1 哲学 1ヵ月以内に「いいこと」がたくさん降ってくる法則 安奈泉 著 主婦の友社) | × | △ | × | × | △ | × |
| 41 | 男、3か月の次男がいます。長男は、自分の思うようにならないと、すぐにものを投げ、 <u>怒った</u> り、泣いたりします。おもちゃを部屋中に投げたりするので、下の子に当たったらたいへ (あさま童風社(著) 2001 雑誌/総合/家庭/生活 すくすくネットワーク (NHKテレビ放送テキスト) 2001年11月号 (第25巻第8号、No.116) 日本放送出版協会) | × | × | × | × | △ | × |

| | | | | | | | |
|----|--|----------|---|---|---|---|---|
| 42 | など自分でしたがるので、それはとてもいいことだと思って見っていますが、できないと、 <u>怒った</u> り泣いたり当たり散らしたりして手がつけられません。(2歳1か月の女の子) ●何でも (江口信子(著) 2002 雑誌/総合/家庭/生活 すくすくネットワーク (NHKテレビ放送テキスト) 2002年4月号 (第26巻第1号、No.121) 日本放送出版協会) | 例文として不適切 | | | | | |
| 43 | の時は何を言っているのだろうと思いながら、睡眠には勝てなかった。やがて、おいっと <u>怒った</u> ような声に目を開くと、車は山道の端にライトをつけたまま停まっていた。霧が濃すぎて (紀和鏡(著) 1940 女 2003 雑誌/総合/一般 週刊朝日 2003年夏季号 (第108巻第27号、通巻4566号) 朝日新聞社) | ○ | × | × | × | △ | × |
| 44 | ムルガンは、天秤棒にくくりつけられたふたつの山の大きなほうで昼寝を始めた。これに <u>怒った</u> のがイドゥンバンだ。が、相手が悪かった。シヴァの息子であり、軍神であるムルガンに (柴田徹之(著) 1960 男 (2003) 雑誌/総合/一般 ムー 2003年12月号 (No.277、第25巻第12号) 学習研究社) | × | × | △ | × | △ | △ |
| 45 | いと言い出したのだった。このあいだの話し合いの席で、まりっぺの両親は烈火のごとく <u>怒った</u> し、キーくんの両親はひたすら愚息を恥じて、結構な額の慰謝料を提示したらしいのだが (角田光代(著) 1960 女 (2003) 雑誌/教育・学芸/文学/芸術 オール讀物 平成15年12月号 (第58巻第12号、通巻860号) 文藝春秋) | × | × | × | × | × | × |
| 46 | を飛び出してしまった。両親に恋人との交際を反対されて、反乱を起こしたのです。で、 <u>怒った</u> 父親は、僕に「薬剤師の資格を取っておまえが継げ」といつてきた。文系のクラスにいた (大塚英樹(著)/松本南海雄(著) (2005) 雑誌/総合/一般 FRIDAY 2005年7月15日号 (第22巻第29号、通巻第1151号) 講談社) | ○ | △ | × | × | △ | × |
| 47 | かみかからんばかりの勢いで異義を唱え、仲裁に入った勝治さんにまで食ってかかった。怒った勝治さんの息子が『オヤジ、なんで貴乃花にここまで言われなきゃいけないんだ。もう帰 (長山聡(著)/雲取太郎(著) /男/ (2005) 雑誌/総合/一般 Yomiuri Weekly 2005年6月19日号 (第64巻第26号、通巻2976号) 読売新聞社) | 例文として不適切 | | | | | |

| | | | | | | | |
|----|--|----------|---|---|---|---|---|
| 55 | 神秘的な病は早く病院に行くほど治りが早くなります。あと、周りの人は叱咤激励したり、 <u>怒った</u> りしないでください本当に自殺してしまいます。もし、本人がどうしても心療内科、精神 (2005 Yahoo!知恵袋/健康、美容とファッション/健康、病気、ダイエット Yahoo!知恵袋 Yahoo!) | × | × | × | × | × | × |
| 56 | すれば依存せずに済むでしょうか？わたしもそうです。別に何か言った訳じゃないのに「怒ったかな？」とか考えて余計な心配ばかりしてしまいます。でもこれが続くとウザイと思われ (2005 Yahoo!知恵袋/健康、美容とファッション/恋愛相談、人間関係の悩み Yahoo!知恵袋 Yahoo!) | 例文として不適切 | | | | | |
| 57 | のわが国は謙虚さが全員に欠けていますし、とにかく自己保身の言い訳が多すぎますすぐ怒ったり戦ったりする脳の小さな馬鹿な動物の世界のような日本なのです。まず、“謙虚さ”と (2005 Yahoo!知恵袋/健康、美容とファッション/恋愛相談、人間関係の悩み Yahoo!知恵袋 Yahoo!) | 例文として不適切 | | | | | |
| 58 | 5時すぎ)まで一睡もできず、なんだか次第に腹が立ってきました。みなさんは、相手が怒った事にたいして怒る事ってありますか。私が謝って丸く治まったんだから、もうこれで止め (2005 Yahoo!知恵袋/健康、美容とファッション/恋愛相談、人間関係の悩み Yahoo!知恵袋 Yahoo!) | 例文として不適切 | | | | | |
| 59 | うちの会社の女上司についてです。何の兆候も無く、いきなり何でも無い事で怒ったりします。(女上司自身もするよううっかりミスを私や他の人がしても普段怒らないの (2005 Yahoo!知恵袋/健康、美容とファッション/恋愛相談、人間関係の悩み Yahoo!知恵袋 Yahoo!) | × | × | × | × | △ | × |
| 60 | 煙をお願いしていたのに(1年半できた)その約束を知らないうちに破っていたので私が怒ったら逆切れされたということです。自己中で話してもわからない女です。後であったときに (2005 Yahoo!知恵袋/健康、美容とファッション/メンタルヘルス Yahoo!知恵袋 Yahoo!) | × | × | × | × | △ | × |
| 61 | 婚はしていませんが、「情」だけで8年一緒にいます。別れてまで他の人とまた一から、怒ったり楽しんだり悩んだり・・・としようとは思いません(ˆ-ˆ;)情が移って別れられない (2005 Yahoo!知恵袋/健康、美容とファッション/メンタルヘルス Yahoo!知恵袋 Yahoo!) | × | × | × | × | × | ○ |

| | | | | | | | |
|----|--|----------|---|---|---|---|---|
| 62 | 彼氏が寝てる時日頃の不満？をちょこつと言ったら普段はすごく穏やかで 怒ったりしない彼がちょっと怖かったです。寝てる時って本心ですか？単に寝てる時話しかけ (2005 Yahoo!知恵袋/健康、美容とファッション/恋愛相談、人間関係の悩み Yahoo!知恵袋 Yahoo!) | 例文として不適切 | | | | | |
| 63 | いたりすると、台無しになりますか？もちろん。そういうのは美人って言わないよただの 怒ったこわいおばさんです (2005 Yahoo!知恵袋/健康、美容とファッション/恋愛相談、人間関係の悩み Yahoo!知恵袋 Yahoo!) | 例文として不適切 | | | | | |
| 64 | そのまま腰を振り続け射精した時には20分オーバーしていました。その時は彼女も全然 怒った様子はなく、「また電話するわ」と言って無事に別れました。しかし後日、あの後店に怒 (2005 Yahoo!知恵袋/健康、美容とファッション/恋愛相談、人間関係の悩み Yahoo!知恵袋 Yahoo!) | 例文として不適切 | | | | | |
| 65 | き、結婚して1年、旦那に対してすごく怒りっぽくなってしまいました。今までこんなに 怒ったことが無かったのに1日に1回はプリプリ文句を言ってしまいます。それにわざと聞こえ (2005 Yahoo!知恵袋/健康、美容とファッション/恋愛相談、人間関係の悩み Yahoo!知恵袋 Yahoo!) | 例文として不適切 | | | | | |
| 66 | 事だかよくわからないので何とも言えませんが、変な人はどこにでもいます。嫌がったり 怒ったりするとよけいに調子にのるだけなので無視してあげましょう。要するにかまってほしい (2005 Yahoo!知恵袋/子育てと学校/子育て、出産 Yahoo!知恵袋 Yahoo!) | × | × | × | × | × | × |
| 67 | 以前、友達の4歳になる子供を連れて遊んだ時、悪さをしたので友達が 怒った ところ、泣き止まなくなりました。友達も怒りが冷めぬようで、しかり続けてい (2005 Yahoo!知恵袋/子育てと学校/子育て、出産 Yahoo!知恵袋 Yahoo!) | × | × | × | × | × | × |
| 68 | それが、この顔つきの事とは関係ないかもしれませんが、最近特に変わった事といえば、 怒ったり注意したりする回数が増えてきた事かと思ひまして。みなさんはこんな事ありませんで (2005 Yahoo!知恵袋/子育てと学校/子育て、出産 Yahoo!知恵袋 Yahoo!) | × | × | △ | × | × | △ |
| 69 | すよ。疲れていたり寝不足なら、なおさら怒りっぽくなってしまいます。私も同じように 怒った後で自己嫌悪に陥って涙が出てくるときもしばしば・・・。その時はすごく反省するので (2005 Yahoo!知恵袋/子育てと学校/子育て、出産 Yahoo!知恵袋 Yahoo!) | × | △ | × | × | △ | × |

| | | | | | | | |
|----|--|----------|---|---|---|---|---|
| 78 | ビ夫人がテレビ番組かなんかで「北朝鮮が発射したのは衛星」って発言したから（右翼が怒った？） そうみたい、それでデビ夫人のマンションの前で右翼が街宣放送！（家の前で街宣（2008 Yahoo!ブログ/家庭と住まい/ペット、動物 Yahoo!ブログ Yahoo!） | ○ | × | × | × | △ | × |
| 79 | 子と二人で夕食です。仲良くしなきゃ と思うのはおかしい話ですが 何も無いところで 怒ったり 怖い雰囲気にならないように 気を使おうと思います。妻のいない時間は 僕も頑張 （2008 Yahoo!ブログ/健康と医学/病気、症状 Yahoo!ブログ Yahoo!） | × | × | × | × | △ | △ |
| 80 | あ、反対ではないようだ。「なにをバカなことを言っているの？」 クロフォード教官が 怒ったように言った。「許しませんよ。あなたたちはまだ軍人ではないわ。まだ子供のよ」「 （2008 Yahoo!ブログ/芸術と人文/文学 Yahoo!ブログ Yahoo!） | × | × | × | × | △ | ○ |
| 81 | も、似合うかもな、めぐちゃん」目黒：「お前ー！！」寺井：「逃げろ～！めぐちゃんが 怒ったどー！」向島：「逃げろ～！！」目黒：「その名前前で呼ぶな==！！」続く （2008 Yahoo!ブログ/芸術と人文/文学 Yahoo!ブログ Yahoo!） | × | × | × | × | × | × |
| 82 | したまま、出してしまった事で謎が解けたり、いつも許してくれる奥さんが今回ばかりは 怒った理由は、チーズにあわせたかったジャムをご主人が勝手に誰かにあげちゃった事が理由だ （2008 Yahoo!ブログ/芸術と人文/文学 Yahoo!ブログ Yahoo!） | △ | × | △ | × | × | △ |
| 83 | 」姫：「笑えちゃう、あんたたち、きもすぎ！！」神：「てめえ！！」姫：「きゃ～！！ 怒った 顔もかわいい～！！」陸：「・・・」蓮華：「私、先に行くね」神：「蓮華！！」姫：（2008 Yahoo!ブログ/Yahoo!サービス/Yahoo!ブログ Yahoo!ブログ Yahoo!） | 例文として不適切 | | | | | |
| 84 | されたいの？」「たたた・・・ごめん今のは私も痛かった」「結局自分の心配？」「あ、怒った？恭弥今怒った！！？」「はあ・・・怒ってないよ」なにこの子・・・でも今骸様・・・（2008 Yahoo!ブログ/Yahoo!サービス/Yahoo!ブログ Yahoo!ブログ Yahoo!） | 例文として不適切 | | | | | |

| | | | | | | | |
|----|--|----------|---|---|---|---|---|
| 85 | 歩美から！キレた口調バトン存分にキレて下さい。怒ったら口調変わりますよね？怒った口調で書いてみよう。1、「意味がわからない」→意味わ（2008 Yahoo!ブログ/Yahoo!サービス/Yahoo!ブログ Yahoo!ブログ Yahoo!） | 例文として不適切 | | | | | |
| 86 | しかし、これには交換条件がつきものです。きちんと宿題をやる事。いつも疲れてくると怒ったり絡んでくるのでそれをなんとかしたいのです!!!ハムちゃんを飼ってしまったら・・・（2008 Yahoo!ブログ/Yahoo!サービス/Yahoo!ブログ Yahoo!ブログ Yahoo!） | × | × | × | × | × | × |
| 87 | たし。悔しい思いをしたり嬉しい思いをしたりドキドキしたり気まぎらくなったり笑ったり怒ったり不安だったりイライラしたり色々したよ。それも全部含めて楽しかった。香織、山崎さ（2008 Yahoo!ブログ/Yahoo!サービス/Yahoo!ブログ Yahoo!ブログ Yahoo!） | × | × | × | × | × | × |
| 88 | もういいし。。矛盾してるし。気分屋すぎるし。もうまぢめに怒った。。あんなのもう意味わからんわーもういいし。明日7時15分までに学校行ってミーテ（2008 Yahoo!ブログ/Yahoo!サービス/Yahoo!ブログ Yahoo!ブログ Yahoo!） | △ | ○ | × | ○ | ○ | × |
| 89 | その根拠を問う桐沢。「彼の様子を見てなんとなくそんな気が…」と口走った玲子は、怒った桐沢に殴り飛ばされてしまう。だが、タイムリミットが迫る中、桐沢が玲子に意外な提（2008 Yahoo!ブログ/Yahoo!サービス/Yahoo!ブログ Yahoo!ブログ Yahoo!） | × | △ | △ | × | △ | △ |
| 90 | て失神寸前。鷹村の痴漢行為の被害者は偶然にも青木の彼女のトミ子だった。そのことに怒った青木は翌日、フナ虫入りのお好み焼きを合宿中の鷹村に差し入れするのであった。（2008 Yahoo!ブログ/Yahoo!サービス/Yahoo!ブログ Yahoo!ブログ Yahoo!） | × | × | △ | × | △ | △ |

参考資料(2) インタビューによる調査の結果

1. 「頭に来る」と「腹が立つ」

1.1 交替できる場合

1.1.1 「頭に来る」を「腹がたつ」に交替できる。(3例)

1.1.2 「腹が立つ」を「頭にくる」に交替できる。(4例)

1.2 交替できない場合

1.2.1 「腹が立つ」を「頭に来る」には交替できない。(3例)

1.2.2 「頭にくる」を「腹が立つ」には交替できない。(この例は見つからない)

2. 「腹が立つ」と「怒る」

2.1 交替できる場合

2.1.1 「腹が立つ」を「怒る」に交替できる。(2例)

2.1.2 「怒る」を「腹が立つ」に交替できる。(2例)

2.2 交替できない場合

2.2.1 「怒る」を「腹が立つ」に交替できない。(3例)

2.2.2 「腹が立つ」を「怒る」に交替できない。(34例)

3. 「頭に来る」と「怒る」

3.1 交替できる場合

3.1.1 「頭に来る」を「怒る」に交替できる。(2例)

3.1.2 「怒る」を「頭に来る」に交替できる。(この例は見つからない)

3.2 交替できない場合

3.2.1 「怒る」を「頭に来る」には交替できない。(5例)

3.2.2 「頭に来る」を「おこる」には交替できない。(23例)

※ 例の番号は Excel のデータを指す。

1. 「頭に来る」と「腹が立つ」

1.1 交替できる場合

1.1.1 「頭にくる」を「腹が立つ」に交替できる。

- (1) メールはバンバン届く。サイトのメルマガまで届く。3日がたった。いい加減頭にくる。

(Yahoo! ブログ/Yahoo! サービス/Yahoo! ブログ 2008 Yahoo!)

- (52) ピエロD もう少しでやばかったわよ。ピエロA だいたいおまえをみると頭にくるんだよ。ちょっとぐらい頭がいいからってよ。

(山本 茂男(著) 男 1997 書籍/分類なし 中学校劇1年 ドラマで楽しむ木村たかし|ほか編 小峰書店)

- (70) 彼は非常に一本気ないい男で仕事もできます。ただ、ちょっと気が短いところがあって、頭にくるとすぐに思ったことを口に出して言うてしまうのです。

(水落 英雄(著) 1960 男 2005 書籍/1 哲学 手相が教えるあなたの開運期 水落英雄|著 たちばな出版)

1.1.2 「腹が立つ」を「頭にくる」に交替できる。

- (2) 例えばメニューの中の一品をオーダーしても素気なく、ありません、と言われると、腹が立つ。そんな小さな“NO”にも、心が平静でいられなくなる。

(阿木 耀子(著) 1940 女 1998 書籍/9 文学 ちょっとだけ墮天使 阿木耀子|著 講談社)

- (3) いままであんまり女性と関係を持った事がないのでは？恋愛下手なんですよ多分。確かに腹が立つような事を発言していますが、次回は耳を傾けてあげてみてください。

(2005 Yahoo!知恵袋/健康、美容とファッション/メンタルヘルス Yahoo!知恵袋 Yahoo!)

- (8) しまいには私から話した物事を聞いて、興味ないし〜。ってしらけた対応。。腹が立つ = ・、。こんな先輩と仕事たとしたら、どう思われますか??私がおかしいのでしょうか

(2005 Yahoo!知恵袋/職業とキャリア/労働問題、働き方 Yahoo!知恵袋 Yahoo!)

(80) 自分も子供だったからです。実際に自分の子供が出来てからも、無性にかわいくて、でも 腹が立つ こともしばしばで。でも、自分の子だから許せることってたくさんあります。

(2005 Yahoo!知恵袋/子育てと学校/子育て、出産 Yahoo!知恵袋 Yahoo!)

1.2 交替できない場合

1.2.1 「腹が立つ」を「頭にくる」には交替できない。

(7) だが、きみの態度には少々むかつ腹が立つね」「こっちも、あんたのドジにむかつ 腹が立つ よ。防弾チョッキに散弾をうけたことにもな」「無謀なことをするからだ」

(クレイグ・ホールデン(著)/近藤 純夫(訳) / 1950 男/ 男 1995 書籍/9 文学
リバー・ソロー クレイグ・ホールデン|著;近藤純夫|訳 扶桑社)

(26) むしろ好感を覚えているのであり、あの巨鼻を思い浮かべるだけで、むかむか 腹が立つ ようなことはない。一夜が明けると、だいぶ冷静になっていた。

(佐藤 賢一(著) 1960 男 2001 書籍/9 文学 二人のガスコン 上 佐藤賢一|著 講談社)

(56) こんな自分が嫌なのですが、このもやもや、どうしたらいいのでしょうか？穏やかに賢い妻に 腹が立つ のです。頭が良い以上に心くばりの上手な奥さんのようですね。

(2005 Yahoo!知恵袋/健康、美容とファッション/メンタルヘルス Yahoo!)

2. 「腹が立つ」と「怒る」

2.1 交替できる場合

2.1.1 「腹が立つ」を「怒る」に交替できる。

(3) いままででもあんまり女性と関係を持った事がないのでは？恋愛下手なんですよ多分。確かに 腹が立つ ような事を発言していますが、次回は耳を傾けてあげてみてください。

(2005 Yahoo!知恵袋/健康、美容とファッション/メンタルヘルス Yahoo!)

(101) 自分の意志で選択してきたはずのことが、全部他人の思うがままだったなんて言われたら 腹が立つ だろう。けど、まあ、ちょっと落ち着いてくれ。

(友野 詳(著) 1960 男 1997 書籍/9 文学 奈落にときめく冒険者
安田均|原案;友野詳|著 角川書店)

2.1.2 「怒る」を「腹が立つ」に交替できる。

- (5) 当時のことを思い出してしまいます。夫には、許したときに「また思い出して 怒る かも」とは言っていますが今夫に切れても良いでしょうか？

(2005 Yahoo!知恵袋/健康、美容とファッション/恋愛相談、人間関係の悩み Yahoo!)

- (48) もういいし。矛盾してるし。気分屋すぎるし。もうまじめに 怒った。あんなのもう意味わからんわーもういいし。

(2008 Yahoo!ブログ/Yahoo!サービス/Yahoo!ブログ Yahoo!ブログ Yahoo!)

2.2 交替できない場合

2.2.1 「怒る」を「腹が立つ」に交替できない。

- (23) 寂しいって言うから一晩中付き合っあげてたのに、突然帰れはないでしょ！！」
「怒る なよー、また電話するから」

(高橋 良輔(著) 1940 男 1997 書籍/9 文学 こどものおもちゃ ガールズ
バトルコメディ 6 高橋良輔|著;小花美穂|原作 集英社)

- (32) ちゃんとこなせば、私生活に文句はいわない。そのかわり、やることをやらなかったら、怒る。また選手に約束を守らせるには、私が約束を守ることを選手たちに認識させなければいけない。

(五明 みさ子(著) 1940 女 2001 書籍/7 芸術・美術 女は女が強くなる
井村雅代, 宇津木妙子, 五明みさ子|著;山田ゆかり|聞き書き 草思社)

- (35) マンモスは飼うと隣の家の人とかに怒られますか？ 怒る よ。でもさ俺さはじめにんげんギヤートルズみたいなマンモスの食べ方に憧れているんだ

(2005 Yahoo!知恵袋/教養と学問、サイエンス/動物、植物、ペット Yahoo!)

2.2.2 「腹が立つ」を「怒る」に交替できない。

- (6) 「本当、文句なしのひと言に尽きますよ、ボス」 暑いひと言に尽きる。 腹が立つ ほど陽気なディスクジョッキーによれば、気温はすでに四十度を超えている。

(Marton, Sandra.(著)/ 藤村 華奈美(訳) // 女 2003 書籍/9 文学 虚飾
の街のナイト バロン家の恋物語 サンドラ・マートン|作;藤村華奈美|訳
ハーレクイン)

- (10) 4泊で、32万。払わなければいけませんか？「一人だからご祝儀は2万」といってし 腹が立つ んですが。招待状も出していないのですから、出席してもらう必要もないのです。
(2005 Yahoo!知恵袋/マナー、冠婚葬祭/冠婚葬祭 Yahoo!知恵袋 Yahoo!)
- (12) 五百円という値は大衆的である。三重の塔の二千五百円は今思っても 腹が立つ が。
(田辺 聖子(著) 1920 女 1990 書籍/9 文学 春情蛸の足 田辺聖子|著 講談社)
- (14) 道の状況はいいが、やたらと金を取る有料道路には 腹が立つ 。メキシコ庶民が走れる金額ではない。
(戸井 十月(著) 1940 男 1999 書籍/9 文学 越境記 五大陸走破行全記録 1 戸井十月|著 ビー・アール・サーカス;そしえて(発売)
- (16) もとのもくあみ、その時へらへらして人の好きそうな笑顔を見せるだけに一層 腹が立つ 。
(青島 幸男(著) 1930 男 1981 書籍/9 文学 人間万事塞翁が丙午 青島幸男|著 新潮社)
- (26) むしろ好感を覚えているのであり、あの巨鼻を思い浮かべるだけで、むかむか 腹が立つ ようなことはない。一夜が明けると、だいぶ冷静になっていた。
(佐藤 賢一(著) 1960 男 2001 書籍/9 文学 二人のガスコン 上 佐藤賢一|著 講談社)
- (27) 何事もなかったように旦那と暮らしてるのかと思うとすっげ - 腹が立つ。「戻りたくて戻ったわけじゃない」って？ だったら何で今も旦那と暮らしてんのさ。
(2005 Yahoo!知恵袋/健康、美容とファッション/恋愛相談、人間関係の悩み Yahoo!知恵袋 Yahoo!)
- (29) 覚*大鶴義丹結婚秒読み*一平が三平へ襲名披露この3つ。なーんか、腹の底から異常に 腹が立つ んですけど(笑) こんなくだらないニュース？(話題にもならん。)に貴重な朝の時
(2008 Yahoo!ブログ/Yahoo!サービス/Yahoo!ブログ Yahoo!ブログ Yahoo!)

- (30) おのおのが座りますと、「あれだけの頭が、弱気なことを言っている。姐御というのも 腹が立つ が、金を作りに行ったきり帰らず、去り状を置いて行くとは、とんでもない女だ。皆、明
(夢野 晴吉(著) 1920 男 2004 書籍/9 文学 新門辰五郎 平成新講談 神田紅|監修;夢野晴吉|著 旺史社)
- (32) 買えねえよ。アンタ(所氏)は儲けてるからそんな事言えんだよと思い、腹が立つ ね。
(2005 Yahoo!知恵袋/スポーツ、アウトドア、車/自動車 Yahoo!)
- (35) 健太が呟く。「気にすんなよ。俺ももう気にしてない。…あいつに妙な誤解をされたのは 腹が立つ けど」 独り言のように付け加えられた言葉を聞き、果林は慌てた。
(甲斐 透(著) 2003 書籍/9 文学 かりん増血記 1 甲斐透|著;影崎由那|原作 富士見書房)
- (37) どのような効果を上げているだろうか。考えてみよう。 子どもあつかいされると、腹が立つ ことがあるよね。「ひろし」もそうだったんじゃないかな。
(2006 教科書/国語/小 国語 六上 創造 宮地裕|ほか著 光村図書出版株式会社)
- (42) 、と思いながらも、隣のテーブルの女達に、やはり笑みを浮かべた自分に対してだ。腹が立つ 。情けない。ムシクシヤする。
(藤沢 周(著) 1950 男 2005 書籍/9 文学 焦痕 藤沢周|著 集英社)
- (43) 出てきて、喉がつまった。くやしい! くやしいくやしいくやしい! でも、いちばん 腹が立つ のは、自分自身にだ。足手まといで役立たず。そうじゃないってことを、証明したいのに。
(橘香 いくの(著) 1960 女 1998 書籍/9 文学 カブラルの呪われた秘宝 有閑探偵コラリーとフェリックスの冒険 橘香いくの|著 集英社)
- (44) 元彼、元彼女と比較しない人の方がいないと思います。お互いにそれを口に出されると 腹が立つ けど、それでも今は自分が恋人ならいいじゃないですか? お互い様だと思います。
(2005 Yahoo!知恵袋/健康、美容とファッション/恋愛相談、人間関係の悩み Yahoo!)

- (49) 職場決めろ！斬り・・・・・・」というようなイメージに写って仕方がありません。
本当に 腹が立つ が結局「職安職員は公務員で己らの生活は安泰なので失業の経験がない。
(2005 Yahoo!知恵袋/職業とキャリア/就職、転職 Yahoo!知恵袋 Yahoo!)
- (53) 仕草で口をいじくっている。いまではすっかりおなじみになったこの仕草を見ると
なぜ 腹が立つ のか、クライドは自分でもわからない。フェリシアが年とともに身につけた見苦しい習性
(ジョン・アップダイク(著)/大浦 暁生(訳) 1930/ 1930 男/ 男 1991 書籍/9
文学 イーストウィックの魔女たち ジョン・アップダイク|著;大浦暁生|訳
新潮社)
- (61) 今日本に滞在している中国のお方、今の自国を見て何を思いますか？教科書問題にも 腹が立つ が、大使館攻撃にも腹が立つ。このランドでは日本政府は外交の面で完全負け。
(2005 Yahoo!知恵袋/ニュース、政治、国際情勢/政治、社会問題 Yahoo!知恵袋 Yahoo!)
- (62) 両手を見下ろしてから再び視線を上げた。「いいえ」と言い直した。「つらいというより 腹が立つ わ。裁判になれば、私以上にケイシーが苦しむことになるのよ。私を罰するだけのために
(Spindler, Erica. (著)/平江 まゆみ(訳) / 1950 / 女 2003 書籍/9 文学
密使 エリカ・スピンドラー|著;平江まゆみ|訳 ハーレクイン)
- (63) 言い方・態度など、腹が立つ事ってありますよねでも、我慢してたら余計に 腹が立つ ので「この人も今日は嫌な事があったんだ」って思っただけのようにしてる
(2005 Yahoo!知恵袋/Yahoo! JAPAN/Yahoo!知恵袋 Yahoo!知恵袋 Yahoo!)
- (64) 父さんは、もう、いないんだ。みんなは遊んでいる時でも、おとうさんの話をする。私は 腹が立つ 。でも、お母さんは、もっと悲しいに違いない。高根小三 新川ちえこ (仮名)
(実著者不明 2003 書籍/0 総記 心に残るとっておきの話 第8集 潮文社
編集部|編 潮文社)

- (65) 俺は奴が嫌ひだ、クリスト教徒だからな。だが、それより 腹が立つ のは、あの止め度ない頭の低さ、言はれるままにただで金を貸し、このヴェニスの利子を
(シェークスピア(著)/ 福田 恒存(訳) 1560/ 1910 男/ 男 1992 書籍/9 文学
福田恒存翻訳全集 第5巻 文芸春秋)
- (66) 腹の問題を書いたんですよ。今の時代の若者が、いろいろ変わってきている。昔、
「腹が立つ」と言ったのが、「むかつく」と、胸まで来て、今は「切れる」とい
って、頭までじかに。
(小島 ゆかり(著)/ 赤瀬川 原平(著) 1950/ 1930 女/ 男 2004 雑誌/総合/一般
ミセス 2004年11月号 (通巻第598号) 文化出版局)
- (69) よいと思って努めているのに、相手が“ほめもせず” “感謝もしない”と、とたん
に 腹が立つ。「あんなにしてやったのに」「これだけしてやっているのに」
(伊藤 健太郎(著)/ 明橋 大二(著) 1960/ 1950 男/ 男 2001 書籍/1 哲学 な
ぜ生きる 高森顕徹|監修;明橋大二, 伊藤健太郎|著 1万年堂出版)
- (73) どこも店員の質が悪い。接客態度もなつてなければ商品知識がないに等しくて本当
に 腹が立つ ! コジマ電気は、いついっても店員がいないか少なすぎる。
(2005 Yahoo!知恵袋/暮らしと生活ガイド/家事、住宅 Yahoo!)
- (75) やっぱりこんな人たちだったわ〜! と楽しんで来ました。。こういうのが、毎回だ
とほんと 腹が立つ けどたまにだと面白いっす! しかも、相変わらず義母がメに
「揚げナス3枚!」って頼む
(2008 Yahoo!ブログ/家庭と住まい/家庭 Yahoo!ブログ Yahoo!)
- (84) やったのは香沙薙桂だが、それを阻止できなかったのは自分だ。不甲斐なさに、
腹が立つ。
(志村 一矢(著) 1970 男 1999 書籍/9 文学 月と貴女に花束を2 メディアワ
ークス;角川書店(発売))
- (92) 気に入るか気に入らないか、そんなことは分かりませんし、それで評価をされるの
も非常に 腹が立つ のですが、みなさんだったらどうしますか?
(2005 Yahoo!知恵袋/Yahoo! JAPAN/Yahoo!オークション Yahoo!)

- (93) それからさ、あのくそおやじ、目をくるくる回したのよ、からかうみたいに。ほんと 腹が立つ。そのときからあいつが怖くて。
(ジョイス キャロル オーツ(著)/ 井伊 順彦(訳) 1930/ 1950 女/ 男 2002 書籍/9 文学 フォックスファイア DHC)
- (94) 嫌いではなかった。 いや、本当は尊敬していた。 だからこそ、ベフデティの言葉に 腹が立つ のだ。 オルドビスのことを貴様はどれほどに知っているのだ！
(河原 よしえ(著) 1950 女 1991 書籍/9 文学 青き大地の声 砂の民の伝説2 河原よしえ|著 勁文社)
- (96) 「面白く終るようなお話は却っていつそつまらなく終るもの」の下手さ加減には 腹が立つ。
(ジャン・コクトー(著)/ 澁澤 龍彦(訳) 1880/ 1920 男/ 男 2000 書籍/9 文学 ポトマック ジャン・コクトー|著;澁澤龍彦|訳 河出書房新社)
- (104) ケンカを売るような口調（記調？）で、ほとんどチンピラです。 みなんさん、このように 腹が立つ、いじの悪い不届きな回答者にあった場合、どのように対処しておられますか？
(2005 Yahoo!知恵袋/Yahoo! JAPAN/Yahoo!知恵袋 Yahoo!知恵袋 Yahoo!)
- (106) 「何をするの？」と言いながら、自分のことばの馬鹿さかげんに我ながら猛烈に 腹が立つ。「わかってほしいんだ、ジュリアナ…」とジョンは口を切る。
(パトリック・ベッソン(著)/ 朝比奈 弘治(訳) 1950/ 1950 男/ 男 1992 書籍 /9 文学 ダラ パトリック・ベッソン|著;朝比奈弘治|訳 新潮社)
- (108) 口論できなくする。 マティアスが相手だったら、怒れば怒るほど、すっきりするどころか 腹が立つ のに。 贈り物ぐらいで、憤りが萎えたりしないだろうに。
(谷 瑞恵(著) 女 2001 書籍/9 文学 魔女の結婚 運命は祝祭とともに 谷瑞恵|著 集英社)

3. 「頭にくる」と「怒る」

3.1 交替できる場合

3.1.1 「頭にくる」を「怒る」に交替できる。

(23) ロークは手を伸ばして、彼女の顎をつかんだ。「そうすると、きみは 頭にくる だろう。そういうのが大嫌いなんだから。

(J・D・ロブ(著)/青木悦子(訳) 1950/1960 女/女 2004 書籍/9 文学 復讐は聖母の前で J.D.ロブ|著;青木悦子|訳 ソニー・マガジズ)

(46) そもそも、百万などという金は部屋にないし、どこにもない。嘘と分かれば、コルドンは 頭にくる に違いない。それまでに、手立てを講じる必要がある。

(逢坂剛(著) 1940 男 2002 書籍/9 文学 熱き血の誇り 下巻 逢坂剛|著 新潮社)

3.2 交替できない場合

3.2.1 「怒る」を「頭にくる」には交替できない。

(7) 業者社長がオーナーの事もあるので、事を荒立てず済ませますとのことでしたが…、怒る を乗り越えて、驚いてらっしゃいました。

(2008 Yahoo!ブログ/Yahoo!サービス/Yahoo!ブログ Yahoo!)

(22) しかし、そういうと、激怒された。侮辱だといって顔を真っ赤にして 怒る。飲酒量が多いのは仕事のせいでストレスがあるからで、この程度ならいくらでもいる、

(秋月菜央(著) 1950 女 1997 書籍/3 社会科学 アダルト・チルドレン「癒しと再生」 秋月菜央|著 二見書房)

(23) 君が寂しいって言うから一晩中付き合っただけなのに、突然帰れはないでしょ！！」「怒る なよー、また電話するから」

(高橋良輔(著) 1940 男 1997 書籍/9 文学 こどものおもちゃ ガールズバトルコメディ 6 高橋良輔|著;小花美穂|原作 集英社)

(32) ちゃんとこなせば、私生活に文句はいわない。そのかわり、やることをやらなかったら、怒る。

(五明みさ子(著) 1940 女 2001 書籍/7 芸術・美術 女は女が強くなる 井村雅代, 宇津木妙子, 五明みさ子|著;山田ゆかり|聞き書き 草思社)

- (35) マンモスは飼うと隣の家の人とかに怒られますか？ 怒る よ。でもさ俺さはじめにんげんギヤートルズみたいなマンモスの食べ方に憧れているんだ
(2005 Yahoo!知恵袋/教養と学問、サイエンス/動物、植物、ペット Yahoo!)

3.2.2 「頭にくる」を「怒る」には交替できない。

- (15) なんか大きな力が働いてるのかなあ・・・???そんなに違くないねえ~~~~~ったく、頭にくる ね。やっぱ、噂は本当なんだ・・・

(Yahoo!知恵袋/スポーツ、アウトドア、車/スポーツ 2005 Yahoo!知恵袋 Yahoo!)

- (16) 厚生年金掛金値上げだって、政治家や官僚たち 頭にくる ね。保養施設などいろいろつくって、赤字で捨て値同然で払い下げ。掛金値上げ

(Yahoo!知恵袋/ニュース、政治、国際情勢/政治、社会問題 2005 Yahoo!)

- (21) 自分がしたいようにしかしないからでしょう？ ありがとうって言おうと思ってるのに、頭にくる こと言うし、カッカさせるから、ありがとうという言葉が言えなくなっちゃうのよ！」

(ユ ホヨン(著)/長谷川 由起子(訳) / 1950 / 女 書籍/9 文学 2005 パリの恋人 上 キム・ウンスク, カン・ウンジョン|脚本;ユ・ホヨン|著;長谷川由起子|訳)

- (22) 手早く済ますよ。店がきれいになるのはいいことじゃないか 「頭にくる ことがあるんなら酒でも食らってろよ。

(ユ ホヨン(著)/長谷川 由起子(訳) / 1950 / 女 2005 書籍/9 文学 パリの恋人 上 キム・ウンスク, カン・ウンジョン|脚本;ユ・ホヨン|著;長谷川由起子|訳 竹書房)

- (25) セアラが出て行くと、アンはうんざりしたように溜息をついた。「女の子って、まったく 頭にくる わ。セアラがどんなにわたしの癪にさわるか、あなたにはとてもわからないでしょうよ、(アガサ・クリスティー(著)/中村 妙子(訳) 1890/1920 女/女 2004 書籍/9 文学 娘は娘 アガサ・クリスティー|著;中村妙子|訳 早川書房)

- (27) ガリラヤでは今でも近所の人たちは、あなたのことを変人扱いをして本当に 頭にくる よ。でも僕の妻になれば、いくらなんでもそんなことは言わせやしないよ。
 (G・カミンズ(著)/ 山本 貞彰(訳) 1890/ 1930 女/ 男 2004 書籍/1 哲学 霊界通信イエスの少年時代 貧窮の中の小さな王者 G.カミンズ|著;山本貞彰|訳 潮文社)
- (28) いくら注意して洗っても、いくらていねいにアイロンをかけても、それでも皺は残った。「頭にくる わ、このシャツ」小さくつぶやく
 (ジョイ・フィールディング(著)/ 吉田 利子(訳) 1940/ 1940 女/ 女 2002 書籍/9 文学 グランド・アヴェニュー ジョイ・フィールディング|著;吉田利子|訳 文藝春秋)
- (31) お前が、いいって薦めるからこの病院へきたんじゃないかっ」 ストレートに 頭にくる 。だが、その間に割って入った藤原は、本気で直矢の肩を突き飛ばした。
 (鷹野 京(著) 2002 書籍/9 文学 ドラマチックに恋をしよう いとしのテディ・ボーイ 鷹野京|著 プランタン出版;フランス書院(発売))
- (37) ドジでもいい、自然に子どもと接しよう 子どもたちに聞くと、父母の対応で一番 頭にくる のが「ぼくたちがお皿を落として割ると、『なにやってるの!』と怒るくせに、自分が割
 (増田 修治(著) 1950 男 2001 書籍/3 社会科学 話を聞いてよ、お父さん! 比べないでね、お母さん! 熱血どんぐり先生と「子どもの詩の世界」に出発!
 増田修治|著 主婦の友社;角川書店(発売))
- (39) ほとんどボクが成功させたのに、C主任は自分の手柄のように課長に報告している。
頭にくる よ」。
 (実著者不明 2004 書籍/1 哲学 ワルの知恵本 マジメすぎるあなたに贈る世渡りの極意 門昌央と人生の達人研究会|編 河出書房新社)
- (40) とても申しわけなくて仕方がありませんでした。 このことがあってから、僕はどんなに 頭にくる ことがあっても、また叩かれても、父に絶対手をあげることはしませんでした。
 (笹沢 左保(著) 1930 男 1981 書籍/9 文学 明日はわが身 人間ならば魂の開発を 笹沢左保|著 いんなあととりっぷ社)

- (43) こういう発言に対して私は馬乗りになって首をしめたくなるほど 頭にくる。何が主人だ、何が子供だ、最初からそんなことわかりきってるじゃないか。
 (群 ようこ(著) 1950 女 2003 書籍/9 文学 午前零時の玄米パン 群 ようこ|著 角川書店)
- (50) 結論を下した。しかしそれにしても、そばにいられるととにかく重苦しいのだ。とりわけ 頭にくる のは、いつもこちらに背を向けて座る癖だった。
 (ウラジーミル・ナボコフ(著)/ 若島 正(訳) 1890/ 1950 男/ 男 1999 書籍/9 文学 ディフェンス ウラジーミル・ナボコフ|著;若島正|訳 河出書房新社)
- (52) ピエロD もう少しでやばかったわよ。
 ピエロA だいたいおまえをみると 頭にくる んだよ。ちょっとぐらい頭がいいからってよ。
 (山本 茂男(著) 男 1997 書籍/分類なし 中学校劇1年 ドラマで楽しむ 木村たかし|ほか編 小峰書店)
- (54) ギンちゃんがいやに、れい子さんにやさしいので、ギッチョンチョンは 頭にくる ようだった。
 (灰谷 健次郎(著) 1930 男 1996 書籍/分類なし 太陽の子 長編小説 灰谷健次郎|著 理論社)
- (57) 一台のジープで五台分の駐車スペースを占領してるんだから。まったく 頭にくる わ…」一言も礼を言わずに女は車に戻るとルノーの横をバックしていった。
 (コリン・フォーブス(著)/ 小西 敦子(訳) 1920/ 1940 男/ 1993 書籍/9 文学 マレンゴ作戦発動す 下 コリン・フォーブス|著;小西敦子|訳 扶桑社)
- (62) 怒鳴る、叫ぶ、コントロールできなかつたんだ。ショットが思った通りに打てないと、頭にくる んだ。もう一度失敗すると『ラケットをどうにかしなきゃ』と思ったものさ」
 (2008 Yahoo!ブログ/Yahoo!サービス/Yahoo!ブログ Yahoo!ブログ Yahoo!)
- (63) 国の内外ともに、頭に来る ことばかりですが、そういう時にちょうどええ曲が。
 (2008 Yahoo!ブログ/エンターテインメント/音楽 Yahoo!ブログ Yahoo!)

(67) これだけ頭に来る言い方が出来る奴は一人しかいない。仁藤だ。まったく、どこまでも頭に来る奴。見れば一階の左端にある通信室から、ゆっくりと歩み出ている。

(日明 恩(著) 1960 女 2005 書籍/9 文学 鎮火報 日明恩|著 講談社)

(69) その顔は「え？」と言っていた。「だいたいみんな、はき違えてやがるのが頭に来る」「はき違えている？」わけが判らないと言った口調の小坂に、ぴしゃりと言い返し

(日明 恩(著) 1960 女 2005 書籍/9 文学 鎮火報 日明恩|著 講談社)

(72) 不屈のローズも何度か脳卒中に襲われ、心身が衰えた。「年を取るってほんとうに頭に来るものだわ」。ローズはいまいましげに言った。

(ボニー・アンジェロ(著)/ 山村 宜子(訳) / 1940 女/ 女 2004 書籍/2 歴史
ファーストマザーズ わが子をアメリカ大統領にした母親たち ボニー・アン
ジェロ|著;山村宜子|訳 清流出版)

(82) 死なんですからね。余裕なんざありませんよ」「くそっ。つばめがそういうこと言うと頭に来るなあ。てめえは車内設備に金かけすぎてんだよ。

(清水 義範(著) 1940 男 1994 書籍/9 文学 戦時下動物活用法 清水義範|著
実業)

後書き

本論文各章はそれぞれ以下の既出論文をもとにしている。

第2章 日・タイ語の慣用句の変異形と固定性

カンタムパン、スントアリー (2012a) 「日・タイ語の慣用句の変異形と固定性の対研究」『語学教育研究論叢』、第 29 号、大東文化大学語学教育研究所、pp.161-181

第3章 日・タイ語の動詞慣用句の統語的階層関係

カンタムパン、スントアリー (2012b) 「日・タイ語の動詞慣用句の統語的階層関係—下位の階層—」『外国語学会誌』第 41 号、大東文化大学外国語学会、pp.251-265

カンタムパン、スントアリー (2013c) 「日・タイ語の動詞慣用句の統語的階層関係—『上位の階層』を中心に—」In *MANUTSAT PARITAT: Journal of Humanities* 第 35 号 Srinakharinwirot University pp.19-32 (外部査読有)

カンタムパン、スントアリー (2012d) 「日・タイ語の動詞慣用句の統語的階層関係の分析—全階層について—」『指向 日本語文化学・応用日本語学論究』第 9 号 大東文化大学大学院 外国語学研究科日本語言語文化学専攻誌 pp.104-119

第4章 日・タイ語の慣用句の意味分析の対照研究

カンタムパン、スントアリー (2012c) 「日・タイ語慣用句の対照的意味分析—《驚き》を中心に—」『日タイ言語文化研究』創刊号 日タイ言語文化研究所 pp.69-83 (外部査読有)

カンタムパン、スントアリー (2012d) 「日・タイ語の動詞慣用句の統語的階層関係の分析—全階層について—」『指向 日本語文化学・応用日本語学論究』第 9 号 大東文化大学大学院 外国語学研究科日本語言語文化学専攻誌 pp.104-119

カンタムパン、スントアリー (2013a) 「日・タイ語慣用句の対照的意味分析—《所有・取得》—を中心に」『指向 日本語文化学・応用日本語学論究』第 10 号 大東文化大学大学院外国語学研究科 日本語文化学専攻誌 pp.84-99

カンタムパン、スントアリー (2013d) 「日・タイ語慣用句の対照的意味分析—《聴く》—を中心に」(A Comparative Semantic Analysis of Verb and Idioms Related to 《Sense of hearing》 in Thai and Japanese) In 大会論文集 *Thailand-Japan in the ASEAN Socio-Cultural Context* 第 6 号 2013.9 Japanese Studies Association in Thailand pp.165-185 (外部査読有)

カンタムパン、スントアリー (2014) 「タイ語の慣用句の意味分析—《怒り》を中心に—」『日タイ言語文化研究』第 2 号 日タイ言語文化研究所 pp.164-178 (外部査読有)

謝辞

本研究を進めるにあたり、主任指導教官である大東文化大学大学院外国語学研究科日本語文化学専攻 田中寛教授より、終始あたたかいご指導と激励を賜りました。また、同専攻 上村圭介准教授には、対照分析に関する貴重なご意見を、同専攻 福盛貴弘准教授には、論文全体の視点に関する貴重なご意見をいただきました。

さらに、恵泉女学園大学大学院人文学研究科長 秋元美晴教授には、引用論文に関してのご指摘や、論文全体に渡ってのご意見をいただきました。また、大東文化大学外国語学部英語学科英語学専攻主任 大月実教授には、英語と日本語の対照の観点からご指摘ご意見をいただき、日本語とタイ語を対照して考える上で、視野を広げることができました。

駿河台大学講師 一林久美子氏には、日本語教育の観点や論理展開の面で貴重なご指摘ご助言をいただきました。また、博士論文の最終的な仕上げにご助力いただきました。

国際基督教大学アジア文化研究所研究員 西田昌之氏（現在、タイ国立チェンマイ大学人文学部日本研究センター講師）には、本論文を書き上げる過程で有益なコメントをいただきました。他の観点からの適切且つ貴重なご提案も、大きな力となりました。また、タイ語、日本語、英語の確認、丁寧な修正など、全般に渡りご助言いただきました。

また、タイ国立タマサート大学教養学部日本語学科 ニャンジャローン・スニーク・ラット准教授には、研究に関する具体的な進め方を丁寧に教えていただきました。タイ商工会議所大学人文応用学部日本語学科講師 スンタラ・ティラウット氏には、研究の進め方や迷いについて、親身に相談にのっていただきました。後輩のブタキアン・パナーウット氏には、タイ語データ入力と確認をしていただきました。

本論文は、この方々の貴重なご意見とご協力があり、完成することが出来ました。心より深く感謝いたしております。

日本での留学生活は、タイ教育省高等教育委員会事務局から奨学金をいただき、タイ国立シーナカリンウィロート大学人文学部日本語科の先生方に、授業の負担を負っていただいたことで実現しました。在日以来のタイ語学習者であった稲生妙子姉には、留学中多岐に渡り支援していただきました。下宿先の井原文子様には、日本の家族の様に日常生活での相談にのっていただき、心を支えていただきました。また日本語や日本文化についても様々教えていただきました。深く御礼を申し上げます。

最後に、私が日本へ留学し研究の道に進むことを許し、今日に至るまであたたかく応援してくれた母親 CUNTHRAMPUNT Rattana、明るく励まし続けてくれた兄 Thanet、兄 Thanomsak、姉 Lawan、姉 Laddawan、姉 Nongnuch、弟 Thanongsak、そして姪の TIMSUNG Chotika に心から感謝します。

この論文は、亡くなった父親 CUNTHRAMPUNT Parakorn に捧げたいと思います。

ここに挙げた方々の他にも大勢の方々のお力添えによって、この論文を完成することができました。ここに感謝の意を表したいと思います。

要旨

日・タイ語慣用句の対照研究
——慣用句の特性と意味を中心に——

**Contrastive Analysis of Japanese and Thai Idioms :
Focusing on Meanings and Characteristics**

カンタムパン スンタリー
CUNTHRAMPUNT SOONTAREE

[要旨]

1. 本研究の内容・目的・課題

慣用句は二つ以上の単語の連結体で、その結びつきが固く、文字通りの意味とは別に全体として新しい意味をもつ。どの言語でも慣用句は形式的固定性を持つとされているが、日本語に関しては統語的操作を受けられるという研究がある。タイ語には統語的操作可能で変異形が存在するか否かという研究がされていないため、本研究で明らかにした。

本研究の目的は、以下のようなものである。

(1) 慣用句の特性として、タイ語の慣用句にも「形式的変異形」、「統語的階層関係」が存在するか否か。あるとしたら、それぞれの特性を明らかにする。

(2) 慣用句の意味として、タイ語の慣用句の語彙の場を対象とする《驚き》、《聴覚活動》、《所有・取得》、《怒り》のそれぞれに属する慣用句や動詞を取り上げ、それらの区別に関わる「弁別的意味特徴」を明らかにする。

(3) 日本語に見られる慣用句の特性として 1)形式的変異形、2)統語的階層関係、及び慣用句の意味、3)弁別的意味特徴を分析し、タイ語における 1)形式的変異形、2)統語的階層関係、3)弁別的意味特徴を対照分析する。

以上のことを、以下のような研究方法で試みた。

まず、本研究で使用したデータについてであるが、以下のデータを使用した。

日本語のデータ

1. 「中納言」『現代日本語書き言葉均衡コーパス』(BCCWJ)

2. 石田(2001)が引用したデータ

タイ語のデータ

1. インターネットのデータベース TNC: Thai National Corpus

Department of Linguistics Faculty of Arts, Chulalongkorn University

2. 辞書及び慣用句に関する用例集

研究方法として、慣用句の形式的固定性に着目し、日・タイ語の慣用句とその変異形が可能かどうかを分析した。語彙体系のレベルで同等の資格を持つものが置き換え可能かどうかをテストすることで変異形を確認するという方法である。

まず、辞書や慣用句の本から慣用句を収集し、「置き換えのテスト」を行う。この置き換えたものが実際に日常生活で使用できるか母語話者 3 名に用例の容認性を確認した。

この結果をもとに、慣用句の統語的階層関係を検証した。統語的にどの程度操作できるかによって 6 つのレベル段階を設定して、その操作の度合いによって慣用句らしさを分類した。

次に、慣用句の意味分析を行った方法として「語彙の場」を設定し、さらに前述した「置き換えテスト」や「副詞（句）との共起のテスト」を行った。「副詞（句）との共起のテスト」とは、問題の語について何らかの意味特徴を仮定し、その意味特徴を含む副詞（句）と問題の語との共起可能性を調べるものである。この容認性の調査に関しては母語話者 3 名に協力を求めた。それらのテストの結果に基づいて、動詞・慣用句の意味の「成分分析」を行うことで、弁別の意味特徴を抽出し分析を行った。

2. 本研究の内容と構成

序章

本論文の研究の動機と目的、タイ語の表記体系について述べた。次いで日本語における「慣用句」の定義、英語における「idiom」の定義、タイ語における「sǎmnuan」の定義について、さらに、本論文における「sǎmnuan」と「慣用句」の位置づけ、研究方法について述べた。

第 1 章 先行研究

タイ語慣用句、日本語慣用句、日・タイ語慣用句の比較対照、タイ語と他言語の慣用句の比較対照、また、日本語と他言語の慣用句に関する先行研究を紹介した。まず、タイ語の身体部位を含んだ慣用句の意味拡張についての研究、色彩を含んだ慣用句を通じてタイ人の概念に言及した研究について述べた。

第 2 章 日本語・タイ語の慣用句の変異形と固定性

慣用句は基本的に「形式的固定性」を持つとされるが、慣用句の中にも構造や構成要素が変異した慣用句、すなわち、「慣用句の変異形」を持つものがある。日本語の慣用句にみられる変異形のタイプと、タイ語の慣用句にみられる変異形のタイプを比較し考察した。

第 3 章 日本語・タイ語の動詞慣用句の統語的階層関係

慣用句の変異形の生み出しやすさの指標となる統語的操作性に応じて、慣用句をレベル毎に分類した。慣用句は、慣用句全体の意味が句を構成する構成要素の意味の総和と一致していないという「慣用句性」を持つ。この「慣用句性」の度合いは個々の慣用句によって異なり、「統語的固定性」の度合いによって変化する。多くの統語的操作を許す慣用句では、その意味の中に構成要素の意味が多く残っており「慣用句性」は低くなる。これに対

して、統語的操作をあまり許さない慣用句ではその意味の中に構成要素の意味が一つのかたまりとして固定している。日本語の慣用句は、統語的操作を受け入れる度合いによって6つのレベルに分けられる。タイ語慣用句の場合は、日本語と同様なレベルに分類できるかどうかを検討した。

第4章 日本語・タイ語の慣用句の意味分析の対照研究

共通の意味領域を対象とするタイ語の「《驚き》を表す慣用句と一般動詞」、「《聴覚活動》を表す慣用句と一般動詞」、「《所有・取得》を表す慣用句と一般動詞」、「《怒り》を表す慣用句と一般動詞」を取り上げ、これらの区別に関わっている弁別的意味特徴を抽出した。また、日本語にみられる慣用句の弁別的意味特徴をタイ語の慣用句と比較対照した。

第5章 結論と今後の課題

慣用句の特性である「形式的固定性」「統語的固定性」から日本語とタイ語を分析した結果を出した。この度合いが高い慣用句は慣用句らしい慣用句で、典型的な慣用句ということになる。反対にこれらの特性の度合いが低い慣用句は慣用句らしくなく、一般連語句に近いものとも言える。本研究を通してタイ語の慣用句の特性の度合いを計り、階層を示した。本研究の結果は次の通りである。

日本語に存在する「形式的（語彙的）変異形」「統語的変異形」は、タイ語にも存在する。詳細は次のようである。

慣用句の語彙的変異形の場合

- (1) 日本語にもタイ語にも存在する慣用句の語彙的変異形は、1) 名詞の交替、2) 動詞の交替、及び3) 対義語である。
- (2) 日本語に存在するが、タイ語には存在しない慣用句の語彙的変異形は、1) 使役形と2) 自動詞・他動詞である。

慣用句の統語的変異形の場合

- (1) 日本語にもタイ語にも存在する慣用句の統語的変異形は、1) 命令表現化、意志表現化 2) 連体修飾語の付加 3) 連用修飾語の挿入・付加がある。但し、日本語の連用修飾語は「挿入」であるが、タイ語の連用修飾語は「付加」である。
- (2) 日本語に存在するが、タイ語には存在しない慣用句の統語的変異形については、以下のようである。

日本語には「名詞句への転換」があるが、タイ語にはない。タイ語は名詞句へ転換する際、構成要素の順序が変わることで、全体の意味のまとまりを失ってしまう。

慣用句の意味分析の場合

日本語とタイ語の弁別的意味特徴を考察して、3グループに分けた。

- (1) 日本語・タイ語の弁別的意味特徴で重なりがあるものについて、《聴覚活動》に関しては、日本語とタイ語の弁別的意味特徴が重なっていても語彙の意味範囲が異なるものがある。
- (2) 日本語・タイ語の弁別的意味特徴で、相違点もあり類似点もあるものについて、《所有・取得》に関しては、日本語もタイ語も＜移動性＞を持つということが類似点といえる。相違点に関しては以下のようなものである。

日本語の＜移動性＞に関しては＜物理・空間的移動＞及び＜所有の移動＞という弁別的意味特徴を設けなくては慣用句の違いを言い表せないが、タイ語ではその必要はない。

《驚き》に関しては、日本語もタイ語も＜表出性＞を持つ。日本語では＜表出性＞という弁別的意味特徴で充分であるが、タイ語では、下位分類として＜視覚認識＞及び＜体感認識＞を設ける必要がある。
- (3) 日本語・タイ語の弁別的意味特徴で共通点はないものについて、《怒り》に関しては、日本語とタイ語は弁別的意味特徴がそれぞれ異なる。日本語では＜漸進性＞及び＜外面性＞を持つが、タイ語では＜自己起因性＞＜表出性＞＜対象者重視＞を持つ。タイ語から見た概念で弁別的意味特徴を日本語の《怒り》に使用してみた結果、日本語の《怒り》のそれぞれの語の意味を弁別できないことが分かった。

3. 本研究の成果と意義、貢献

本研究の成果は、日本語とタイ語の慣用句の微妙な違いを形式的変異形及び統語的階層関係について検討し、《驚き》、《聴覚活動》、《所有・取得》、《怒り》の弁別的意味特徴を明らかにした。その理由として、日本語が膠着語でありタイ語が孤立語であるという語族の違いが考えられる。これらの成果は、先ず、日・タイ語、及びタイ・日語の辞典に反映されると思う。タイ語で書かれた日本語辞典には、タイ人から見た概念のフレームで書かれていない。日本語で書かれたタイ語辞典も同様であろう。本研究の成果は、特に類語辞典、日・タイ語慣用句辞典の内容に新しい視点が加えられることと思う。

また、本研究の視点は、外国語学習者にとっても意義があると思われる。外国語学習者にとって、母語とは弁別的意味特徴が異なる慣用句を習得することは難しいということが予想される。これは、学習者だけの問題ではなく非母語話者の教師にとっても慣用句を教えることは難しいものであろう。

すなわち、タイ人の日本語学習者にとっては、タイ人の考え方のフレームで日本語の慣用句を理解するため、誤用の可能性が大きいということである。また、同様に日本人のタイ語学習者にとっても、日本人の考え方のフレームでタイ語慣用句を理解するため、正しい使い方ができにくいということでもある。

本研究による慣用句の特徴を把握することで、学習者の言語習得に貢献するだけでなく、非母語話者の外国語教師の教育指導にも貢献することと思われる。